IS05

取扱説明書　Android 2.3 対応版

IS series

au by KDDI

ごあいさつ

このたびは、IS05をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本書はAndroid2.3へのメジャーアップデート(OSの更新)後の内容について記載しております。
メジャーアップデート(OSの更新)をしていない場合、IS05に付属する『取扱説明書』または、auホームページに掲載の『取扱説明書』をご参照ください。
IS05に付属する『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。
簡易英語版/簡易中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS05をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にauに送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS05は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での携帯電話の使用は禁止されています。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

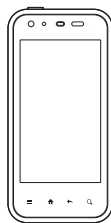
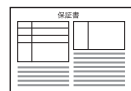
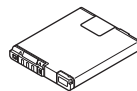
映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

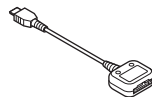
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。

本体

保証書

電池パック（SHI05UAA）

microSDメモリカード（2GB）（試供品）

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル

- 取扱説明書
- ご使用上の注意
- お知らせシート
- 設定ガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービス（au国際電話サービス）ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

• ACアダプタ	• microUSB-USB変換ケーブル
• イヤホン	• HDMIケーブル

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

こんなときは…

目次

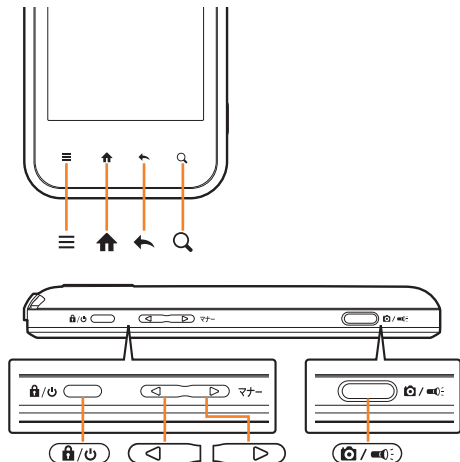
便利な機能 195

端末設定 221

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどをタップ（▶P.44）する操作を、[（項目などの名称）]と省略して表記しています。

また、本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

本書でのその他の操作と表記については、「機能利用中の操作」（▶P.45）をご参照ください。

例：マナーモードを設定する場合

1 メインメニューで[設定]→[サウンド設定]→[マナーモード]

memo

◎IS05の「壁紙」（▶P.229）、ベールビューの「表示パターン」（▶P.229）の初期値は本体カラーによって異なります。本書では本体カラー「Green×Black」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。

◎各機能のお買い上げ時の設定については、「設定項目一覧」（▶P.292）をご参照ください。

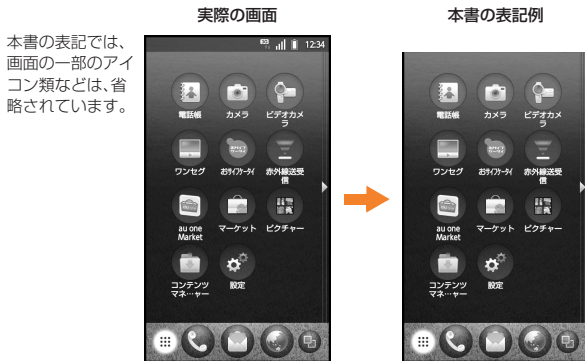
◎本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎本書では「microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル（同梱）」および「シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（別売）」の名称を、「microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル」と省略しています。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

◎本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎IS05に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

◎IS05は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎IS05でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。（Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）はWi-Fi接続でのご利用はできません。）

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

●この「安全上のご注意」には、IS05を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

●図記号の意味は以下のとおりです。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■IS05本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル、周辺機器共通

⚠危険　**必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
IS05専用および共通周辺機器

- 電池パック（SHI05UAA）
- microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル（同梱）
- シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（SHI01HVA）（別売）
- シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（SHI01HUA）（別売）
- IS05カバー（クリア）（SHI05WCA）（別売）
- 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）
- 共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）
- AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）
- AC Adapter AO（0204PLA）（別売）
- AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）
- AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）
- AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）
- AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）
- AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）
- AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）
- AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）
- AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）
- 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）
- ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）

海外で充電するときは必ず共通ACアダプタ02（別売）をご使用ください。AC Adapter MIDORI／AO／SHIRO／MOMO／CHA／REST／RANGERS／CHARGY／WORLD OF ALICE／KiiRollは共通ACアダプタ02と共通の仕様です。

禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS05の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。)

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルの接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルの接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合やmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルを接続する場合、電源プラグや接続端子に金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

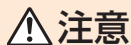
落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

IS05はソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS05またはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

IS05が落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグ、microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、電池パックを抜いてください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルの接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

⚠注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品や電池パック・au ICカード・microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル・microSDメモリカード・イヤホン端子カバーの誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。また、テレビアンテナの取り扱いにもご注意ください。

指示

金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パック、microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルの接続端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してください。またmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをご使用の場合はIS05や充電用機器（別売）から抜き、熱くないことを確認してください。その後IS05の電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態のIS05本体・電池パック・指定の充電用機器（別売）・microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

禁止

IS05本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）やmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをつながないでください。発火・感電の原因となります。

■IS05本体について

⚠警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

指示

航空機内では電源をお切りください。IS05の電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。IS05とパソコンをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）で接続すると、IS05の電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

指示

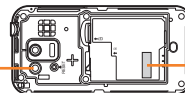
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。IS05とパソコンをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01(別売)で接続すると、IS05の電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

高精度な電子機器の近くではIS05の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
注意事項:
当製品に使用されているモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

指示

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビ(ワンセグ)を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作などの影響を与えることがあります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

分解禁止

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク 」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

禁止

イヤホン（市販品）やハンドストラップ、テレビアンテナなどを持ってIS05本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因になることがあります。また、ヒモが傷ついているなど、傷んだハンドストラップは使用しないでください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

夏季に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。IS05が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、IS05本体が変形し故障の原因となる場合があります。

指示

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

FMトランスミッターは日本国内でご使用ください。FMトランスミッター機能は、日本国内では無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

IS05で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	PA樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（側面）	PA樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池パックカバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
外部接続端子・HDMI端子カバー	PC樹脂・エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理
イヤホン端子カバー	エラストマー樹脂	なし
ハンドストラップ取付口	SUS	なし
テレビアンテナ	PA樹脂	なし
	SUS	なし
	ニッケルチタン合金	なし
電源キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
音量UP／DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
シャッターキー	PC樹脂	スズ系蒸着処理
ディスプレイ	強化ガラス	アクリル系ハードコート処理
受話口	PET樹脂	ハードコート処理
モバイルライトレンズ	PC樹脂	なし
アウトカメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
赤外線ポートカバー	アクリル樹脂	ハードコート処理
アウトカメラ・赤外線ポート飾りカバー	アルミ	アルマイト処理

禁止

人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人にあたり、思わぬけがをする場合があります。

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止

外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、通常は外部接続端子・HDMI端子カバーやイヤホン端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。

指示

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、IS05本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

指示

受話口部やスピーカー部の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止

テレビアンテナを伸ばした状態でIS05を振り回さないでください。傷害やテレビアンテナの変形・破損の原因となります。

指示

テレビ（ワンセグ）視聴時、FMトランスミッター送信時以外ではテレビアンテナを格納してください。テレビアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり、思わぬけがの原因となります。

禁止

テレビ（ワンセグ）視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。IS05本体一部が温かくなり、火災・やけど・故障の原因となります。

禁止

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

禁止

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■電池パックについて

IS05の電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

指示

電池パックをIS05本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分にご確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

分解禁止

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

落としたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

電池パックをIS05本体から取り外すときは、PULLタブまたは突起部を持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックに水などを直接かけたり、水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちにIS05本体の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

漏液したり異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■充電用機器について

警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）では日本国内家庭用AC100Vを使用してください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は、行わないでください。共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）／AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）／AC Adapter AO（0204PLA）（別売）／AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）／AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）／AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）／AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）／AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）／AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）／AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）／AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しておりますので、海外での充電も可能です。共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）はDC12VまたはDC24Vのマイナスアース車でご使用ください。

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ01（別売）はヒューズを使用しています。ヒューズが切れた場合は必ず指定のヒューズ（定格250V 1A）と交換してください。発熱・発火の原因となります。ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。

指定の充電用機器（別売）の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

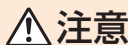
水濡れ禁止

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

指示

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。**

指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

水濡れ禁止

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

指示

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

禁止

共通DCアダプタ01（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

禁止

IS05本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルについて

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、microUSBコネクタをIS05本体から抜いてください。また、指定の充電用機器（別売）のコネクタをmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。**

禁止

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルの接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

指示

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。また、傷ついたケーブルは使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
ケーブル	熱可塑性ウレタン樹脂	なし
microUSB側コネクタカバー	熱可塑性ウレタン樹脂	なし
microUSB側先端	ステンレス	ニッケルメッキ
18芯側コネクタカバー	ABS	なし
18芯側先端	銅合金	ニッケルメッキ

■au ICカードについて

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードをIS05に取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS05本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。
  調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中など、ご使用状況によってはIS05本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、IS05が高温となった場合、IS05本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- 電池パックはIS05の電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ IS05本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中は、ご使用状況によってはIS05本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- IS05本体(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS05が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 電池パックカバー裏に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- IS05に登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。
  万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS05に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS05はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS05で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS05本体が損傷するおそれがあります。

- テレビ(ワンセグ)視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ(ワンセグ)視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、IS05本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- IS05に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- IS05を永久磁石(磁気ネックレス・バッグの留め金など)／家庭電化製品(テレビ、スピーカーなど)の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS05そのものが磁気を帯びたとき(着磁または帯磁と呼びます)は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS05内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、明るさを自動調整する設定にしても、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルや電源キーが操作できなくなります。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- IS05は、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やHDMI端子、イヤホン端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子・HDMI端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- IS05は、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。
- 撮影などしたフォト／ムービーデータや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- IS05は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材を使用しているストラップは、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、IS05本体から外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- お買い上げ時には、十分に充電されていない場合もあります。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。)
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードを電源プラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ microUSB-18芯(充電器)変換ケーブルについて

- 高温、低温下での充電は十分な容量が得られません。正しく充電できるまで充電待機状態となります。充電可能な範囲内となる場所(周囲温度5℃～35℃)へ移動してください。
- 充電中、温かくなることがありますが異常ではありません。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。指定のACアダプタ(別売)本体に電源プラグを収納してください。けがなど事故の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードを電源プラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- ケーブルを持ってIS05をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- IS05の電源を入れた状態でも充電はできますが、充電時間が長くなります。
- 長時間ご使用にならなかった電池パックを充電したときは、初回の充電時間が長くなることがあります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS05の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- 撮影時にレンズやモバイルライトに指がかからないようにご注意ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 著作権／肖像権について

- お客様がIS05で撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 音楽機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やテレビ(ワンセグ)などを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。(運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。)また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン(市販品)からの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシール・ラベルなどを貼り付けないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS05をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックや遠隔ロック、電話帳制限などの設定/解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS05には次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「おサイフケータイ ロック設定」	設定方法は、「おサイフケータイ®の機能をロックする」(▶P.201)をご参照ください。
「電話帳制限」	設定方法は、「各機能の利用を制限する」(▶P.232)をご参照ください。
「遠隔ロック」	設定方法は、「遠隔ロックを設定する」(▶P.230)をご参照ください。
「画面ロック」	設定方法は、「スリープモードになったときにIS05をロックする」(▶P.230)をご参照ください。
「フォルダシークレット登録」	設定方法は、「メールボックス画面でできること」(▶P.98)をご参照ください。
「シークレット設定」	設定方法は、「送受信履歴のメニューを利用する」(▶P.103)をご参照ください。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。(▶P.233「UIMカードロックを設定する」)

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードをロック」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください。(▶P.233「UIMカードロックを設定する」)
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS05が再起動することがあります。
◎「PINコード」は「オールリセット」(▶P.236)を行ってもリセットされません。

〈IS05の記憶内容の控え作成のお願い〉

● ご自分でIS05に登録された内容や、外部からIS05に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
IS05のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記憶内容が消失したり変化することがあります。
※控え作成の手段
電話帳などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモリカードにバックアップすることをおすすめします。メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。
ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■ **お知らせ**

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS05のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能:2.4FH1**
IS05本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS4/OF4

- **無線LAN機能:2.4DS4/OF4**
IS05本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。IS05のBluetooth®機能は日本国内での無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

IS05のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS05を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS05と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS05の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- 無線LAN機能は日本国内でご使用ください。IS05の無線LAN機能は日本国内での無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障がいの原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント（無線LAN親機）が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●無線LANご使用上の注意

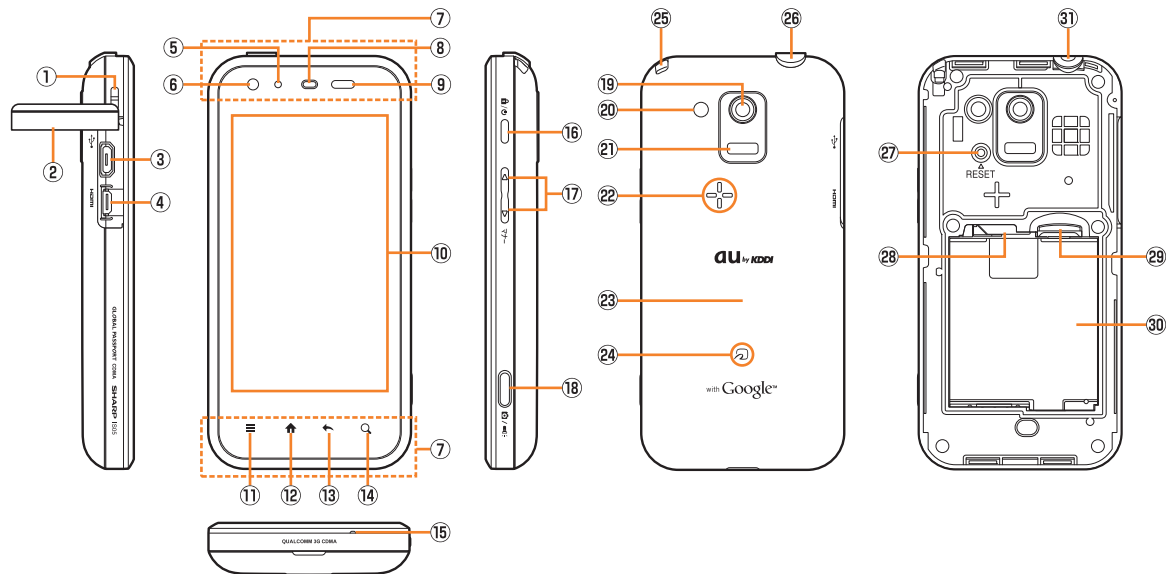
IS05の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS05を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS05と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS05の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ IS05はすべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®、無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
GLOBAL PASSPORT CDMA
SHARP IS05
QUALCOMM 3G CDMA
マナー
au by KDDI
with Google™
RESET

① **ハンドストラップ取付口**
② **外部接続端子・HDMI端子カバー**
③ **外部接続端子**
microUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01(別売)接続時に使用します。
④ **HDMI端子**
HDMIケーブル(市販品)の接続時に使用します。
⑤ **充電/着信ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
⑥ **インカメラ(レンズ部)**
⑦ **内蔵アンテナ部**
通話時、インターネット利用時、Wi-Fi利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください(Bluetooth®機能、無線LAN機能、GPS情報取得機能は本体上部のみ)。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話/通信品質が悪くなります。
⑧ **受話口(レシーバー)**
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
⑨ **近接センサー/光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
⑩ **ディスプレイ**
⑪ **≡メニューキー**
オプションメニューを表示します。
⑫ **ホームキー**
デスクトップを表示するときなどに使用します。
⑬ **戻るキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑭ **検索キー**
クイック検索ボックスを表示するときなどに使用します。

⑮ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
⑯ **電源キー**
電源ON/OFFやスリープモードの移行/解除に使用します。
⑰ **音量UP/DOWNキー**
音量を調節します。
ロック解除画面、デスクトップ、メインメニューでを長押しすると、マナーモードの設定/解除を切り替えられます。
⑱ **シャッターキー**
フォト・ムービーの撮影時に使用します。
デスクトップで長押しするとカメラを起動します。
ロック解除画面で長押しすると、モバイルライトが点灯します。
⑲ **アウトカメラ(レンズ部)**
⑳ **モバイルライト**
㉑ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
㉒ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
㉓ **電池パックカバー**
㉔ **FeliCaマーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。
㉕ **テレビアンテナ**
テレビ(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。また、FMトランスミッターの送信に使用します。
通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
㉖ **イヤホン端子カバー**

㉗ **リセットボタン**
リセットボタンについては、「リセットボタンで再起動する」(▶P.243)をご参照ください。

㉘ **au ICカード**
au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.39)をご参照ください。

㉙ **microSDメモリカードスロット**

㉚ **電池パック**
電池パックの取り外し／取り付けについては、「電池パックを交換する」(▶P.283)をご参照ください。

㉛ **イヤホン端子**
イヤホン接続時に使用します。

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。赤色に点灯していた充電／着信ランプが消灯したら充電完了です。

■ ご利用可能時間

連続待受時間※1	約240時間※2
	約90時間※3
連続通話時間※1	約450分

※1 日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.301)をご参照ください。
※2 Wi-Fiを利用していないとき
※3 Wi-Fi利用時

memo

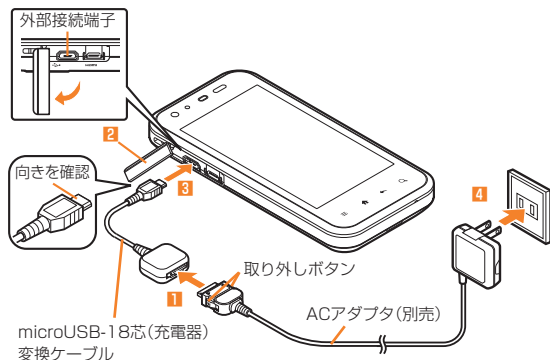
◎ 充電中、IS05と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.14)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
◎ IS05の充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
◎ 共通ACアダプタ01(別売)では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
共通ACアダプタ02(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外での充電には必ず共通ACアダプタ02(別売)をご使用ください。
◎ 外部接続端子･HDMI端子カバーは、しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- (圏外)が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi機能、メール機能、カメラ機能、LISMO機能、ワンセグ機能、位置情報、FMトランスミッター機能などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、(十分)が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

■指定のACアダプタ（別売）で電池パックを充電する

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルと指定のACアダプタ（別売）が必要です。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.282）をご参照ください。
（お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。）

充電時間は約210分です

1 microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに指定のACアダプタ（別売）を接続

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに指定のACアダプタ（別売）の先端の形状を確認して接続します。

2 IS05の外部接続端子・HDMI端子カバーを開ける

3 IS05にmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルを接続

4 指定のACアダプタ（別売）をAC100Vコンセントに差し込む

根元まで確実に差し込んでください。
IS05の充電／着信ランプが赤色に点灯し、が表示されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

5 充電が終わったら、IS05からmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをまっすぐ引き抜く

6 IS05の外部接続端子・HDMI端子カバーを閉じる

7 指定のACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

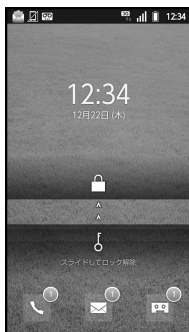
memo

◎microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルから指定のACアダプタ（別売）を取り外すには、指定のACアダプタ（別売）のコネクタ両側面にある取り外しボタンを押しながらまっすぐ引き抜いてください。
◎IS05の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎IS05とパソコンをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）で接続しても充電ができます。IS05の「USB充電」（▶P.218）の設定を有効にしてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （2秒以上長押し）

ロック解除画面が表示されます。
を にスライドすると、ロックが解除されます。画面ロック（▶P.230）を設定している場合は、ロックNo.入力画面が表示されます。
不在着信／新着メール／伝言メモがある場合は、アイコンが表示されます。
アイコンを選択後、ロックを解除すると対応するアプリケーションが起動します。

《ロック解除画面
（不在着信／新着メール／伝言メモがある場合）》

memo

◎電源を入れてから「Android™ au with Google™」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎お買い上げ後、初めてIS05の電源を入れたときは初期設定画面（▶P.37）が表示されます。

電源を切る

1 （2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。
ロック解除画面でを長押しすると、携帯電話オプション画面が表示されずに、電源が切れます。

《携帯電話オプション画面》

2 ［電源を切る］→［OK］

再起動する

IS05の電源をいったん切り、再度起動します。

1 （2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［再起動］→［OK］

スリープモードについて

を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。

■スリープモードを解除する

1 スリープモード中に

ロック解除画面が表示されます。

◎充電中に、スリープモードに移行することを防ぐことができます。詳しくは「スリープモードの設定をする」(▶P.193)をご参照ください。
◎スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてIS05の電源を入れたときやau ICカードを差し替えたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。

1 「日付と時刻」(▶P.240)を設定→[次へ]

2 「位置情報」(▶P.176)を設定→[次へ]

3 「その他」を設定

「Wi-Fi設定」(▶P.246)、「au one-ID設定」(▶P.240)、「Googleアカウント」(▶右記)、「文字フォント切替」(▶P.229)、「プロフィール設定」(▶P.223)を設定します。

4 [完了]

次回の起動時から初期設定画面を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

5 [はい]/[いいえ]

「いいえ」を選択した場合、次回の起動時から初期設定画面が表示されなくなります。

◎メインメニューで[設定]→[初期設定]と操作しても設定することができます。

Googleアカウントをセットアップする

IS05にGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントがセットアップされていないときに Googleアカウントが必要なアプリケーションや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→[次へ]

IS05のセットアップ画面が表示されます。

2 [作成]/[ログイン]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を選択します。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

■ Googleパスワードを再取得する場合

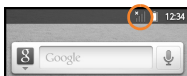
1 デスクトップ下部の「 」を選択→URL表示欄を選択→「http://www.google.co.jp/」を入力→[ ]

2 [ログイン]

Googleアカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

4 画面の指示に従って操作する

画面にこんな表示が出たら

■ が表示された場合

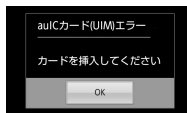
サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。
が消える所まで移動してください。

■「充電してください」が表示された場合

電池残量が約15%未満になったときに表示されます。
「OK」をタップして充電するか、充電された電池パックと交換してください。
「電池使用量」をタップすると、電池の使用状況を確認できます。

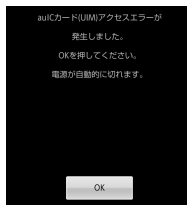
■「電話が規制されています」が表示された場合

回線が非常に混みあっているなどで、電話がかかりにくくなっています。
しばらくたってからおかけ直しください。

■「au ICカード(UIM)エラー」が表示された場合

- 「カードを挿入してください」と表示されているときは、お客様のau ICカードが挿入されていません。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」と表示されているときは、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されています。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

■ が表示された場合

おサイフケータイ®の機能がロックされているため、おサイフケータイ®が利用できません。
おサイフケータイ®のロックを解除してください。

■「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」が表示された場合

- 落下などの衝撃が加わると、表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 繰り返し「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」と表示された場合は、正しくau ICカードが取り付けられているかどうかご確認ください。
  au ICカードの取り付けかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.40)をご参照ください。
- アクセスエラーが発生した場合、セキュリティ確保のためIS05が再起動することがあります。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS05本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカード着脱時は、必ずmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルなどのmicroUSBコネクタをIS05本体から抜いてください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■ au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードが挿入された場合

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。また、3G／1xが表示されません。

- 電話をかける※／受ける
- メールの送受信
- 遠隔ロックの起動／解除
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認

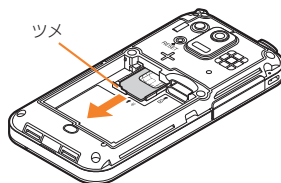
※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.233「UIMカードロックを設定する」)

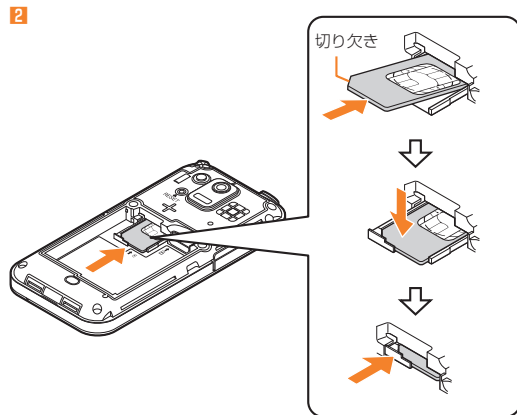
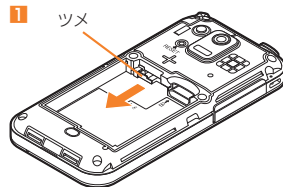
au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し・取り付けを行います。電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを交換する」(▶P.283)をご参照ください。

1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出し、au ICカードを取り外す

au ICカードを取り付ける

1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出す

2 トレイにau ICカードのIC(金属)部分を上にして載せ、奥に差し込む

au ICカードとトレイの切り欠き方向を合わせてください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をIS05本体にセットして、データを保存することができます。また、電話帳、メール、ブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードにデータを保存する場合、1ファイルの最大サイズは2GBです。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS05では正常に使用できない場合があります。IS05で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.238)をご参照ください。
◎microSDメモリカード内のデータを再生/表示する操作については、「データを再生/表示する」(▶P.154)、「コンテンツ表示画面のメニューを利用する」(▶P.154)をご参照ください。
◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えてもIS05で再生できない場合があります。

■取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、電池パックを取り外したり、IS05本体や機器の電源を切ったりしないでください。IS05本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- IS05本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- IS05本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせください。

＜microSD／microSDHCメモリカード＞

※4GB以上はmicroSDHCメモリカードの対応状況です。

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	○
SanDisk	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	−
バッファロー	○	○	○	○	○
ソニー	○	○	○	−	−

○：動作確認済み　−：未確認または未発売　2011年9月現在

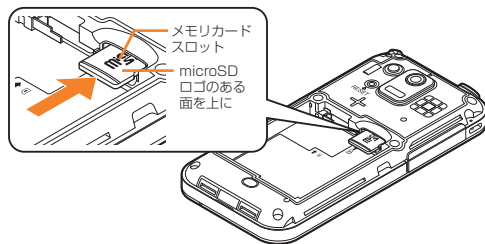
※IS05では、2011年9月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。

microSDメモリカードをセットする

1 IS05の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」（▶P.283）をご参照ください。

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 電池パックを取り付け、電池パックカバーを装着する

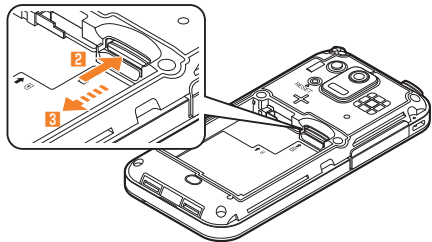
memo

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 **IS05の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す**

2 **microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む**

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 **microSDメモリカードをゆっくり引き抜く**

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 **電池パックを取り付け、電池パックカバーを装着する**

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

基本操作

タッチパネル

タッチパネルの使いかた

IS05のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続ですばやくタップする操作をダブルタップと呼びます。

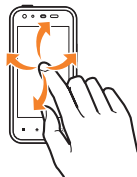
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

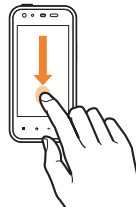
画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

memo

◎ フリック操作は、最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

機能利用中の操作

項目を選択するには

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップして選択します。

メニューを表示するには

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で「≡」をタップすると表示されるメニューです。

例：受信ボックス画面の場合

オプションメニュー

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：文字入力画面の場合

コンテキストメニュー

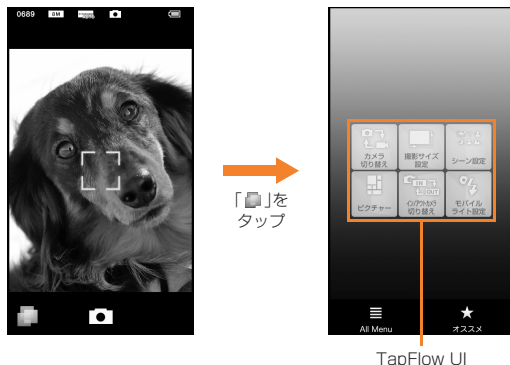
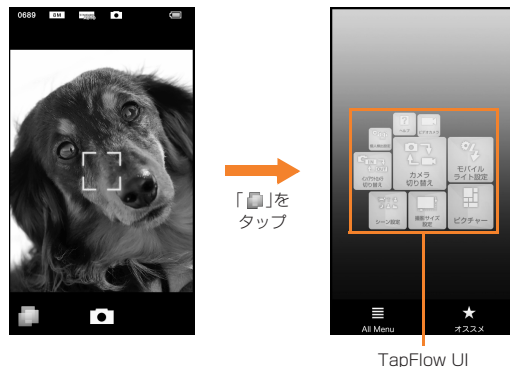
■TapFlow UIについて

TapFlow UIは、電話帳、カメラ、ビデオカメラ、ピクチャー利用中に「 」をタップすると表示されるメニューです。
メニューの使用頻度に応じて表示されるメニューアイコンの種類が変化します。また、メニューアイコンの位置や大きさも、メニューの使用頻度に応じて変化していきます。

例：フォトモニター画面の場合

- お買い上げ時

「 」をタップ

TapFlow UI

- 各機能操作後

TapFlow UI

memo

◎TapFlow UI表示中に「All Menu」を選択すると、利用できるメニューがすべて表示されます。
◎TapFlow UI表示中に「オススメ」を選択すると、アプリケーションに応じておすすめのメニューが表示されます。
◎TapFlow UI表示中に[All Menu]→[使用履歴リセット]→[はい]と操作すると、TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

設定を切り替えるには

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。

アイコン	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☑（淡色）	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

デスクトップとメインメニュー

デスクトップの見かた

デスクトップでは、IS05の状態や現在の設定を確認できます。

① **ステータスバー**
▶右記「ステータスバーを利用する」

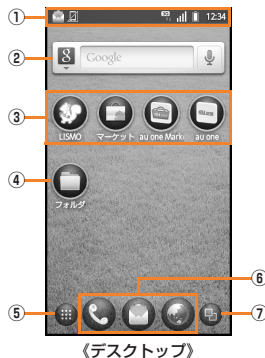
② **ウィジェット**
▶P.51「ウィジェットを利用する」

③ **ショートカット**
▶P.51「ショートカットを利用する」

④ **フォルダ**
▶P.53「フォルダを利用する」

⑤ **メインメニューキー**
▶P.53「メインメニューを利用する」

⑥ **クイックメニュー**
▶P.55「クイックメニューを利用する」

⑦ **起動中アプリキー**
▶P.57「操作するアプリケーションを切り替える」

《デスクトップ》

※画面は各機能の説明のためのものでお買い上げ時の状態とは異なります。

◎デスクトップを左右にスライド／フリック(▶P.44)して、デスクトップを切り替えられます。(▶P.50「デスクトップを切り替える」)

ステータスバーを利用する

ステータスバーは、IS05の画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側にはIS05の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■お知らせアイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(メール)
	新着メールあり(PCメール)
	新着メールあり(Gmail)
	アラーム終了 • アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ情報あり ワンセグ視聴情報あり、BGM再生中 ワンセグ録画情報あり
	音楽再生中
	USBデバッグ接続中
	発信中／通話中
	保留中
	伝言メモあり
	新規イベントあり
	本体の空き容量が少ないとき
	Bluetooth®ペア設定リクエストあり
	USB接続中 カードリーダーモード 高速転送モード／USB接続(カードリーダーモード接続時)

アイコン	概要
	データのアップロード データのアップロード中 データのアップロード完了
	データ、アプリケーションのダウンロード中／ダウンロード完了／インストール中 • ダウンロード中のアイコンはアニメーション表示されます。
	インストール完了
	VPN接続中、未接続
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり

memo

◎同じ種類のお知らせが複数ある場合は、アイコンの右下に件数が表示されます。

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
12:34	時刻	P.240
	アラーム設定あり	P.206
	電池レベル状態（充電中） （）十分／（）残量約80%／ （）残量約60%／（）残量約40%／ （）残量約20%／（）残量約10%／ 残量なし • 「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。	－
	電波OFFモード設定中	P.225
	電波の強さ（受信電界）※ レベル4／レベル3／レベル2／ レベル1／レベル0／圏外	－
	3Gデータ通信状態※ 待機中／受信中／送信中／ 送受信中／データ通信OFF設定中	－
	CDMA 1Xデータ通信状態※ 待機中／受信中／送信中／ 送受信中／データ通信OFF設定中	－
	ローミング中	P.276
	au ICカードが未挿入	P.39
あ カ ｶﾅ A AB 1 12 区	文字種	P.63
	マナーモード状態 通常マナー ドライブマナー サイレントマナー	P.196
	ハンズフリーで通話中	P.72
	通話中のマイクをOFFに設定中	P.72
	ホームネットワークの状態 停止中／（緑色）準備中／ （青色）動作中	P.220
	Wi-Fiの電波の強さ※ レベル4／レベル3／レベル2／ レベル1／レベル0	P.246
	Bluetooth®利用中 待機中 接続中	P.253
	FMトランスミッター利用中	P.161

アイコン	概要	ページ
	GPS利用中 • GPS情報取得中のアイコンはアニメーション表示されます。	－
	データ同期中	P.235
	伝言メモ設定中 伝言メモなし 伝言メモあり（1～9件） 伝言メモが10件	P.196
	おサイフケータイ® ロック設定利用中	P.201

※ Googleアカウントでログインしている場合は、緑色で表示されます。

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードやベールビューなどを設定できます。

1 ステータスバーをタップ

お知らせ／ステータスパネルが表示されます。

① **電源管理**
「Wi-Fi」（▶P.246）、
「Bluetooth」（▶P.253）、
「GPS機能を使用」（▶P.176）、
「自動同期」（▶P.235）、
「画面の明るさ」（▶P.229）
を設定できます。
機能を利用しないときなど、設定をこまめに切り替えることで電池の消費を抑えることができます。

《お知らせ／ステータスパネル》

② **お知らせエリア**
IS05の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

③ **マナーモード**
「マナーモード」（▶P.196）を設定できます。

④ **ベールビュー**
「ベールビュー」（▶P.229）を設定できます。

⑤ **時刻**
現在時刻が表示されます。タップすると日付や時刻を設定できます。
▶P.240「日付と時刻を設定する」

⑥ **通知を消去**
タップすると通知がすべて消去されます。

⑦ **起動中アプリ**
起動中アプリ一覧画面が表示されます。
▶P.57「操作するアプリケーションを切り替える」

⑧ **microSD設定**
microSDメモリカードと端末容量の設定ができます。
▶P.236「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」

⑨ **自動画面回転**
「画面の自動回転」（▶P.229）を設定できます。

⑩ **閉じるタブ**
タップするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

電源管理について

◎「自動同期」を有効にすると、「バックグラウンドデータ」（▶P.235）も有効になります。「自動同期」を無効にしたときは、「バックグラウンドデータ」の設定は変わりません。
◎ 画面の明るさは、アイコンをタップするたびに （暗）→ （中）→ （明）→ （オート）の順で切り替わります。

デスクトップでできること

1 デスクトップで[≡]

2

追加	ショートカット	▶P.51「ショートカットを追加する」
	ウィジェット	▶P.51「ウィジェットを追加する」
	フォルダ	▶P.53「フォルダを追加する」
デスクトップ	設定	デスクトップを切り替えられるようにするかどうかを設定します。
	追加	デスクトップを追加します。
	削除	表示しているデスクトップを削除します。
壁紙変更	ギャラリー	microSDメモリカード内のデータを選択して設定します。
	コンテンツマネージャー	
	ライブ壁紙	IS05にあらかじめ登録されている画像から選択して設定します。
	壁紙	
お知らせ	お知らせ／ステータスパネルを表示します。 ▶P.49「お知らせ／ステータスパネルを利用する」	
ウィジェット情報削除	IS05に保存されているウィジェットのCookieを削除します。	

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。
◎デスクトップは、お買い上げ時に設定されている3枚と合わせて、合計10枚まで追加できます。
◎デスクトップを「1画面固定」に設定しても、デスクトップ上のショートカット／ウィジェット／フォルダは削除されません。
◎デスクトップ上にショートカット／ウィジェット／フォルダがある場合は、デスクトップを削除できません。
◎ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。

デスクトップを切り替える

デスクトップを左右にスライド／フリック（▶P.44）することで、デスクトップを切り替えることができます。
各デスクトップには、ショートカットやウィジェット、フォルダを追加して利用できます。

《デスクトップの切り替えイメージ》

- デスクトップを左右にスライド／フリックすると、画面上部に現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。

memo

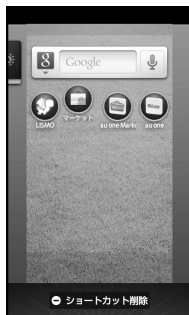
◎お買い上げ時には左右に1枚ずつ、合計3枚のデスクトップがあらかじめ設定されています。

デスクトップのアイコンを移動する

デスクトップに登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチ（▶P.44）することで、アイコンの移動や並べ替えができます。

1 デスクトップで移動するアイコンをロングタッチ

デスクトップが縮小表示されます。

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

memo

◎デスクトップの左端または右端にドラッグすると、デスクトップを切り替えることができます。また、左端または右端のデスクトップ横にある ➕ にドラッグすると、新しいデスクトップが追加されます。

ショートカットを利用する

デスクトップにアプリケーション、Gmailのラベル、Latitude、ブックマークなどのショートカットを追加できます。

■ショートカットを追加する

■オプションメニューからショートカットを追加する場合

1 デスクトップで[≡]→[追加]→[ショートカット]

2 項目を選択

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■メインメニューからショートカットを追加する場合

1 デスクトップで[⦿]

メインメニューが表示されます。

2 メインメニューのアイコンをロングタッチ

画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

3 「ショートカット作成」にドラッグして、指を離す

memo

◎表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは、ショートカットを追加できません。

■ショートカットを削除する

1 デスクトップで削除するショートカットをロングタッチ

デスクトップが縮小表示され、画面下部に「ショートカット削除」が表示されます。

2 「ショートカット削除」にドラッグして、指を離す

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、デスクトップに登録できるアプリケーションです。

■ウィジェットを追加する

1 デスクトップで[≡]→[追加]→[ウィジェット]

ウィジェット一覧画面が表示されます。

2 ウィジェットを選択

IS05では以下のウィジェットがご利用可能です。

ウィジェット	概要	ページ
jibe	Twitterやmixiなど複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスのメッセージをまとめて参照したり、コメントや画像を投稿できます。	P.183
Latitude	Latitudeに参加して現在地情報を共有できます。	P.176

ウィジェット	概要	ページ
LISMO	LISMOでダウンロードした曲や音楽CDなどの楽曲を簡単に再生できます。	P.156
mixiSH	mixiを利用してボイスの投稿などができます。	P.182
SH Widget Gallery	シャープのサイトからウィジェットを検索し、ダウンロードできます。	－
Twitter	(小)と(大)の2つのウィジェットがあります。Twitterのツイートを確認できます。	P.183
YouTube	YouTubeの動画を簡単に再生できます。	P.182
カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。	P.203
ジョルテ	表示方法や大きさの異なる複数のウィジェットがあります。ToDoやスケジュールを確認することができます。	P.188
ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。	P.186
ピクチャー	最新の画像／動画を10件まで表示します。	P.146
プレイス	Google マップと連携し、お店に対する評価を投稿することができます。また、投稿されている評価を確認することができます。	－
ホットペッパーグルメ by SHARP	飲食店の検索をしたり、クーポンを表示できます。	－
マーケット	Androidマーケットを利用できます。	P.190
メモ帳	デスクトップ上でメモを入力できます。	－
音楽	保存しているミュージックを再生できます。	－
価格.com powered by SHARP	気になる商品の最安値を検索します。	－
検索	クイック検索ボックスを表示します。	P.56
写真フレーム	保存しているフォトをトリミングして表示します。	－
渋滞状況	Google マップと連携し、設定した目的地までの渋滞状況を確認できます。	－
世界時計	世界時計を表示します。	P.205
着信履歴	着信履歴を確認できます。	－
電源管理	お知らせ／ステータスパネルの電源管理と同様の操作ができます。	P.49
電話帳	電話の発着信やメールの送受信などを新着順に表示します。	P.83
歩数計	歩数計を表示します。	P.207
方位計	方位計を表示します。	P.210

memo

◎IS05はAndroid標準のウィジェットのほか、Droidgetにも対応しています。

※Droidgetとは、ウィジェットを動作させるためのプログラムです。

◎ウィジェット一覧画面で が表示されているウィジェットが、Droidget対応のウィジェットになります。デスクトップに追加している場合は が表示されます。

ウィジェット一覧画面でDroidgetを選択した場合は確認画面が表示されます。「追加する」を選択するとデスクトップにウィジェットが追加されます。「削除する」を選択すると、IS05から削除します。

◎表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは、ウィジェットを追加できません。

■ウィジェットを削除する

1 デスクトップで削除するウィジェットをロングタッチ

デスクトップが縮小表示され、画面下部に「ウィジェット削除」が表示されます。

2 「ウィジェット削除」にドラッグして、指を離す

フォルダを利用する

■フォルダを追加する

1 デスクトップで[≡]→[追加]→[フォルダ]

2

新しいフォルダ	ショートカットを格納できるフォルダを追加します。
すべての連絡先	電話帳に登録されている連絡先をすべて表示するフォルダを追加します。
最近使ったドキュメント	最近使用したドキュメントを表示するフォルダを追加します。
電話番号のある連絡先	電話番号が登録されている連絡先のみ表示するフォルダを追加します。

memo

◎表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは、フォルダを追加できません。

■フォルダにショートカットを格納する

1 デスクトップで格納するショートカットをロングタッチ

2 格納先のフォルダにドラッグして、指を離す

■フォルダ名を変更する

1 デスクトップでフォルダを選択

2 フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ

3 フォルダ名を入力→[OK]

■フォルダを削除する

1 デスクトップで削除するフォルダをロングタッチ

デスクトップが縮小表示され、画面下部に「フォルダ削除」が表示されます。

2 「フォルダ削除」にドラッグして、指を離す

メインメニューを利用する

インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンを選択して、アプリケーションを起動できます。

メインメニューを表示する

1 デスクトップで[ ]

メインメニューが表示されます。

メインメニューはカードごとに表示されます。「◀」/「▶」をタップするか、メインメニューを左右にスライド/フリック(▶P.44)すると、カードが移動してメインメニューを切り替えられます。

《メインメニュー》

アイコン	アプリケーション	ページ
	電話帳	P.80
	カメラ	P.138
	ビデオカメラ	P.140

アイコン	アプリケーション	ページ
	ワンセグ	P.165
※1	おサイフケータイ®	P.199
	赤外線送受信	P.249
	au one Market	P.191
	マーケット	P.190
	ピクチャー	P.146
	コンテンツマネージャー	P.152
	設定	P.222
	時計	P.205
	ジョルテ カレンダー	P.188
	カレンダー	P.203
	電卓	P.212
	メモ帳	P.202
	辞書	P.212
	歩数計	P.207
	HDMI	P.219
	読取カメラ	P.141
	Skype™	P.184
	jibe	P.183
	LISMO	P.156
	mixiSH	P.182
	Twitter	P.183
	YouTube	P.182
	PCメール	P.114
	Gmail	P.121
	トーク	P.178
	メッセージ画メーカー	P.186
	マップ	P.176
	プレイス	P.181
	ナビ	P.181
	Latitude	P.176
	ナビウォーク	P.209
	方位計	P.211

アイコン	アプリケーション	ページ
	検索	P.56
	音声検索	P.56
※1	ニュースEX	P.187
	ニュースと天気	P.186
	au one	P.125
	Q&A	P.190
	撮る家計簿 Photoマネー	P.145
	ハンドミラー	P.145
	Documents To Go	P.188
	ボイスレコーダー	P.201
	ギャラリー	P.149
	ダウンロード	P.182
※1	LISMO WAVE	―
※1	グルーポン	―
※1	GREE	―
※1	助手席ナビ	―
※1	Run&Walk	―
※1	セカイカメラ	―
※1	Foursquare	―
※1	きせかえ touch	―
※1	UNO HD	―
※1	太鼓の達人＋	―
※1	サンシャイン王国	―
※2	電話	P.72
※2	メール	P.90
※2	ブラウザ	P.125

※1 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。
※2 お買い上げ時は、クイックメニューに登録されています。

memo

◎各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

メインメニューのアイコンを移動する

アプリケーションのアイコンを、同カード内の別の位置へ移動したり、別のカードへ移動したりできます。

1 メインメニューで移動するアイコンをロングタッチ

画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

■同カード内で移動する場合

2 移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す

アイコンが移動します。

■別のカードへ移動する場合

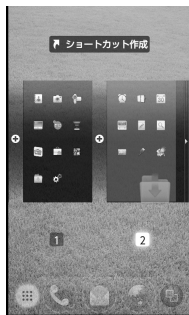
2 アイコンを別のカードがある方向へドラッグ

カード選択画面が表示されます。

3 移動先のカードまでアイコンをドラッグ

カード選択画面が閉じます。

4 移動する位置で指を離す

アイコンが移動します。

《カード選択画面》

■カードを追加して移動する場合

2 アイコンを別のカードがある方向へドラッグ

カード選択画面が表示されます。

3 カードを追加する位置の⊕にドラッグ

選択した位置にカードが追加され、カード選択画面が閉じます。

4 追加されたカードまでアイコンをドラッグして、指を離す

アイコンが移動します。

memo

◎すべてのアイコンを別のカードに移動すると、カードは自動的に削除されます。

クイックメニューを利用する

よく使うアプリケーションをメインメニューからクイックメニューに移動すると、デスクトップからアプリケーションを起動できるようになります。
クイックメニューには最大3件までアプリケーションを配置できます。
お買い上げ時には、電話、メール、ブラウザが登録されています。

1 メインメニューで移動するアイコンをロングタッチ

画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

2 アイコンをクイックメニューまでドラッグして、指を離す

アイコンがメインメニューからクイックメニューに移動します。すでに登録されているクイックメニューのアイコンの上で指を離すと、位置が入れ替わります。

クイック検索ボックスを利用する

IS05内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 デスクトップで[Q]

クイック検索ボックス画面が表示されます。

メインメニューで[検索]でも同様に操作できます。

「8」をタップすると検索対象一覧画面が表示され、検索対象を選択できます。検索対象一覧画面で「⚙」をタップすると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を選択できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

《クイック検索ボックス画面》

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの[→]

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎検索対象を「アプリ」に設定すると、Androidマーケットでアプリケーションを検索します。

◎一覧表示された項目の「✎」をタップすると、選択した項目をキーワードにして再検索します。

◎「現在地を使用」確認画面が表示された場合は、「同意する」／「同意しない」を選択してください。

◎アプリケーションを利用中に「Q」をタップした場合、アプリケーション独自の検索を利用できる場合があります。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面→[🎤]

Google音声検索画面が表示されます。

デスクトップで「Q」をロングタッチするかメインメニューで[音声検索]でも同様に操作できます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

1 クイック検索ボックス画面→[≡]→[検索設定]

2

Google検索の設定	入力候補の表示	検索キーワード入力時にGoogleの入力候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	位置情報をGoogleサービスなどで使用するかどうかを設定します。
	検索履歴	セットアップしたGoogleアカウントでカスタマイズされた検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	セットアップしたGoogleアカウントで検索履歴をカスタマイズできます。画面の指示に従って操作してください。
検索対象	クイック検索ボックスで検索する対象を設定します。	
ショートカットを消去	クイック検索ボックスで検索した結果へのショートカットをクリアします。	

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

IS05の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合

《横表示》　《縦表示》

◎IS05を垂直に立てた状態で操作してください。IS05を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.229）で設定できます。
◎ビデオカメラなどアプリケーションによっては、IS05の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

操作するアプリケーションを切り替える

1 [⌂]→[◎]

起動中アプリ一覧画面が表示されます。
起動中アプリ一覧画面には、起動中のアプリケーションがサムネイル表示されます。
起動中のアプリケーションが7件以上ある場合は画面を左右にスライド／フリック（▶P.44）すると、画面を切り替えられます。

《起動中アプリ一覧画面》

2 利用するアプリケーションを選択

選択したアプリケーションに切り替わります。
「⌂」／「↩」をタップすると、起動中アプリ一覧画面を閉じることができます。

memo

◎「⌂」をロングタッチしても、起動中アプリ一覧画面を表示できます。
◎複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
◎複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。

起動中のアプリケーションを終了する

アプリケーションを終了させるには、起動中アプリ一覧画面で「⊗」をタップします。

- 起動中アプリ一覧画面→[すべて終了]→[はい]と操作すると、起動中のすべてのアプリケーションが終了します。
- 2つ以上のアプリケーションを起動中に起動中アプリ一覧画面などからアプリケーションを切り替えると、バックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

ロックを解除する

「各機能の利用を制限する」(▶P.232)で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、ロックNo.の入力を求められます。(▶P.27「ご利用いただく各種暗証番号について」)

ロック解除方法(▶P.232)の設定を変更することで、ロックNo.の代わりに指リストパターンやパスワードを使用することができます。

■ロックNo.を入力する

1 ロックNo.の入力が必要な操作をする

ロックNo.入力画面が表示されます。

2 ロックNo.を入力→[OK]

間違ったロックNo.を入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいロックNo.を再入力してください。

■指リストパターンを入力する

1 指リストパターンの入力が必要な操作をする

指リストパターン入力画面が表示されます。

2 指リストパターンを入力

間違った指リストパターンを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しい指リストパターンを再入力してください。

■パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力→[OK]

間違ったパスワードを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいパスワードを再入力してください。

memo

◎ロックNo.／指リストパターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、「選択移動」や「選択保存」、「選択削除」などを選択すると、複数のデータを選択できます。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入ったデータをタップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

データを削除する

■ 1件削除の場合

1 各機能のメニューで[削除]／[1件削除]→[はい]

■ 選択削除の場合

1 各機能のメニューで[選択削除]

2 削除するデータを選択→[実行]／[決定]→[はい]

■ 全件削除の場合

1 各機能のメニューで[全件削除]

2 [はい]→ロックNo.を入力→[OK]

memo

◎ 表示される項目名は、操作する機能によって異なる場合があります。
◎ 選択削除ができない場合や、全件削除でロックNo.の入力が必要ない場合など、機能によって操作が異なることがあります。
◎ データによっては、削除するまで時間がかかることがあります。

文字入力

文字入力の方法

IS05では、文字入力欄をタップすると、画面上にキーボード(ソフトウェアキーボード)が表示され、画面のキーをタップして文字を入力できます。

お買い上げ時には、入力ソフトとして「iWnn IME - SH edition」と「Androidキーボード」がインストールされています。本書では「iWnn IME - SH edition」の操作方法を説明しています。入力方法の切替については、「入力ソフトを切り替える」(▶P.67)をご参照ください。

《文字入力画面(12Key)》

《文字入力画面(QWERTY)》

① **文字種アイコン**

[あ]:ひらがな漢字入力
[カ]:全角カタカナ入力
[ｶﾅ]:半角カタカナ入力
[A]:全角英字入力
[AB]:半角英字入力
[1]:全角数字入力
[12]:半角数字入力
[区]:区点コード入力

② **文字入力エリア**

③ **通常変換候補リスト/予測変換候補リスト/つながり予測候補リスト**

文字を入力して「[変換]」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。

- 「[⇕]」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「[⇕]」をタップします。

④ **バックキー/戻すキー**

[⤺]:同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
・フリック入力では、バック機能を利用できません。
[戻す]:文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

⑤ **ソフトウェアキーボード**

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑥ **カーソルキー**

カーソルを左/右に移動します。カーソルが文末にある場合、「[➡]」をタップすると半角スペースが挿入されます。文字入力中/変換時は、文字の区切りを変更します。

⑦ **絵文字・記号・顔文字キー/カナ・英数キー**

[絵 記・顔]:絵文字/D絵文字/記号/顔文字一覧を表示します。
[カナ 英数]:入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

⑧ **文字種切替キー**

入力する文字種を切り替えます。

文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

[あA1]:ひらがな漢字入力　[A]:全角英字入力
[あA1]:半角英字入力　[1]:全角数字入力
[あA1]:半角数字入力　[カ]:全角カタカナ入力
[ｶﾅ]:半角カタカナ入力　[区]:区点コード入力

⑨ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、カーソルの右の文字を削除します。

⑩ **設定キー／変換キー／スペースキー**
：iWnn IMEメニューを表示します。
：通常変換候補リストを表示します。
・ひらがな入力中に表示されます。
：スペースを入力します。
・数字／半角英字入力中などに表示されます。

⑪ **確定キー／Enterキー**
：入力中の文字を確定します。
：カーソルの位置で改行します。
- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑫ **大文字／小文字切替キー**
ひらがな／カタカナ入力時に「 」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。
英字入力時に「 」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑬ **英字入力キー／シフトキー**
：入力される文字が英字に切り替わります。
・ひらがな漢字入力時に表示されます。
シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。
：小文字入力　　：大文字入力ロック
：大文字入力
また、全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

入力する文字種を切り替える

1 文字入力画面→[ ]→[文字種切替]
文字入力画面で文字種切替キーをロングタッチしても同様に操作できます。

2 文字種を選択

memo

◎文字種切替キーをタップするたびに、「半角英字入力」→「半角数字入力」→「ひらがな漢字入力」の順で入力する文字種が変更されます。
◎操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードには、「12Key」と「QWERTY」があり、切り替えることが可能です。

1 文字入力画面→[ ]→[キーボード切替(縦画面)]

文字サイズを切り替える

文字入力時に表示する文字サイズを設定します。

1 文字入力画面→[≡]→[文字サイズ]／[文字サイズ設定]

2 文字サイズを選択

memo

◎アプリケーションや入力中の項目によっては、設定できない場合があります。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字を入力する

■ひらがな／漢字／カタカナについて

文字種をひらがな漢字入力に切り替え、ソフトウェアキーボードが「12Key」のときは、割り当てられたキーをタップして入力します。また、「QWERTY」のときは、ローマ字入力で入力します。

■英字について

文字種を全角英字入力または半角英字入力に切り替え、割り当てられたキーをタップして入力します。
ソフトウェアキーボードが「QWERTY」のときに大文字を入力する場合は、シフトキーを「 」に設定してください。また、続けて大文字入力するときは、「 」に設定してください。

■数字について

文字種を全角数字入力または半角数字入力に切り替え、割り当てられたキーをタップして入力します。
ソフトウェアキーボードが「QWERTY」のときにシフトキーをタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

■フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「12Key」のとき、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「 」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「 」を下にフリックすると入力されます。

■音声入力について

文字入力画面→［ ］→［音声入力］→［OK］と操作するか、文字種切替キーを上にフリックすると、音声入力が起動します。送話口（マイク）に向かってキーワードを話し、処理が完了すると文字が入力されます。

◎音声入力を使用するには、あらかじめ「音声入力」（▶P.68）を「使用する」に設定してください。

文字を修正する

■バック機能について

ソフトウェアキーボードが「12Key」の場合、「 」をタップすると前の文字に戻すことができます。

例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、「 」をタップすると、「き」に戻ります。

◎フリック入力では、バック機能を利用できません。

■Undo機能について

ソフトウェアキーボードが「12Key」の場合、文字入力確定後に「戻す」をタップすると未確定の状態に戻すことができます。

変換機能を利用する

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換･確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。

例：「か」と入力するだけで「彼」などの予測変換の候補が予測変換候補リストに表示され、変換する候補をタップすると入力･確定できます。

また、入力を確定すると、確定した文字に続くことが予想されるつながり入力候補も表示されます。

例：「私」と入力すると、つながり予測候補リストに「は」「の」「が」などが表示されます。予測変換候補リストと同様に操作すると選択できます。

また、ひらがな入力中に「変換」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。
「 」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

memo

◎ 予測変換候補リストで「補正」をタップすると、入力を間違ったことを予想し、入力した文字に表現の似た言葉を予測変換候補リストに表示します。
◎ 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ→[学習削除]と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
◎ 通常変換候補リスト表示中に「 」をタップして表示エリアを拡大し、候補リスト内の「外部変換」を選択すると、外部変換エンジンから取得した変換候補が青色で表示されます。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、読みの文字数から変換候補を表示する機能です。

例：「テレビ」と入力したい場合、「て」を入力して「 」を2回タップすると「て＊＊」と表示され、予測変換候補リストに「テレビ」が表示されます。

区点コードで入力する

JIS区点コードを利用して、文字や記号の入力ができます。
文字種一覧画面で「区点コード」を選択して、4桁の数字の入力により文字入力します。

memo

◎ 区点コード表については、本書の巻末をご参照ください。
auホームページから：http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

絵文字／D絵文字／記号／顔文字を入力する

絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧を表示して文字入力画面に入力します。

一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に「絵記・顔」をタップします。

「絵文字」「D絵文字」「記号」「顔文字」をタップすると、一覧画面を絵文字／D絵文字／記号／顔文字の一覧に切り替えられます。

全角／半角：全角記号／半角記号一覧の表示

共通絵：他社の携帯電話に送信したときに自動変換される絵文字の一覧の表示

・「全絵」をタップすると通常の絵文字一覧に戻ります。

▲／▼：前／次のカテゴリやページの表示

DEL：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

・カーソルが文頭にある場合は、カーソルの右の文字を削除します。

閉じる：文字入力画面に戻る

memo

◎操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／D絵文字／記号／顔文字があります。

■顔文字を編集するには

顔文字を編集して登録することができます。

1 文字入力画面→[絵記・顔]→[顔文字]

2 編集する顔文字をロングタッチ

3 顔文字を編集→[保存]

memo

◎「履歴」欄の顔文字は編集できません。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■文字を選択して切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをタップ→[範囲選択]

「▼」／「▲」をスライドして範囲を選択してください。

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[貼り付け]

■入力した文字をすべて切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをタップ→[全選択]

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[貼り付け]

入力ソフトを切り替える

1 文字入力画面→[ ]→[文字入力ソフト変更]

文字入力エリアをロングタッチ→[入力方法]でも同様に操作できます。

2

Android キーボード	主に英数字を入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。 • 日本語入力はできません。 • キーボードの設定方法については、「Androidキーボードの設定を行う」(▶P.70)をご参照ください。
iWnn IME - SH edition	主にひらがな/漢字/カタカナを入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。 • キーボードの設定方法については、「iWnn IME - SH editionの設定を行う」(▶P.68)をご参照ください。

memo

◎ 入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語とキーボード」でアプリケーションを有効にしてください。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」(▶P.190)をご参照ください。

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面→[ ]→[マッシュルーム]→[OK]

2 アプリケーションを選択

memo

◎ マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」(▶P.190)をご参照ください。

◎ 通常変換候補リスト/予測変換候補リスト/つながり予測候補リストで候補をロングタッチ→[Mashup]と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

単語を登録する

単語リストに登録する

1 メインメニューで[設定]→[言語とキーボード]→[単語リスト]

単語リスト画面が表示されます。

2 [≡]→[追加]

「辞書に追加」画面が表示されます。

3 単語などを入力→[OK]

memo

◎ 登録した単語などを編集/削除する場合は、単語リスト画面で登録した単語などを選択し、「編集」/「削除」を選択します。

日本語ユーザー辞書/英語ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 メインメニューで[設定]→[言語とキーボード]→[iWnn IME - SH edition]→[日本語ユーザー辞書]/[英語ユーザー辞書]

日本語/英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [≡]→[登録]

単語編集画面が表示されます。

3 読み/表記を入力→[保存]

◎ 登録した単語を編集する場合は、日本語/英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択→[≡]→[編集]と操作します。
◎ 日本語/英語ユーザー辞書単語一覧画面→[≡]→[削除]/[ユーザー辞書全消去]→[OK]と操作すると、選択した単語/すべての単語を削除できます。
◎「microSDバックアップ」(▶P.236)を利用して、登録内容の保存・読み込み・管理を行うことができます。

ダウンロード辞書を設定する

サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。

1 メインメニューで[設定]→[言語とキーボード]→[iWnn IME - SH edition]→[ダウンロード辞書]

ダウンロード辞書画面が表示されます。

2 利用するダウンロード辞書を選択

◎ ダウンロード辞書画面のメニューからダウンロード辞書を削除できます。(▶P.59「データを削除する」)

文字入力の設定を行う

iWnn IME - SH editionの設定を行う

iWnn IME - SH editionでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面→[🔧]→[各種設定]

iWnn IME - SH edition設定画面が表示されます。

2

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
キー入力ガイド表示	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードのイメージを変更します。
ローマ字キーボード補助	ソフトウェアキーボードが「QWERTY」の場合、日本語を入力するときに不要なキーをタップできなくし、誤入力を防止します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.64「フリック入力について」
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛(濁点)/゜(半濁点)の付加や、大文字/小文字の変換を行うことができます。
予測変換	予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.65「変換機能を利用する」

ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.65「ワイルドカード予測を利用する」	
つながり予測	確定した文字の次に入力する候補を予測表示するかどうかを設定します。	
候補表示行数	縦画面	縦表示で文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
	横画面	横表示で文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
絵記号リスト列数	絵文字／D絵文字／記号の表示列数を設定します。	
外部変換エンジン	使用する外部変換エンジンを設定します。	
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。	
自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補リストから英単語選択した後、半角スペースを自動的に挿入するかどうかを設定します。	
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。	
日本語ユーザー辞書	単語を登録します。 ▶P.67「日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する」	
英語ユーザー辞書		
学習辞書	候補学習	変換で確定した文字を、学習辞書に登録するかどうかを設定します。
	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／D絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。
ダウンロード辞書	ダウンロード辞書を登録／解除／削除します。 ▶P.68「ダウンロード辞書を設定する」	

電話帳名前データと連携	最新データ取り込み	電話帳に登録されている名前を、学習辞書に登録します。
	初期化	登録した電話帳の名前を、学習辞書から削除します。
Eメール返信時学習	Eメール返信時に、受信メールに含まれていた内容の予測候補を表示するかどうかを設定します。	
設定リセット	iWnn IME - SH editionの設定をリセットします。	
顔文字リセット	顔文字リストの内容をリセットします。	

Androidキーボードの設定を行う

Androidキーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 メインメニューで[設定]→[言語とキーボード]→[Androidキーボード]

2

キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
タップして語句を修正	入力した語句をタップして修正するかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
設定キーを表示	「⚙」を表示するかどうかを設定します。
音声入力	「🎤」の表示について設定します。
入力言語	スペースキーをスライドして変更する言語を設定します。
入力候補を表示	文字入力時に、入力候補を表示するかどうかを設定します。

◎操作する画面によっては、音声入力を利用できない場合があります。

電話

電話をかける

1 クイックメニューで[(電話)]

電話番号入力画面が表示されます。

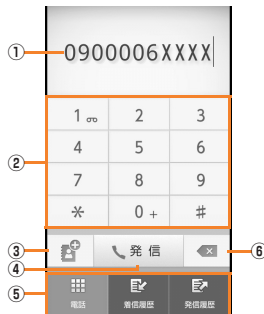
① **電話番号入力欄**
32桁まで入力できます。

② **数字キー**

③ **電話帳キー**
電話帳から連絡先を選択して電話をかけることができます。または、入力した電話番号を電話帳に登録できます。

④ **発信キー**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。

⑤ **画面切替タブ**
画面を切り替えます。

⑥ **訂正キー**
カーソル左側の数字を1桁削除します。ロングタッチすると、カーソル左側のすべての数字を削除し、カーソル左側に数字がない場合はすべての数字を削除します。

《電話番号入力画面》

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]→通話

通話中画面が表示されます。
通話中に[◁]／[▷]を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [通話終了]

電話帳に未登録の電話番号との通話終了後は、電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

memo

◎発信履歴／着信履歴からも電話をかけることができます。（▶P.76）
◎発信中／通話中に画面をおおうと、IS05の向きによっては画面が消灯します。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎「電波OFFモード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

◎次のダイヤルサービスがご利用いただけます。

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001（au国際電話サービス：お申し込みは不要です）
- 171（災害用伝言ダイヤル）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）※
- 119（消防機関への緊急通報）※
- 118（海上保安本部への緊急通報）※
- 157（お客さまセンター）
- 船舶電話

※緊急通報番号です。IS05は、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。

◎次のNTTサービスはご利用いただけません。

- コレクトコール
- 伝言ダイヤル
- ダイヤルQ2
- 116（NTT営業案内）

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[≡]

2

発信	音声発信	電話をかけます。
	Cメール作成	Cメールを作成します。 ▶P.91「Cメールを送る」
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」	
特番付加	電話番号に特番を付加します。	
音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[ON]/[OFF]→[OK]** • 音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。	

memo

特番付加について

◎「184」と「186」は同時に付加できません。

通話中画面の操作

メモ	メモ帳にメモを登録できます。
消音/消音解除	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
数字キー	数字キーを表示します。プッシュ信号の送信や通話の追加ができます。
音声メモ	通話中の相手の方の声と自分の声を録音します。 ▶P.198「音声メモを利用する」
スピーカー/スピーカーOFF	ハンズフリーで電話するかどうかを設定します。
電話帳	電話帳一覧画面を表示します。

■通話中画面のメニューを利用する

1 通話中に[≡]

2

Bluetooth ON/Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続/解除します。 • ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。
履歴参照	発信履歴/着信履歴一覧画面を表示します。
プロフィール参照	プロフィール画面を表示します。
通話を追加	電話番号入力画面を表示します。

P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

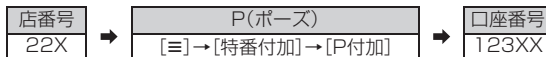
1 電話番号入力画面で電話番号を入力→[≡]→[特番付加]→[P付加]

P(ポーズ)を入力できます。P(ポーズ)を含めて32桁まで入力できます。

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号
22X

➡

➡

※P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 [発信]

電話番号「030001XXXX」に電話がかかり、最初のプッシュ信号(22X)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

電話

4 [はい]

最初のプッシュ信号(22X)が送信され、2番目のプッシュ信号(123XX)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

5 [はい]

2番目のプッシュ信号(123XX)が送信されます。
プッシュ信号の送信が終わると通常の通話中画面に戻ります。

◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

電話

電話を受ける

1 着信中に[ ]を右方向にスライド

バックライト点灯中(ロック解除画面表示中を除く)に着信があった場合は、「応答」をタップします。

2 通話→[通話終了]

電話帳に未登録の電話番号との通話終了後は、電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像(全身)を設定しているときは、設定した画像(全身)がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

◎「電話帳制限」(▶P.232)を有効にしている場合は、着信したときに電話帳の名前などの情報は表示されません。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに が表示されます。また、伝言メモがある場合は が表示されます。ステータスバーをタップすると、着信のあった時間や電話番号または電話帳に登録されている名前などが表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信中に を押す、または[≡]→[サイレント]と操作すると、着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

◎ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

応答を保留する

1 着信中に[ ]を左方向にスライド

バックライト点灯中(ロック解除画面表示中を除く)に着信があった場合は、「応答保留」をタップします。
保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に[応答]

保留が解除され、電話がつながります。

memo

◎保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
◎保留中に「通話終了」を選択すると、保留されていた電話を終了します。
◎一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「日本」に設定している場合のみ、応答を保留にできます。

伝言メモのメッセージで応答する

「音声・伝言メモ」、「マナーモード」の設定にかかわらず、音声着信時に伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音できます。

1 着信中に[≡]→[伝言メモ]

memo

◎伝言メモ録音中に[≡]→[受話ON]と操作すると、相手の方の音声を聞くことができます。[≡]→[受話OFF]と操作すると、相手の方の音声は聞こえなくなります。

着信を拒否する

1 着信中に[≡]→[着信拒否]

呼出音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎「お留守番サービスを開始する」(▶P.263)、「応答できない電話を転送する(無応答転送)」(▶P.268)を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。

着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する(選択転送)」(▶P.269)で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に[≡]→[着信転送]

memo

◎「エリア設定」(▶P.277)を「日本」に設定している場合のみ、選択転送できます。
◎お留守番サービス(▶P.262)を設定している場合、転送先が登録されていないときはお留守番サービスに転送されます。

国際電話を利用する

memo

◎ 国際アクセス番号は国によって異なります。

IS05から海外へかける（au国際電話サービス）

IS05からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：IS05からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→［発信］

国際アクセスコード※1		国番号（アメリカ）		市外局番※2		相手の方の電話番号
001010 または010	➡	1	➡	212	➡	123XXXX

※1「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

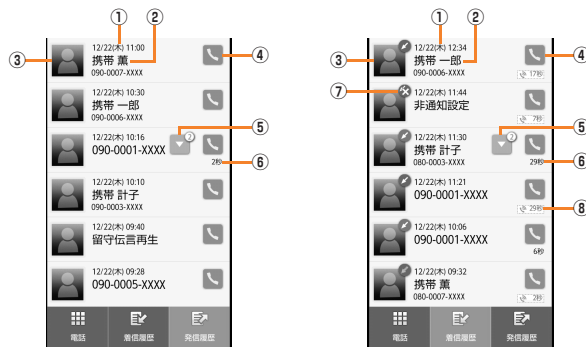
memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）
◎ 海外へ電話を転送できます。（▶P.269「海外の電話へ転送する」）

発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける

発信履歴／着信履歴を呼び出して利用できます。

1 電話番号入力画面→［発信履歴］／［着信履歴］

発信履歴／着信履歴一覧画面が表示されます。

《発信履歴一覧画面》　《着信履歴一覧画面》

① **発着信日時**
② **電話番号／名前／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容**
③ **電話帳に登録している画像（顔）**
④ **発信アイコン**
タップすると発信します。
⑤ **グループアイコン**
同じ相手の方の発信履歴／着信履歴が連続した場合、履歴が1つのグループにまとめられていることを示します。グループアイコンを選択して、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えることができます。
⑥ **通話時間**

⑦ **着信状態アイコン**

：通常着信（緑色）　　：不在着信（赤色）

：着信拒否　　：不在着信（ワン切り※）

⑧ **呼び出し時間**

※IS05では、約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 電話をかける履歴を選択

発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

3 ［発信］

「メッセージ」を選択するとCメールを作成できます。

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、au電話の電源を切っていた場合や電波OFFモード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、お留守番サービスに着信があったことをCメールでお知らせするサービスです。

お留守番着信お知らせには、「お留守番サービス」（▶P.262）で伝言をお預かりしたことをCメールでお知らせする「伝言お知らせ」（▶P.264）と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」（▶P.265）があります。

◎ 伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言･ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。
ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内（▶P.263）で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎ ご契約時の設定は、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.263）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。

発信履歴／着信履歴のメニューを利用する

■ 発信履歴／着信履歴一覧画面の場合

■ オプションメニューの場合

1 **発信履歴／着信履歴一覧画面→[≡]**

2

全件削除	履歴をすべて削除します。 ▶P.59「データを削除する」

■ コンテキストメニューの場合

1 **発信履歴／着信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ**

2

音声発信	電話をかけます。
メール作成	電話帳にメールアドレスを登録している場合、メールを作成します。
Cメール作成	Cメールを作成します。 ▶P.91「Cメールを送る」
編集して発信	電話番号を編集して発信します。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
着信拒否登録※	着信拒否番号リストに着信履歴の電話番号を登録します。 ▶P.228「着信を拒否する」
削除	選択した履歴を削除します。 ▶P.59「データを削除する」

※ 着信履歴一覧画面でのみ表示されます。

■ 発信履歴／着信履歴詳細画面の場合

1 **発信履歴／着信履歴詳細画面→[≡]**

2

発信	音声発信	電話をかけます。
	メール作成	電話帳にメールアドレスを登録している場合、メールを作成します。
	Cメール作成	Cメールを作成します。 ▶P.91「Cメールを送る」
	編集して発信	電話番号を編集して発信します。
	特番付加	電話番号に特番を付加します。
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」	
着信拒否登録※	着信拒否番号リストに着信履歴の電話番号を登録します。 ▶P.228「着信を拒否する」	
削除	1件削除します。 ▶P.59「データを削除する」	

※ 着信履歴詳細画面でのみ表示されます。

電話帳

電話帳に登録する

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」(▶P.235)を利用して、サーバに保存されたGoogleの連絡先などとIS05の電話帳を同期できます。(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。)

1 メインメニューで[電話帳]

mixi、Twitter連携の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

電話帳一覧画面が表示されます。

① **アカウント**
アカウントを設定している場合、現在設定しているアカウントが表示されます。

② **検索アイコン**
登録されている「名前」や「よみ」をもとに連絡先を検索できます。

③ **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

④ **タブ**

⑤ **画像**
連絡先に登録されている画像(顔)が表示されます。

《電話帳一覧画面(名前順)》

⑥ **吹き出しアイコン**
連絡先から着信やメール受信、mixi／Twitterなどのメッセージがある場合に表示します。タップすると通知の内容を吹き出しで表示します。吹き出しをタップするとメッセージパック画面(▶P.85)が表示されます。

⑦ **統合アイコン**
複数の連絡先を統合した連絡先に表示されます。

⑧ **TapFlow起動**
TapFlow UI(▶P.46)を起動します。

2 [≡]→[新規登録]

電話帳編集画面が表示されます。

アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 項目を選択して編集

(顔) (全身)	カメラ	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	データフォルダ	microSDメモリカードに保存されている画像を登録します。
	プリセット	あらかじめ登録されている画像を登録します。
	自動(プリセット)	いずれかのプリセット画像が設定されます。
姓	名前を登録します。 • 姓／名を入力すると「よみ」が自動的に入力されます。	
名		
姓(よみ)		
名(よみ)		
電話番号	電話番号を登録します。	
メール	メールアドレスを登録します。	
mixi	mixiのマイミクシィ情報を登録します。	
Twitter	Twitterでフォローしている相手の方の情報を登録します。	
チャット	チャットアドレスを登録します。	

グループ設定	グループを設定します。 • 電話帳にグループが1件も登録されていない場合は、グループの新規登録画面が表示され、グループを作成することができます。(▶P.82)	
その他	誕生日	誕生日を登録します。
	ニックネーム	ニックネームを登録します。
	住所	住所を登録します。
	GPS情報	GPS情報を登録します。
	所属	会社／部署／役職を登録します。
	ウェブサイト	URLを登録します。
	メモ	メモを登録します。
	日付	日付を登録します。
	インターネット通話	インターネット通話用のアドレスを登録します。
	着信音設定	着信時やメール受信時の音やランプ、バイブレータについて設定します。

4 **[保存]→[はい]**

memo

◎「 」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
◎電話帳編集画面で「 」／「 」をタップすると、項目を追加／削除できます。
◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎複数の電話番号／メールアドレスを登録している場合、電話帳編集画面で「 」をタップして「 」にすると通常使用する電話番号／メールアドレスに設定できます。
◎項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
◎チャットアドレス種別では、電話帳詳細画面で「 」をタップしたときに起動するアプリケーションを設定します。

◎ 名前を以下の文字で登録すると、電話帳では名、姓の順に表示されます。
- 姓名をアルファベットを含む半角英数字のみ
- 姓をアルファベットを含む半角英数字のみ／名を漢字のみ、または漢字を含む半角英数字のみ

◎画像にGIFアニメを設定した場合、最初の1コマ目が登録されます。
◎GPS情報を登録するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」(▶P.176)／「GPS機能を使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。
◎「microSDバックアップ」(▶P.236)を利用して、電話帳データの保存・読み込み・管理を行うことができます。
◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は有効になりません。

他の機能から電話帳に登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます。

1 **他の機能で電話帳に登録する操作を行う**

2

新規	他の機能で表示した情報を新規の電話帳に登録します。
追加	他の機能で表示した情報を既存の電話帳に追加登録します。 **追加する連絡先を選択→電話帳を登録** ▶P.80「電話帳に登録する」

3 **[保存]→[はい]**

連絡先を編集する

登録した電話帳を修正します。

1 電話帳一覧画面で編集する連絡先をロングタッチ→[編集]

2 項目を選択して編集

項目については、「電話帳に登録する」(▶P.80)をご参照ください。

3 [保存]→[はい]

連絡先を統合する

複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。

1 電話帳一覧画面で統合する連絡先をロングタッチ→[統合]

登録内容の類似した連絡先の一覧が表示されます。

2 連絡先を選択

「一覧から選択」をタップすると、電話帳一覧画面から連絡先を選択できます。

3 [はい]

memo

◎連絡先を統合すると、個別の連絡先に設定されているグループ情報も統合されて、各グループに表示されます。

統合した連絡先を分割する

1 電話帳一覧画面で分割する連絡先をロングタッチ→[分割]→[はい]

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や着信ランプなどを設定できます。

- 「アカウントと同期」(▶P.235)を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。「Myコンタクト」「友達」「家族」「同僚」はグループ名の変更やアイコンの変更、グループの削除ができません。

1 電話帳一覧画面→[≡]→[グループ設定]

グループ設定画面が表示されます。
アカウントを設定している場合、グループの設定先を選択してください。

2 [≡]

3

グループ追加	グループを追加します。 **項目を選択して編集→[保存]**
グループ情報削除	グループを削除します。 ▶P.59「データを削除する」
グループ並べ替え	グループの表示位置を変更します。 **移動するグループをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離す→[完了]**
使用履歴リセット	TapFlow UI(▶P.46)をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

◎グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は有効になりません。
◎個別の連絡先に「着信音設定」(▶P.80)が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ設定画面で上または左に表示されているグループの設定が優先されます。

グループを編集する

1 グループ設定画面でグループを選択

2

グループ情報編集	選択したグループの設定内容を変更します。 **項目を選択して編集→[保存]**
ユーザー登録	選択したグループに連絡先を登録します。 **連絡先を選択→[登録]→[はい]**
グループ情報削除	グループを削除します。 ▶P.59「データを削除する」

◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

電話帳の登録内容を利用する

電話帳の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面で連絡先を選択

電話帳一覧画面（新着順）では画像（顔）をタップします。
電話帳詳細画面が表示されます。

《電話帳詳細画面》

① **画像**
連絡先に登録されている画像（全身）が表示されます。

② **ピクチャー欄**
タップするとピクチャー（▶P.146）の人物カテゴリ一覧が表示されます。人物カテゴリを選択すると、選択した人物カテゴリに分類されたデータがピクチャー欄に表示されるようになります。

③ **登録内容**
上にスライドすると、すべての登録内容を確認／利用できます。

④ **吹き出し**
連絡先からの着信やメール受信、mixi／Twitterなどのメッセージを表示します。タップするとメッセージパックを利用できます。

⑤ **アクションアイコン**
連絡先に電話をかけたり、メールを作成したりできます。

⑥ **TapFlow起動**
TapFlow UI（▶P.46）を表示します。

電話帳

memo

◎人物カテゴリに分類されたデータをすべて削除すると、ピクチャー欄に設定した人物カテゴリが解除されます。
◎アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
	選択した電話番号に電話をかけます。
	選択した電話番号を宛先としてCメールを作成します。
	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
	GPS情報を本文に入力したメール作成画面を表示します。
	チャットアドレス種別で設定したアプリケーションが起動し、選択したチャットアドレスとチャットを開始します。※
	選択した住所／GPS情報をもとにGoogleマップが起動します。
	選択したURLのサイトを表示します。
	Twitterを起動してプロフィールを表示します。
	選択したインターネット通話用のアドレスに発信します。

※対応するアプリケーションがインストールされていない場合やアカウントへログインしていない場合など、アプリケーションを起動できないことがあります。

登録した電話番号を利用する

■登録した電話番号に発信／送信する場合

1 **電話帳詳細画面で利用する電話番号を選択**

2

発信	選択した電話番号に電話をかけます。
編集して発信	選択した電話番号を電話発信の電話番号入力画面に表示します。
プッシュトーン送信	通話中の相手の方へプッシュトーンを送信します。
メール作成	選択した電話番号を宛先としてCメールを作成します。
特番付加発信	選択した電話番号に特番を付加します。

■登録した電話番号を設定する場合

1 **電話帳詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ**

2

メインの電話番号に設定	通常使用する電話番号に設定します。	
ショートカットを作成	直接発信	選択した電話番号に電話をかけたり、選択した電話番号を宛先としたCメールを起動するショートカットを作成したりします。
	直接メッセージを送る	

登録したメールアドレスを利用する

■登録したメールアドレスにメールを送る場合

1 **電話帳詳細画面で利用するメールアドレスを選択**

アプリケーションを選択してください。

■登録したメールアドレスを設定する場合

1 **電話帳詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ**

2

メインのアドレスに設定	通常使用するメールアドレスに設定します。
ショートカットを作成	選択したメールアドレスを宛先としたメールを起動するショートカットを作成します。

登録したチャットアドレスを利用する

1 **電話帳詳細画面で利用するチャットアドレスを選択**

選択したチャットアドレスに接続して、チャットを開始します。

登録した住所を利用する

1 電話帳詳細画面で利用する住所を選択

住所をもとにGoogleマップが起動します。

登録したGPS情報を利用する

1 電話帳詳細画面で利用するGPS情報を選択

2

地図でみる	GPS情報をもとにGoogleマップが起動します。
メールで送信	GPS情報をメール本文に入力してメールを作成します。

インターネット通話用のアドレスを利用する

1 電話帳詳細画面で利用するインターネット通話用のアドレスを選択

選択したインターネット通話用のアドレスに発信します。

memo

◎インターネット通話用のアドレスを利用するには、あらかじめ、通話設定の「アカウント」を設定する必要があります。

登録した名前をブラウザで検索する

1 電話帳詳細画面で「Name Search」欄をタップ

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

メッセージパックを利用する

連絡先とのすべてのやりとりを一覧で確認し、利用することができます。

1 電話帳詳細画面で吹き出しをタップ

メッセージパック画面が表示されます。

① **メッセージ(白色)**
連絡先から着信/受信した日時とメッセージを表示します。

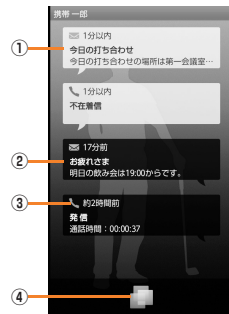
② **メッセージ(黒色)**
連絡先に発信/送信した日時とメッセージを表示します。

③ **メッセージの種類**
(青色):発信/通常着信
(赤色):不在着信
:Cメール/メール
:Twitterのツイート/ダイレクトメッセージ
:mixiボイス

④ **TapFlow起動**
TapFlow UI(▶P.46)を表示します。

《メッセージパック画面》

2 メッセージを選択

メッセージ詳細画面が表示されます。

■メッセージパック画面のメニューを利用する

1 **メッセージパック画面→[≡]**

2

発信	連絡先に登録されている電話番号に電話をかけます。	
メール送信	連絡先に登録されている電話番号／メールアドレスを宛先に設定したCメール／メール作成画面を表示します。	
mixiメッセージ送信	mixiのメッセージ作成画面を表示します。	
mixiマイミクから探す	mixiのマイミク一覧画面からmixiの情報を登録します。	
Twitterダイレクトメッセージ送信	Twitterを利用するダイレクトメッセージの送信作成画面を表示します。	
Twitterプロフィール	Twitterのプロフィールを表示します。	
Twitterフレンドから探す	Twitterのフレンド一覧画面からTwitterの情報を登録します。	
通話履歴	通話履歴画面を表示します。	
メール受信ボックス	受信ボックス画面を表示します。	
メール新規作成	メール作成画面を表示します。	
mixiホーム	ブラウザを起動してmixiのページを表示します。	
Twitterホーム	ブラウザを起動してTwitterのページを表示します。	
情報更新	手動更新	メッセージパックの情報を更新します。
	自動更新設定	メッセージパックの情報を自動更新する間隔を設定します。
使用履歴リセット	TapFlow UI(▶P.46)をお買い上げ時の状態に戻します。	

◎選択できる項目はメッセージの種類や登録内容により異なります。

■メッセージ詳細画面のメニューを利用する

1 **メッセージ詳細画面→[≡]**

2

発信	連絡先に登録されている電話番号に電話をかけます。
メール返信	メールを返信します。
メール送信	連絡先に登録されている電話番号／メールアドレスを宛先に設定したCメール／メール作成画面を表示します。
メールアプリで見る	メール内容表示画面を表示します。
mixiメッセージ送信	mixiのメッセージ作成画面を表示します。
mixiコメント投稿	投稿に対してコメントを投稿できます。
mixiイイネ！投稿	投稿に対してイイネ！を投稿できます。
Twitterダイレクトメッセージ送信	Twitterを利用するダイレクトメッセージの送信作成画面を表示します。
Twitterプロフィール	Twitterのプロフィールを表示します。
Twitter返信	ツイートに返信します。
Twitterリツイート	ツイートを引用して、自分のアカウントから発信します。
伝言メモ再生	伝言メモリスト画面を表示します。
通話履歴	通話履歴画面を表示します。
メール受信ボックス	受信ボックス画面を表示します。
メール新規作成	メール作成画面を表示します。
mixiホーム	ブラウザを起動してmixiのページを表示します。
Twitterホーム	ブラウザを起動してTwitterのページを表示します。
使用履歴リセット	TapFlow UI(▶P.46)をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

◎ 選択できる項目はメッセージの種類により異なります。

電話帳を検索する

連絡先に登録されている名前の「よみ」をもとに検索ができます。

1 電話帳一覧画面→[🔍]／[🔍]→検索ボックスに検索する文字を入力

検索された連絡先が表示されます。

memo

◎ グループ内の連絡先を表示しているときは、表示しているグループ内で電話帳を検索します。

電話帳のメニューを利用する

電話帳一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 電話帳一覧画面→[≡]

2

新規登録	▶P.80「電話帳に登録する」	
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」	
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」	
メールへ添付	選択添付	連絡先を選択してメールに添付します。
	全件添付	連絡先を全件メールに添付します。
プロフィール交換	送信	赤外線でプロフィールを送信します。
	受信	赤外線でプロフィールを受信します。
	プロフィール表示	プロフィールを表示します。
	送信項目設定	送信するプロフィールの項目を設定します。
削除	選択削除	連絡先を選択して削除します。
	全件削除	連絡先をすべて削除します。
グループ設定	▶P.82「グループを設定する」	
グループ追加		
グループユーザー登録	表示しているグループに連絡先を登録します。 **連絡先を選択→[登録]→[はい]**	
グループ情報編集	▶P.82「グループを設定する」	
グループ情報削除		
グループ並べ替え		
未登録番号追加	電話帳に登録されていない相手の方との通話終了後、電話帳に追加する確認画面を表示するかどうかを設定します。	
表示切替	電話帳一覧画面の表示方法（名前順／グループ／誕生日順／新着順）を切り替えます。	
設定	アカウント切替	表示する電話帳の登録先を設定します。
	削除時暗証番号設定	登録されている連絡先を選択削除／全件削除するときに、暗証番号を入力するかどうかを設定します。
mixiから登録	mixiのマイミクシィ情報を登録します。	
Twitterから登録	Twitterでフォローしている相手の方の情報を登録します。	
メモリ登録件数	電話帳の登録件数を表示します。	
使用履歴リセット	TapFlow UI（▶P.46）をお買い上げ時の状態に戻します。	

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 電話帳一覧画面で連絡先をロングタッチ

2

発信	登録されている電話番号に電話をかけます。
電話番号へメール	登録されている電話番号を宛先としてCメールを作成します。
プッシュトーン送信	通話中の相手の方へプッシュトーンを送信します。 • 連絡先に電話番号が複数登録されていた場合は、電話番号を選択してください。
メールアドレスへメール	登録されているメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
編集	登録した連絡先を編集します。
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	連絡先を添付データにしてメールを作成します。
削除	▶P.59「データを削除する」
特番付加発信	電話番号に特番を付加して発信できます。
ショートカットを作成	電話帳詳細画面へのショートカットを作成します。
統合	▶P.82「連絡先を統合する」
分割	▶P.82「統合した連絡先を分割する」

memo

◎選択できる項目は連絡先により異なります。

電話帳詳細画面のメニューを利用する

1 電話帳詳細画面→[≡]

2

編集	▶P.82「連絡先を編集する」
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	連絡先を添付データにしてメールを作成します。
削除	▶P.59「データを削除する」
特番付加発信	電話番号に特番を付加して発信できます。
ショートカットを作成	電話帳詳細画面へのショートカットを作成します。
統合	▶P.82「連絡先を統合する」
分割	▶P.82「統合した連絡先を分割する」
使用履歴リセット	TapFlow UI（▶P.46）をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

◎選択できる項目は連絡先により異なります。

メール

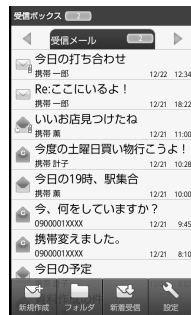
Eメール／Cメールを利用する

Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）は、パソコンや、Eメールに対応した携帯電話とメールのやりとりができるサービスです。文章の他、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。
Cメールは、Cメール対応のau電話同士およびショートメッセージに対応している他社の携帯電話との間で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

memo

◎ 海外でのEメール／Cメールのご利用については、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。
◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ Cメールの受信は、無料です。
◎ 本文中に電話番号やURLを含むCメールを受信するには、Cメール安心ブロック機能を解除する必要があります。（▶P.107）
◎ 添付ファイルが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
◎「microSDバックアップ」（▶P.236）を利用して、メールの保存・読み込み・管理を行うことができます。

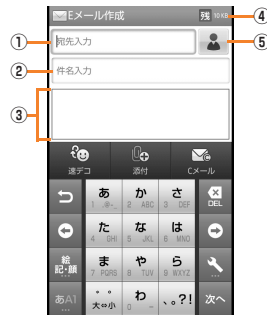
1 クイックメニューで［（メール）］

受信ボックス画面が表示されます。

《受信ボックス画面》

Eメールを送る

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→［新規作成］

Eメール作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄
② 件名入力欄
③ 本文入力欄
④ 入力可能な残りサイズ
⑤ 宛先引用メニューキー

《Eメール作成画面》

2 [👤]

宛先入力欄を選択して宛先を直接入力することもできます。
入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。

3 宛先を選択／設定

電話帳引用	連絡先を選択してメールアドレスを宛先に入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択してメールアドレスを宛先に入力します。
メールグループ引用	メールグループを選択してメールアドレスを宛先に入力します。
プロフィール引用	プロフィールに登録しているメールアドレスを宛先に入力します。
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に選択すると一時解除できます。

4 件名入力欄を選択→件名を入力

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 [送信]

memo

◎Eメール作成画面→[≡]→[保存]→[未送信ボックスへ保存]→[新規保存]／[上書保存]と操作すると、Eメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。
◎絵文字、デコレーション絵文字は入力や送信ができない場合があります。また、送信した場合でも受信側で一部正しく表示されないことがあります。

自動再送／予約送信について

◎「自動再送」(▶P.108)を有効にしておくと、Eメール送信に失敗した場合に最大2回まで自動で再送信することができます。予約送信時の送信失敗についても、同様に自動再送されます。
◎ローミング中は自動再送されません。
◎Eメール作成画面→[≡]→[送信予約]と操作すると、圏内になったときまたは指定した日時に予約送信することができます。
◎指定した日時に電源を切っている場合は予約送信されません。「自動再送」(▶P.108)を有効にしておくと、電源を入れたときに自動送信されます。
◎サーバの状況などによっては、自動再送されない場合があります。しばらくたってから送信し直してください。
◎自動再送／予約送信できるメールは合わせて20件までです。
◎自動再送／予約送信を解除する場合は、未送信ボックスで解除する自動再送／予約送信メールを選択→[はい]と操作します。

Cメールを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 Eメール作成画面→[Cメール]

Cメール作成画面が表示されます。

2 [👤]

宛先入力欄を選択して宛先を直接入力することもできます。
入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。

3 宛先を選択／設定

電話帳引用	連絡先を選択して電話番号を宛先に入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択して電話番号を宛先に入力します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号を宛先に入力します。
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に選択すると一時解除できます。

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 ［送信］

memo

◎Cメール作成画面のオプションメニューについては、「Eメール作成画面・Cメール作成画面のメニューを利用する」(▶P.94)をご参照ください(一部の項目はCメール作成画面では利用できません)。
◎ ／ がステータスバーに表示されていない場合は、Cメールを送信できません。
◎Cメール作成画面で「保存」を選択すると、Cメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎Cメール作成画面で[Eメール]を選択すると、作成中のCメールをEメールに変更することができます。変更した場合は、半角カタカナは全角に変換されます。
◎宛先入力欄に連絡先の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。
◎相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい：Cメールセンターにcメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ：Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールは、未送信ボックスに保存されます。
ただし、「自動蓄積する」(▶P.112)を有効に設定している場合は、自動的にCメールセンターへ蓄積されます。
◎Cメールセンターは、次の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、次の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS05で通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎「発信者番号通知」(▶P.227)の設定にかかわらず、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。
◎契約期間の条件により送信数に制限があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信に失敗した旨のメッセージが表示される場合があります。

自動再送／予約送信について

◎Eメールと同様に自動再送／予約送信をご利用できます。
◎Cメールを予約送信する場合、「自動蓄積する」の設定にかかわらず、Cメールセンターにcメールが蓄積され配信されることがあります。

メール作成画面でできること

宛先を追加・削除する

宛先を削除することができます。
また、Eメールは宛先の追加や宛先の種類(To／Cc／Bcc)の変更ができます。

1 入力済みの宛先があるEメール／Cメール作成画面 →[ ]

宛先一覧画面が表示されます。

メール

■ 宛先を追加する場合

2 **[ ]／[宛先入力]→宛先を追加**

■ 宛先の種類を変更・宛先を1件削除する場合

2 **変更／削除する宛先をロングタッチ**

3

Toへ変更	宛先の種類を「To」に変更します。
Ccへ変更	宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bccへ変更	宛先の種類を「Bcc」に変更します。
1件削除	宛先を削除します。

■ 宛先を全件削除する場合

2 **[≡]→[全件削除]→[はい]**

Eメールにデータを添付する

1 **Eメール作成画面→[添付]**

添付ファイル選択メニューが表示されます。
添付済みのデータがある場合は、添付ファイル一覧画面が表示されます。添付ファイル一覧画面で「ファイル添付追加」を選択すると、添付ファイル選択メニューが表示されます。

2

コンテンツマネージャー	コンテンツマネージャーからデータを選択して添付します。	
撮影	カメラ撮影（静止画）	フォトを撮影して添付します。
	カメラ撮影（動画）	ムービーを録画して添付します。
個人データ	プロフィール	プロフィールをvCardデータとして添付します。
	電話帳	電話帳をvCardデータとして添付します。
	メモ帳	メモ帳をvNoteデータとして添付します。
その他	アプリケーションなどのデータを添付します。	

memo

◎ データは2MBまで添付できます。
◎ コンテンツマネージャーからフォトを選択した場合に添付できるサイズを超えたとき、フォトが自動的にリサイズされることがあります。

添付ファイル一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **添付ファイル一覧画面→[≡]**

2

追加	データを追加します。
全件削除	データをすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 **添付ファイル一覧画面で添付ファイルをロングタッチ**

2

表示／再生	データを表示／再生します。
1件削除	データを1件削除します。

Eメールの本文を装飾する

1 **Eメール作成画面→本文入力欄を選択→[装飾]**

2

文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
文字サイズ	入力する文字の大きさを変更します。
背景色	24色のカラーパレットから背景色を選択します。
D絵文字	コンテンツマネージャーからデコレーション絵文字を選択して挿入します。
テンプレート	テンプレートボックスからテンプレートを選択して読み込みます。 • 本文に入力中の文字がある場合は、挿入箇所を指定して挿入することができます。

挿入	画像	画像を挿入します。
	区切り線	行と行の間に区切り線を挿入します。
効果	点滅	入力する文字を点滅表示させます。
	スクロール	入力する文字をスウィング表示、またはテロップ表示させます。
	行揃え	入力する文字の位置を変更します。
装飾解除	すべての装飾を解除します。	
1つ戻す	1つ前の状態に戻します。	

memo

◎本文入力欄をタップしても、文字色／文字サイズを変更できます。
◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信･表示される場合があります。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字／デコレーション絵文字の挿入や背景色を変更し、本文を装飾することができます。また、文字のフォントを変更することもできます。

• 速デコを利用する場合は、あらかじめアプリケーションをダウンロードする必要があります。

1 Eメール作成画面→［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたび、次の装飾候補に変更します。
［≡］→［設定］と操作すると、装飾条件を変更できます。

2 ［確定］

memo

◎文字のフォントを変更した場合、受信側で正しく表示されないことがあります。
◎詳細については、装飾結果プレビュー画面→［≡］→［ヘルプ］でご確認ください。

Eメール作成画面･Cメール作成画面のメニューを利用する

1 Eメール作成画面／Cメール作成画面→［≡］

2

プレビュー	プレビュー画面を表示します。	
保存	テンプレート保存	作成中のメールをテンプレートとしてテンプレートボックスへ保存します。
	未送信ボックスへ保存	作成中のメールを未送信ボックスへ保存します。
引用	電話帳引用	電話帳を引用して本文を入力します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して本文を入力します。
	メモ帳引用	メモ帳を引用して本文を入力します。
	GPS情報引用	GPS情報を引用して本文を入力します。
送信予約	圏内時に送信	電波の届く場所に入ると送信するように設定します。
	日時指定	メールを送信する日時を設定します。
テンプレート呼出	テンプレートボックスからテンプレートを選択して読み込みます。 • 本文に入力中の文字がある場合は、挿入箇所を指定して挿入することができます。	

その他	返信先アドレス	**On／Off設定**：Eメールを受信した相手の方が返信する場合に宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[On]→アドレスを入力→[OK]** 解除するときは「Off」を選択します。 **返信先アドレス**：On／Off設定を「On」に設定している場合は、返信先アドレスを編集できます。
	文字サイズ※	本文入力欄に表示される文字のサイズを設定します。
	ヘルプ※	ヘルプを表示します

※Cメール作成画面では[≡]→[文字サイズ]／[ヘルプ]と操作すると表示されます。

◎表示される項目や操作できる項目は、メールの種別や選択中の欄により異なります。

メールを受け取る

1 メールを受信すると

メールを受信するとステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

お知らせ／ステータスパネルが表示されます。

3 メールの情報を選択

受信ボックス画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.109)を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→[新着受信]

メール

メールを確認する

送信･受信･保存したメールは、各メールボックス画面で保存されます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面→[フォルダ]

フォルダ一覧画面が表示されます。

① **メールボックス名**

② **フォルダ名**

③ **フォルダ**

未読メール／送信失敗メールが保存されている場合は青色に変わります。

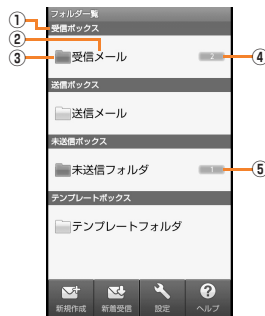
- ：メインフォルダ
- ：サブフォルダ
- ：すべてフォルダ
  サブフォルダを作成した場合に表示されます。
  メインフォルダとサブフォルダに保存されているすべてのメールが保存されます。

《フォルダ一覧画面》

④ **未読メール件数**

未読のメールが保存されている場合に表示されます。

⑤ **送信失敗メール件数**

送信に失敗したメールが保存されている場合に表示されます。

2 フォルダを選択

《受信ボックス画面》

《送信ボックス画面》

《未送信ボックス画面》

《テンプレートボックス画面》

① **メールボックス名**

② **フォルダ名**

メール

③ **メール一覧**

選択したフォルダに保存されているメールが一覧で表示されます。

- ／：開封済みの受信Eメール／Cメール
- ※／※：未開封の受信Eメール／Cメール
- ／：開封済み／未開封のサーバに続きのあるEメール
- ／：送信Eメール／Cメール
- ／：未送信のEメール／Cメール
- ／：自動再送／予約送信のEメール／Cメール
- ／：送信失敗のEメール／Cメール

※タップすると開封済みになります。

メールのアイコンには、状態によって次のアイコンが付きます。

- ：返信した受信メール
- ：転送した受信メール
- ：添付ファイルのあるEメール
- ：保護されたメール

④ **インジケータ**

フォルダが複数ある場合に表示され、現在表示しているフォルダを示します。

未読メールが保存されているフォルダは橙色で表示されます。

⑤ **未読メール件数**

未読のメールが保存されている場合に表示されます。

⑥ **送信失敗メール件数**

送信に失敗したメールが保存されている場合に表示されます。

⑦ **テンプレート一覧**

／：Eメール／Cメールのテンプレート

3 メールを選択

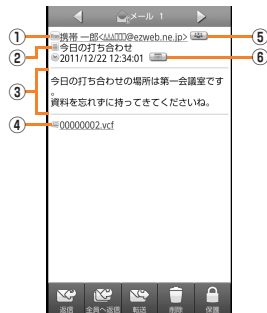
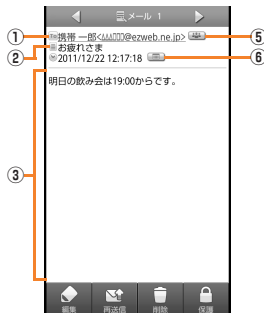
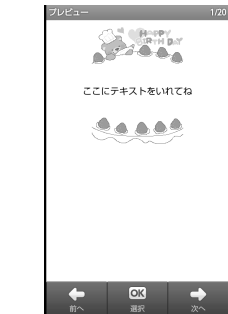
未送信ボックスの未送信メールを選択した場合はEメール／Cメール作成画面が表示されます。

《受信メール内容表示画面》

《送信メール内容表示画面》

《送信失敗メール内容表示画面》

《テンプレートプレビュー画面》

メール

① **受信メール**
差出人の名前／メールアドレス／電話番号
送信メール
宛先の名前／メールアドレス／電話番号
送信失敗メール
宛先の名前／メールアドレス／電話番号
② **件名**※
③ **本文**
④ **添付ファイル**※
タップすると添付ファイルを表示／再生します。
⑤ **アドレス詳細キー**※
宛先が複数ある場合に表示されます。タップするとアドレス詳細表示画面（一覧表示）が表示されます。
⑥ **日時情報ありアイコン**
件名または本文中に日時情報がある場合に表示されます。タップすると、日時情報を利用してスケジュールを登録できます。

※Cメールの場合は表示されません。

memo

◎受信フォルダ／送信フォルダが複数ある場合は、受信ボックス画面／送信ボックス画面で画面を左右にスライドするか「◀」／「▶」をタップすると、表示しているフォルダを切り替えることができます。

メール内容表示画面／プレビュー画面での基本操作

◎次の操作ができます。
- タップ：リンクやキーを選択･実行できます。
- スライド／フリック：画面をスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：画面を拡大／縮小できます。
（「 」／「 」をタップしても操作できます。）
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます。
- 「◁」／「▷」をタップ：前／次のメールに移動できます。

※メールやテンプレートによっては一部の操作ができない場合があります。

メールボックス画面でできること

メールボックス画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 **受信ボックス画面／送信ボックス画面／未送信ボックス画面／テンプレートボックス画面→[≡]**

2

削除	メールを削除します。 **削除するメールを選択→[決定]→[はい]**	
フォルダ管理	フォルダ新規作成	メールボックスにフォルダを作成します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。
	フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。
	フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
	フォルダシークレット利用	フォルダシークレットを一時解除します。
	フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
	フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
	フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
	再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。

フォルダ管理	フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のメールを削除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]** • フォルダ内に保護されたメールがある場合、保護されていないメールのみ削除され、フォルダと保護されたメールは削除されません。
振り分け登録	▶P.102「振り分け条件を登録／編集する」	
続きを受信	複数件受信	一部しか受信していないメールを複数選択して続きを受信します。 **続きを受信するメールを選択→[決定]**
	全件受信	一部しか受信していないすべてのメールの続きを受信します。
移動	選択移動	メールを選択して移動します。 **移動するメールを選択→[決定]→移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
	全件移動	一覧表示しているメールをすべて移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。

その他	保存	選択保存	メールを選択してmicroSDメモリカードに保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→メールを選択→[決定]→[OK]**
		全件保存	一覧表示しているメールをすべてmicroSDメモリカードに保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
	メール操作	保護	メールを選択して保護します。 **メールを選択→[決定]**
		保護解除	メールを選択して保護を解除します。 **メールを選択→[決定]**
		開封	メールを選択して開封します。 **メールを選択→[決定]**
		未開封	メールを選択して未開封にします。 **メールを選択→[決定]**
	検索	▶P.101「メールを検索する」	
	並べ替え	受信ボックスの場合、メール一覧を日時順／未開封順／未受信順／差出人名順／件名順／保護順に並べ替えます。 送信ボックスの場合、メール一覧を日時順／宛先名順／件名順／保護順に並べ替えます。 テンプレートボックスの場合、テンプレート一覧を保存順／タイトル順に並べ替えます。	
全件削除	すべてのテンプレートを削除します。		

※表示しているフォルダによって表示される項目は異なります。また、「保存」は送信ボックス画面では[≡]→[保存]と操作すると表示されます。「並べ替え」はテンプレートボックス画面では[≡]→[並べ替え]と操作すると表示されます。

■ フォルダ名のコンテキストメニューの場合

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面でフォルダ名をロングタッチ

2

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。
フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールを削除します。
開封	フォルダ内のすべてのメールを開封済みにします。
振り分け登録	▶P.102「振り分け条件を登録／編集する」
再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。
検索	▶P.101「メールを検索する」
メール全件削除	フォルダ内のすべてのメールを削除します。

※ 表示しているフォルダによって表示される項目は異なります。

■ メールのコンテキストメニューの場合

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／未送信ボックス画面／テンプレートボックス画面→メール／テンプレートをロングタッチ

2

続きを受信	一部しか受信していないメールの続きを受信します。
返信	メールを返信します。
全員へ返信	メールに同報されている全員に返信します。
転送	メールを転送します。
サーバーメール転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。
編集	メールを編集して送信します。
再送信	メールを再送信します。
タイトル名変更	テンプレートのタイトル名を変更します。
削除	メール／テンプレートを削除します。
移動	メールを移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
保存	メールをmicroSDメモリカードへ保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
未開封／開封	メールを未開封／開封済みにします。
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
IrSS送信	選択したメールをIrSS™送信します。 ▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
アドレス詳細表示	▶P.102「アドレス詳細表示を利用する」
エラー詳細	エラーの詳細を表示します。
メールプロパティ／プロパティ	メール／テンプレートのプロパティを表示します。

※ 選択したメールによって表示される項目は異なります。

フォルダ一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 フォルダ一覧画面→[≡]

2

フォルダシークレット利用	フォルダシークレットを一時解除します。
受信フォルダ作成	フォルダを作成します。 **フォルダ名を入力→[OK]**
送信フォルダ作成	

■ コンテキストメニューの場合

1 フォルダ一覧画面→受信／送信フォルダをロングタッチ

2

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。
フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールを削除します。
開封	フォルダ内のすべてのメールを開封します。
振り分け登録	▶P.102「振り分け条件を登録／編集する」
再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。
検索	▶P.101「メールを検索する」
メール全件削除	フォルダ内のすべてのメールを削除します。

※選択しているフォルダによって表示される項目は異なります。

メールを検索する

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面→[≡]→[その他]→[検索]

検索(絞込み)画面が表示されます。

2

アドレス検索	電話帳引用	電話帳からメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	送受信履歴引用	送受信履歴からメールアドレス／電話番号を選択して検索します。 ▶P.103「送受信履歴のメニューを利用する」
	プロフィール引用	プロフィールからメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	電話番号直接入力	電話番号を直接入力します。
	アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
	シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。
添付メール検索	添付ファイルのあるメールのみを一覧表示します。	
件名検索	件名、本文、または件名と本文に、入力した文字を含むメールのみを一覧表示します。 **検索する文字を入力→[OK]→[実行]**	
本文検索		
本文件名検索		

※検索条件を設定すると、検索(絞込み)条件表示画面が表示されます。

■ 検索条件を追加する場合

検索(絞込み)条件表示画面→[≡]→[条件追加]を選択し、操作2を行います。

■ 検索条件を削除する場合

検索(絞込み)条件表示画面で検索条件を指定した項目をロングタッチし、「条件削除」を選択します。

■ 検索条件を編集する場合

検索(絞込み)条件表示画面で設定した検索条件を選択し、編集します。「添付ファイルあり」を選択した場合は検索条件が削除されます。

■ 検索条件を追加した項目の検索方法を指定する場合

検索(絞込み)条件表示画面→[≡]→[検索方法]→[絞込み検索]/[キーワード検索]と操作します。

「絞込み検索」を選択した場合は「AND検索」、「キーワード検索」を選択した場合は「OR検索」に設定されます。

3 [検索対象]を選択

4

現在のフォルダ	選択したフォルダから検索します。
受信メールすべて	すべての受信メールから検索します。
送信メールすべて	すべての送信メールから検索します。
送受信メール	すべての送受信メールから検索します。

※表示しているフォルダによって表示される項目は異なります。

5 [実行]

アドレス詳細表示を利用する

メールのFrom、To、Cc、Bcc、Reply-Toのメールアドレスや電話番号の詳細を表示することもできます。

1 受信ボックス画面/送信ボックス画面で利用するメールをロングタッチ→[アドレス詳細表示]

アドレス詳細表示画面(一覧表示)が表示されます。

2 利用するメールアドレス/電話番号を選択

アドレス詳細表示画面(内容表示)が表示されます。

3

メール作成	選択したメールアドレス/電話番号を宛先としたメールを作成します。 ▶P.90「Eメールを送る」 ▶P.91「Cメールを送る」
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
振り分け登録	選択したメールアドレス/電話番号を受信ボックス/送信ボックスのサブフォルダに振り分け登録します。 **[受信振り分け登録]/[送信振り分け登録]→フォルダを選択→[OK]** • 「新規」を選択すると新規フォルダを作成できます。

■ アドレス詳細表示画面(内容表示)のメニューを利用する

1 アドレス詳細表示画面(内容表示)→[≡]

2

拒否リストへ登録	選択したメールアドレスを拒否リストへ登録します。電話番号の場合は受信フィルターへ登録します。 ▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」 ▶P.113「受信フィルターを設定する」
アドレスコピー	選択したメールアドレス/電話番号をコピーします。

振り分け条件を登録/編集する

サブフォルダには、「差出人/宛先」、「ドメイン指定」、「件名」、「電話帳登録なし」の振り分け条件を登録できます。登録した振り分け条件に該当するメールを受信/送信すると、自動的に登録したサブフォルダにメールが振り分けられます。

1 フォルダ一覧画面→サブフォルダをロングタッチ→[振り分け登録]

振り分け条件画面が表示されます。

2 [新規登録]/登録済みの振り分け条件を選択

メール

3

差出人／宛先	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
	電話帳グループ引用	電話帳のグループを引用して登録します。
	メールグループ引用	メールグループを引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	メールアドレスを直接入力します。
ドメイン指定	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	ドメインを直接入力します。
件名	振り分け条件となる件名を登録します。	
電話帳登録なし	振り分け条件として、電話帳に登録されていないメールを指定します。	
1件削除※	選択した振り分け条件を削除します。	
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。	

※ 登録済みの振り分け条件を選択した場合のみ表示されます。

memo

◎ 1つのサブフォルダには、振り分け条件を最大20件まで登録できます。

■振り分け条件画面のメニューを利用する

1 **振り分け条件画面→[≡]**

選択削除	振り分け条件を選択して削除します。
全件削除	振り分け条件をすべて削除します。

■送受信履歴のメニューを利用する

IS05で送受信したメールの差出人や宛先は、送受信履歴に記録されます。送受信履歴は、振り分け登録時やメールの検索時、メールグループの設定時、宛先入力時に利用できます。

例：「振り分け登録」から送受信履歴を表示する場合

1 **振り分け条件画面→[新規登録]→[差出人／宛先]→[送受信履歴引用]**

送受信履歴画面が表示されます。

■ オプションメニューの場合

2 **[≡]**

3

全件削除	送信履歴／受信履歴をすべて削除します。
シークレット設定／シークレット解除	送受信履歴をシークレットに設定／解除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[OK]**

■ コンテキストメニューの場合

2 **送信履歴／受信履歴をロングタッチ**

3

1件削除	送信履歴／受信履歴を削除します。

memo

◎ シークレットを設定すると、宛先を選択するときなどに「送受信履歴引用」が表示されなくなります。送受信履歴のシークレットを一時的に解除するには、送受信履歴を利用できるメニューを表示して「シークレット」を選択し、ロックNo.を入力します。例えば、振り分け登録時の場合は、振り分け条件画面→[新規登録]→[シークレット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作します。

メール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面／テンプレートプレビュー画面**

2

返信	メールを返信します。
全員へ返信	メールに同報されている全員に返信します。
転送	メールを転送します。
編集	メールを編集して送信します。
再送信	メールを再送信します。
削除	メールを削除します。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
続きを受信	一部しか受信していないメールの続きを受信します。
エラー詳細	エラーの詳細を表示します。
前へ	前のテンプレートを表示します。
選択	表示しているテンプレートを本文としたメールを作成します。 ▶P.90「Eメールを送る」
次へ	次のテンプレートを表示します。

※表示しているメールによって表示される項目は異なります。

メール内のメールアドレス／電話番号を利用する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面**
→メールアドレス／電話番号を選択

2

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
メール作成	選択したメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
Cメール作成	選択した電話番号を宛先としたCメールを作成します。
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
振り分け登録	選択したメールアドレス／電話番号を受信ボックス／送信ボックスのサブフォルダに振り分け登録します。 **［受信振り分け登録］／［送信振り分け登録］→フォルダを選択→［OK］** • 「新規」を選択すると新規フォルダを作成できます。
拒否リストへ登録	選択したメールアドレスを拒否リストへ登録します。電話番号の場合は受信フィルターへ登録します。 ▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」 ▶P.113「受信フィルターを設定する」
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

Eメールの添付ファイルを再生／保存する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面で添付ファイルをロングタッチ**

メニューが表示されます。

2

受信	添付ファイルを受信します。
表示／再生	添付ファイルを表示／再生します。
保存	添付ファイルを保存します。
登録	添付ファイルを登録します。
プロパティ	添付ファイルのプロパティを表示します。

※添付ファイルの種類によって表示される項目は異なります。

メール内容表示画面のメニューを利用する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面→[≡]**

2

返信／転送	返信	▶P.100「メールのコンテキストメニューの場合」
	転送	
移動／保存	フォルダ移動	メールを移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
	ファイル保存	メールの本文に挿入された画像やデコレーション絵文字をmicroSDメモリカードへ保存します。
	テンプレート保存	メールをテンプレートとしてテンプレートボックスへ保存します。
	microSDへ保存	メールをmicroSDメモリカードへ保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
テキストコピー	メール本文をコピーします。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「◿」／「◺」をドラッグすると選択範囲を変更できます。	

メール操作	辞書検索	メール本文の単語を辞書で調べます。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ→[ネット辞書]／[内蔵辞書]** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「◿」／「◺」をドラッグすると選択範囲を変更できます。	
	保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。	
	スケジュールへ登録	メールの件名や本文の日時キーワードからスケジュールを登録します。 • 日時キーワードとは、日付や時刻のほか、「本日」、「明日」、「曜日」などです。 ▶P.204「予定を新規登録する」	
	データ送信	赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
		IrSS送信	メールをIrSS™送信します。 ▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
		Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
電話帳に登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」		
その他	表示設定	文字サイズ設定	メールの文字サイズを設定します。
		文字コード変換	メールの文字コードを設定します。
	メール情報表示	アドレス詳細表示	▶P.102「アドレス詳細表示を利用する」
		メールプロパティ	メールのプロパティを表示します。

※表示しているメールによって表示される項目や階層は異なります。

スケジュールへ登録について

◎ メールの内容や表現によっては、正しく自動入力されないことがあります。

緊急地震速報を利用する

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

◎ 緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 日本国内のみのサービスです。（海外ではご利用になれません。）
◎ 緊急地震速報は、情報料・通信料共に無料です。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障がいやシステム障がいによる情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎ 緊急地震速報を受信しないように設定することはできません。
◎ 通話中は、緊急地震速報を受信できません。また、Cメール／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中は、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎ 電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急地震速報を、再度受信することはできません。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎ 緊急地震速報受信時は、専用の警報音が最大音量で鳴動します。警報音や音量は変更できません。ただし、マナーモード設定中はマナーモードの設定でお知らせします。

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

memo

◎ Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ ブロック対象のCメールは、通常のCメール(ぷりペイド送信含む)です。お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)は対象外です。

■Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※設定時のCメール送信は無料です。
※設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「09044440019」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。

• 送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。

メールの設定を行う

メールの各種設定やメールグループの管理、メール容量の確認は、メール設定画面から行います。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→[設定]

メール設定画面が表示されます。

《メール設定画面》

2

共通設定	メール全般に関する設定を行います。 ▶P.108「共通設定」
Eメール設定	Eメールに関する設定を行います。 ▶P.109「Eメール設定」
Cメール設定	Cメールに関する設定を行います。 ▶P.112「Cメール設定」
メールグループ設定	メールグループを登録・管理します。 ▶P.113「メールグループ設定」
メール容量確認	受信ボックス、送信ボックス、テンプレートの使用状況を確認します。

共通設定

1 **メール設定画面→[共通設定]**

共通設定画面が表示されます。

2

項目			説明
受信／表示設定	画像拡大縮小表示		メールの本文に挿入された画像の表示サイズを設定します。
	着信お知らせ表示		メール受信時の着信お知らせ表示の通知内容を設定します。
	音・バイブ・ランプ	メロディ	メール受信音を設定します。 • コンテンツマネージャーを呼び出して、受信音のデータを選択します。
		バイブレータ	メール受信時のバイブレータの振動パターンを設定します。
		着信ランプ	メール受信時のランプの点滅パターンと点滅色を設定します。
		鳴動時間	メール受信時の動作時間を設定します。
	メール受信中画面		メール受信中の画像を選択して登録します。
	文字サイズ設定		メール内容表示画面の文字サイズを設定します。
送信／作成設定	自動再送		メール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。
	送信先限定設定		メールアドレス／電話番号を指定し、送信先を限定します。 • ロックNo.を入力→[OK]→[送信先限定設定一覧]→[新規登録]と操作すると、限定送信する送信先を登録できます。登録済みの送信先を選択→[シークレット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作すると、送受信履歴のシークレットを一時解除できます。 • 限定送信する送信先を登録した後、「送信先限定設定」を選択して送信先を限定するかどうかを設定します。 • 登録済みの送信先をロングタッチ→[変更]と操作すると、送信先を編集できます。 • 登録済みの送信先をロングタッチ→[削除]と操作すると、送信先を1件削除できます。 • [≡]→[削除]→[選択削除]／[全件削除]と操作すると、メールアドレス／電話番号を選択削除／全件削除できます。 • 送信先は、最大20件まで登録できます。
	メール送信中画面		メール送信中の画像を選択して登録します。
初期表示画面			メール起動時の画面を設定します。
メール機能制限			メール起動時にロックNo.の入力が必要になるように設定／解除します。 **ロックNo.を入力→[OK]**

Eメール設定

1 **メール設定画面→[Eメール設定]**

Eメール設定画面が表示されます。

2

受信／表示設定	▶下記「受信·表示に関する設定をする」
送信／作成設定	▶右記「送信·作成に関する設定をする」
その他の設定	▶P.110「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新	自分のメールアドレスを確認できます。

受信·表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[受信／表示設定]**

2

メール受信方法	受信方法	全受信	全受信します。
		全受信（特定条件のみ）	設定した条件に合うメールのみ全受信します。 • 設定した条件に合わないメールは差出人·件名のみ受信します。 • 条件は全受信対象登録で設定します。
		差出人／件名／本文	差出人·件名·本文のみを受信します。
		差出人／件名	差出人·件名のみを受信します。
	全受信対象登録	受信条件を「全受信（特定条件のみ）」に設定した場合に、条件を設定します。	
添付自動受信サイズ	自動受信を行う添付データの受信サイズを設定します。		
メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。		

memo

◎全受信していないメールは、メール内容表示画面→[続きを受信]と操作すると、続きを受信します。

送信·作成に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[送信／作成設定]**

2

署名	送信時の署名を設定します。 • 「ON」を選択した場合は、署名（全角125／半角256文字まで）を入力します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 • 「ON」を選択した場合は、差出人名称（全角／半角20文字まで）を入力します。
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に宛先に設定されるアドレスを設定します。 • 「ON」を選択した場合は、返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力します。
引用返信	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[その他の設定]→[OK]

2 項目を選択→□（入力欄）を選択→暗証番号を入力→[送信]

項目	説明
Eメールアドレスの変更	Eメールアドレスは「Eメール設定」の「設定更新」を行うと自動的に決まりますが、初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。 **1. [承諾する]** **2. □（入力欄）を選択** **3. Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力** **4. [送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」
オススメの設定はこちら	
自動転送先	IS05で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. □（入力欄）を選択** **2. Eメールアドレスを入力** **3. [送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは、2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話･PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面→[その他の設定]→[OK]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール･自動転送メールを拒否して、携帯電話･PHS･パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター]→□（入力欄）を選択→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール･自動転送メールを拒否して、携帯電話･PHS･パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール･なりすましメール･自動転送メールを拒否して、携帯電話･PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。「高」「中」「低」の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF（受信拒否）にしてください。
	指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。	
PC設定用ワンタイムパスワード発行	▶P.112「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」	
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。	

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可) > なりすまし規制 > 指定拒否リスト設定 > 指定受信リスト設定 > HTMLメール規制 > URLリンク規制 > 一括指定受信
◎「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、IS05の迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

Cメール設定

1 メール設定画面→[Cメール設定]

Cメール設定画面が表示されます。

2

自動蓄積する	相手の方にCメールが届かなかったとき、自動的にCメールセンターへ蓄積するかどうかを設定します。
受信フィルター	Cメールを受信拒否する電話番号を登録します。電話帳に未登録の番号からのCメールを受信拒否するように設定することもできます。▶P.113「受信フィルターを設定する」

受信フィルターを設定する

1 **メール設定画面→[Cメール設定]→[受信フィルター]→ロックNo.を入力→[OK]**

受信フィルター画面が表示されます。

2

指定番号拒否	指定番号設定	指定番号拒否を有効にするかどうかを設定します。 「指定番号一覧」で受信拒否する番号を指定していない場合は、指定番号一覧画面が表示されます。「新規登録」を選択して登録を行ってください。
	指定番号一覧	受信拒否する電話番号を指定します。 • 「新規登録」を選択すると、受信拒否する電話番号を登録できます。登録済みの電話番号を選択→[シークレット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作すると、送受信履歴のシークレットを一時解除できます。 • [≡]→[削除]→[選択削除]/[全件削除]と操作すると、電話番号を選択削除/全件削除できます。 • 登録済みの電話番号をロングタッチ→[変更]と操作すると、電話番号を変更できます。 • 登録済みの電話番号をロングタッチ→[削除]と操作すると、電話番号を1件削除できます。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
電話帳登録以外	電話帳に登録されていない電話番号からのCメールを受信拒否するかどうかを設定します。	
Eメールお知らせ	Eメールお知らせを受信拒否するかどうかを設定します。	

メールグループ設定

メールグループは最大20件まで登録でき、1件のメールグループには最大20件まで宛先を登録できます。

1 **メール設定画面→[メールグループ設定]**

メールグループ設定画面が表示されます。

2 **[新規登録]→グループ名を入力→[OK]**

メールグループ設定画面に登録したグループが表示されます。

3 **登録したグループを選択**

メンバー一覧画面が表示されます。

4 **[新規登録]**

5

電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
直接入力	宛先を直接入力します。
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。

memo

◎メールグループ設定画面で登録済みのグループをロングタッチ→[グループ名の変更]と操作すると、グループ名を編集できます。

◎メンバー一覧画面で登録済みのメンバーをロングタッチ→[変更]と操作すると、メンバーを編集できます。

PCメールを利用する

au one メール(▶P.120)などのメールアカウントを設定したPCメールを利用できます。

- 「PCメール」でau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。(「au one メールをブラウザで利用する」(▶P.120))

1 メインメニューで[PCメール]

受信トレイ画面が表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメールメイン画面が表示されます。
初回利用時はメールアカウント登録画面が表示されますので、メールアカウントを登録してください。メールアカウントを登録する操作については、「PCメールのアカウントを追加する」(▶右記)をご参照ください。

《受信トレイ画面》

《PCメールメイン画面》

PCメールのアカウントを追加する

1 受信トレイ画面→[≡]→[アカウント]

PCメールメイン画面が表示されます。

2 [≡]→[アカウントを追加]

メールアカウント登録画面が表示されます。
2件目以降のアカウントを登録する場合は、「いつもこのアカウントでメールを送信」を選択すると優先アカウントとして登録します。

3 [メールアドレス]→メールアドレスを入力

4 [パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

メールサーバを自動的に設定します。
メールサーバを手動で設定する場合は、[パスワード]→パスワードを入力→[手動セットアップ]と操作してください。メールサーバを手動で設定する操作については、「メールサーバの設定を行う」(▶下記)をご参照ください。

5 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

6 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力→[完了]

◎「あなたの名前」はPCメールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名称です。

■ メールサーバの設定を行う

ご利用になるメールアカウントのメールサーバが自動設定されない場合や「手動セットアップ」を選択した場合は、メールサーバを手動で設定します。
あらかじめ、ご利用のプロバイダにお問い合わせになり、受信メールサーバと送信メールサーバの設定をご確認ください。

1 アカウントのタイプ(「POP3」/「IMAP」/「Exchange」)を選択

2

ユーザー名/ドメイン¥ユーザー名	必要な項目を入力します。 ※POP3サーバで設定を行う場合、ご利用のプロバイダによってはIS05本体内に保存されたPCメールが消える場合があります。IMAP対応のメールサーバ(Gmail、au one メールなど)を利用する場合はIMAPサーバで設定を行ってください。
パスワード	
POP3サーバー/IMAPサーバー/サーバー	
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に入力します。
安全な接続(SSL)を使用する	PCメール受信時にSSLを使用するかどうかを設定します。 すべてのSSL証明書を承認する場合は「すべてのSSL証明書を承認」も有効に設定します。

3 [次へ]

送信サーバの設定画面が表示されます。

4

SMTPサーバー	必要な項目を入力します。
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

5 [次へ]

アカウントのオプション画面が表示されます。

6

受信トレイを確認する頻度	新着PCメールが届いているかどうかサーバに確認する間隔を設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
メールの着信を知らせる	ステータスバーにPCメールを受信したことを表示するかどうかを設定します。

7 [次へ]

8 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

9 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力→[完了]

memo

◎アカウントのタイプで「Exchange」を選択した場合、プロバイダによっては「ドメイン¥ユーザー名」の項目に「¥ユーザー名ドメイン」と入力する必要があります。詳しくはサーバ管理者にお問い合わせください。

アカウントの設定を変更する

1 受信トレイ画面→[≡]→[アカウントの設定]

アカウントの設定画面が表示されます。

2

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	PCメール送信時の署名を設定します。
受信トレイの確認頻度	自動受信する間隔を設定します。
優先アカウントにする	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。

メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメール受信時の音を設定します。 **着信音を選択→[OK]** • 「サイレント」以外の着信音を選択すると着信音が鳴ります。
バイブレーション	PCメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定	受信メールサーバと送信メールサーバを設定します。 ▶P.114「メールサーバの設定を行う」
送信設定	

※アカウントの設定によっては、上記以外の項目が表示される場合があります。

メール

PCメールを送る

1 受信トレイ画面→[≡]→[作成]

PCメール作成画面が表示されます。

① **宛先入力欄**
② **件名入力欄**
③ **本文入力欄**

《PCメール作成画面》

2 宛先入力欄を選択→宛先を入力

電話帳に登録している名前またはメールアドレスを入力すると、電話帳を検索して宛先入力欄の下に表示されます。表示された宛先を選択することができます。

3 件名入力欄を選択→件名を入力

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 [送信]

memo

◎複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメールメイン画面→PCメールを送るアカウントをロングタッチ→[作成]と操作すると、PCメール作成画面を表示できます。
◎PCメール作成画面で「下書き保存」を選択すると、PCメールを送信せずに下書きへ保存できます。「破棄」を選択すると、作成中のPCメールを破棄します。
◎受信メール内容表示画面などから「返信」「全員に返信」を選択してPCメール作成画面を表示した場合は、本文の下に「元のメッセージ」が表示されます。「×」をタップすると消去することができます。

■PCメール作成画面のオプションメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[≡]

2

Cc/Bccを追加	Cc/Bcc入力欄を追加します。宛先と同じ方法で入力できます。
送信	作成しているPCメールを送信します。
下書き保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
添付ファイルを追加	PCメールに添付するファイルを選択します。添付したファイルを削除する場合は「×」をタップします。

PCメールを受け取る

1 PCメールを受信すると

PCメールを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

お知らせ／ステータスパネルが表示されます。

3 PCメールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したPCメールを選択

受信PCメール内容表示画面が表示されます。

PCメール画面でできること

PCメールメイン画面について

① **統合受信トレイ**
すべてのアカウントの未読受信PCメール件数を表示します。
選択すると統合受信トレイ画面を表示します。

② **スター付き**
すべてのアカウントのスター付きPCメール件数を表示します。
選択するとスター付き画面を表示します。

③ **下書き**
すべてのアカウントの下書きPCメール件数を表示します。
選択すると下書き画面を表示します。

《PCメールメイン画面》

④ **送信トレイ**
すべてのアカウントの未送信PCメール件数を表示します。
選択すると送信トレイ画面を表示します。

⑤ **アカウント**
アカウント設定したアカウントが一覧で表示されます。
各アカウントを選択すると選択したアカウントの受信トレイ画面を表示します。

⑥ **フォルダアイコン**
選択すると選択したアカウントのPCメールボックス画面を表示します。

⑦ **優先アカウントアイコン**
PCメール作成時、差出人に設定されるアカウントに表示されます。

■PCメールメイン画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 PCメールメイン画面→[≡]

2

作成	▶P.116「PCメールを送る」
アカウントを追加	▶P.114「PCメールのアカウントを追加する」

■ コンテキストメニューの場合

1 PCメールメイン画面で項目をロングタッチ

2

開く	選択した項目を開きます。
作成	▶P.116「PCメールを送る」
アカウントの設定	▶P.115「アカウントの設定を変更する」
アカウントを削除	選択したアカウントを削除します。

※選択した項目によって表示される項目は異なります。

PCメールボックス画面について

《PCメールボックス画面》

① **受信トレイ**
未読受信PCメール件数を表示します。
選択すると受信トレイ画面を表示します。

② **下書き**
選択すると下書き画面を表示します。

③ **送信トレイ**
選択すると送信トレイ画面を表示します。

④ **送信済み**
選択すると送信済み画面を表示します。

⑤ **ゴミ箱**
選択するとゴミ箱画面を表示します。

⑥ **アカウント名**
複数のアカウントを設定している場合、選択するとPCメールメイン画面を表示します。

■PCメールボックス画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 PCメールボックス画面→[≡]

2

作成	▶P.116「PCメールを送る」
アカウント	PCメールメイン画面を表示します。
アカウントの設定	▶P.115「アカウントの設定を変更する」

■コンテキストメニューの場合

1 PCメールボックス画面でフォルダをロングタッチ

2

開く	選択したフォルダを開きます。
更新	PCメールを更新します。

PCメール一覧画面について

PCメールメイン画面やPCメールボックス画面から表示する項目を選択すると各項目のPCメール一覧画面を表示します。

例：受信トレイ画面

《PCメール一覧画面》

① **PCメール**
選択するとPCメール内容表示画面を表示します。下書き画面の場合はPCメール作成画面を表示します。

② **アカウント名**
複数のアカウントを設定している場合、選択するとPCメールメイン画面を表示します。

③ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているPCメールに表示されます。

④ **チェックボックス**
選択するとチェックが入り、メニューが表示されます。
目的のPCメールにチェックを入れて、メニューを選択します。

⑤ **スターアイコン**
選択するとスター付きを設定／解除できます。

■PCメール一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 PCメール一覧画面→[≡]

2

更新	PCメールを更新します。
作成	▶P.116「PCメールを送る」
選択をすべて解除	PCメールのチェックをすべて解除します。
フォルダ	PCメールボックス画面を表示します。
アカウント	PCメールメイン画面を表示します。
アカウントの設定	▶P.115「アカウントの設定を変更する」

※表示している一覧によって表示される項目は異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 PCメール一覧画面でPCメールをロングタッチ

2

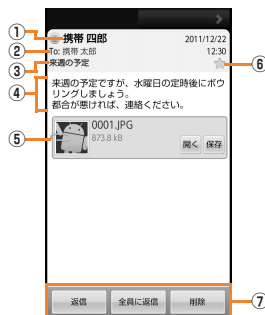
開く	選択したPCメールを開きます。
削除	選択したPCメールを削除します。
破棄	選択したPCメールを破棄します。
転送	選択したPCメールを転送します。
全員に返信	PCメールに同報されている全員に返信します。
返信	選択したPCメールを返信します。
未読にする／既読にする	PCメールを未開封／開封済みにします。

※選択したPCメールによって表示される項目は異なります。

PCメール内容表示画面について

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。

例：受信メール内容表示画面

① 差出人の名前／メールアドレス
② 宛先／Ccの名前／メールアドレス
③ 件名
④ 本文
⑤ 添付ファイル
▶下記「添付ファイルを再生／保存する」
⑥ スターアイコン
タップするとスター付きを設定／解除できます。
⑦ 操作パネル
「返信」をタップするとPCメールを返信します。「全員に返信」をタップするとPCメールに同報されている全員に返信します。「削除」をタップすると表示しているPCメールを削除します。

《PCメール内容表示画面》

■PCメール内容表示画面のオプションメニューを利用する

1 PCメール内容表示画面→[≡]

2

削除	PCメールを削除します。
転送	PCメールを転送します。
返信	PCメールを返信します。
全員に返信	PCメールに同報されている全員に返信します。
未読にする	PCメールを未開封にします。

■添付ファイルを再生／保存する

1 PCメール内容表示画面→添付ファイルの[開く]／[保存]

au one メールをブラウザで利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメールの自動保存を行ったりすることもできます。
また、「PCメール」でau one メールを利用することができます。
利用する場合は以下の設定を事前に行う必要があります。

- au one メールの「設定」の「メール転送とPOP/IMAP設定」で必ず「IMAPを有効にする」に設定する

※POPダウンロードの設定を有効にして「PCメール」でPOP3サーバでの設定を行うとIS05本体内に保存されたメールが消える場合があります。

- メールパスワードを設定する

※設定方法についてはメインメニューで[au one]→[サポート]→[au one メールヘルプ]と操作し、ヘルプの内容をご確認のうえ、設定を行ってください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。

- 会員登録するにはau one-IDが必要です。詳しくは、「au one-IDの設定をする」(▶P.240)をご参照ください。

1 メインメニューで[au one]

au one ホームページが表示されます。

2 [メール]→au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

パスワードを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

3 [今は保存しない]/[保存]/[保存しない]

会員登録画面が表示されます。
「保存」/「保存しない」を選択した場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 画面に従って必要項目を入力→[規約に同意して登録する]

登録の確認画面が表示されます。

5 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

1 メインメニューで[au one]

au one ホームページが表示されます。

2 [メール]

ログイン認証画面が表示されます。

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

au one メールの受信トレイが表示されます。

memo

◎「アカウントを追加」(▶P.114)でau one メールのアカウントを設定すると、「PCメール」からau one メールの送受信などができます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS05からGmailの確認･送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、IS05の電話帳と同期します。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 メインメニューで[Gmail]

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

《受信トレイ画面》

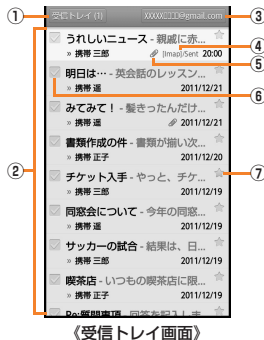
① **トレイ／ラベル名、未読メール件数**

② **メール**
既読メッセージの背景色はグレーになります。

③ **アカウント名**

④ **ラベル**
ラベルが設定されているメールに表示されます。

⑤ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。

⑥ **チェックボックス**
タップするとチェックが入り、メニューが表示されます。目的のメールにチェックを入れて、メニューを選択します。

⑦ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。
スター付きを設定すると、受信トレイ画面→[≡]→[ラベルを表示]→[スター付き]で設定したメールのみを表示することができます。

memo

◎「アカウントと同期」(▶P.235)を利用して、サーバに保存されたGmailとIS05のGmailを同期できます。
◎受信トレイ画面→[≡]→[その他]→[設定]→設定するアカウントを選択→[バッチ操作]でチェックボックスの表示／非表示を設定できます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面→[≡]→[アカウント]

2 アカウントを選択

Gmailを更新する

IS05のGmailアプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→[≡]→[更新]

Gmailを送る

1 受信トレイ画面→[≡]→[新規作成]

メール作成画面が表示されます。

2 宛先入力欄を選択→宛先を入力

3 件名入力欄を選択→件名を入力

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 [ ]

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面→[≡]→[ラベルを表示]→[送信済みメール]

送信済みメール画面が表示されます。

Gmailを受け取る

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

お知らせ／ステータスパネルが表示されます。

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、IS05内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面→[≡]→[検索]

2 検索する文字列を入力→[ ]

Gmailを返信／転送する

1 受信メール内容表示画面→[ ]→[返信]／[全員に返信]／[転送]

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、お知らせアイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面→[≡]→[その他]→[設定]→設定するアカウントを選択→[通知するラベル]→[受信トレイ]

2

メール着信通知	メール受信時にお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	メール受信時の音を設定します。 **着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
最初の新着メールのみ通知	新しいメールを一度に通知するかどうかを設定します。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面→[≡]→[その他]→[設定]→設定するアカウントを選択→[署名]

2 署名を入力→[OK]

インターネット

インターネットに接続する

IS05では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶下記「データ通信サービスを利用する」）
- Wi-Fi（▶P.246「Wi-Fiを利用する」）

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

データ通信サービスを利用する

IS05は、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスで、最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbps（ご使用の環境によっては受信2.4Mbps／送信144kbps）でのパケット通信によるインターネット接続を行うことができます。

「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、IS05を手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

サイトを表示する

1 クイックメニューで[(ブラウザ)]

ブラウザ画面が表示されます。
メインメニューで[au one]と操作すると、常にAndroid向けのau one ホームページが表示されます。

memo

◎非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブラウザ画面での基本操作

◎次の操作ができます。
- タップ：リンクやキーを選択·実行できます。
- スライド／フリック：画面をスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：画面を拡大／縮小できます。
（「 」／「 」をタップしても操作できます。）
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます。

※ウェブページによっては操作できない場合があります。

URL表示欄を利用する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面でURL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／URL表示欄の[ ]

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力した場合、「検索エンジンの設定」（▶P.129）で設定した検索エンジンで検索します。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面→[≡]

2

ブックマーク	▶P.127「ブックマーク／履歴を利用する」	
新しいウィンドウ（ウィンドウリスト）	新しいウィンドウで、別のサイトを表示します。 • ウィンドウを2枚以上開いている場合は、「ウィンドウリスト」と表示されます。 ▶P.126「ウィンドウを利用する」	
ブラウザ終了	ブラウザを終了します。	
再読み込み	表示中のサイトの情報を再読み込みします。	
停止	サイトの読み込みを中止します。	
進む	サイトを「↩」をタップして表示している場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。	
ページ内検索※	表示しているページ内でテキストを検索します。	
その他	ショートカットを作成	表示しているサイトに接続するショートカットを、デスクトップに作成します。
	テキスト選択コピー	サイトに表示された文字列をコピーします。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「 」／「 」をドラッグすると選択範囲を変更できます。
	ページを共有	表示しているサイトのURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。

その他	閲覧履歴	▶P.127「ブックマーク／履歴を利用する」
	ダウンロード履歴	▶P.182「ダウンロードを利用する」
	ホームページへ移動	ホームページ設定で設定したサイトへ移動します。
	設定	▶P.129「ブラウザを設定する」
	ページ情報	表示しているサイトのページ情報を表示します。

※「進む」の項目が表示されている場合は、「その他」の項目として表示されます。

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。

■コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクをブックマーク	選択したリンク先をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所（URL）を編集できます。
リンクを保存	選択したリンク先をmicroSDメモリカードに保存します。
リンクを共有	選択したリンク先のURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードに保存します。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙として設定	選択した画像を壁紙に設定します。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
発信…	選択した電話番号に電話をかけたり、Cメールを送信したりします。
連絡先を追加	選択した電話番号を電話帳に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。
◎壁紙に設定した画像は保存はされないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。

ウィンドウを利用する

■新しいウィンドウを開く

サイトを表示中に新しいウィンドウを開き、ホームページに設定したサイトを表示します。

■開いているウィンドウが1つの場合

1 ブラウザ画面→[≡]→[新しいウィンドウ]

■開いているウィンドウが複数の場合

1 ブラウザ画面→[≡]→[ウィンドウリスト]

開いているウィンドウの一覧画面が表示されます。

2 [新しいウィンドウを開く]

■ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→[≡]→[ウィンドウリスト]

開いているウィンドウの一覧画面が表示されます。

2 ウィンドウを選択

「✕」をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面→[≡]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。
ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[閲覧履歴]と操作すると、履歴画面が表示されます。

① **ブックマーク／履歴一覧**
ブックマーク／履歴の一覧を表示します。
② **「ブックマーク」タブ**
登録されているブックマークを表示します。
③ **「よく使用」タブ**
サイトの閲覧履歴を、閲覧回数の多い順に表示します。
④ **「履歴」タブ**
サイトの閲覧履歴を表示します。

《ブックマーク画面》

2 ブックマーク／履歴を選択

memo

◎閲覧履歴表示中に、「☆」／「★」をタップすると、選択した履歴をブックマークに登録／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 ブックマーク画面→[追加]

ブックマーク登録画面が表示されます。
リスト表示のときは、「現在のページをブックマーク」を選択すると、ブックマーク登録画面が表示されます。

2 [OK]

memo

◎ブックマーク登録画面で、登録するサイトの名前や場所(URL)を編集できます。
◎「microSDバックアップ」(▶P.236)を利用して、ブックマークの保存・読み込み・管理を行うことができます。

ブックマーク画面／履歴画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **ブックマーク画面／履歴画面→[≡]**

2

現在のページを登録	▶P.127「ブックマークに登録する」	
ブックマーク全送信	赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
	Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
ブックマーク全削除	ブックマークをすべて削除します。	
リスト表示／サムネイル表示	ブックマークの表示方法を切り替えます。	
履歴全削除	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。	

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。

■ コンテキストメニューの場合

1 **ブックマーク画面／履歴画面でブックマーク／履歴をロングタッチ**

2

開く	選択したブックマーク／履歴のサイトを表示します。	
新しいウィンドウで開く	選択したブックマーク／履歴のサイトを新しいウィンドウで表示します。	
ブックマークを編集	選択したブックマークを編集します。	
ブックマークに追加	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所（URL）を編集できます。	
ブックマークから削除	選択した履歴をブックマークから削除します。	
ショートカットを作成	選択したブックマークのショートカットを、デスクトップに作成します。	
リンクを共有	選択したブックマーク／履歴のサイトのURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。	
ブックマークを送信	赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
	Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
URLをコピー	選択したブックマーク／履歴のサイトのURLをコピーします。	
ブックマークを削除	選択したブックマークを削除します。	
履歴から削除	選択した履歴を削除します。	
ホームページとして設定	ブラウザを起動したときや新規ウィンドウを開いたときに表示するサイトに設定します。	

memo

◎選択したブックマーク／履歴によっては、操作できない場合があります。

ブラウザを設定する

1 **ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[設定]**

ブラウザ設定画面が表示されます。

2

項目	説明
文字サイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。
デフォルトの解像度	ブラウザ画面を表示したときのウェブページの解像度を設定します。
テキストエンコード	文字コードを変更します。
ポップアップをブロック	ポップアップをブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	サイトの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせてサイトの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	サイトにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
ピンチ操作で速度を優先	ピンチ操作で画面を拡大／縮小する場合に、画面の表示品位より表示速度を優先するかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ブラウザを起動したときや、新しいウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。 **URLを入力→[OK]**
キャッシュを削除	サイトの閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
履歴削除	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて削除	IS05に保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	サイトの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
フォームデータを削除	IS05に保存されているフォームデータをすべて削除します。
パスワードを保存	サイトの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードを削除	IS05に保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
セキュリティ警告を表示	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開いたサイトを全体表示するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	サイトを常に横表示するかどうかを設定します。
位置情報を有効にする	位置情報のアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報アクセスを削除	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
ウェブサイト設定	▶P.130「ウェブサイト設定をする」
検索エンジンの設定	URL表示欄にキーワードを入力して検索するときの検索エンジンを設定します。
ブックマークをリセット	登録したブックマークをすべて削除してお買い上げ時の状態に戻します。
初期設定にリセット	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]** • ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなどのIS05に保存されたデータは削除されません。

memo

◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。（▶P.226「フィルタリング設定をする」）

ウェブサイト設定をする

各サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータの削除ができます。

1 設定画面→[ウェブサイト設定]

ウェブサイト設定画面が表示されます。

2 サイトを選択

■位置情報アクセスを削除する場合

3 [位置情報アクセスを削除]

4 [アクセスを削除]

サイトからの位置情報アクセスを削除します。

■ダウンロードしたデータを削除する場合

3 [保存したデータを削除]

4 [すべて削除]

ダウンロードしたデータを削除します。

memo

◎選択したサイトによっては、操作できない場合があります。

■ウェブサイト設定を削除する

1 ウェブサイト設定画面→[≡]→[すべて削除]

2 [全データを削除]

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

IS05は有効画素数約805万画素のCMOSアウトカメラと約43万画素のCMOSインカメラを搭載し、フォトやムービーが撮影できます。

電池残量が▯(残量約10%)以下の場合は、カメラを起動できません。

また、カメラを使用する前にmicroSDメモリカードをセットしてください。IS05で撮影したフォトまたはムービーはすべてmicroSDメモリカードに保存されます。microSDメモリカードの取り付けかたについては、「microSDメモリカードをセットする」(▶P.41)をご参照ください。

- 各カメラモード起動中はモバイルライトが赤色で点滅します。

■撮影できるフォトのサイズ

用途に合わせて撮影サイズや画質を選択できます。

撮影サイズ: 横×縦(ドット)	画質	容量(目安)
QVGA: 240×320	ハイクオリティ	40KB程度
	ファイン	28KB程度
	ノーマル	14KB程度
VGA: 480×640	ハイクオリティ	105KB程度
	ファイン	85KB程度
	ノーマル	65KB程度
FWVGA: 480×854	ハイクオリティ	200KB程度
	ファイン	115KB程度
	ノーマル	80KB程度
HD※1: 720×1,280	ハイクオリティ	340KB程度
	ファイン	260KB程度
	ノーマル	150KB程度
2M※2: 1,200×1,600	ハイクオリティ	700KB程度
	ファイン	480KB程度
	ノーマル	270KB程度
フルHD※2: 1,080×1,920	ハイクオリティ	750KB程度
	ファイン	510KB程度
	ノーマル	290KB程度
3M※2: 1,536×2,048	ハイクオリティ	1,140KB程度
	ファイン	770KB程度
	ノーマル	440KB程度
5M※2: 1,944×2,592	ハイクオリティ	1,750KB程度
	ファイン	1,250KB程度
	ノーマル	930KB程度
8M※2: 2,448×3,264	ハイクオリティ	2,770KB程度
	ファイン	1,980KB程度
	ノーマル	1,470KB程度

※1 連写カメラのメニューで「連写種類」を「高速」にしたときのサイズです。
※2 アウトカメラでのみ選択できるサイズです。

memo

◎ファイン/ハイクオリティは、細部を詳細に表現できるプリント出力向きの設定です。

■録画できるムービーのサイズ

用途に合わせて撮影サイズや画質を選択できます。

撮影サイズ: 横×縦(ドット)	画質	録画可能時間
QVGA: 320×240	ハイクオリティ	最大約90分
	ファイン	最大約90分
	ノーマル	最大約90分
VGA: 640×480	ハイクオリティ	最大約90分
	ファイン	最大約90分
	ノーマル	最大約90分
FWVGA※1: 864×480	ハイクオリティ	最大約90分
	ファイン	最大約90分
	ノーマル	最大約90分
HD※2: 1,280×720	ハイクオリティ	最大約45分
	ファイン	最大約45分
	ノーマル	最大約45分

※1 インカメラでのみ選択できるサイズです。
※2 アウトカメラでのみ選択できるサイズです。

memo

◎ 周囲の温度、録画条件(サイズ、画質など)や、microSDメモリカードの容量により録画可能時間が短くなることがあります。

■撮影した画像のプリント

microSDメモリカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。

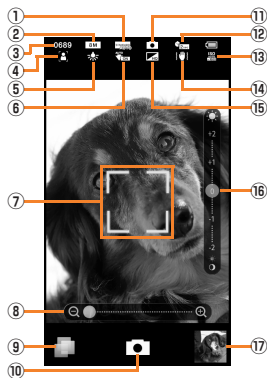
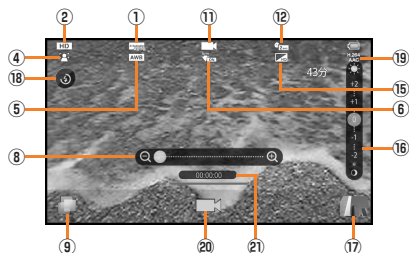
IS05で撮影した画像はExif Printに対応しています。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- IS05を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。

- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- IS05のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ムービー撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- 標準撮影／接写撮影の切り替えができます。接写固定を設定した場合は、約10cmまで被写体に近付いて撮影できます。また、接写固定を設定したまま通常の撮影は行わないでください。画像がぼやける場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついたフォトなどになる可能性があります。
- 不安定な場所にIS05を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS05が落下するおそれがあります。
- プレビュー画面の表示やカメラの切り替え、カメラの設定変更の直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がIS05のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- カメラ利用中はベールビューを使用できません。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラ画面の見かた

画面上部をタップすると各種機能アイコンが表示されます。

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

① **シーン設定:** STANDARD（標準） （人物（屋外）） （人物（屋内）） （夜景+人物） （笑顔） （寝顔） （カラオケ） （バースデー） （スポーツ） （赤ちゃん） （風景（自然）） （夜景） （花） （料理） abc（テキスト） （海） （紅葉） （雪） （トワイライト） （シルエット） （逆光） （打ち上げ花火） （ペット） SEPIA（セピア） MONO（モノクロ）

※「シーン自動検出」に設定している場合は、被写体に合わせて検出したシーンのアイコンに「AUTO」が重なって表示されます。

② **撮影サイズ**※1**:** QVGA（QVGA） VGA（VGA） FWVGA（FWVGA） HD（HD） 2M（2M） FULL HD（フルHD） 3M（3M） 5M（5M） 8M（8M）

③ **撮影可能残り枚数**

④ **フォーカス設定:** （顔優先AF） （標準（人物優先）） （センターAF） （接写AF） （接写固定） AF OFF（AF OFF）

⑤ **ホワイトバランス:** 表示なし／AWB（オート） （電球） （蛍光灯） （太陽光） （曇り・日陰）

⑥ **自動保存設定:** AUTO ON（ON） AUTO OFF（OFF）

位置情報（GPS情報）: （取得中） OK（取得成功） NG（取得失敗）

※設定により表示される項目が異なります。

⑦ **オートフォーカス枠**

⑧ **ズームバー**

左右にスライドすると表示／設定できます。

⑨ **TapFlow起動**

TapFlow UI（▶P.46）を表示します。

⑩ **撮影**

撮影します。

⑪ **カメラモード:** ※2（カメラ） AUTO（おまかせオートカメラ） （連写カメラ） （ビデオカメラ） （自分撮りカメラ） （魚眼カメラ） （ミニチュアライズカメラ）

マルチメディア

⑫ **セルフタイマー：** 表示なし（OFF）　（10秒）　（5秒）
（2秒）
モバイルライト： （ON）　（自動）　（接写）
表示なし（OFF）
※ 設定により表示される項目が異なります。

⑬ **ISO感度：** 表示なし（オート（～200））
（オート（～1600））　（100）　（200）　（400）
（800）　（1600）　（3200）

⑭ **手ぶれ補正：** （オート）　表示なし（OFF）

⑮ **画質：** （ノーマル）　（ファイン）　（ハイクオリティ）

⑯ **明るさ調整バー**
上下にスライドすると表示／設定できます。

⑰ **直前に撮影したデータ**※3
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとピクチャー（▶P.146）でデータを確認できます。

⑱ **モバイルライトON／OFF**

⑲ **映像／音声形式：** （H.264／AAC）　（MPEG4／AMR）

⑳ **録画／停止**
録画を開始／停止します。

㉑ **録画時間**

※1 フォトの撮影サイズが8Mのときにズームを利用すると、ズーム倍率に応じて最適な撮影サイズに変更されます。その際の撮影サイズは のように表示されます。
※2 インカメラ撮影時は が表示されます。
※3 カメラを起動した直後、および「自動保存設定」が「OFF」の場合は表示されません。

memo

◎ 表示されるアイコンはカメラモードにより異なります。

モニター画面でできること

1 **フォトモニター画面／ムービーモニター画面→［≡］**

2

カメラ切り替え	カメラ	▶P.138「フォトを撮影する」
	おまかせオートカメラ	撮影シーンに応じて最適な設定でフォトを撮影できます。 • 撮影方法については、「フォトを撮影する」（▶P.138）をご参照ください。
	連写カメラ	▶P.139「連続してフォトを撮影する」
	ビデオカメラ	▶P.140「ムービーを録画する」
	自分撮りカメラ	人物の顔を検出すると、自動的にセルフタイマーのカウントダウンが開始され、フォトを撮影できます。
	ハンドミラー	▶P.145「ハンドミラーとして使用する」
	魚眼カメラ※	画像を半球の形に曲げて、魚眼レンズで撮影したかのようなフォトを撮影します。
	ミニチュアライズカメラ※	画像の一部をぼかして、実際の風景をミニチュアで再現したかのようなフォトを撮影します。
イン／アウトカメラ切り替え	使用するカメラをインカメラ／アウトカメラに切り替えます。	
個人検出	顔登録	▶P.139「人物の顔を登録して活用する」
	登録情報編集	
	個人検出ON／OFF	個人検出を行うかどうかを設定します。

連写種類	高速	自動的にフォトを連続して撮影できます。
	普通	
	マニュアル	自分のシャッター操作でフォトを連続して撮影できます。
	ベストセレクトフォト	シャッター操作をする直前から連続して撮影できます。
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。撮影時に設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。 • カウントダウン中はモバイルライトが点滅します。 • カウントダウンを中止する場合は、「↩」をタップします。	
撮影サイズ 撮影サイズ設定	撮影サイズを設定します。 • 撮影できるサイズについては、「このカメラでできること」(▶P.132)をご参照ください。	
フォーカス設定	顔優先AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で、顔を自動的に検出するオートフォーカスに設定します。 • 複数の顔(最大5人)を検出した場合は、オートフォーカス枠をタップして移動できます。 • 顔がフォトモニター画面の端にある場合や撮影状況などにより、顔を検出できない場合があります。
	標準(人物優先)	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	センターAF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写固定	被写体との距離を約10cmに固定します。

フォーカス設定	AF OFF		被写体との距離を無限遠に固定します。
	コンティニュアスAF		常にオートフォーカス枠内にピントを合わせます。
	チェイスフォーカス		被写体をタップすると、被写体が移動してもオートフォーカス枠が自動的に追跡します。
	フォーカスマーク		オートフォーカス枠のデザインを設定します。
シャッター設定	ワンタッチシャッター		モニター画面をタップすることで撮影できるようにするかどうかを設定します。
	笑顔レベル		笑顔フォーカスでシャッターを切るレベルを設定します。 • 笑顔が検出されにくい場合は、笑顔レベルを「レベル3」→「レベル2」→「レベル1(微笑)」に変更してください。
	シャッターモード	ノーマル	シャッター操作をしたときにシャッターを切ります。
		笑顔フォーカス	笑顔を検出すると、自動的にシャッターを切ります(笑顔フォーカスシャッター)。
		振り向き	被写体が振り向いた瞬間を検出すると、自動的にシャッターを切ります(振り向きシャッター)。
	シャッター音		シャッター音を設定します。
ISO感度	フォトの感度を設定します。		

項目			説明
各種設定	画質		画質を設定します。
	画質設定		
	ホワイトバランス		被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。
	明るさ調整		明るさ調整バーを表示します。
	明るさ調整(+2 to -2)		
	手ぶれ補正		手ブレを防いで撮影するかどうかを設定します。
	マイク設定		音声を録音するかどうかを設定します。
	個人検出ON/OFF		個人検出を行うかどうかを設定します。
	映像/音声形式		映像/音声形式を設定します。
ピクチャー	▶P.146「ピクチャーを利用する」		
自動保存設定	撮影した後に、撮影データを自動的に保存するかどうかを設定します。		
ダイナミックレンジ補正	撮影したフォトの黒とびや白つぶれを解消します。		
保存設定	自動保存設定		撮影した後に、撮影データを自動的に保存するかどうかを設定します。
	位置情報	位置情報付加	位置情報(GPS情報)を画像に記録します。付加の方法を選択できます。
		自動付加設定	撮影時に位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。
シーン設定	選択したシーンに最適なホワイトバランス、明るさなどが設定されます。		
モバイルライト	モバイルライトを点灯して、暗い被写体を明るく撮影します。		
ヘルプ	ヘルプを表示します。		
使用履歴リセット	TapFlow UI(▶P.46)をお買い上げ時の状態に戻します。		

※撮影方法については、「フォトを撮影する」(▶下記)をご参照ください。

memo

◎選択できる項目はカメラモードにより異なります。また、インカメラはアウトカメラ機能の一部にのみ対応しています。

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

チェイスフォーカスについて

◎被写体の色が薄かったり、背景と被写体が同系色だったりしたときは、正しく検出できないことがあります。

◎被写体の動きが速い場合、追跡できない場合があります。

笑顔フォーカス/振り向きについて

◎「フォーカス設定」が「顔優先AF」の場合のみ設定できます。

ISO感度について

◎ISO設定を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

位置情報について

◎位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されることがありますのでご注意ください。

フォトを撮影する

1 メインメニューで[カメラ]

フォトモニター画面が表示されます。

デスクトップで(カメラキー)を長押ししてもカメラが起動します。

お買い上げ時は被写体によって自動的にカメラモードが切り替わります。

2 [○]/(カメラキー)

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。

「自動保存設定」(▶P.136)を「OFF」に設定している場合は、撮影直後に表示されるフォトプレビュー画面(▶P.140)で「保存」をタップするとフォトが保存されます。

memo

◎フォトモニター画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎モバイルライトを「ON」に設定するとモバイルライトが点灯し、約3分間経過すると自動的に消灯します。

オートフォーカスロックについて

◎フォトモニター画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が表示されロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。
※「フォーカス設定」(▶P.136)が「接写固定」または「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。
◎オートフォーカス枠をタップすると撮影することができます。
◎「チェイスフォーカス」(▶P.136)を「ON」に設定している場合は、オートフォーカス枠を移動して被写体を検出すると、被写体が動いてもオートフォーカス枠が追跡します。

人物の顔を登録して活用する

あらかじめ人物の顔を登録しておくと、撮影時に顔を検出して情報を表示したり、ピクチャーで自動的に分類できたりするようになります。

■人物の顔を登録する

1 フォトモニター画面→[≡]→[個人検出]→[顔登録]

2 ガイドに被写体の顔を合わせる

顔を検出すると、ガイドが青色に切り替わります。

3 [◯]/(📷/🔦)

4 登録する場所を選択

■情報を新規入力して登録する場合

5 [新規に入力]→各項目を入力→[保存]

■電話帳の情報を流用して登録する場合

5 [電話帳の情報を参照]→連絡先を選択→[保存]

■登録した情報を編集する

1 フォトモニター画面→[≡]→[個人検出]→[登録情報編集]

2 人物を選択

3

優先順位変更	登録した人物情報の優先順位を変更します。 **変更する情報を移動する位置へドラッグして、指を離す**
編集	選択した人物の登録内容を変更します。 **項目を選択して編集→[保存]**
削除	選択した登録情報を削除します。

連続してフォトを撮影する

1回の撮影で連続したフォトを撮影できます。

1 フォトモニター画面→[≡]→[カメラ切り替え]→[連写カメラ]

連写カメラが起動します。

2 [◯]/(📷/🔦)

「連写種類」(▶P.136)の設定に従って撮影が開始されます。
設定した枚数の撮影が完了した後、連続撮影したすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。
「連写種類」で「マニュアル」を選択した場合は、設定した枚数に合わせて「◯」を連続でタップするか、(📷/🔦)を連続して押してください。
連写中に「↩」をタップすると撮影を中止します。「連写種類」で「普通」/「マニュアル」を選択した場合は、撮影済みのすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。

3 フォトを選択→[保存]

選択したフォトが保存され、まだ保存されていないフォトのサムネイル表示画面に戻ります。
その他の操作については、「フォトプレビュー画面について」(▶右記)をご参照ください。

連続撮影のサムネイル表示画面でできること

◎「全保存」を選択すると、すべてのフォトが保存されます。[≡]→[全件削除]と操作すると、すべてのフォトを削除できます。

ムービーを録画する

1 メインメニューで[ビデオカメラ]

ムービーモニター画面が表示されます。

2 [ ]／(/)

録画が開始されます。

3 [ ]／(/)

録画したデータが自動的に保存されます。
「自動保存設定」(▶P.136)を「OFF」に設定している場合は、録画停止直後に表示されるムービープレビュー画面(▶P.141)で「保存」をタップするとムービーが保存されます。

memo

◎ムービーは横表示でのみ録画できます。
◎録画中に録画可能時間を超えた場合、および電池残量が (残量約10%)以下になった場合は、自動的に録画が停止します。
◎本体の温度が上昇すると、ビデオカメラが使用できなくなる場合があります。
◎録画中に着信があった場合は、録画を停止して着信画面が表示されます。着信終了後または通話終了後は、ムービープレビュー画面が表示されます。
◎ムービーモニター画面で約3分間何も操作しないと、ビデオカメラが終了します。

◎モバイルライトを「ON」に設定するとモバイルライトが点灯し、約3分間経過すると自動的に消灯します。

プレビュー画面でできること

フォトプレビュー画面について

「自動保存設定」(▶P.136)を「OFF」に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。
※「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は表示されません。

① **TapFlow起動**
TapFlow UI(▶P.46)を表示します。
② **保存**
撮影したフォトを保存します。
③ **キャンセル**
撮影したフォトを削除します。

《フォトプレビュー画面》

■フォトプレビュー画面でできること

1 **フォトプレビュー画面→[≡]**

2

写真を送る	撮影したフォトをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したり、mixiやPicasaにアップロードしたりできます。
画像を登録	撮影したフォトを保存した後、壁紙や電話帳に登録します。
編集	▶P.151「ギャラリーのメニューを利用する」
削除	撮影したフォトを削除します。

◎フォトプレビュー画面で約3分間何も操作しないと、撮影したフォトが保存されメインメニューへ戻ります。

ムービープレビュー画面について

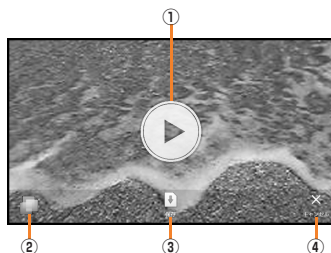
「自動保存設定」(▶P.136)を「OFF」に設定している場合は、撮影直後にムービープレビュー画面が表示されます。

※「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は表示されません。

① **撮影したムービーを再生します。**

② **TapFlow起動**
TapFlow UI(▶P.46)を表示します。

③ **保存**
撮影したムービーを保存します。

④ **キャンセル**
撮影したムービーを削除します。

《ムービープレビュー画面》

■ムービープレビュー画面でできること

1 **ムービープレビュー画面→[≡]**

2

動画を送る	録画したムービーをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したり、YouTubeにアップロードしたりできます。
削除	録画したムービーを削除します。

読取カメラを利用する

バーコードリーダーや名刺リーダー、ラクラク瞬漢/瞬英ルーペ、テキストリーダー、お店情報リーダーに切り替えて利用することができます。

1 **メインメニューで[読取カメラ]**

モニター画面が表示されます。

2 **ディスプレイを左右にスライドして利用する読取カメラモードに切り替える**

[切替]→利用する読取カメラモードを選択と操作しても切り替えることができます。

◎モニター画面を上下にスライドして明るさを調整することができます。
◎モニター画面をタップしてフォーカスをロックすることができます。
◎バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
◎文字列によっては、正しく読み取れない場合があります。

バーコードリーダーでバーコードを読み取る

バーコードを撮影すると、バーコード化された文字などを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成に利用できます。JANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1 モニター画面で「バーコードリーダー」に切り替える

2 バーコードをディスプレイに表示

カメラをバーコードにかざすと、バーコードを自動的に読み取り、読取結果画面が表示されます。

■ 読取結果画面の操作

電話帳一括登録	電話帳一括登録機能付きのQRコードを読み取った場合、読み取られた情報を一括して電話帳に登録します。
メール作成	メール作成機能付きのQRコードを読み取った場合、宛先、本文、件名が自動的に入力されたメール作成画面を表示します。
ブックマークに登録	ブックマーク登録機能付きのQRコードを読み取った場合、ブックマークに登録できます。
検索	読取結果からウェブサイトの情報を検索します。

■ リンクを利用する場合

1 読取結果画面→リンクを選択

URLを選択した場合はブラウザを起動して、選択したURLのサイトを表示します。

2

電話発信	電話番号入力画面を表示します。
メール作成	メールアドレスにメールを送信します。
電話帳に登録	電話番号／メールアドレスを電話帳に登録します。

名刺リーダーで名刺を読み取る

読み取った名刺を、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 モニター画面で「名刺リーダー」に切り替える

2 名刺をディスプレイに表示→[読取]／(📷/◀)→[認識]

読取結果画面が表示されます。
読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

読み取った名刺画像がmicroSDメモリカードに保存されます。
アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大／縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目とトリミングされた画像が入力された電話帳登録画面が表示されます。

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペで漢字や英単語の読みかたや意味を調べる

漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。また、読み取った文字を辞書で検索することもできます。

- ラクラク瞬漢／瞬英ルーペで表示される読みかたや意味は「明鏡国語辞典MX」©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009「ジーニアス英和辞典MX」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009をもとに表示しています。

1 モニター画面で「ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ」に切り替える

2 漢字や英単語をルーペ枠内に表示

読取結果と読みかたや意味が吹き出しで表示されます。
読みかたや意味は2個まで表示されます。3個以上ある場合は が表示されます。
読取結果は保存できません。

3 [選択]

4

検索	読取結果からウェブサイトの情報を検索します。
辞書	読み取った文字を辞書で検索して、検索結果が表示されます。

テキストリーダーで文字を読み取る

紙などに印刷されている文字列を読み取って、メモ帳に登録します。最大256文字まで読み取ることができます。

1 モニター画面で「テキストリーダー」に切り替える

2 文字列をディスプレイに表示→[撮影]／

3 読み取る行を[ ]／[ ]で選択→[読取]

枠で囲まれた行が読み取られ、読取結果(モード種別)画面が表示されます。

4 [決定]

読取結果画面が表示されます。

5 [メモ帳登録]

読取モードによっては、読み取った文字列をタップすると、文字列の種類に応じてアプリケーションが起動します。

6 [登録]

「文字コード」を選択すると文字コードを変更できます。

■読取モードを切り替える

読み取る文字列の種類に応じてモードを切り替えることができます。

1 読取結果(モード種別)画面→[≡]→[単語]／[URL]／[メールアドレス]／[電話番号]

読み取った文字列を、選択した種類の情報として取り込みます。

memo

◎一部の文字列は読取結果表示の際に除去される場合があります。

お店情報リーダーで情報を読み取る

雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 モニター画面で「お店情報リーダー」に切り替える

2 情報をディスプレイに表示→[読取]／(📷/🔉)→[認識]

読取結果画面が表示されます。
読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

読み取った画像がmicroSDメモリカードに保存されます。
アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大／縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目とトリミングされた画像が入力された電話帳登録画面が表示されます。

読取カメラのメニューを利用する

■ モニター画面の場合

1 モニター画面→[≡]

2

明るさ調整	明るさを設定します。	
モバイルライト	モバイルライトの点灯／消灯を切り替えます。	
フォーカス設定	標準AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
読取データ確認	「読取データ登録」(▶下記)で登録した読取結果を確認できます。	
ヘルプ	ヘルプを表示します。	

■ 読取結果画面の場合

1 読取結果画面→[≡]

2

読取データ登録	読取結果を登録します。 • 読取データは、最大10件まで登録できます。 • 登録したデータは「読取データ確認」(▶上記)で確認できます。
続き読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の続きに追加します。
追加読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の下に改行して追加します。
辞書検索	読み取った文字列を辞書で検索できます。
編集	文字列を編集します。
全コピー	読取結果をコピーします。
メモ帳登録	読取結果をメモ帳に登録します。

撮る家計簿Photoマネーを利用する

レシートをカメラで撮影すると、日付、品目、金額などを自動的に読み取り、家計簿に登録することができます。

1 メインメニューで[撮る家計簿 Photoマネー]

家計簿画面が表示されます。

① **レシート撮影**
レシートを撮影します。

② **今月の収支/お財布/クレジットカード表示エリア**
左右にフリックすると、表示を切り替えることができます。

③ **今月の費目グラフ**

④ **お気に入り登録エリア**
特定の商品の品目や金額などをお気に入りに登録しておくと、アイコンを選択して家計簿に登録できるようになります。

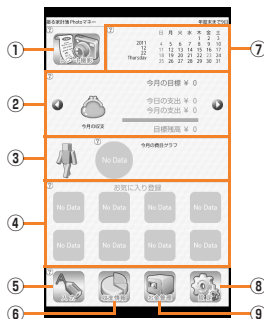
《家計簿画面》

⑤ **入力**
レシートの各項目を手動で入力することができます。

⑥ **収支情報**
収支情報をグラフなどで確認することができます。

⑦ **カレンダーエリア**
タップすると、カレンダーが表示されます。

⑧ **設定**
背景色、月初め、年初めの設定やバックアップなどができます。

⑨ **お金管理**
月ごとの予算や残高、使用する口座、給料日などを設定することができます。

2 [レシート撮影]

レシートモニター画面が表示されます。

3 レシートをディスプレイに表示→[読取り]

読取結果画面が表示されます。
読み取った項目を選択して編集することもできます。

4 [決定]→[OK]

家計簿に登録されます。

memo

◎ レシートをディスプレイに表示するときは、補助線と項目を平行に表示してください。
◎ レシートによっては、正しく読み取れない場合があります。
◎ 読み取り結果が間違っている場合は、再撮影するか、読取結果画面で内容を直接編集してください。

ハンドミラーとして使用する

インカメラを使ってディスプレイに自分を写し、ハンドミラーのように使用することができます。

1 メインメニューで[ハンドミラー]

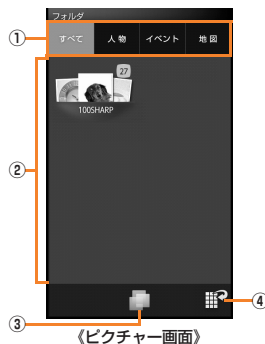
ピクチャーを利用する

画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 メインメニューで[ピクチャー]

ピクチャー画面が表示されます。

① カテゴリ区分
② フォルダ／カテゴリ一覧
③ TapFlow起動
TapFlow UI(▶P.46)を表示します。
④ 表示切替
カテゴリ区分が「すべて」の場合にフォルダ一覧表示とサムネイル表示を切り替えます。
サムネイル表示の場合は、画像／動画をサムネイル表示します。

《ピクチャー画面》

2 カテゴリ区分を選択

■ カテゴリ区分が「すべて」の場合

3 フォルダを選択

フォルダ内の画像／動画をサムネイル表示します。

4 画像／動画を選択

画像／動画が表示されます。

■ カテゴリ区分が「人物」／「イベント」／「地図」の場合

3 カテゴリを選択

各カテゴリの画像／動画をサムネイル表示します。

4 画像／動画を選択

画像／動画が表示されます。

memo

◎画像／動画がサムネイル表示されている場合、「 」をタップするとスライドショーで再生できます。

■ 画像表示画面の操作

画像をタップ: アイコンを表示／非表示

■ ファイル表示時のご注意

ファイルが表示されない場合は、ピクチャーのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。microSDメモリカードをセットしたIS05とパソコンをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）で接続して、microSDメモリカード内の「¥PRIVATE¥SHARP¥PM」の「DATABASE」フォルダを削除してからご使用ください。

※データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認のうえ、操作してください。

データを振り分ける

人物ごとに振り分ける

画像や動画を人物ごとに分類して整理できます。

1 ピクチャー画面→[人物]

2 [新規作成]→カテゴリにするデータを選択

3 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動→[決定]

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大／縮小できます。

4 [人物名を入力する]→人物名を入力→[OK]

「電話帳から名前を設定する」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先の名前を選択して設定できます。

5 分類するデータをロングタッチ→登録するカテゴリにドラッグして、指を離す

6 [人物登録を終了する]

イベントごとに振り分ける

画像や動画をイベントごとに分類して整理できます。

1 ピクチャー画面→[イベント]

2 [≡]→[イベント新規作成]→カテゴリにするデータを選択

3 [イベント名を入力する]→イベント名を入力→[OK]

「日付を入力する」をタップすると、日付をイベント名として設定できます。

4 分類するデータをロングタッチ→登録するカテゴリにドラッグして、指を離す

5 [イベント登録の設定を終了する]

場所ごとに振り分ける

画像や動画を場所ごとに分類して整理できます。
位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 ピクチャー画面→[地図]

2 [≡]→[場所未設定一覧]

位置情報の付加されていないデータの一覧が表示されます。

3 [≡]→[場所設定]

地図が表示されます。

4 分類するデータをロングタッチ→登録する位置にドラッグして、指を離す→[OK]

地図上にタグが追加されます。
設定済みのタグの吹き出しにドラッグすると同じ場所に振り分けることができます。

5 [場所の設定を終了する]

ピクチャーのメニューを利用する

1 ピクチャー画面／1件表示画面→[≡]

2

スライドショー	スライドショーで再生します。

スライドショー設定	表示間隔設定	スライドショーの画像切替時間の間隔を設定します。
	表示効果設定	スライドショーの画像切替時の動作を設定します。
	フォトブロック設定	フォトブロックのブロックの大きさやカラーを設定します。
	リピート設定	スライドショー表示を繰り返すかどうかを設定します。
	シャッフル設定	スライドショーをランダムで表示するかどうかを設定します。
検索	フォルダ検索	検索条件を選択して画像／動画を検索します。 • 検出シーン検索では、「シーン設定」(▶P.136)を「シーン自動検出」に設定して撮影した際に、検出されたシーンで検索します。 • 撮影シーン検索では、「シーン設定」(▶P.136)で設定したシーンで検索します。 • 一度検索を実行すると、検索条件の一番上に前回の検索条件が★付きで表示されるようになります。選択すると前回の検索条件で画像／動画を検索します。
	人物検索	
	イベント検索	
	日付検索	
	検出シーン検索	
	撮影シーン検索	
	撮影カメラ検索	
	場所検索	
サムネイル表示	サムネイル表示の方法を設定します。	
人物振り分け	人物ごとに振り分けることができます。 • 振り分け方法は、「人物ごとに振り分ける」(▶P.146)をご参照ください。	
人物名変更	登録済みの人物名を変更できます。 **人物名を入力→[OK]**	
顔写真変更	登録済みの人物の画像を変更できます。 **画像を選択→[決定]**	

イベント新規作成	▶「イベントごとに振り分ける」(▶P.147)	
イベント振り分け	イベントごとに振り分けることができます。 • 振り分け方法は、「イベントごとに振り分ける」(▶P.147)をご参照ください。	
イベント名変更	登録済みのイベント名を変更できます。 **イベント名を入力→[OK]**	
場所未設定一覧	▶P.147「場所ごとに振り分ける」	
場所設定		
画像編集※	顔かくし	画像に写っている顔をプライバシー保護加工します。
	プチエステ	画像に写っている顔を加工します。
	落書き	画像にフリーハンドで描画できます。
	スタンプ	画像スタンプを貼り付けます。
	日付スタンプ	日付スタンプを付加します。
	ショットメモ	ホワイトボードなどを斜めから撮影した画像を、正面から撮影したように補正します。
	文字スタンプ	文字をスタンプ入力します。
	画像補正	色合いを補正します。
	画像エフェクト	特殊効果を適用します。 • 「フレーム」を選択すると、コンテンツマネージャーからフレームを選択できます。 **フレームを選択**：画像をタップ
	回転	画像を回転します。
	リサイズ	画像をリサイズします。
写真を送る 動画を送る	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。	
画像を登録	選択したデータを壁紙や電話帳に登録します。	
並べ替え	データの表示位置を変更します。	

カメラ起動	▶P.138「フォトを撮影する」		
ビデオカメラ起動	▶P.140「ムービーを録画する」		
プロパティ	データのプロパティを表示します。		
選択削除	▶P.59「データを削除する」		
削除			
ネットワーク画像の同期	アカウント設定	アカウント設定	同期するアカウントを設定します。
		Picasa画像表示	Picasaにアップロードしている画像を表示するかどうかを設定します。 • 画像のサムネイルにが表示されます。
		mixi画像表示	mixiにアップロードしている画像を表示するかどうかを設定します。 • 画像のサムネイルにが表示されます。
	Picasa画像を同期	Picasaにアップロードしている画像と同期します。	
	mixi画像を同期	mixiにアップロードしている画像と同期します。	
過去のデータから再作成	以前使用していたau電話などのピクチャーのデータベースを再作成して、IS05で利用できるようにします。		
メモリ使用状況	▶P.236「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」		
使用履歴リセット	TapFlow UI(▶P.46)をお買い上げ時の状態に戻します。		

※ 画像サイズによっては、選択できない項目があります。

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。

ギャラリーを利用する

ギャラリーではmicroSDメモリカードに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

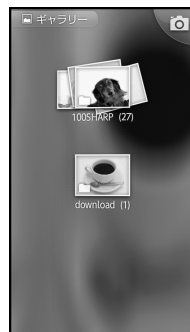
ギャラリーを起動する

1 メインメニューで[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

「」をタップするとカメラが起動します。

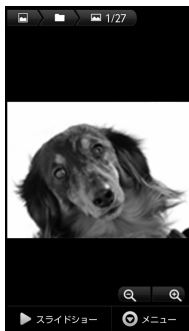
《アルバム選択画面》

マルチメディア

2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。
「[icon]」をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。
「[icon]」をタップすると、画像の日付表示／サムネイル表示を切り替えることができます。
「[icon]」を左右にスライドすると、サムネイルがスライドします。

《サムネイル表示画面》

3 表示する画像／動画を選択

画像を選択した場合は、画像1件表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生／表示されます。
再生／表示するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーション選択画面が表示されます。アプリケーションを選択するとデータが再生／表示されます。
「[icon]」をタップすると、サムネイル表示画面に戻ります。

《画像1件表示画面》

■画像1件表示画面の操作

画像を左右にスライド：左右に移動（半分以上スライドすると前の画像／次の画像に切り替え）
画像をダブルタップ、ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小
（「[icon]」／「[icon]」をタップしても操作できます。）
画像を上下にスライド：上下に移動（画像を拡大しているとき）
画像をタップ：アイコン、「スライドショー」「メニュー」を表示／非表示

memo

◎撮影したデータがギャラリーに表示されない場合は、ギャラリーを再起動してください。

撮影データを自動再生する

撮影データをスライドショーで再生することができます。

1 画像1件表示画面→[スライドショー]

選択した画像から順に、アルバム内の画像のスライドショーが再生されます。
再生中に画面をタップすると、スライドショーが停止します。

memo

◎スライドショー再生中、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム選択画面のメニューを利用する

1 アルバム選択画面でアルバムをロングタッチ

複数のアルバムを選択できます。追加するアルバムをタップしてください。選択しているアルバムをタップすると、選択が解除されます。
「全件選択」をタップするとすべてのアルバムを選択します。「全件解除」をタップすると選択しているアルバムをすべて解除します。

2

共有	データをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードしたりできます。		
削除	選択したアルバムを削除します。		
その他	詳細情報	選択したアルバムにある画像／動画の詳細情報を表示します。	
	スライドショー設定	表示間隔設定	スライドショーの画像切替時の間隔を選択できます。
		表示効果設定	スライドショーの画像切替時の動作を選択できます。
		リピート設定	スライドショー表示を繰り返すかどうかを設定します。
		シャッフル設定	スライドショーをランダムで表示するかどうかを設定します。

※選択しているアルバムによって表示される項目は異なります。

サムネイル表示画面のメニューを利用する

1 サムネイル表示画面で画像／動画をロングタッチ

複数の画像／動画を選択できます。追加する画像／動画をタップしてください。選択している画像／動画をタップすると、選択が解除されます。
「全件選択」をタップするとすべての画像／動画を選択します。「全件解除」をタップすると選択している画像／動画をすべて解除します。

2

共有	データをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したり、mixiなどにアップロードしたりできます。		
削除	選択した画像／動画を削除します。		
その他	詳細情報	選択した画像／動画の詳細情報を表示します。	
	地図に表示	付加されている位置情報を地図上に表示します。	
	登録	選択した画像を電話帳や壁紙に登録します。	
	トリミング	選択した画像をトリミングします。	
	左に回転	画像を左に回転します。	
	右に回転	画像を右に回転します。	
	画像編集	顔かくし	画像に写っている顔をプライバシー保護加工します。
		プチエステ	画像に写っている顔を加工します。
		落書き	画像にフリーハンドで描画できます。
		スタンプ	画像スタンプを貼り付けます。
		日付スタンプ	日付スタンプを付加します。
		ショットメモ	ホワイトボードなどを斜めから撮影した画像を、正面から撮影したように補正します。
		文字スタンプ	文字をスタンプ入力します。
		画像補正	色合いを補正します。
		画像エフェクト	特殊効果を適用します。 • 「フレーム」を選択すると、コンテンツマネージャーからフレームを選択できます。 **フレームを選択**：画像をタップ
		回転	画像を回転します。
		リサイズ	画像をリサイズします。

その他	ファイルサイズ変換	表示中の画像のファイルサイズを変更できます。
	GPS編集	GPS情報を表示中の画像に付加します。付加の方法を選択できます。
	スライドショー設定	スライドショーを設定します。 ▶P.151「アルバム選択画面のメニューを利用する」

※選択しているデータによって表示される項目は異なります。

画像1件表示画面のメニューを利用する

1 **画像1件表示画面→[≡]**

2

共有		データをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したり、mixiなどにアップロードしたりできます。
削除		表示中の画像/動画を削除します。
その他	詳細情報	表示中の画像/動画の詳細情報を表示します。
	地図に表示	付加されている位置情報を地図上に表示します。
	登録	表示中の画像を電話帳や壁紙に登録します。
	トリミング	表示中の画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	画像編集	表示中の画像を編集します。 ▶P.151「サムネイル表示画面のメニューを利用する」
	ファイルサイズ変換	表示中の画像のファイルサイズを変更できます。
	GPS編集	GPS情報を表示中の画像に付加します。付加の方法を選択できます。
	スライドショー設定	スライドショーを設定します。 ▶P.151「アルバム選択画面のメニューを利用する」

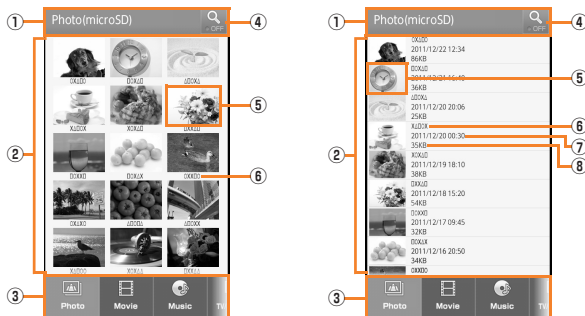
※選択しているデータによって表示される項目は異なります。

コンテンツマネージャーを利用する

コンテンツマネージャーは、microSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生/表示、確認、管理を行うことができます。

コンテンツマネージャーを起動する

1 **メインメニューで[コンテンツマネージャー]**

コンテンツ表示画面が表示されます。

《コンテンツ表示画面(グリッド表示)》　《コンテンツ表示画面(リスト表示)》

① **タイトルエリア**
選択中のカテゴリ名や、保存場所を表示します。

② **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。グリッド表示とリスト表示を切り替えることもできます。

③ **カテゴリ**
タップすると、選択したカテゴリのデータをコンテンツ表示エリアに表示します。左右にスライドすることで、隠れているカテゴリを表示することができます。
▶下記「カテゴリで探す」

④ **検索アイコン**
データの検索条件を設定します。
▶右記「検索条件で探す」

⑤ **サムネイル**
データのサムネイルを表示します。サムネイルが表示できない場合はデータ種別のアイコンを表示します。

⑥ **ファイル名**
タイトル情報を持つデータの場合は、タイトル名を表示します。テレビ番組の録画データの場合は番組名を表示します。

⑦ **更新日時**

⑧ **ファイルサイズ**

データを検索する

カテゴリキーと検索条件を指定して検索します。

■カテゴリで探す

カテゴリキーでデータを分類･表示できます。

カテゴリ	表示データ
Photo	内蔵のカメラで撮影したフォト、デコレーション絵文字、その他の画像を表示します。
Movie	内蔵のビデオカメラで録画したデータ、その他の動画を表示します。
Music	内蔵のボイスレコーダーで録音したボイスデータ、音楽、効果音（サウンド）を表示します。
TV／SD-Video	ワンセグ録画データやレコーダー連携のデータなどの録画データを表示します。
Doc.	Officeのデータおよびテキストデータを表示します。
Others	上記以外のデータを表示します。

memo

◎他のアプリケーションからコンテンツマネージャーを起動したときに表示できるカテゴリは、起動元のアプリケーションにより異なります。
◎検索条件を変更すると、新しい条件でデータを並べ替えます。
◎コンテンツマネージャーでデータの検索中などに音声着信やアラームなど他のアプリケーションが起動した場合、コンテンツマネージャーでの動作を中断します。他のアプリケーションを終了すると、再開します。
◎コンテンツマネージャーで表示されるデータの中には、IS05で表示や再生ができないものもあります。

■検索条件で探す

カテゴリを選択してから「🔍」をタップすると、次の検索条件で目的のデータを検索します。

検索条件	検索内容
絞り込み表示しない	カテゴリ内のすべてのデータを表示します。
タイトルで絞り込む	タイトル名／アーティスト名などで検索する場合に利用します。検索文字列は、文字入力欄をタップして、全角／半角50文字まで入力できます。 • 検索文字列に「絵文字」「デコレーション絵文字」「改行」は入力できません。
最近1週間のファイル	最近1週間以内に作成されたデータを表示します。
保存時期で絞り込む	検索する範囲を開始年月日と終了年月日で指定できます。 **開始年月日／終了年月日を指定→［設定］**
デジタルカメラ画像	拡張子が「.jpg」「.jpeg」でExif形式のデータ

検索条件	検索内容
D絵文字	拡張子が「.jpg」「.jpeg」「.gif」で画像サイズが20×20(縦×横)のデータ

※選択できる検索条件は、カテゴリにより異なります。

グリッド表示とリスト表示を切り替える

1 コンテンツ表示画面→[≡]→[グリッド/リスト切り替え]

◎グリッド表示(サムネイル表示)とリスト表示の切り替えは、カテゴリごとに設定できます。

データを再生/表示する

1 コンテンツ表示画面でデータを選択

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生/表示されます。

再生/表示するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択すると「アプリケーションを選択」画面が表示されます。アプリケーションを選択するとデータが再生/表示されます。

■再生するアプリケーションを変更するには

1 コンテンツ表示画面でデータをロングタッチ→[再生プレーヤー変更]→アプリケーションを選択→[OK]

コンテンツ表示画面→[≡]→[再生プレーヤー一覧表示]と操作すると、ファイル形式と関連付けされているアプリケーションの種類を表示します。

◎ が表示されているデータは、再生できません。

◎データの再生/表示中に利用できる機能は、再生/表示するアプリケーションにより異なります。

コンテンツ表示画面のメニューを利用する

コンテンツマネージャー上で、データの送信やアップロード、編集や削除などさまざまな操作ができます。

■オプションメニューの場合

1 コンテンツ表示画面→[≡]

2

選択削除	データを削除します。 **データを選択→[決定]→[はい]** •「全件チェック」/「全件解除」をタップすると、全件選択/解除することができます。	
再生プレーヤー一覧表示	▶左記「データを再生/表示する」	
グリッド/リスト切り替え	▶左記「グリッド表示とリスト表示を切り替える」	
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。	
スライドショー	▶P.147「ピクチャーのメニューを利用する」	
その他	microSDと端末容量	microSDメモリカードの容量の確認や、データのバックアップなどを行います。 ▶P.236「microSD メモリカードと端末容量の設定をする」
	アプリケーション設定	▶P.156「コンテンツマネージャーを設定する」
	スライドショー設定	▶P.147「ピクチャーのメニューを利用する」

マルチメディア

memo

◎選択しているカテゴリやデータの種類によっては、操作できない場合があります。

■コンテキストメニューの場合

1 コンテンツ表示画面でデータをロングタッチ

2

メールへ添付	選択したデータを添付してメール作成します。
共有	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。
画像編集	▶P.147「ピクチャーのメニューを利用する」
削除	選択したデータを削除します。
登録	▶右記「データを他のアプリケーションに登録する」
再生プレーヤー変更	▶P.154「データを再生／表示する」
再生	選択したデータを再生します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

memo

◎選択しているカテゴリやデータの種類によっては、操作できない場合があります。

データを他のアプリケーションに登録する

コンテンツマネージャーからフォトデータやミュージックデータを着信画像や着信音に登録できます。

■フォトを登録する場合

1 コンテンツ表示画面でフォトデータをロングタッチ

2 [登録]

3

通話中背景画像	選択したフォトを通話中背景画像に設定します。
メール送信中画像	選択したフォトをメール送信中画像に設定します。
メール受信中画像	選択したフォトをメール受信中画像に設定します。

■ミュージックを登録する場合

1 コンテンツ表示画面でミュージックデータをロングタッチ

2 [登録]

3

音声着信音	選択したミュージックを音声着信音に設定します。
メール受信音	選択したミュージックをメール受信音に設定します。
通知音	選択したミュージックを通知音に設定します。

memo

◎著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

コンテンツマネージャーを設定する

あらかじめコンテンツ表示画面での検索条件の有効範囲などを設定することができます。

1 コンテンツ表示画面→[≡]→[アプリケーション設定]

2

検索条件設定	検索条件の対象範囲設定	各検索条件での検索対象範囲を設定します。
	ソートの対象範囲設定	
	検索条件の保存設定	検索条件を保存するかどうかを設定します。
設定を初期値に戻す	設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	
情報更新	microSDメモリカードの情報を更新します。	

LISMOを利用する

LISMOのメニューから、LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの楽曲を再生して楽しむことができます。

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDの曲などを転送することができます。
LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

1 メインメニューで[LISMO]

LISMOメニューが表示されます。
初回起動時には、許可画面で内容をご確認のうえ「閉じる」をタップしてください。
サービス利用確認設定画面で「はい」または「いいえ」を選択した後にアプリが起動します。

※楽曲情報を持っていない曲がある場合、LISMOメニューを起動したときに楽曲情報を取得します。楽曲情報取得機能にはGracenote音楽認識サービスを利用しています。

《LISMOメニュー》

2

LISMO Player	▶P.157「LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの楽曲を再生する」
うたとも®	▶P.160「「うたとも®」を利用する」
検索&音楽情報	▶P.160「検索&音楽情報を利用する」

◎通信できない環境·設定においては楽曲情報取得機能は利用できません。また、曲によっては楽曲情報取得ができないものもあります。
◎LISMO起動時にコンテンツ登録中の画面が表示され、起動までに時間がかかる場合があります。

LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの楽曲を再生する

microSDメモリカード内に保存されている曲を再生します。

1 LISMOメニュー→[LISMO Player]

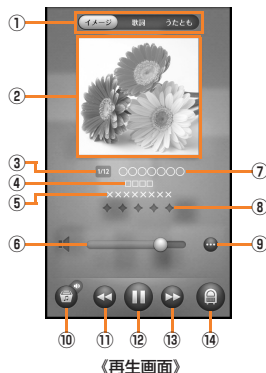
2

コレクション	▶P.158「コレクションを再生する」
アーティスト	アーティスト名ごとに表示します。 アーティスト名を選択すると選択したアーティストのアルバム／曲のみを一覧表示します。
アルバム	アルバムごとに表示します。 アルバムを選択すると選択したアルバム内の曲を一覧画面で表示します。
全曲	保存されている曲をすべて表示します。

3 再生したい曲を選択

再生画面が表示され、曲が再生されます。

《再生画面》

① **画像切替キー**
タップ／ドラッグして表示する画像の種類を切り替えます。
② **画像表示エリア**
③ **現在の曲番号／再生対象曲数**
④ **アーティスト名**
⑤ **アルバム名**
⑥ **音量バー**
スライドして音量を調整できます。
⑦ **曲名**
⑧ **レート**
スライドすると、曲に対して0～5までのレート(評価)を設定できます。
⑨ **操作パネル表示キー**
タップすると操作パネルを表示します。シークバーをスライドして再生位置を移動できます。また、「」をタップしてリピート再生／ランダム再生を設定できます。
⑩ **表示切替キー**
再生画面と一覧画面を切り替えます。
⑪ **巻き戻しキー**
曲の先頭に戻ります。ダブルタップすると前の曲へスキップ、ロングタッチで巻き戻します。
⑫ **再生／一時停止キー**
再生を開始／一時停止します。
⑬ **早送りキー**
次の曲へスキップ、ロングタッチで早送りします。

⑭ **ジュークボックス**
曲をジュークボックスにドラッグして、指を離すと再生を開始します。

memo

◎耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

LISMOメニュー／一覧画面／再生画面のメニューを利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 **LISMOメニュー／一覧画面／再生画面→[≡]**

2

設定	音質設定	音質を設定します。
	FMトランスミッター設定	▶P.161「FMトランスミッターで音声を出力する」
	再生フォーマット設定	再生するフォーマットを設定します。
	プレイヤー情報	LISMOのバージョン情報を表示します。
	サービス利用確認設定	音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを設定します。
	ヘルプ	LISMOの使いかたを説明したサイトに接続します。利用する場合はパケット通信料がかかります。
	利用規約	利用規約を表示します。
	プレイヤー初期化	LISMOの各種設定を初期化します。
背景の変更	背景画像を設定できます。	
検索	検索ボックスを表示します。キーワードを入力するとキーワードに一致する曲のみ一覧で表示されます。	
サイトリンク	曲内にリンク情報が含まれている場合にサイトを表示します。	
コレクションに登録	再生中の曲をコレクションに登録します。	
詳細情報	再生中の曲の詳細情報を表示します。	

※画面によって表示される項目は異なります。

■ **コンテキストメニューの場合**

1 **一覧画面でアルバム／アーティスト／曲をロングタッチ**

2

コレクションに登録	選択した曲をコレクションに登録します。
サイトリンク	選択した曲内にリンク情報が含まれている場合にサイトを表示します。
詳細情報	選択した曲の詳細情報を表示します。

※画面によって表示される項目は異なります。

コレクションを再生する

1 **LISMOメニュー**
→[LISMO Player]
→[コレクション]

コレクション画面が表示されます。
作成したコレクションも表示されます。

《コレクション画面》

2

最近追加した曲	最近追加した曲を20曲まで最近追加した順に一覧画面で表示します。
最近聴いた曲	最近聴いた曲を20曲まで最近聴いた順に一覧画面で表示します。
トップ20	再生回数の多い曲を20曲まで多い順に一覧画面で表示します。
トップレート	再生中にランク付けした5つ星ランクの曲を集めて一覧画面で表示します。
新規コレクション	オリジナルのコレクションを作成します。

3 再生したい曲を選択

ジュークボックスで再生する／コレクションとして保存する

「コレクション」「アーティスト」「アルバム」「全曲」に登録されている楽曲からお好みの楽曲を選択して、ジュークボックスで再生できます。また、選択した楽曲をコレクションとして保存できます。

1 一覧画面→曲の[ ]を「ジュークボックスに追加」にドラッグして、指を離す

のアイコンが変わり、再生を開始します。
アーティストまたはアルバムの「 」を「ジュークボックスに追加」にドラッグして、指を離すと、含まれる全曲を追加できます。

■ ジュークボックスを空にする場合

2 ジュークボックスのアイコンをロングタッチ

コレクション画面が表示されます。
曲を一時停止してから操作してください。

3 にドラッグして、指を離す

■ ジュークボックスの楽曲をコレクションとして保存する場合

2 ジュークボックスのアイコンをロングタッチ

コレクション画面が表示されます。

3 保存する位置にドラッグして、指を離す

memo

◎保存したコレクションをロングタッチして にドラッグすると一覧画面から曲を追加できます。
◎コレクションをロングタッチして にドラッグして、指を離すと削除することができます。

コレクションを編集する

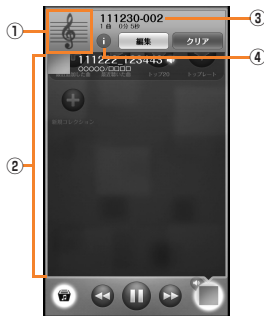
の位置にあるコレクションは編集することができます。保存したコレクションを編集する場合は、コレクション画面でコレクションをロングタッチして、 にドラッグしてから操作してください。

1 の位置にあるコレクションをタップ

登録曲一覧画面が表示されます。

① コレクションアイコン
② 登録曲表示エリア
コレクションに登録されている曲の一覧を表示します。
③ コレクション名
④ 情報アイコン
タップすると作成日、作成者、コメントを表示できます。

《登録曲一覧画面》

マルチメディア

■ コレクションアイコンを変更する場合

2 [編集]→コレクションアイコンをタップ

3 アイコンの形と色をそれぞれ選択→[OK]

4 [完了]

■ コレクション名、作成日、作成者、コメントを編集する場合

2 [編集]→編集したい項目を選択→項目を編集

作成日、作成者、コメントを選択した場合は、詳細編集画面が表示されます。項目を選択して編集後、「OK」をタップしてください。

3 [完了]

■ 登録した曲を並べ替える場合

2 [編集]→並べ替える曲の「⠿」を移動させたい位置にドラッグして、指を離す

3 [完了]

■ 登録した曲を解除する場合

2 [編集]→解除する曲の「⊖」をタップ

曲を一時停止してから操作してください。

3 [完了]

■ コレクション内の曲をすべて解除する場合

2 [クリア]→[はい]

曲を一時停止してから操作してください。

「うたとも®」を利用する

新しい音楽や仲間との出会いが広がる音楽コミュニティです。
レビューの公開やユーザー同士のコミュニケーションも楽しめます。

1 LISMOメニュー→[うたとも®]

別途アプリケーションのダウンロードが必要です。

検索&音楽情報を利用する

最新の楽曲の詳細情報やアーティストのインタビューを閲覧したり、目的の楽曲の検索、試聴や購入をしたりできます。

1 LISMOメニュー→[検索&音楽情報]

BGM再生するには

LISMOで再生中に「⌂」をタップしてデスクトップ／メインメニューに戻り、別の機能を起動しても、LISMOを終了せずに曲の音声をBGMとして出力することができます（BGM再生）。

◎BGM再生中に操作する機能によっては、音が途切れる場合やBGM再生が一時停止される場合があります。

FMトランスミッターを利用する

LISMOなどの音声をFM電波で送信し、FMチューナーを搭載しているカーステレオなどで聴くことができます。

FMトランスミッターをご利用になる前に

- FMトランスミッターは、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、受信側の機器や周囲の状況により、ノイズや音の途切れ、ひずみなどが発生する場合があります。
- IS05と受信側の機器との間に障害物がある場合や、IS05に金属類を近付けた場合などもノイズや音の途切れ･ひずみなどの原因となりますのでご注意ください。
- FMトランスミッターを利用する際は、テレビアンテナを伸ばしてご利用ください。
- ノイズや音の途切れ･ひずみなどが発生する場合は、IS05を受信側の機器のアンテナに向けるようにするなど、IS05の向きを変えて良好に聴こえる方向を探してください。
- FMトランスミッターは海外モード、および電源を入れてから一度も国内の圏内になっていない(電波OFFモード含む)状態では、使用できません。

FMトランスミッターで音声を出力する

1 各機能のメニューでFMトランスミッターで音声出力する操作を選択

FMトランスミッター設定画面が表示されます。

2

FMトランスミッター	FMトランスミッターで出力するかどうかを設定します。
周波数設定	FMトランスミッターの出力周波数を設定します。

3 受信側の機器で周波数を合わせる

memo

◎音量の調整は、IS05側と受信機側のどちらでも行えます。
◎FM放送局の電波干渉を避けるため、FM放送局の周波数とは異なる周波数に設定してください。
◎FMトランスミッターで出力中は、電池の消費が早くなります。
◎FMトランスミッター出力中は、IS05のスピーカーから各プレイヤーの音声は出力されません。ただし、その他の音声(音声着信など)はFMトランスミッター出力を一時中断／終了し、IS05のスピーカーから出力されます。
◎マナーモードを設定しても音量は変更されません。
◎Bluetooth®の「登録機器一覧」で、ワイヤレス出力機器を選択したときは、FMトランスミッターは一時停止され、音声はBluetooth®機器から聞こえるようになります。
◎ハンズフリー機器と接続中は、FMトランスミッターを利用できない場合があります。

ワンセグ

ワンセグでできること

■テレビ(ワンセグ)を見る

日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■データ放送を見る

テレビ(ワンセグ)では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

■テレビ番組を録画・再生する

視聴中のテレビ番組を録画できます。また、時間と放送局などを指定して予約録画することができます。録画データは、録画番組一覧画面(▶P.172)またはコンテンツマネージャー(▶P.152)で、microSDメモリカードから検索して再生できます。

ワンセグをご利用になる前に

■テレビ(ワンセグ)利用時のご注意

- テレビ(ワンセグ)の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ(ワンセグ)は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送、BSアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、IS05が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

■電池残量による動作

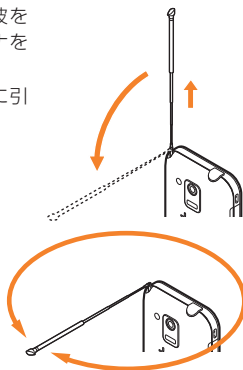
- ワンセグ起動中に電池残量が ▯(残量約10%)以下になると、自動的にワンセグが終了します。テレビ番組を録画中の場合は、それまでに録画した内容を保存し、ワンセグが終了します。

■連続視聴可能時間について

テレビ(ワンセグ)	イヤホン	サウンド設定 OFF時：約6時間
	スピーカー	サウンド設定 OFF時：約5時間50分

※AVポジション「標準」・明るさ「10」・シーン別明るさコントロール「OFF」・なめらかフレーム補間「ON」・字幕表示「OFF」を使用して計測した時間です。データ放送の操作などにより連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

テレビ(ワンセグ)を視聴する際は、電波を十分に受信できるようにテレビアンテナを伸ばしてご利用ください。
テレビアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、テレビアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビ(ワンセグ)を見ることができます。

1 メインメニューで[ワンセグ]→[はい]

エリア選択画面が表示されます。

2 エリアを選択

3 都道府県を選択

4 地域を選択

放送局の検索が開始されます。

5 [OK]

ワンセグメニュー画面が表示されます。

ワンセグメニューを利用する

1 メインメニューで[ワンセグ]

ワンセグメニュー画面が表示されます。

《ワンセグメニュー画面》

2		
	ワンセグテレビ	▶下記「テレビ(ワンセグ)を見る」 ▶P.171「テレビ番組を録画する」
	ワンセグ録画再生	▶P.172「録画したテレビ番組を再生する」
	テレビリンク	▶P.169「テレビリンクを利用する」
	番組表	▶P.170「番組表を利用する」
	録画／視聴予約	▶P.170「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
	設定	▶P.174「ワンセグの設定をする」

テレビ(ワンセグ)を見る

1 ワンセグメニュー画面→[ワンセグテレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

① **番組情報**
② **映像**
③ **操作キー**
④ **字幕**
⑤ **データ放送**
⑥ **ワンセグ操作パネル／データ放送操作パネル**
⑦ **電波強度**
⑧ **データ放送ロック表示**
データ放送で、データ放送ロックコンテンツを表示していることを示します。
⑨ **SSL表示**
データ放送で、高度なセキュリティで保護されているページを表示していることを示します。
⑩ **複数サービス表示**
受信中のチャンネル内に別のサービス(番組)が放送されている場合に表示されます。

《ワンセグ視聴画面》

⑪ **音声言語**

ワンセグ視聴画面の操作

映像を左右にスライド／フリック：チャンネルの切り替え
映像をタップ※1：番組情報、操作キー、操作パネルを表示／非表示
映像をダブルタップ※2：画面サイズの切り替え
映像をロングタッチ：チャンネル一覧を表示
番組情報をタップ：番組名を表示

※1 縦表示時は、操作パネルは非表示になりません。
※2 縦表示時に操作できます。

■ 操作キー※

CH◀／CH▶：チャンネルの切り替え
CH◀／CH▶をロングタッチ：チャンネル検索

※ 縦表示時に表示されます。

■ ワンセグ操作パネル

CH◀※1／CH▶※1：チャンネルの切り替え
CH◀※1／CH▶※1をロングタッチ：チャンネル検索
●／■：録画を開始／停止
▦※1：番組表を表示
CH：チャンネル一覧を表示
d※2：データ放送操作パネルを表示

※1 横表示時に表示されます。
※2 縦表示時に表示されます。

■ データ放送操作パネル※

△／▽：カーソル移動
✓：項目の選択
←：前ページに戻る
TV：ワンセグ操作パネルを表示

※ 縦表示時に表示されます。

ワンセグ

■ チャンネル一覧

放送局名を選択：選択した放送局に切り替え

放送局をロングタッチ→[チャンネル上書き登録]→[はい]：選択したリモコン番号に視聴中の放送局を設定

放送局をロングタッチ→[チャンネル削除]→[はい]：選択したリモコン番号から放送局の設定を削除

未設定のリモコン番号をロングタッチ：選択したリモコン番号に視聴中の放送局を設定

memo

◎ ワンセグを起動したりチャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

ワンセグ視聴画面のメニューを利用する

1 **ワンセグ視聴画面→[≡]**

2

番組操作	番組表	番組表を表示します。 ▶P.170「番組表を利用する」	
	番組情報	番組情報を確認できます。 • 番組を選択すると番組情報詳細を表示します。 • 番組をロングタッチ→[録画予約]／[視聴予約]と操作すると、テレビ番組の録画予約／視聴予約ができます。 • [≡]→[予約リスト]と操作すると、録画／視聴予約の内容を確認できます。 • [≡]→[microSD残量]と操作すると、microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。	
録画操作	録画／視聴予約	▶P.170「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」	
	録画開始／録画停止	録画を開始／停止します。 ▶P.171「テレビ番組を録画する」	
テレビ終了	テレビ（ワンセグ）を終了します。		
Bluetooth オーディオ接続／Bluetooth オーディオ切断	Bluetooth®機器と接続／切断します。 ▶P.251「Bluetooth®機能を利用する」		
字幕／音声設定	字幕表示	字幕の表示方法を設定します。	
	字幕位置	字幕の表示位置を設定します。	
	字幕言語	字幕の言語を設定します。	
	音声切替	音声の出力種別を設定します。	
	音声言語	音声の言語を設定します。	
その他	チャンネル設定	エリア切替	▶P.174「エリアを設定する」
		チャンネル切替	チャンネルを切り替えます。
		チャンネル保存	視聴中のチャンネルを任意のリモコン番号に登録できます。
		サービス選局	受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。
	AV設定	▶P.168「画面サイズや映像・サウンドを設定する」	
	データ放送設定	データ放送全画面表示	データ放送を全画面で表示します。
		データ放送トップに戻る	データ放送のトップページに戻ります。

その他	データ放送設定	通信接続時確認設定	▶P.174「ワンセグの設定をする」
		位置情報利用設定	
		製造番号利用設定	
		放送局メモリ削除	
	テレビリンク	▶P.169「テレビリンクを利用する」	

memo

◎選択できる項目は画面や番組により異なります。

画面サイズや映像・サウンドを設定する

1 ワンセグ視聴画面→[≡]→[その他]→[AV設定]

2

AVポジション	映像・音質を設定します。	
映像設定※	明るさ	画面の明るさを設定します。 • ゲージをスライドして明るさを調整します。 • 「自動」に設定すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
	シーン別明るさコントロール	映像(シーン)に応じて画面の明るさを自動的に調整するかどうかを設定します。
	コントラスト	コントラストを設定します。 • ゲージをスライドしてコントラストを調整します。
	黒レベル	画面の見やすい明るさを設定します。 • ゲージをスライドして黒レベルを調整します。
	色の濃さ	色の鮮やかさを設定します。 • ゲージをスライドして色の濃さを調整します。
	色あい	肌色の見栄えを設定します。 • ゲージをスライドして色あいを調整します。
	シャープネス	輪郭の強弱を設定します。 • ゲージをスライドしてシャープネスを調整します。
	リセット	映像設定をお買い上げ時の状態に戻します。
サウンド設定※	音質を設定します。	
画面サイズ設定	画面サイズを設定します。	
なめらかフレーム補間	▶P.174「ワンセグの設定をする」	

※「AVポジション」を「ジャンル連動」に設定している場合は選択できません。

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。

BGM再生する

ワンセグ起動中に「⌂」をタップして別の機能を起動すると、テレビ(ワンセグ)の音声をBGMとして聴くことができます。BGM再生中は、ステータスバーに ▣ が表示されたままとなります。
ステータスバーをタップし、「通知を消去」を選択すると ▣ は消えますが、BGM再生は継続します。

memo

◎BGM再生中に操作する機能によっては、音が途切れる場合や、BGM再生が一時停止する場合、ワンセグが終了する場合があります。
◎ワンセグ起動中はカメラを使用できません。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

■データ放送のメニューを利用する

1 データ放送をロングタッチ

2

データ放送全画面表示／テレビ画面表示	データ放送の表示方法を切り替えます。
データ放送トップに戻る	データ放送のトップページを表示します。

memo

◎データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクをIS05に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 ワンセグ視聴画面で登録するテレビリンクを選択

テレビリンクを表示する

1 ワンセグメニュー画面→[テレビリンク]

テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

■リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合

3 [はい]

登録されたサイトに接続します。

memo

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

テレビリンクリスト画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面→[≡]

2

全件削除	▶P.59「データを削除する」

■コンテキストメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面→テレビリンクをロングタッチ

2

削除	▶P.59「データを削除する」
プロパティ	選択したテレビリンクのプロパティを表示します。

番組表を利用する

Gガイド番組表を利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 ワンセグメニュー画面→[番組表]

番組表画面が表示されます。
番組表を初めて起動したときは、視聴する地域を設定する画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

3

ワンセグ起動	選択した番組のチャンネルでワンセグ視聴画面が表示されます。 ▶P.166「テレビ（ワンセグ）を見る」
ワンセグ視聴予約 ワンセグ録画予約	選択した番組の視聴／録画を予約できます。 ▶右記「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」

番組表のメニューを利用する

1 番組表画面／番組詳細画面→[≡]

2

日付変更	番組表を表示する日付を変更します。
エリア設定	番組表を表示する地域を設定します。
検索	設定した地域の番組表から番組を検索します。
予約一覧	録画／視聴予約画面が表示されます。 ▶右記「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
ヘルプ	番組表のヘルプが掲載されているサイトへ接続します。

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグメニュー画面→[録画／視聴予約]

録画／視聴予約画面が表示されます。

《録画／視聴予約画面》

2 [≡]→[新規予約]→[手動で設定]→[視聴予約]／[録画予約]

3

予約種別	予約種別を設定します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
開始日時	開始時刻を設定します。
終了日時	終了時刻を設定します。
番組名	番組名を登録します。
リピート	予約の繰り返しを設定します。

4 [保存]

設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認できます。

memo

◎録画／視聴予約が1件も登録されていないときは、録画／視聴予約画面で「新規予約追加」を選択しても、録画／視聴予約を登録できます。

■設定した時刻になると

■視聴予約の場合

設定した時刻の1分前※になるとワンセグが自動的に起動し、予約した番組を視聴できます。

※通知時間は、録画／視聴予約画面→[≡]→[予約お知らせ設定]→[アラーム通知時間]で変更可能です。

■録画予約の場合

設定した時刻の1分前※になるとステータスバーにお知らせが表示されます。設定した時刻になると録画を開始します。

※通知時間は、録画／視聴予約画面→[≡]→[予約お知らせ設定]→[アラーム通知時間]で変更可能です。

録画／視聴予約画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 録画／視聴予約画面→[≡]

2

新規予約	番組表から	番組表を表示します。 ▶P.170「番組表を利用する」
	手動で設定	▶P.170「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
予約お知らせ設定	▶P.174「ワンセグの設定をする」	
microSD残量	microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。	
予約結果	予約結果確認画面が表示され、すでに終了した予約内容を確認できます。 • 予約結果を選択すると予約結果詳細を表示します。 • 予約結果をロングタッチ→[削除]／[再生]で予約結果の削除や録画したファイルの再生ができます。	

■コンテキストメニューの場合

1 録画／視聴予約画面→予約をロングタッチ

2

編集	選択した予約内容を編集します。
削除	選択した予約を削除します。

memo

◎終了日時になると、ワンセグは自動的に終了します。

◎録画に関するその他の注意事項については、「テレビ番組を録画する」(▶下記)の「memo」をご参照ください。

テレビ番組を録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送をmicroSDメモリカードに録画します。

1 ワンセグ視聴画面→[ ]

画面左上に「●」が表示され、録画が開始されます。

2 [ ]

録画が停止します。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。

◎電池残量が十分であることをご確認のうえ、録画してください。

◎microSDメモリカードの空き容量が少ない場合、録画終了に時間がかかる場合があります。

◎録画保存できる最大ファイルサイズは約2GB、連続録画可能時間は約10時間です。
録画予約は23時間59分まで可能ですが、ファイルサイズが約2GBもしくは連続録画時間が約10時間になると録画は停止します。
なお、電波状態の変化によって録画と一時停止が繰り返された結果、録画開始日時から約10時間が経過しても録画が継続される場合があります。このとき、ファイルサイズが約2GBに満たない状態であっても、録画開始日時の約24時間後には録画が停止します。

◎保存できる件数は、ブルーレイディスクレコーダーから転送されたデータとあわせて99件までです。

◎録画中に、他の機能からmicroSDメモリカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。
◎録画中は、チャンネルの切り替えはできません。
◎録画中に別の機能を利用したり、ワンセグを終了したりしても録画は継続されます（バックグラウンド録画）。
◎ワンセグのバックグラウンド録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
◎IS05で保存された動画は、他の機器で再生できない場合や、ファイル名などの情報が異なって表示される場合があります。
◎ダビング10に対応していません。

コピー制御について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、次のコピー制御信号が含まれています。

■コピー制御信号の種類

「コピー可能」「ダビング10」「1回だけコピー可能」の番組	録画できます。
「コピー禁止」の番組	録画はできません。視聴のみ可能です。

◎録画中にコピー制御信号が変更される場合があります。「コピー禁止」の番組に変更された場合は、それまでに録画したデータを保存して、録画を中止します。

録画したテレビ番組を再生する

1 ワンセグメニュー画面
→［ワンセグ録画再生］

録画番組一覧画面が表示されます。

《録画番組一覧画面》

2 番組を選択

ワンセグ録画再生画面が表示され、再生が開始されます。

① **番組情報**
② **映像**
③ **操作キー**
④ **字幕**
⑤ **データ放送**
⑥ **シークバー**
スライドして再生位置を移動できます。
⑦ **ワンセグ録画再生画面操作パネル／データ放送操作パネル**
⑧ **現在の再生時間**
⑨ **総再生時間**

《ワンセグ録画再生画面》

⑩ **データ放送ロック表示**
データ放送で、データ放送ロックコンテンツを表示していることを示します。

⑪ **音声言語**

⑫ **SSL表示**
データ放送で、高度なセキュリティで保護されているページを表示していることを示します。

ワンセグ録画再生画面の操作

映像をタップ※1：番組情報、操作キー、操作パネルを表示／非表示
映像をダブルタップ※2：画面サイズの切り替え

※1 縦表示時は、操作パネルは非表示になりません。
※2 縦表示時に操作できます。

■ 操作キー

※1※2／※1※2：巻き戻し／早送り
※2※3／※2※3：コマ戻し／コマ送り
※4／※4：前後にスキップ

※1 タップするたびに、X2(約2倍)、X10(約10倍)、X30(約30倍)、X120(約120倍)に巻き戻し／早送りの速度が速くなります。
※2 縦表示時に表示されます。
※3 一時停止時に表示されます。
※4 横表示時に表示されます。

■ ワンセグ録画再生操作パネル

：一時停止
：停止
※1：データ放送操作パネルを表示
※2※3／※2※3：巻き戻し／早送り
：再生
※3※4／※3※4：コマ戻し／コマ送り

※1 縦表示時に表示されます。
※2 タップするたびに、X2(約2倍)、X10(約10倍)、X30(約30倍)、X120(約120倍)に巻き戻し／早送りの速度が速くなります。
※3 横表示時に表示されます。
※4 一時停止時に表示されます。

■ データ放送操作パネル※

／：カーソル移動
：項目の選択
：前ページに戻る
：ワンセグ録画再生操作パネルを表示

※ 縦表示時に表示されます。

ワンセグ録画再生画面のメニューを利用する

1 ワンセグ録画再生画面→[≡]

2

再生操作	再生停止	ワンセグを終了します。
	先頭から再生	録画ファイルの先頭から再生します。
	スキップ（進む）	約30秒先の映像から再生します。
	スキップ（戻る）	約15秒前の映像から再生します。
Bluetoothオーディオ接続／Bluetoothオーディオ切断	Bluetooth®機器と接続／切断します。 ▶P.251「Bluetooth®機能を利用する」	
字幕／音声設定	▶P.167「ワンセグ視聴画面のメニューを利用する」	
AV設定	▶P.168「画面サイズや映像・サウンドを設定する」	
データ放送設定	▶P.174「ワンセグの設定をする」	
その他	再生モード	再生方法を切り替えます。
	プロパティ	再生中の録画ファイルのプロパティを表示します。

録画番組一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 録画番組の一覧画面→[≡]

ワンセグ

2

再生モード	再生方法を切り替えます。
microSD残量	microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。
削除	▶P.59「データを削除する」
全件削除	

■ コンテキストメニューの場合

1 **録画番組の一覧画面で録画番組をロングタッチ**

2

ファイル名変更	録画ファイル名を変更します。
プロパティ	選択した録画ファイルのプロパティを表示します。
削除	録画ファイルを削除します。

ワンセグの設定をする

1 **ワンセグメニュー画面→[設定]**

2

予約お知らせ設定	アラーム音	予約時間お知らせ時にアラーム音でお知らせするかどうかを設定します。
	バイブ	予約時間お知らせ時にバイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	アラーム通知時間	予約時間お知らせ時にアラームを起動するタイミングを設定します。
データ放送設定	通信接続時確認設定	通信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
	位置情報利用設定	位置情報を利用するかどうかを設定します。
	製造番号利用設定	製造番号を利用するかどうかを設定します。
	放送局メモリ削除	放送局からの情報やデータ放送で登録した情報などを削除します。▶P.59「データを削除する」
縦画面サイズ設定	縦画面のサイズを設定します。	
オートオフ時間設定	オートオフの時間を設定します。	
なめらかフレーム補間	なめらかフレーム補間を利用するかどうかを設定します。	

エリアを設定する

お使いの地域(放送エリア)によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

1 **ワンセグ視聴画面→[≡]→[その他]→[チャンネル設定]→[エリア切替]**

2 **エリアを選択**

エリアが設定されます。

■エリア切替画面のメニューを利用する

1 **エリア切替画面でエリアをロングタッチ**

2

表示	選択したエリアの詳細情報を表示します。
エリア情報設定	選択したエリアの設定を行います。 **エリアを選択→都道府県を選択→地域を選択→[OK]**
チャンネル更新	放送局を再検索します。
エリア名変更	選択したエリアの名前を変更します。
設定リセット	選択したエリアを削除します。

memo

◎地上デジタルテレビ放送のサービスが開始されたばかりの地域では、うまく設定されない場合があります。

アプリケーション

Googleマップを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、現在地の確認や目的地までの経路の検索ができます。また、航空写真や渋滞状況（データ提供エリアのみ）を地図に重ねて表示できます。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」（▶下記）／「GPS機能を使用」（▶右記）を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面→[≡]→[その他]→[ヘルプ]と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 メインメニューで[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。
現在地を素早く検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」を選択してください。「設定」を選択すると、各機能の設定画面が表示されます。

位置情報を有効にする

Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ位置情報を利用できるように設定する必要があります。

■無線ネットワークを使用するには

Wi-Fiまたはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得できます。

1 メインメニューで[設定]→[位置情報とセキュリティ]→[無線ネットワークを使用]→[同意する]

■GPS機能を使用するには

より高精度な位置情報を取得することができます。

1 メインメニューで[設定]→[位置情報とセキュリティ]→[GPS機能を使用]→[同意する]

memo

◎電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
◎電波が良好な場所でご利用ください。

Google Latitudeを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、友人と位置を確認できます。また、友人の位置までの移動経路を検索できます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.37）をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Latitudeに参加する

1 メインメニューで[Latitude]

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。
以降、Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、[≡]→[Latitude]と操作するとLatitude画面を表示することができます。

友人を招待する

Latitudeに参加したときに位置情報を共有する友人を招待します。自分が招待した友人、または自分を招待した友人とだけ、位置情報を共有することができます。

1 Latitude画面→[≡]→[友だちを追加]

■ 連絡先から選択して追加する場合

2 [連絡先から選択]→連絡先を選択→[はい]

■ メールアドレスを入力して追加する場合

2 [メールアドレスから追加]→メールアドレスを入力→[送信]→[はい]

招待に応じる

友人からLatitudeで現在地を共有する招待を受けたときは、共有方法を設定できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の位置情報は共有せず、友人の位置情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報を共有しません。
拒否	招待を辞退し、以降リクエスト通知が拒否されます。

チェックインをする

現在地周辺の店舗やビルなどを指定してチェックインすることで、具体的な現在地を表示することができます。

1 Latitude画面→自分の情報を選択

詳細情報画面が表示されます。

2 [チェックイン]→チェックインする場所を選択

選択した場所が表示されたチェックイン画面が表示されます。
チェックインの共有設定や選択した場所に自動的にチェックインするかどうかなどを設定できます。

3 [チェックイン]

チェックアウトをする

1 詳細情報画面でチェックイン情報を選択

詳細情報画面が表示されます。

2 [チェックイン済み]→[チェックアウトする]

memo

◎ 自動的にチェックインするように設定すると、その場所に行くだけで自動的にチェックインできます。

友人の位置情報を確認する

1 Latitude画面→友人の情報を選択

友人の詳細情報画面が表示されます。

2 [≡]→[地図を表示]

友人の現在地を地図上で確認できます。

- 地図上での友人の位置情報は、おおよその位置に友人の名前と写真アイコンで示されます。

memo

◎友人の詳細情報画面では、次の項目が表示／設定できます。
- 選択した友人の位置までの移動経路の検索
- 位置のストリートビューの表示
- チェックイン情報の表示／チェックインのリクエスト
- リアルタイム更新の設定
- 選択した友人との共有設定
- 選択した友人の削除

Google Latitudeを設定する

1 Latitude画面→[≡]→[設定]

2

現在地を検出	自分の位置情報を自動検出するように設定します。
現在地を設定	自分の位置情報を地図上の任意の場所に指定するように設定します。
現在地を更新しない	自分の位置情報を表示しないように設定します。
ロケーション履歴を有効にする	検出した位置情報を保存するかどうかを設定します。
自動チェックインを有効にする	自動的にチェックインするかどうかを設定します。
チェックイン通知を有効にする	チェックインできる候補を自動的に通知するかどうかを設定します。
場所の管理	自動チェックインや非通知設定の場所を確認／変更します。
Latitudeからログアウト	Latitudeを終了して、Googleマップ画面を表示します。

Googleトークを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleトーク」を利用して、メンバーに追加した相手の方とチャットをすることができます。
- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 メインメニューで[トーク]

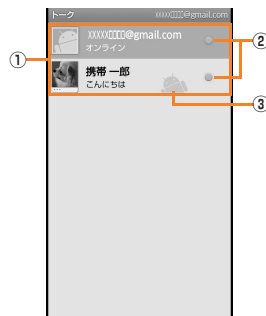
トーク画面が表示されます。

① **ステータス**
画像や名前、ステータスメッセージなどが表示されます。相手の方の画像をタップすると、登録内容によってアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、対応したアプリケーションが起動します。

② **ステータスアイコン**

③ **モバイルインジケーター**
Android搭載端末からログインしている場合に表示されます。

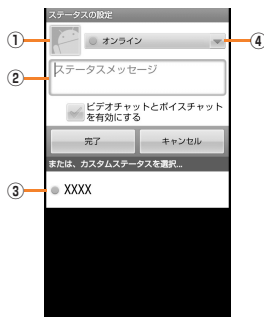
《トーク画面》

memo

◎バックグラウンドデータ(▶P.235)を有効にする確認画面が表示された場合は、「有効にする」を選択してアカウントと同期の設定画面を表示し、「バックグラウンドデータ」を有効にして「↩」をタップします。

ステータスを編集する

1 トーク画面で自分のステータスをタップ

ステータスの設定画面が表示されます。

① 画像
② ステータスメッセージ欄
③ カスタムステータス
④ ステータス欄

《ステータスの設定画面》

2 項目を選択して編集

画像	削除	自分の画像を削除します。
	変更	自分の画像に表示するデータを選択して登録します。
ステータスメッセージ欄	カスタムメッセージを作成できます。 **メッセージを入力→[完了]**	
ビデオチャットとボイスチャットを有効にする	ビデオチャットとボイスチャットを有効にするかどうかを設定します。 • 有効にすると、ステータスアイコンが「 」に変わります。	
ステータス欄	ステータスを変更できます。	

memo

◎以前登録したステータスに戻す場合は、表示されているカスタムステータスをタップします。

■ステータスの設定画面のメニューを利用する

1 ステータスの設定画面→[≡]

カスタムメッセージを削除	カスタムメッセージをすべて削除します。
ログアウト	Googleトークを終了します。

チャットをする

1 トーク画面でチャットするメンバーを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力→[送信]

■チャット画面のメニューを利用する

1 チャット画面→[≡]

2

オフレコにする／オフレコをやめる	チャット内容の非公開／公開を設定します。
チャット相手の切替	2人以上とチャットをしているとき、会話する相手の方を切り替えます。
友だちリスト	トーク画面を表示します。
グループチャット	チャットにメンバーを追加します。
チャット終了	チャットを終了します。

その他	ボイスチャット	相手の方をボイスチャットに招待します。
	チャットの履歴を消去	チャットの履歴を消去します。
	絵文字を挿入	絵文字を挿入します。
	連絡先を表示	電話帳を表示します。
	ヘルプ	Googleトークのヘルプが掲載されているサイトへ接続します。

memo

◎相手の方をビデオチャットに招待するには、チャット画面で「 」をタップします。

友だちを管理する

■新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 **トーク画面→[≡]→[友だちを追加]**

2 **追加するメンバーのGoogleアカウントを入力→[招待状を送信]**

■招待状を表示・承認する

招待状を受信すると、ステータスバーにお知らせアイコンが表示され、トーク画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 **トーク画面で招待状のメッセージを選択**

2 **[承諾]/[キャンセル]/[ブロック]**

「ブロック」を選択すると、招待状を送信した相手の方をブロックします。

■メンバーをブロックする

1 **トーク画面でメンバーをロングタッチ→[ユーザーをブロック]**

memo

◎ブロックを解除するには、トーク画面→[≡]→[その他]→[ブロック中]→メンバーを選択→[OK]と操作します。

Googleトークの設定を変更する

1 **トーク画面→[≡]→[設定]**

2

自動ログイン	IS05の電源を入れたとき、Googleトークに自動でログインするかどうかを設定します。
モバイルインジケーター	相手の方にAndroid搭載端末で送信していることを通知するかどうかを設定します。
不在への自動切り替え	画面が消灯している場合、ステータスを不在にするかどうかを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴が表示されている場合、検索履歴を消去します。
招待通知	招待状受信時に、ステータスバーにお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
通知	テキストチャット受信時の動作を設定します。
着信音	テキストチャット受信時の音を設定します。
バイブレーション	テキストチャット受信時のバイブレータの動作を設定します。
通知	ビデオチャット/ボイスチャットへの招待受信時の動作を設定します。
着信音	ビデオチャット/ボイスチャットへの招待受信時の音を設定します。
バイブレーション	ビデオチャット/ボイスチャットへの招待受信時のバイブレータの動作を設定します。
利用規約とプライバシー	Google利用規約を表示します。

Google トークを終了する

1 トーク画面→[≡]→[ログアウト]

Googleプレイスを利用する

Googleが提供する「Googleプレイス」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランやATMなどのジャンルから選び検索することができます。またキーワードを入力して検索することもできます。

- Googleプレイスを利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」(▶P.176)/「GPS機能を使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ジャンルから周辺の施設を検索する

1 メインメニューで[プレイス]

検索画面が表示されます。

2 ジャンルを選択

検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

memo

◎ 検索結果一覧画面→[≡]→[地図を表示]と操作すると検索結果一覧を地図で表示します。
◎ 検索画面で「 」をタップすると、現在地を表示します。

キーワードから検索する

1 検索画面→[場所を検索]

2 キーワードを入力→[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

検索するジャンルを追加する

1 検索画面→[追加]

2 ジャンル名を入力→[追加]

検索画面にジャンルが追加されます。

Googleナビを利用する

Googleが提供する「Googleマップ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲーションします。

- Googleナビを利用するには、あらかじめ「GPS機能を使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ルートを検索する

1 メインメニューで[ナビ]

利用確認画面が表示されます。

2 [同意する]

ナビ画面が表示されます。

■ 音声で検索する場合

3 [目的地を音声入力]→送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

■ 入力して検索する場合

3 [目的地を入力]→キーワードを入力→[ ]

■ 電話帳に登録されている住所から検索する場合

3 [連絡先]→目的地を選択

■ スター付きの場所から検索する場合

3 [スター付きの場所]→目的地を選択

◎ 利用確認画面で、「このメッセージを再表示する」を選択していなければ、次回から利用確認画面は表示されません。
◎ 目的地の検索時に候補が表示された場合は、該当する目的地を選択してください。
◎ スター付きの場所は、GoogleマップやGoogleプレイスで場所や施設の情報表示時にスターアイコンをタップすると、スター付きの場所として登録できます。Googleマップと同期され、Googleマップ上に表示されるようになります。

YouTubeを利用する

Google が提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の検索や視聴などができます。また、撮影した動画をアップロードすることもできます。

1 メインメニューで[YouTube]

YouTube画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。

2 再生する動画を選択

◎ ムービーをアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
◎ アップロード中は、ステータスバーにお知らせアイコンが表示され、お知らせ／ステータスパネルでアップロードの進捗状況を確認できます。

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 メインメニューで[ダウンロード]

ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。

2 データを選択

mixiSHを利用する

mixiSHを利用して、マイミクシィのボイスや日記、フォトの更新情報を確認できます。また、ボイスの発言や日記の投稿をすることもできます。

- mixiSHを利用するには、あらかじめmixiの登録が必要になります。mixiの登録や利用方法などの詳細については、mixiのホームページをご参照ください。
  http://mixi.jp/

◎ コンテンツマネージャー(▶P. 152)などから、フォトやムービーをmixiのアルバムにアップロードすることもできます。

1 メインメニューで[mixiSH]

mixiホームページが表示されます。以前にログイン済みの場合は、mixiSH画面が表示されます。

2 ログインメールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]→[同意する]

■ mixiSH画面について

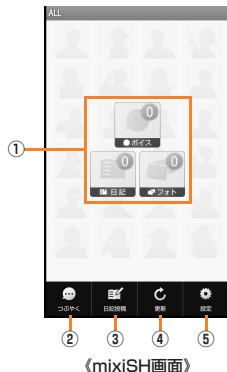
① **ボイス／日記／フォト**
各機能の画面を表示します。

② **つぶやく**
ボイスを投稿することができます。

③ **日記投稿**
日記の書き込みや画像のアップロードができます。

④ **更新**
ボイス、日記、フォトなどを更新します。

⑤ **設定**
設定メニューを表示します。

《mixiSH画面》

Twitterを利用する

Twitterを利用して、「つぶやき（ツイート）」の投稿や他人のツイートの閲覧ができます。また、特定の人をフォローすることもできます。

- Twitterを利用するには、あらかじめTwitterのアカウントを作成しておく必要があります。アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Twitterのホームページをご参照ください。
  http://twitter.com/

1 メインメニューで[Twitter]

以前にログイン済みの場合は、Twitterメニュー画面が表示されます。

2 ユーザー名／メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

jibeを利用する

jibeを利用して、複数のSNS、ブログ、ニュース、グルメ情報などをまとめて1つの画面で管理／表示できます。IS05の電話帳とjibeソーシャル電話帳に登録している友人やレストランなどをまとめて管理でき、友人の複数のSNSへの投稿コメントを時系列やカテゴリごとに閲覧できます。
また、複数のSNSやブログにまとめて投稿したりすることもできます。

- jibeを利用するには、au one-IDもしくはメールアドレスが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」（▶P.240）をご参照ください。

1 メインメニューで[jibe]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されますので、[同意する]→[同意する]と操作してください。

■ au one-IDを利用する場合

2 [au one-IDでログイン]

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

パスワードを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

4 [今は保存しない]／[保存]／[保存しない]

ご利用時の注意画面が表示されます。

5 [同意する]

■ au one-ID以外のメールアドレスを利用する場合

2 [新規登録はこちら]

3 各項目を入力

4 [新規登録]

Skype™ | auを利用する

Skype™を利用して、通話することができます。インスタントメッセージでチャットを行うこともできます。

- 利用方法などの詳細については、Skype ™ のホームページや、コンタクト画面→[≡]→[その他]→[ヘルプ]と操作してSkype ™のヘルプをご参照ください。

1 メインメニューで[Skype™]

初回起動時にはSkype™についての説明画面が表示されますので、[同意する]→[続行]と操作してください。

2 Skype™のアカウントを入力

Skype™のアカウントをすでにお持ちの場合は、Skype名とパスワードを入力して「サインイン」を選択します。

Skype™のアカウントをお持ちではない場合は「アカウントの作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

「自動的にサインイン」を有効にすると次回からSkype™のアカウントの登録画面が表示されなくなります。

初回登録時には、利用規約が表示されますので「承諾」を選択してください。

ムードメッセージの登録やSkype™の電話に含まれる連絡先を表示するかどうかの確認画面が表示された場合は画面に従って操作してください。

コンタクト画面が表示されます。

《コンタクト画面》

① **自分のログオン状態**

② **「コンタクト」タブ**

Skype™通話やインスタントメッセージをする相手の方を登録／表示します。

③ **ログイン状態アイコン**

- ：オンライン
- ：オフライン
- ：一時退席中
- ：取り込み中
- ：コンタクトリクエストの承認待ち
- ：相手をブロック
- ：一般電話の電話番号

④ **「イベント」タブ**

コンタクトリスト追加リクエストの受信やインスタントメッセージの新着受信時に相手の方を表示します。

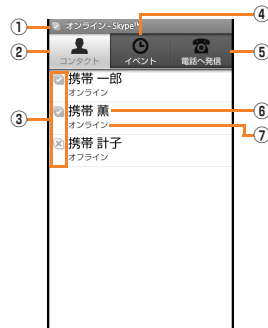
新規イベントを受信すると、「 」が表示されます。

⑤ **「電話へ発信」タブ**

電話番号に電話をかけます。

⑥ **相手の方の表示名**

⑦ **ログイン状態**

memo

◎ 新規イベントを受信すると、ステータスバーに が表示されます。

◎ 海外の一般電話に発信する場合は、別途Skype™クレジットが必要となります。

◎ 国内の一般電話に発信する場合は、通常のau電話として発信／課金されます。

アプリケーション

コンタクトリストを追加する

1 **コンタクト画面→[≡]→[コンタクトを追加]→[Skypeディレクトリを検索]**

2 **コンタクトリストに追加する相手の方のSkype名／氏名／メールアドレスなどを入力→[ ]**

3 **検索結果から追加する相手の方を選択**

4 **相手の方に送るメッセージを入力→[追加]**

相手の方にコンタクトリスト追加のリクエストが送信されます。相手の方に承認されるとコンタクト画面で相手の方がオンラインに切り替わります。

■コンタクトリスト追加のリクエストを受け取った場合

1 **コンタクト画面→[イベント]→相手の方を選択**

2 **[承認]／[拒否]**

コンタクトリストを利用する

1 **コンタクト画面→相手の方を選択**

2

発信	選択した相手の方に電話をかけます。
IMを送信	選択した相手の方とのインスタントメッセージ画面を表示します。相手の方に送信する場合は、入力欄にメッセージを入力し、「送信」をタップします。
プロフィールを表示する	選択した相手の方のプロフィールを表示します。

memo

◎ 国内の一般電話に発信する場合、注意画面が表示されます。「続ける」を選択してください。「次からは表示しない」を有効にすると、次回から表示されません。

◎ 通話中の操作については、「通話中画面のメニューを利用する」(▶P.73)をご参照ください。

◎ 着信時は、通常の音声着信と同様の操作で電話を受けることができます。詳しくは、「電話を受ける」(▶P.74)をご参照ください。

インスタントメッセージを確認する

1 **コンタクト画面→[イベント]→相手の方を選択**

インスタントメッセージ画面が表示され、送られてきたメッセージを表示します。

Skype™を設定する

1 **コンタクト画面→[≡]→[その他]→[設定]**

2

通知	新規イベントがある場合に通知音やバイブレータで通知するかどうかを設定します。
自動的に開始	IS05の電源を入れると自動的にSkype™を起動するかどうかを設定します。
電話帳の連絡先を表示	電話帳の連絡先を表示するかどうかを設定します。
IMを許可するユーザ	インスタントメッセージの受信を許可するユーザーを設定します。
通話に応答	Skype™通話の着信を許可するユーザーを設定します。
優先利用	国際電話をかける場合にSkype™を優先するかどうかを設定します。
自動アップデート	Skype™の起動時にアップデートを自動確認するかどうかを設定します。

メッセージ画メーカーを利用する

メッセージ画メーカーにあらかじめ登録されている画像やmicroSDメモリカードに保存されている画像を編集してオリジナル画像を作成できます。

- 利用方法などについては、メッセージ画メーカーTOP画面→[使い方]と操作してご参照ください。

1 メインメニューで[メッセージ画メーカー]

メッセージ画メーカーTOP画面が表示されます。
初回起動時には利用規約が表示されますので、「利用規約に同意する」を選択してください。

2 [新しく作る]→画像を選択して編集

3 [≡]→[保存]

ニュースと天気を利用する

1 メインメニューで[ニュースと天気]

ニュースと天気TOP画面が表示されます。
画面上部のタブをタップ、または画面を左右にスライド／フリックすると、表示を切り替えることができます。
天気情報をタップすると、当日の気温、降水確率などを確認できます。また、インターネットに接続して詳細情報を確認することもできます。
ニュースをタップすると、インターネットに接続して詳細情報を閲覧できます。

■ニュースと天気のメニューを利用する

1 ニュースと天気TOP画面→[≡]

2

更新	ニュースと天気を更新します。		
設定	天気予報の設定	現在地情報を使用	位置情報を自動的に特定するかどうかを設定します。
		位置情報の設定	現在地情報を指定して、天気予報が表示される場所を設定します。 **都市名または郵便番号を入力→[ ]** • 日本国内の郵便番号には対応していません。 • 日本国内の都市名はローマ字で入力してください。
		メートル法を使用	メートル法·摂氏温度とヤードポンド法·華氏温度を切り替えます。
	ニュースの設定	ニューストピックの選択	アプリケーションで表示するトピックを設定します。 • [カスタムトピック]→カスタムトピック名を入力→[OK]と操作すると、カスタムトピックを追加できます。 • 「 」をタップするとカスタムトピックを削除できます。 • ニューストピックではカテゴリを選択します。
		記事のプリフェッチ	短時間でアクセスするために記事を事前に読み込むかどうかを設定します。
		画像のプリフェッチ	短時間でアクセスするために画像を事前に読み込むかどうかを設定します。
		ニュース利用規約	利用規約が掲載されているサイトへ接続します。

設定	ニュースの設定	モバイル版プライバシーポリシー	モバイル版プライバシーポリシーが掲載されているサイトへ接続します。
	更新の設定	自動更新	ニュースと天気を自動更新するかどうかを設定します。
		更新間隔	自動更新の間隔を設定します。
		ステータスの更新	前回の更新日時を表示します。
	アプリケーションのバージョン	ニュースと天気のバージョン情報を表示します。	

◎「現在地情報を使用」を利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。
◎電池の消費を節約する場合は、「記事のプリフェッチ」や「画像のプリフェッチ」を無効に設定してください。

au one ニュースEXを利用する

au one ニュースEXでは、ニュース･天気･占いなどの最新情報を確認することができます。

- ご利用いただくには、アプリケーションのダウンロードが必要です。アプリケーションのダウンロードには、パケット通信料がかかります。
- 一部のコンテンツを利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.240)をご参照ください。
- au one ニュースEXのすべてのコンテンツをご利用になるには別途お申し込み(情報料有料)が必要です。

1 メインメニューで[ニュースEX]

初回起動時にはダウンロード確認画面が表示されます。画面の指示に従ってダウンロードを行ってください。

◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

ジョルテを利用する

スケジュールの表示や管理など、カスタマイズできるシステム手帳として利用できます。

- 利用方法などの詳細については、ジョルテ カレンダー画面→[≡]→[設定]→[ジョルテについて]と操作して、ジョルテのホームページやオンラインマニュアルをご参照ください。

1 メインメニューで[ジョルテ カレンダー]

ジョルテ カレンダー画面が表示されます。

◎「ジョルテ カレンダー」を最新版にアップデートする場合は、Androidマーケットから「ジョルテ」をインストールしてください。アップデートすると、アプリケーションの名称は「ジョルテ」に変更されます。

Documents To Goを利用する

Microsoft Word(.doc／.docx)やExcel(.xls／.xlsx)、PowerPoint(.ppt／.pptx)などのドキュメントを表示することができます。

- ドキュメントの編集や新規作成、PDFの表示機能などを利用するには、完全版の購入が必要になります。ここでは、IS05をお買い上げ時に利用できる機能について説明しています。

Documents To Goが対応しているドキュメントの種類とバージョンは次の通りです。

種類		バージョン
Microsoft Word	Windows	Word 2003、2007、2010
	Macintosh	Word 2004、2008
Microsoft Excel	Windows	Excel 2003、2007、2010
	Macintosh	Excel 2004、2008
Microsoft PowerPoint	Windows	PowerPoint 2003、2007、2010
	Macintosh	PowerPoint 2004、2008

◎ファイルの内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部表示が異なる場合があります。
◎フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
◎Documents To Goでファイルの閲覧を行うには、microSDメモリカードが必要です。あらかじめmicroSDメモリカードをセットしてご使用ください。
◎Documents To Goのバージョンを更新すると、仕様が変更されることがあります。バージョン更新の有無については、「更新チェック」(▶P.189)でご確認ください。

■完全版について

ドキュメントの編集や新規作成など、機能によっては、完全版の購入が必要になるものがあります。機能利用時に完全版の購入が必要な場合は、その旨が表示されます。

Documents To Goを起動する

1 メインメニューで[Documents To Go]

Documents To Goを初めて起動したときは、使用許諾や登録操作の画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行うと、Documents To Goのメイン画面が表示されます。

① **操作メニュー**

② **新規ファイル作成キー**

新規ファイル作成メニューを表示します。

③ **設定キー**

設定メニューを表示します。

《Documents To Goのメイン画面》

memo

◎設定メニューでは、以下の操作ができます。

バージョン情報	利用中のバージョンを確認できます。	
登録	利用者情報を登録します。 • 利用者情報の登録が完了していない場合に表示されます。	
更新チェック	バージョンアップの更新の有無を確認できます。	
ご意見をお聞かせください	アプリケーションの作成元に意見や感想などを送信できます。	
詳細オプション	最後の場所を記憶する	「ローカルファイル」を開くときに、最後に開いたフォルダの階層が表示されます。

◎Documents To Goのメイン画面→[アップグレードストア]と操作すると、製品購入サイトで購入できる追加機能を確認できます。

Documents To Goでドキュメントを表示する

1 Documents To Goのメイン画面→[ローカルファイル]

ファイル一覧画面が表示されます。

- ：上の階層を表示
- ：削除／プロパティ表示するファイルを選択
- ：新規ファイル作成メニューを表示
- ：選択したファイルを削除
- ：選択したファイルのプロパティ

2 ファイルを選択

memo

◎ファイル一覧画面で「☆」をタップして「★」にすると、ファイルを「スター付きのファイル」に登録できます。

◎Documents To Goのメイン画面→[最近使ったファイル]と操作すると、最近開いたファイルの一覧が表示されます。

◎Documents To Goのメイン画面→[スター付きのファイル]と操作すると、ファイル一覧画面から登録されたファイルの一覧が表示されます。

■各ドキュメントのメニューを利用する

1 ドキュメント表示中に[≡]

2

ファイル	保存されているファイルを表示／非表示にします。
編集	ファイルの種類によっては編集機能の一部が利用できます。
表示	ドキュメント内の目次やワークシートなどを表示します。

その他	行		行の選択や表示／非表示を設定します。
	列		列の選択や表示／非表示を設定します。
	環境設定		Documents To Goの利用環境を設定します。
	ファイルプロパティ		ファイルのプロパティを表示します。
	ヘルプ	更新チェック	バージョンアップの更新の有無を確認できます。
		登録	利用者情報を登録します。 • 利用者情報の登録が完了していない場合に表示されます。
		バージョン情報	利用中のバージョンを確認できます。

※ ドキュメントの種類によって表示される項目は異なります。

Q&Aを利用する

Q&Aをカテゴリやフリーワードから検索できます。また、検索したQ&Aをお気に入りとして登録することもできます。

1 メインメニューで[Q&A]

カテゴリ別画面が表示されます。
初回起動時には許可画面と利用規約が表示されますので、[許可する]→[同意する]と操作してください。
使いかたを確認するかどうかの確認画面が表示されます。確認する場合は、「はい」を選択してください。

2 確認するQ&Aを検索

memo

◎ Q&A表示中に「おきにいり」を選択すると、表示中のQ&Aをお気に入りとして登録できます。
◎ 下線が付いている単語をタップすると、単語の意味が表示されます。

Androidマーケットを利用する

Googleが提供するAndroidマーケットから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、IS05にダウンロード・インストールして利用できます。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Androidマーケット画面→[≡]→[ヘルプ]と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

1 メインメニューで[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。

memo

◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎ アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。
◎ アプリケーションが不要になった場合、アンインストール(▶P.192)することができます。

アプリケーションを検索する

Androidマーケット画面には、注目のアプリケーション一覧、「アプリケーション」「ゲーム」「au」カテゴリへのリンクが表示されます。
注目のアプリケーションは、縦方向にスクロールしてアプリケーションの一覧を確認できます。「アプリケーション」または「ゲーム」カテゴリを選択した後ジャンルを選択すると、「有料アプリケーション」「無料アプリケーション」「新着」に分類して表示できます。

無料のアプリケーションをインストールする

1 Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選択→[無料]→[OK]

アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

memo

◎インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
◎インストールが完了すると、メインメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

有料のアプリケーションをインストールする

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Googleチェックアウトアカウントを作成する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選択→価格をタップ→[OK]

アプリケーションの初回購入時は、Googleチェックアウト支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

◎アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
◎IS05にはGoogleチェックアウトパスワードが記憶されます。「画面ロック」(▶P.230)を設定し、IS05のセキュリティを確保してください。

■返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはIS05からアンインストールされます。

- 詳細については、Androidマーケット画面→[≡]→[ヘルプ]と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

memo

◎返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード・インストールできます。目的のアプリをカテゴリやキーワード、ランキングから検索できます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.240)をご参照ください。

1 メインメニューで[au one Market]

au one Market画面が表示されます。
初回起動時には利用規約と、ご利用にあたっての注意点が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意]→[OK]と操作してください。

memo

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

アプリケーションの設定をする

アプリケーションの設定を行います。

提供元が不明なアプリケーションを許可する

ブラウザでダウンロードしたアプリケーションなど、提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。

1 メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[提供元不明のアプリ]→[OK]

アプリケーションの優先インストール先を設定する

新しいアプリケーションの優先インストール先を設定します。

1 メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[優先インストール先]

2 インストール先を選択

メール添付を利用するメールソフトを設定する

ファイルを添付してメール送信するときに使用するメールソフトを設定します。

1 メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[ファイル送信メールソフト]

2 [メールソフトを指定]

3 設定するアプリケーションを選択

「メールソフト名」に選択したアプリケーション名が表示されます。

インストール済みのアプリケーションを管理する

インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制停止などができます。

1 メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

アプリケーションの管理画面が表示されます。

2 アプリケーションを選択

選択したアプリケーションの詳細情報が表示されます。

3 実行したい操作を選択

画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ Androidマーケットなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。
◎ アンインストールを実行したアプリケーションを使用したい場合は、もう一度ダウンロードしてインストールする必要があります。

実行中のサービスを表示する

1 メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[実行中のサービス]

実行中のサービス画面が表示されます。

memo

◎ 実行中のサービス画面でサービスを選択→[停止]と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。

アプリケーション開発時の設定をする

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

■USBデバッグモードの設定をする

USB接続時にデバッグモードになるように設定します。

1. **メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[開発]→[USBデバッグ]→[OK]**

■スリープモードの設定をする

充電中やIS05とパソコンをカードリーダーモード／高速転送モードで接続中に、スリープモードにならないように設定します。

1. **メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[開発]→[スリープモードにしない]**

■擬似ロケーションの設定をする

擬似位置情報データの利用を許可する設定をします。

1. **メインメニューで[設定]→[アプリケーション]→[開発]→[擬似ロケーションを許可]**

◎開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

便利な機能

モバイルライトを利用する

1 ロック解除画面で(📷/🔦)(長押し)

モバイルライトが点灯します。約30秒経過すると消灯します。

モバイルライト点灯中に、ロック解除画面で(🔒/⏻)／(◁)／(▷)／(📷/🔦)を押すか、「≡」／「🏠」／「↩」／「🔍」／「🔦」をタップしても消灯します。

■ モバイルライト使用時のご注意

モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

表示中の画面を撮影できます。

1 (🔒/⏻)+[🏠]

シャッター音が鳴り、撮影したデータがmicroSDメモリカードに保存されます。

memo

◎アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。また、運転中に着信音やバイブレータをOFFにできます。

1 メインメニューで[設定]→[サウンド設定]→[マナーモード]

マナーモード設定メニューが表示されます。

2 マナーモードを選択

	各着信音／受信音の音量	各着信／受信時のバイブレータ	各操作音の音量
通常マナー	OFF	ON	OFF
ドライブマナー※	OFF	OFF	OFF
サイレントマナー	OFF	OFF	OFF

※応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」、伝言メモが「ON」に固定されます。

memo

◎自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。

◎(🔒/⏻)(2秒以上長押し)→[マナーモード]と操作するか、ロック解除画面、デスクトップ、メインメニューで(▷)を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。

◎マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、ボイスレコーダーの録音開始／停止音は鳴動します。

◎マナーモード設定中にコンテンツマネージャーのデータを再生したときや、機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態でデータが再生されます。機能によっては、再生中に(◁)／(▷)を押すと音量を調節できます。

伝言メモを利用する

電話に出ることができないとき、留守番電話のように応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音できます。録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。

1 メインメニューで[設定]→[通話設定]→[音声・伝言メモ]

2

伝言メモリスト	▶右記「伝言メモを再生する」
音声メモリスト	▶P.198「音声メモを再生する」
伝言メモ設定	▶下記「伝言メモを設定する」
応答メッセージ設定	伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 • 項目をロングタッチし「再生」を選択すると、メッセージを確認できます。
応答時間設定	着信してから伝言メモで応答するまでの時間を設定します。

memo

◎ マナーモードが「ドライブマナー」に設定されている場合の応答メッセージは、応答メッセージの設定にかかわらず「ドライブ」になります。
◎ 伝言メモと「オートアンサー」(▶P.227)の応答時間を同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。

伝言メモを設定する

1 メインメニューで[設定]→[通話設定]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモ設定]→[ON]

memo

◎ 伝言メモを設定すると、ステータスバーに が表示されます。
伝言メモが録音されると、ステータスバーに 、ステータスバー左に が表示されます。
伝言メモが10件録音されている場合は、ステータスバーに が表示されます。10件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。
◎ 伝言メモは電源がOFFの場合は動作しません。

伝言メモを再生する

1 メインメニューで[設定]→[通話設定]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]

伝言メモリスト画面が表示されます。

2 再生する伝言メモを選択

伝言メモが再生されます。

停止	伝言メモの再生を停止します。
保護／解除	伝言メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の伝言メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で伝言メモを聞くことができます。

memo

伝言メモ再生中の操作について
◎ 伝言メモが複数ある場合、再生中に「 」／「 」をタップすると前／次の伝言メモを再生できます。
録音された伝言メモをデスクトップから再生するには
◎ ステータスバーをタップすると、お知らせ／ステータスパネルが表示されます。未再生の伝言メモを選択すると、伝言メモリスト画面が表示されます。

■伝言メモリスト画面について

① 伝言メモの再生状態を示すアイコン
- ：未再生の伝言メモ（赤色）
- ：再生済みの伝言メモ（緑色）
- ：保護された伝言メモ

② 相手の方の名前／電話番号／非通知着信の理由

③ 伝言メモが録音された日時

《伝言メモリスト画面》

◎電話帳制限が有効の場合、電話帳に登録された名前は表示されず、電話番号が表示されます。

音声メモを利用する

通話中に相手の方の声や自分の声を録音できます。録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると最も古い音声メモから自動的に削除されます。

通話中の声を録音する

1 通話中画面→[音声メモ]

録音を開始します。

2 [停止]

録音を停止します。
音声メモの録音時間は最大約60秒間です。60秒を経過すると自動的に終了します。

◎音声メモが10件保護されている場合は録音できません。

音声メモを再生する

1 メインメニューで[設定]→[通話設定]→[音声・伝言メモ]→[音声メモリスト]

音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する音声メモを選択

音声メモが再生されます。

停止	音声メモの再生を停止します。
保護／解除	音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で音声メモを聞くことができます。

◎音声メモが複数ある場合、再生中に「 」／「 」をタップすると前／次の音声メモを再生できます。

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。IS05をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、利用したいサービスプロバイダのおサイフケータイ®に対応したアプリのダウンロードが必要となる場合があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- IS05本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」（▶P.201）をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」（▶P.201）をされている場合はロックを解除したうえで電源を切ってください。
- おサイフケータイ®対応のアプリは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 「オールリセット」を行うとおサイフケータイ®対応のアプリは削除されますが、FeliCaチップ内のデータは削除されません。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応のアプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータが破棄されます。
- 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応のアプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 電波OFFモード設定中は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 充電中やイヤホンなどのケーブル類を接続した状態で、au ICカードが挿入されていない、一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。

• 海外利用時に、充電中やイヤホンなどのケーブル類を接続した状態では、おサイフケータイ®をご利用いただけません。

おサイフケータイ® のメニューを利用する

1 メインメニューで[おサイフケータイ]

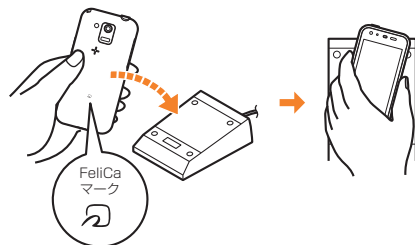
サービス一覧画面が表示されます。
初回起動時にはダウンロード確認画面が表示されます。画面の指示に従ってダウンロードを行ってください。
サービスによっては、各プロバイダに接続して、画面の指示に従って登録および初期設定を行います。初期設定が完了すると、対応したサービスがご利用になれます。

2 [≡]

3

<table>
<tr><td>おサイフケータイロック設定</td><td colspan="2">▶P.201「おサイフケータイ®の機能をロックする」</td></tr>
<tr><td>表示形式切替</td><td colspan="2">表示モードを切り替えます。</td></tr>
<tr><td>サービス一覧更新</td><td colspan="2">サービス一覧画面を最新の状態に更新します。</td></tr>
<tr><td>メモリ使用状況</td><td colspan="2">おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。
最大999ブロックまで保存可能です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サポートメニュー</td><td>バージョン情報</td><td>利用中のバージョンを確認します。</td></tr>
<tr><td>設定リセット</td><td>サービス一覧画面の表示設定をリセットします。
[はい]→[閉じる]
• おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。</td></tr>
</table>

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

• FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
• FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
• FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
• FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、IS05を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
• FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
• LISMOを聴きながらリーダー／ライターにかざすと、スピーカーやイヤホンから雑音が聞こえる場合があります。

memo

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「おサイフケータイ ロック設定」(▶P.201)ご利用中はご利用いただけません。
◎電池パックカバー裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ受信の利用を制限できます。

1 サービス一覧画面→[≡]→[おサイフケータイ ロック設定]→[次へ]→ロックNo.を入力→[OK]→[次へ]

おサイフケータイ®の機能がロックされ、サービス一覧画面は表示されません。

memo

◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
◎「おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに が表示されます。
◎「おサイフケータイ ロック設定」を解除するには、サービス一覧画面から設定時と同様の操作を行うか、お知らせ／ステータスパネルから[おサイフケータイ(ロック中)]→[次へ]→ロックNo.を入力→[OK]→[次へ]と操作します。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。
microSDメモリカードがセットされていない場合、ボイスレコーダーを起動できません。

1 メインメニューで[ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

① **現在の録音時間／最大録音時間**
② **録音／停止**
録音を開始／停止します。
③ **再生**
ボイスデータを再生します。
④ **モード**
録音時間モードを切り替えます。
メール添付モード：メールに添付可能な最大サイズを上限とした時間まで録音ができます。
長時間モード：最大6時間の録音ができます。

《ボイスレコーダー画面》

録音する

1 ボイスレコーダー画面→[ ]

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。
録音中は充電／着信ランプが点滅します。

2 [ ]

録音停止音が鳴り、録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。

memo

◎録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。

再生する

1 ボイスレコーダー画面→[再生]

録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

2 ボイスデータを選択

ボイスプレイヤーで再生されます。

① **シークバー**
スライドして再生位置を移動できます。

② **現在の再生時間／全再生時間**

③ **基本操作**
▶／II：再生／一時停止
◀◀：1秒戻し、ロングタッチで巻き戻し
▶▶：1秒送り、ロングタッチで早送り

④ **録音**
ボイスレコーダー画面に切り替わります。

⑤ **ファイル**
コンテンツマネージャー画面に切り替わります。

《ボイスプレイヤー画面》

■ボイスプレイヤー画面のメニューを利用する

1 ボイスプレイヤー画面→[≡]

メールへ添付	選択したデータを添付してメール作成します。
削除	選択したデータを削除します。
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

memo

◎コンテンツマネージャー画面でボイスデータをロングタッチすると、ボイスプレイヤー以外のアプリでのデータ再生や詳細情報の確認ができます。

メモ帳を利用する

メモ帳を登録する

1 メインメニューで[メモ帳]

メモ帳一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]→メモを入力→[保存]

memo

◎「microSDバックアップ」（▶P.236）を利用して、メモ帳の保存・読み込み・管理を行うことができます。

メモ帳のメニューを利用する

1 メモ帳一覧画面→メモ帳を選択→[≡]

2

赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	メモ帳をvNoteデータとして添付してメールを作成します。
メール本文へ挿入	メモ帳の内容をメールの本文に挿入してメールを作成します。
全件削除※	一覧表示中のメモ帳を全件削除します。 **[はい]→ロックNo.を入力→[OK]**
メモ検索※	キーワードを入力してメモ帳を検索します。 • 全角／半角50文字まで入力できます。

.txtに変換	メモ帳の内容をテキストデータとしてmicroSDメモリカードに保存します。
文字サイズ設定	文字サイズを変更します。

※メモ帳一覧画面のオプションメニューに表示されます。

memo

◎メモ帳一覧画面でメモ帳を選択→[編集]と操作すると、登録済みのメモ帳を編集できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウントまたはGoogleアカウントが必要です。初回利用時に表示されるアカウント追加画面でExchangeアカウントの場合は「Microsoft Exchange ActiveSync」、Googleアカウントの場合は「Google」を選択します。
  Exchangeアカウントの設定については、画面に従って操作してください。
  Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」(▶P.235)を利用して、サーバに保存されたカレンダーとIS05のカレンダーを同期できます。

カレンダーを表示する

1 メインメニューで[カレンダー]

カレンダーが表示されます。
画面を上方向にスライド: 翌月を表示(1ヶ月表示の場合)
画面を下方向にスライド: 前月を表示(1ヶ月表示の場合)
画面を左方向にスライド: 翌週/翌日を表示(1週間/1日表示の場合)
画面を右方向にスライド: 前の週/前日を表示(1週間/1日表示の場合)

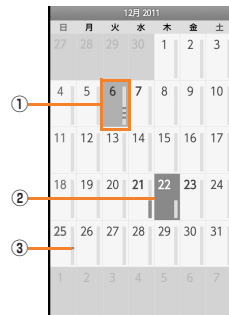
■カレンダーの内容について

① **選択されている日付**
背景色が水色で表示されます。

② **今日の日付**
背景色がグレー、日付が白で表示されます。

③ **予定**
登録されている予定がある場合、青色で表示されます。
登録した予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

《1ヶ月表示画面》

memo

◎1週間表示画面/1日表示画面の場合、現在時刻が赤線で表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[≡]

2

日	カレンダーの表示を1日表示に切り替えます。
週	カレンダーの表示を1週間表示に切り替えます。
月	カレンダーの表示を1ヶ月表示に切り替えます。
予定リスト	登録されている予定リストを表示します。
今日	今日の日付を選択します。 • 1日表示/1週間表示では、今日の日付の現在の時刻を選択します。

その他	予定を作成	予定を登録します。 ▶下記「予定を新規登録する」
	カレンダー	登録されている内容をタップすると、カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
	設定	▶右記「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[≡]→[その他]→[予定を作成]

予定編集画面が表示されます。

2 各項目を選択して編集

タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。 • 予定を終日に設定するには「終日」を選択します。
終了	
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
カレンダー	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力することもできます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 • 「⊕」／「⊗」をタップすると、通知設定を追加／削除できます。通知しない場合は通知設定を削除してください。

3 [完了]

◎カレンダー画面で日付／時間をロングタッチ→[予定を作成]と操作しても予定を登録できます。

◎予定編集画面→[≡]→[通知を追加]／[詳細項目を表示]と操作すると、通知の追加や詳細項目(外部向け表示･公開設定)を設定できます。

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面→[≡]→[その他]→[設定]

2

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
自宅タイムゾーン(上)	渡航先でも自宅のタイムゾーンでカレンダーと予定時刻を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン(下)	自宅のタイムゾーンを設定します。
通知方法	登録した予定を通知するときの方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレータの動作を設定します。
デフォルトの通知時間	予定入力項目の「通知」にあらかじめ入力される時間を設定します。

◎設定画面では、上記以外にソフトウェアのバージョンが確認できます。

登録した予定を確認／編集する

1 **1ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択**

2 **予定を選択**

予定詳細画面が表示されます。

3 **[≡]**

4

通知を追加	通知を追加します。 •「⊕」／「⊗」をタップすると、通知設定を追加／削除できます。
予定を編集	登録した予定を編集します。
予定を削除	予定を削除します。

memo

◎ 1週間表示画面／1日表示画面の場合、予定を選択するだけで予定詳細画面を表示できます。
◎ 予定詳細画面で登録した場所を選択すると、Googleマップが起動し登録地周辺の地図が表示されます。場合によっては正しく表示されないことがあります。
◎ 表示されている予定をロングタッチすると、予定を表示／編集／削除／作成などの操作ができます。

世界時計／アラーム／ストップウォッチ／タイマーを利用する

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を10都市まで表示できます。

1 **メインメニューで[時計]→[世界時計]**

世界時計画面が表示されます。

2 **[追加する]→確認する都市を選択**

世界時計画面に選択した都市が表示されます。
都市選択中に[≡]→[タイムゾーン順]／[アイウエオ順]と操作すると、表示順を切り替えることができます。

memo

◎ サマータイムに切り替えた都市には、時計の右下に☀が表示されます。サマータイムの期間により、時刻が正確に表示されない場合があります。

世界時計のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **世界時計画面→[≡]**

2

追加	表示する都市を選択して追加します。
削除	表示している都市を選択して削除します。 ▶P.59「データを削除する」
並べ替え	表示している都市の表示位置を変更します。 **並べ替える都市をロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離す→[決定]**

■ コンテキストメニューの場合

1 **世界時計画面で都市をロングタッチ**

2

都市の変更	表示する都市を選択して変更します。
サマータイム切り替え	時刻をサマータイムで表示するかどうかを設定します。
削除	選択した都市を削除します。 ▶P.59「データを削除する」

memo

◎ 表示する項目は選択した都市により異なります。

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。10件まで登録できます。

1 メインメニューで[時計]→[アラーム]

アラーム画面が表示されます。
アラーム画面には「ON／OFF」「時刻」「繰り返し」「名称」が表示されます。

2 アラームを選択

3 各項目を編集→[↩]

編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。
アラーム編集中に[≡]→[リセット]→[OK]と操作すると、編集中のアラーム設定が初期化されます。

memo

アラームON／OFFの設定

◎アラーム画面で「ON」／「OFF」をタップしても、アラームを有効にするかどうかを設定できます。

アラームを設定した時刻になると

◎アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。「 」を右にスライドするか「🏠」をタップ、または(🔒/⏻)／(◁)／(▷)／(📷/🔊)を押すとアラームは停止します。
◎設定した鳴動時間が経過するとアラームは自動的に停止します。
◎電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。
◎アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、終話後にアラームが鳴ります。

スヌーズモードを設定すると

◎スヌーズモードを解除するまで、設定した間隔で最大6回までアラーム音が鳴ります。
◎スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に「 」を右にスライドする、またはスヌーズ中画面が表示されているときに「 」を右にスライドします。

◎アラーム鳴動中に「 」を左にスライドするか「🏠」をタップ、または(🔒/⏻)／(◁)／(▷)／(📷/🔊)を押すと、アラームを停止します(スヌーズは解除されません)。

■アラームの入力項目について

項目	説明
名称	全角／半角16文字まで入力できます。
アラーム設定	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	お知らせする時刻を設定します。 • アラーム設定が無効の場合、時刻を設定すると自動的にアラーム設定が有効になります。
鳴動時間	アラームの鳴動する時間を設定します。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日などで指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合は、「曜日」の設定ですべての曜日を選択します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
スヌーズ設定	スヌーズを有効にするかどうかを設定します。 • 有効にするとスヌーズモードを解除するまで、設定した間隔と回数に応じてアラーム音が鳴ります。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。 • スヌーズ間隔は、「スヌーズ設定」が有効の場合に設定可能になります。
スヌーズ回数	スヌーズの回数を設定します。 • スヌーズ回数は、「スヌーズ設定」が有効の場合に設定可能になります。
バイブレータ設定	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。

■アラームの鳴動方法を設定する

1 アラーム画面→[≡]→[設定]

2

優先設定	マナーモード設定中にアラームの設定でお知らせするか、マナーモードの設定でお知らせするかを設定します。

祝日設定	繰り返し設定の休日とする祝日を設定します。
曜日設定	繰り返し設定の休日とする曜日を設定します。
プライベート休日設定	休日名称と日付を入力して、繰り返し設定の休日とする日を設定します。
アラーム音量	音量を設定します。 • ゲージをスライドして音量を調整します。

memo

◎アラーム画面でアラームをロングタッチ→[リセット]→[OK]と操作すると選択したアラームの設定内容をリセットすることができます。

ストップウォッチで時間を計る

1/10秒単位で59分59秒9まで計測できます。最大99件のラップタイム（各区間ごとの経過時間）／スプリットタイム（合計経過時間）を記録できます。

1 メインメニューで[時計]→[ストップウォッチ]

ラップタイム／スプリットタイム計測時間の一覧画面が表示されます。

2 [スタート]

「ラップ」を選択するたびに、区間ごとのラップタイム／スプリットタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「ストップ」／「スタート」で計測を一時停止／再開できます。また、「リセット」で計測中の記録をすべて破棄します。

memo

◎計測したラップタイム／スプリットタイムが99件を超えると、最も古いラップタイム／スプリットタイムから自動的に削除されます。

タイマーで時間を計る

最大59分59秒までタイマーを設定できます。

1 メインメニューで[時計]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

2 時間欄を選択→時間を選択→[OK]→[スタート]

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「ストップ」／「スタート」で一時停止／再開できます。また、「リセット」でカウントダウンをやり直すことができます。

memo

時間の入力方法

◎時間表示部分をタップすると、時間を直接入力できます。
◎タイマー画面の「10秒」／「1分」／「5分」／「10分」を選択すると、タイマーに時間が加算されます。

アラームを同時刻に設定した場合

◎アラーム、タイマーを同時刻に設定した場合は、アラーム→タイマーの順に鳴動します。なお、アラームがスヌーズモード中のときは、タイマーはスヌーズモードが解除されてから鳴動します。

■タイマーのメニューを利用する

1 タイマー画面→[≡]

2

設定	アラーム音	▶P.206「アラームの入力項目について」
	バイブレータ設定	
時間入力	タイマーの時間を直接入力します。	

歩数計を利用する

本体に内蔵された加速度センサーで歩数をカウントし、歩行距離、エクササイズ量（身体活動量）、消費カロリーを表示します。また、歩数の履歴をグラフで表示して、時間別や日別、週別で比較することもできます。

1 メインメニューで[歩数計]

歩数計画面が表示されます。

「歩数計設定」で「歩数計ON」が無効の場合は、利用確認画面が表示されます。「はい」をタップして「ユーザー情報」を入力後、[↩]→[歩数計ON]→[↩]と操作してください。(▶右記「歩数計を設定する」)

■歩数計画面の表示について

① **今日の目標**

② **今週のエクササイズ**

1週間のエクササイズ量が表示されます。

③ **今日の歩数情報**

エクササイズ／歩数※1／カロリー※2について表示されます。

④ **タブ**

タップすると、今日の歩数情報の表示内容が切り替わります。

⑤ **履歴**

タップすると履歴画面が表示されます。

⑥ **ヘルプ**

タップすると歩数計ヘルプ一覧が表示されます。

《歩数計画面》

※1 歩き方や路面の状態によって歩数や歩行距離と誤差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。

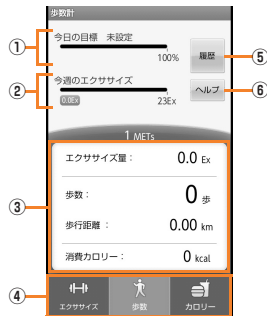
※2 一般的にカロリーは個人の年齢や性別によって、差が見られます。また、基礎代謝や食事など歩行以外の要因による消費・摂取カロリーや脂肪量の変動要因が存在するために、ここで表示する数値はあくまでも歩行のみによる参考値です。脂肪燃焼量が実際の体重変動に影響するとは限りません。

memo

◎歩数計画面の計測項目について詳しくは「ヘルプ」をご参照ください。

◎履歴のデータは、約2年分保存され、2年分を超えた場合は、最も古いデータから自動的に削除されます。

◎履歴画面で時間別／日別／週別／カレンダータブをタップすると、表示モードを切り替えることができます。

◎履歴画面で日付や時間、グラフをタップすると、歩数や距離、消費カロリーなどの詳細情報を確認できます。

◎履歴画面でカレンダー表示中に「△」／「▽」をタップすると、前月／翌月を表示できます。

◎「歩数計リセット時刻設定」(▶下記)で設定した時刻になると、その日の歩数がリセットされます。

◎歩き始めは、誤カウントを防ぐため歩行を始めたかどうかを判断しています。4秒以上の歩行があると、そこまでの歩数を一度に表示します。(そのため、歩き始め約4秒間は表示が変わらず、その後歩数がまとめて表示されます。)

歩数計のメニューを利用する

1 歩数計画面→[≡]

2

歩数計設定	▶下記「歩数計を設定する」
目標設定	歩数計画面に表示する項目とその目標値を設定します。 **項目を選択→目標値を入力→[設定]**
データリセット	履歴や累積データをリセットします。
累積データ	歩数や距離、消費カロリーなどのカウントしたデータの合計を、各項目ごとに表示します。

■歩数計を設定する

「歩数計ON」を有効に設定すると、本体に内蔵された加速度センサーで、万歩計のように歩行歩数や走行歩数をカウントして、距離や消費カロリーの目安を算出することができます。(▶P.207「歩数計を利用する」)

1 歩数計画面→[≡]→[歩数計設定]

2

歩数計ON	歩数計を有効にするかどうかを設定します。
ユーザー情報	身長や体重、歩幅を登録します。 **ロックNo.を入力→[OK]→各項目を選択して入力→[設定]** • 身長を登録した後、「はい」を選択すると、身長をもとに計算した「歩幅」が自動的に入力されます。

便利な機能

歩数計リセット時刻設定	1日に一度歩数計をリセットする時刻を設定します。

memo

◎「ユーザー情報」を入力しないと、「歩数計ON」を有効に設定することができません。
◎「歩数計ON」を有効に設定すると、電源がONになっている間は常に歩数がカウントされます。
◎歩数計の表示は、1日に一度「歩数計リセット時刻設定」で設定した時刻にリセットされます。
◎IS05の歩数計は、歩行/ランニングに伴う微小な振動を検出し、それを歩数と見立ててカロリーをカウントしています。歩数を正常に検出できない場合や、歩行/ランニング以外の振動を検出すると、カウントの誤差が大きくなります。
◎次のような不規則な歩行/ランニングをすると、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- すり足のような歩き方(雪道など)
- サンダル、下駄、ぞうりなどの履物での歩行
- 混雑した街中を歩くときなどの歩行の乱れ
- より高速で走ったとき
- 極端にゆっくり歩いたとき

◎次のように上下運動や振動が多い場合は、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- 歩行やランニング以外のスポーツ
- 乗り物に乗車中の上下運動または横ブレがあるとき
- 階段や急斜面での昇り降り
- IS05を操作しているとき
- 立ったり、座ったりする動作
- スピーカーから音が出ているとき
- バイブレータが振動しているとき

◎同時に利用しているアプリケーションによっては、歩数のカウントを停止する場合があります。
◎加速度センサーに異常が発生すると、「歩数計設定」の「歩数計ON」が自動的に無効になります。

au one ナビウォークを利用する

位置情報(GPS情報)を利用して現在地の表示や目的地までナビゲーションするトータルナビなどをご利用いただけます。また、乗り換え情報や電車の運行情報の確認などもご利用いただけます。

- 一部のメニューを利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.240)をご参照ください。
- au one ナビウォークのすべてのメニューをご利用になるには別途お申し込み(情報料有料)が必要です。

1 **メインメニューで[ナビウォーク]**

au one ナビウォークのメニュー画面が表示されます。

《au one ナビウォークのメニュー画面》

2

検索	GPS情報を取得して今いる場所の地図を表示したり、指定した場所の地図や周辺スポットを検索したりできます。
トータルナビ	電車、飛行機、バス、タクシーなどあらゆる交通手段から最適なルートでナビできます。
乗換	指定した駅間の乗り換えや時刻表を検索できます。
More	時刻表や各種設定、会員登録・解約などのメニューを表示します。

memo

◎ au one ナビウォークを利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」(▶P.176)／「GPS機能を使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。
◎ GPS情報は周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しいGPS情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。
◎ サービスエリア内でも、地下鉄などのGPS衛星の電波が届かない場所では、GPS情報を取得できません。
◎ 当社では提供したGPS情報に起因する損害について、その原因のいかんにかかわらず一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
◎ au one ナビウォークの各サービスをご利用の際には、パケット通信料がかかります。
◎ 通話中は、au one ナビウォークをご利用になれません。

au one ナビウォークを設定する

1 au one ナビウォークのメニュー画面→[More]→[設定]

2

自宅	自宅を設定します。
My地点	よく行く目的地などを変更／削除します。フォルダ名を変更することもできます。
Myステーション	よく使う駅を登録／削除します。
鉄道運行情報メール	鉄道運行情報メールを受信するメールアドレスを登録します。
ルート検索条件	トータルナビのルート検索条件を設定します。
音声ナビゲーション設定	音声ナビゲーションのバイブレータと音量を設定します。
登録情報削除	駅履歴やお気に入りなど、アプリに保存された情報を削除します。
駅名データ	駅名を最新の状態に更新します。

方位計を利用する

方位計や地図を表示して、IS05の向いている方位や現在地を確認できます。

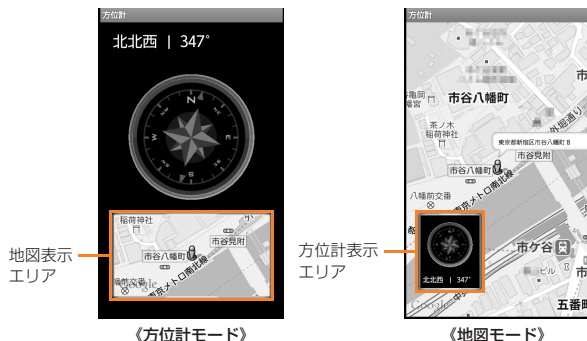
方位計をご利用になる前に

- microUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01(別売)を接続した場合、接続機器の磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。
- 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障がいになったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  - ・建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など
  - ・金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますので、「精度補正」を行ってください。また、定期的に「精度補正」を行うことをおすすめします。
  - ・方位計の起動直後や、IS05を強い磁力に近付けた場合
  - ・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
  - ・IS05が磁気を帯びた場合
- 「精度補正」を行うときは、本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
- 「精度補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては補正に失敗する場合があります。その場合は、「精度補正」を行う場所を変えるか、起動しているアプリケーションを終了させるなどしてからやり直してください。

- 地図を表示する場合、データ接続可能な状態(3G/GPRS)にあるか、Wi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- 周辺の地図を表示するには、あらかじめ「GPS機能を使用」(▶P. 176)を有効にする必要があります。

方位計を表示する

1 メインメニューで[方位計]

地図表示エリアや方位計表示エリアをタップすると、表示モードを切り替えることができます。

《方位計モード》　《地図モード》

memo

◎方位が正しく表示されない場合は、「精度補正」でセンサーの感度を補正してください。

地図モードでの基本操作

◎次の操作ができます。
- スライド:地図をスクロールできます。
- ピンチアウト/ピンチイン:地図を拡大/縮小できます。

方位計のメニューを利用する

1 方位計モード/地図モード→[≡]

2

拡大･縮小	地図を拡大･縮小するためのコントローラを表示します。	
地図モード変更	標準地図	地図画像に現在地を表示します。
	航空写真	航空写真上に現在地を表示します。
	ストリートビュー	ストリートビュー情報のある道路をロングタッチすると、ストリートビュー表示します。
表示切替	表示モードを切り替えます。	
精度補正	方位計に使用するセンサーを調整します。	
更新	現在地を更新します。	

※表示モードによって表示される項目は異なります。

memo

◎ストリートビュー情報のある地点をロングタッチすると、ストリートビュー画面が表示されます。

便利な機能

電卓で計算する

最大12桁の計算を行うことができます。

1 メインメニューで[電卓]

「00」「0」～「9」：数字を入力
「.」：小数点を入力　「+/−」：+／−の切り替え
「DEL」：入力数値下一桁をクリア
「CA」：数値／エラーをすべてクリア
「C/CE」：計算前の数値のみをクリア／表示数値をクリア
　　　　エラー表示時はエラーのクリア
「CM」：メモリをクリア　「RM」：メモリを呼び出し
「M−」：メモリから−　「M+」：メモリに+
「√」：ルート計算　「÷」：÷
「%」：%　「×」：×
「+」：+　「−」：−
「=」：=

memo

◎数値表示欄をロングタッチ→[コピー]と操作すると、表示されている数値をコピーできます。
◎計算がエラーとなった場合は、「E」と表示されます。

%を付加した計算について

例題	入力	計算結果
100の10%増しを計算	100+10%	110
100の10%引きを計算	100−10%	90
100は80の何%かを計算	100÷80%	125
100の10%を計算	100×10%	10

◎電卓がバックグラウンドで起動しているとき、OSの状態により電卓の計算結果や計算履歴情報がクリアされる場合があります。

内蔵辞書／ネット辞書で調べる

IS05では、単語の意味などを検索することができます。IS05の辞書には、「内蔵辞書」と「ネット辞書」の2種類があります。内蔵辞書とネット辞書は「辞書切替」から簡単に切り替えることができます。

内蔵辞書を利用する

■辞書の切り替え

1 メインメニューで[辞書]

内蔵辞書画面が表示されます。

《内蔵辞書画面》

2 [辞書切替]→[明鏡国語辞典MX]／[ジーニアス英和MX]／[ジーニアス和英MX]

- 「明鏡国語辞典MX」
  ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス英和辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス和英辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009

memo

◎「百科事典」はネット辞書です。ネット辞書については、「ネット辞書を利用する」(▶P.214)をご参照ください。

■内蔵辞書で検索

1 内蔵辞書画面→[辞書切替]→[明鏡国語辞典MX]/[ジーニアス英和MX]/[ジーニアス和英MX]

2 検索したい単語を入力

1文字入力するごとに、それに一致する検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

■内蔵辞書で使える機能

ひきなおす	単語やキーワードを入力し直します。
辞書切替	利用する辞書を切り替えます。
履歴	選択中の辞書の検索履歴を新しい順に最大100件まで表示します。 •「全件削除」を選択すると、履歴をすべて削除できます。
単語テスト	▶右記「単語テストをする」
単語カード追加	内蔵辞書の検索結果詳細を単語カードに追加します。最大1,000件まで登録できます。

※画面によって表示される項目は異なります。

■内蔵辞書のオプションメニューについて

単語カード一覧	選択中の内蔵辞書で登録された単語カードを確認します。
見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピーします。
範囲指定コピー	内蔵辞書の詳細画面に表示される内容を、最大128文字までコピーできます。 • ドラッグした範囲がコピーされます。

※画面によって表示される項目は異なります。

■単語テストをする

「単語カード追加」で登録した単語の意味をテストします。

1 内蔵辞書画面→[辞書切替]→内蔵辞書を選択

2 [単語テスト]→件数を選択

単語テストが開始されます。

単語カードに登録されている中からランダムに出題されます。

3 答えが分かったら[解答へ]→[次へ]

「解答へ」をタップしなくても、問題表示後5秒経過すると自動的に解答が表示されます。

「次へ」をタップしなくても、解答表示後5秒経過すると自動的に次の問題が表示されます。

途中で単語テストをやめる場合は、「終了」を選択してください。

4 [終了する]

「もう一度」を選択すると、件数選択画面に戻ります。

ネット辞書を利用する

■辞書の切り替え

1 メインメニューで[辞書]

2 [辞書切替]→検索する辞書を選択

ネット辞書画面が表示されます。
お買い上げ時に使用できるネット辞書は百科事典のみです。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「はい」を選択してください。

《ネット辞書画面》

memo

◎「明鏡国語辞典MX」、「ジーニアス英和MX」、「ジーニアス和英MX」は内蔵辞書です。内蔵辞書については、「内蔵辞書を利用する」(▶P.212)をご参照ください。
◎[辞書管理]→[更新]と操作すると、サーバに接続して最新の辞書リストに更新できます。
◎ネット辞書が複数登録されると「すべての辞書」が表示されます。「すべての辞書」を選択すると、使用できるすべての辞書が検索対象になります。

■ネット辞書で検索

1 ネット辞書画面で検索したい単語を入力→[検索]

検索結果一覧画面が表示されます。

2 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

memo

◎ネット辞書に更新情報がある場合、検索結果一覧画面の最上段に更新情報が表示されます。
◎「ネット辞書」を利用する場合は、インターネット接続が必要です。また、設定により、通信確認画面が表示される場合があります。
◎詳細画面で「さらに詳しく」が表示されている場合は、ブラウザを起動してサイト上の詳細情報を閲覧できます。

■ネット辞書で使える機能

ひきなおす	単語やキーワードを入力し直します。
辞書切替	利用する辞書を切り替えます。
履歴	選択中の辞書の検索履歴を新しい順に最大20件まで表示します。 •「全件削除」を選択すると、履歴をすべて削除できます。
辞書管理	使用できるネット辞書のリストを管理します。 •「更新」を選択すると、サーバに接続して最新の辞書リストに更新できます。

■ネット辞書のオプションメニューについて

ヘルプ	ブラウザを起動しネット辞書のヘルプを表示します。
利用規約	ネット辞書の利用規約を表示します。
検索方法設定	選択されているネット辞書の見出し語の検索方法を設定します。
検索範囲設定	選択されているネット辞書の検索範囲を設定します。
画像取得設定	ネット辞書の詳細画面に画像がある場合、取得するかどうかを設定します。 •「取得する」に設定した場合は、画像取得時に通信料がかかります。また、電波状態や取得した画像によっては表示できないことがあります。

見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピーします。
出典について	ブラウザを起動し、ネット辞書の出典を表示します。

※表示している辞書や画面によって表示される項目は異なります。

パソコンと接続する

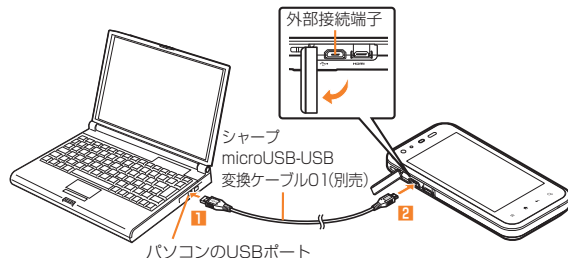
microSDメモリカードをセットしたIS05とパソコンをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）で接続して、IS05にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。
「USB充電」を有効にすると、パソコンの充電可能なUSBポートに接続してIS05を充電できます。

- microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。
- 高速転送モードを使用する場合は、パソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、シャープケータイdaSHサポートページをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/

memo

◎microSDメモリカード内のデータについては、「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」(▶P.217)をご参照ください。
◎USB充電については、「USB接続を設定する」(▶P.218)をご参照ください。

1 パソコンが完全に起動している状態で、シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 IS05が完全に起動している状態で、シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をIS05に接続

3 メインメニューで[設定]→[USB接続]→[USB接続モード]

4

カードリーダーモード	microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。 ▶P.216「メモリカードリーダー／ライターとして使う」
高速転送モード	IS05とパソコン間の高速データ転送を可能にします。
MTPモード	パソコンからIS05内のmicroSDメモリカードにWMAデータなどの音楽／動画データを転送できます。 ▶P.216「MTPモードでパソコンからデータを転送する」

memo

◎IS05をパソコンに接続すると、自動的に次のUSB接続モードが設定されます。
- microSDメモリカード挿入時：カードリーダーモード
- microSDメモリカード未挿入時：高速転送モード

◎高速転送モードを使用するとモデムデバイスとして認識されますが、IS05はパソコンのモデムとして使用できませんのでご注意ください。
◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックを取り外さないでください。
◎カードリーダーモードでメモリカードリーダー／ライターとして利用中およびMTPモード中は電波OFFモードになります。また、高速転送モードでデータ転送中にも電波OFFモードになる場合があります。各モード利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。
◎USB充電を有効にして、パソコンの充電可能なUSBポートに接続した場合は、IS05の充電／着信ランプが赤色に点灯し、充電されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

■メモリカードリーダー／ライターとして使う

IS05をメモリカードリーダー／ライターとして利用することができます。
あらかじめパソコンとIS05を接続し、「USB接続モード」を「カードリーダーモード」に設定してください。

1 [USBストレージをONにする]→[OK]

IS05にセットしたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー／ライターとして利用できるようになります。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS05を停止

4 [USBストレージをOFFにする]

5 シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をIS05から取り外す

シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎マウント中は、IS05のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、カードリーダーモードを解除してから再度操作してください。
◎マウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。
◎ワンセグで録画中は、マウントできません。
◎マウントを実行すると電波OFFモードになります。利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。

■MTPモードでパソコンからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データをIS05のmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンとIS05を接続し、「USB接続モード」を「MTPモード」に設定してください。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動

Windows Media Player 11／12をご使用ください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが自動的にIS05に転送されます。

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS05を停止

4 シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をIS05から取り外す

シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
◎著作権保護されていないデータでも、IS05以外で保存したデータは再生できない場合があります。
◎IS05以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードをIS05で初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードを初期化すると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。
◎「MTP接続中にエラーが発生したため、切断しました」と表示された場合は、データベースファイルの互換性に問題がある可能性があります。カードリーダーモードに切り替えて、microSDメモリカード内の「¥PRIVATE¥SHARP¥MTP」の「ldb.db」ファイルを削除してから、再度MTPモードで接続してください。なお、この対応により音楽データなどが削除されることはありません。

転送ファイルについて

◎ファイル名は、全角／半角63文字（拡張子を含む）まで表示されます。
◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は、次の2つがあります。

- IS05にmicroSDメモリカードをセットしたまま、IS05とパソコンを接続する方法（▶P.215「パソコンと接続する」）
- microSDメモリカードをIS05から外し、パソコンのmicroSDメモリカードリーダーにセットする方法

パソコンでmicroSDメモリカードを確認すると、次のように表示されます。

```
⊟ リムーバブルディスク
  ⊞ .android_secure ―― アプリケーションを保存
  ⊞ Android ―― 各種アプリケーションのデータを保存
  ⊞ DCIM ―― IS05で撮影したフォトデータやムービーデータを保存
  ⊞ documents ―― Documents To Goで表示できるOffice文書
  ⊞ download ―― IS05でダウンロードしたデータ（壁紙／音楽など）
  ⊟ PRIVATE
    ⊟ AU
      ⊞ BU ―― バックアップデータを保存
              電話帳／ブックマーク／スケジュールのバックアップデータを保存します。
    ⊞ PV ―― 著作権保護機能対応データを保存
    ⊟ SHARP
      ⊞ BACKUP ―― 電話帳／受信メール／送信メール／未送信メール／ブックマーク／スケジュール／メモ帳／ユーザー辞書／学習辞書（iWnn IME - SH edition）／おすすめ・コミュニケーション（操作使用履歴）のバックアップデータを保存
      ⊟ CM ―― コンテンツマネージャーが扱うファイルを保存
        ⊞ DOC ―― ドキュメント
        ⊞ ETC ―― その他
        ⊞ MOVIE ―― ムービー
        ⊞ MUSIC ―― ミュージック
        ⊞ PICTURE ―― フォト
        ⊞ SOUND ―― 音声
      ⊞ MTP ―― パソコンからMTP転送したデータを保存
      ⊟ PM ―― ピクチャーが扱うファイルを保存
        ⊞ .PICTURE ―― 振り分けられたデータ
        ⊞ DATABASE ―― データベースファイル
  ⊞ screen shot ―― IS05で撮影したスクリーンショットを保存
  ⊞ SD_VIDEO ―― ワンセグ録画データおよびブルーレイディスクレコーダーから転送されたデータを保存
  ⊞ DEVPROF ―― ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送に必要なファイルを保存
  ⊞ LISMO ―― LISMO関連
```

memo

.android_secureフォルダについて

◎アプリケーションが保存されているフォルダです。このフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。アプリケーションを起動できなくなる可能性があります。

BU／PV／BACKUP／SD_VIDEO／LISMOフォルダについて

◎IS05から操作するためのフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。IS05でデータを正常に表示できなくなる可能性があります。

DEVPROFフォルダについて

◎ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送時に必要なフォルダです。このフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。microSDメモリカードに外部録画データを転送できなくなる可能性があります。

USB接続を設定する

IS05をシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）でパソコンと接続したときの接続モードを設定します。

1 メインメニューで[設定]→[USB接続]

2

USB充電	パソコンと接続したときに、同時に充電するかどうかを設定します。
USB接続モード	パソコンと接続した状態で、目的に応じた接続モードを設定します。 ▶P.215「パソコンと接続する」

memo

◎USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。

ブルーレイディスクレコーダーと接続する

IS05とブルーレイディスクレコーダーをシャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）で接続すると、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組をmicroSDメモリカードに転送できます。

1 シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をブルーレイディスクレコーダーに接続

2 シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（別売）をIS05に接続

3 [USBストレージをONにする]→[OK]

ブルーレイディスクレコーダーを操作することで、microSDメモリカードに録画番組データを転送できるようになります。

4 ブルーレイディスクレコーダーを操作して番組データを転送

5 [USBストレージをOFFにする]

memo

◎対応機種については、以下のホームページをご参照ください。
- シャープケータイdaSHブルーレイディスクレコーダー連携ガイド
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluray/a/index.html

◎ブルーレイディスクレコーダーの詳しい操作方法は、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

◎マウント中は、IS05のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、カードリーダーモードを解除してから再度操作してください。

◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウントできません。

◎番組データは、microSDメモリカード内の「SD_VIDEO」フォルダの録画データと合わせて最大99件まで保存できます。

◎番組データを転送すると、microSDメモリカードに保存できるデータの件数は少なくなります。

転送された番組データの再生について

◎コンテンツマネージャーで[TV／SD-Video]→データを選択と操作すると再生できます。

◎録画時間の長い番組データは転送してもリストに表示されない場合があります。

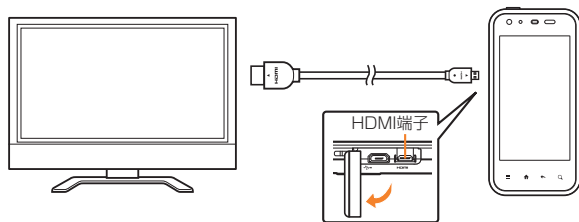
◎ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組データは、字幕は表示されません。

HDMI接続を利用する

IS05とHDMI端子付きテレビをHDMIケーブル(市販品)で接続すると、microSDメモリカードに保存されている画像や動画をテレビに表示することができます。

- 機種によっては一部の機能が操作できない場合があります。

テレビに接続する

1 IS05とHDMI端子付きテレビをHDMIケーブル(市販品)で接続

2 メインメニューで[HDMI]→[HDMI接続開始]

IS05にはキー操作画面が表示されます。
テレビには画像／動画の一覧画面が表示されます。

3 画像／動画の保存日を選んで[決定]→画像／動画を選んで[決定]

画像／動画がテレビに出力されます。

4 [切断]

memo

◎対応するHDMIケーブル(市販品)については、シャープケータイdaSHサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/

◎HDMI接続中は電話をかけることができません。

HDMI接続の設定をする

1 メインメニューで[HDMI]→[HDMI設定]

2

HDMI出力サイズ設定	テレビで出力されるサイズを設定します。	
AQUOSファミリンク設定	リモコン文字入力	AQUOSファミリンク利用中にリモコンで操作するかどうかを設定します。
	充電時自動検出	充電時、自動で検出するかどうかを設定します。

memo

◎IS05をシャープ製のファミリンク対応テレビ「AQUOS」と接続すると、テレビ画面での操作をテレビのリモコンで行うことができます。

ホームネットワークを利用する

Wi-Fiを利用して、microSDメモリカードに保存されている画像や音楽を、DLNA対応のテレビなどで視聴することができます。

- ホームネットワークサーバを利用するには、あらかじめWi-Fiを起動している必要があります。詳しくは、「Wi-Fiを起動する」(▶P.246)をご参照ください。
- DLNA対応のテレビからIS05に接続する操作方法は、DLNA対応のテレビの取扱説明書をご参照ください。

公開ネットワークを設定する

登録されているWi-Fiのアクセスポイントから、利用するネットワークを設定します。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[ホームネットワーク設定]→[公開ネットワーク]

2 アクセスポイントを選択

ホームネットワークのサーバ名を設定する

DLNA対応のテレビで表示するホームネットワークのサーバ名を設定できます。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[ホームネットワーク設定]→[サーバー名]

2 サーバー名を入力→[OK]

ホームネットワークサーバを起動する

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[ホームネットワーク設定]→[ホームネットワークサーバー]

端末設定

設定メニューを表示する

1 メインメニューで[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

《設定メニュー画面》

■設定メニュー項目一覧

項目	説明
プロフィール	プロフィールを表示・編集できます。 ▶P.223「IS05のプロフィールを確認する」
省エネ設定	Wi-FiやBluetooth®接続、操作音や画面などの設定を無効、または最小値に設定し、電池の消耗を抑えます。 ▶P.224「省エネ設定をする」
無線とネットワーク	Wi-FiやBluetooth®接続、ホームネットワークの設定、サイト閲覧時のフィルタリングなど、通信に関する設定を行います。 ▶P.225「無線とネットワークの設定をする」 • Wi-Fiについては「Wi-Fiを利用する」(▶P.246)、Bluetooth®通信については「Bluetooth®機能を利用する」(▶P.251)、ホームネットワークの設定については「ホームネットワークを利用する」(▶P.220)をご参照ください。
通話設定	通話時間の確認や留守番電話の設定など、通話に関する設定を行います。 ▶P.226「通話関連機能の設定をする」
サウンド設定	マナーモードの設定や音声着信音など、音やバイブレータ、ランプに関する設定を行います。 ▶P.228「音・バイブレータ・ランプの設定をする」
画面設定	画面の明るさの設定や文字フォントの切替など、表示に関する設定を行います。 ▶P.229「画面の設定をする」
USB接続	IS05をパソコンと接続した際の設定を行います。 ▶P.218「USB接続を設定する」
位置情報とセキュリティ	GPS情報の使用やIS05使用時のセキュリティ方法について設定します。 ▶P.229「位置情報とセキュリティの設定をする」
アプリケーション	IS05で使用するアプリケーションの管理などを行います。 ▶P.192「アプリケーションの設定をする」
アカウントと同期	アカウントの追加や、データの自動同期について設定します。 ▶P.235「アカウントと同期の設定をする」
プライバシー	IS05のオールリセットを行います。 ▶P.236「IS05をリセットする」
microSDと端末容量	microSDメモリカードの容量の確認や、データのバックアップなどを行います。 ▶P.236「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」
言語とキーボード	IS05の言語や文字入力時の設定を行います。 ▶P.238「使用する言語やキーボードの設定をする」
音声入出力	テキストから音声への変換オプションを設定します。 ▶P.239「音声入出力の設定をする」
ユーザー補助	ユーザー補助の設定を行います。 ▶P.240「ユーザー補助の設定をする」
au one-ID設定	au one-IDについての設定を行います。 ▶P.240「au one-IDの設定をする」

項目	説明
歩数計設定	歩数計機能の設定を行います。 ▶P.208「歩数計を設定する」
日付と時刻	日付や時刻の設定を行います。 ▶P.240「日付と時刻を設定する」
端末情報	IS05のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートやセンサーの補正などを行います。 ▶P.241「端末情報に関する設定をする」
初期設定	初期設定を行います。 ▶P.37「初期設定を行う」

IS05のプロフィールを確認する

あらかじめ登録されている電話番号などのほかに、名前や住所などの情報を追加登録して、メールへの添付などに利用できます。

1 設定メニュー画面→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

《プロフィール画面》

2 [≡]

3

編集	▶右記「プロフィールを編集する」
赤外線送信	▶P.249「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.258「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	プロフィールの内容を添付データにしてメールを作成します。
送信項目設定	送信する項目を設定します。 •「名前」「自局電話番号」は無効にできません。

memo

◎ au ICカードが挿入されていない場合、またはお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合にプロフィール確認操作を行うと、au ICカード(UIM)エラーと表示されます。「OK」を選択するとプロフィール画面が表示されます。ただし、自局電話番号、自局メールアドレス、ICCIDなどの情報は表示されません。また、プロフィール内容のメールへの添付など一部操作できない項目もあります。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。

◎ プロフィール画面に表示されるアイコンを利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。利用できる機能やアイコンについては、「電話帳の登録内容を利用する」(▶P.83)をご参照ください。(機能やアイコンによっては、プロフィールでは表示されない場合があります。)

プロフィールを編集する

1 プロフィール画面→[≡]→[編集]

プロフィール編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

(アイコン)	カメラ	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	保存済みの写真	コンテンツマネージャーから画像を選択して登録します。
	OFF	画像をOFFに設定します。
姓		名前を登録します。 • 姓／名を入力すると「よみ」が自動的に入力されます。
名		
姓(よみ)		
名(よみ)		
自局電話番号※		お使いのIS05の電話番号が表示されます。

自局メールアドレス※	お使いのIS05のEメールアドレスが表示されます。
ICCID※	au ICカード番号が表示されます。
電話番号	電話番号を登録します。
メール	メールアドレスを登録します。
mixi※	電話帳からログインしているmixiやTwitterのアカウント名が表示されます。
Twitter※	
チャット	チャットアドレスを登録します。
住所	住所を登録します。
GPS情報	GPS情報を登録します。
所属	会社／部署／役職を登録します。
メモ	メモを登録します。
誕生日	誕生日を登録します。

※ プロフィール編集画面に表示されますが、編集できません。

3 [≡]→[保存]→[はい]

memo

◎ プロフィール編集画面で「⊕」／「⊗」をタップすると、項目を追加／削除できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 項目によっては種別アイコンを登録できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。
◎ 種別アイコン登録時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列をアイコンとして登録できます。
◎ 画像にGIFアニメを設定した場合、最初の1コマ目が登録されます。
◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」(▶P.176)／「GPS機能を使用」(▶P.176)を有効にする必要があります。

省エネ設定をする

1 設定メニュー画面→[省エネ設定]

2

とにかく省エネ	「省エネ設定」のすべての項目が一括で無効、または最小値に設定されます。設定後は一括で元に戻すことはできません。戻す場合は各設定ごとに行ってください。	
おやすみ省エネ	おやすみ省エネ	「省エネレベル」の項目を指定時刻に自動で変更するかどうかを設定します。
	設定OFF時刻	「省エネレベル」の項目がOFFになる時刻を設定します。
	設定ON時刻	「省エネレベル」の項目がONになる時刻を設定します。
	省エネレベル	おやすみ省エネの対象となる項目を設定します。
Wi-Fi	▶P.246「Wi-Fiを起動する」	
Bluetooth	▶P.253「Bluetooth®を起動する」	
タッチ操作音	▶P.228「音・バイブレータ・ランプの設定をする」	
選択時の操作音		
画面ロックの音		
光を点滅させて通知		
画面の自動回転	▶P.229「画面の設定をする」	
画面の明るさ		
バックライト点灯時間		
GPS機能を使用	▶P.176「GPS機能を使用するには」	
バックグラウンドデータ	▶P.235「同期の基本設定をする」	

無線とネットワークの設定をする

電波OFFモードを設定する

通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[電波OFFモード]

◎ 携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源を切ってください。
◎ 🔒/⏻(2秒以上長押し)→[電波OFFモード]でも同様に操作できます。
◎ 電波OFFモードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。
※電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
◎ 電波OFFモードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。

VPNを設定する

VPN(Virtual Private Network)は、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面が表示されます。

2 [VPNの追加]→VPNの種類を選択

3 必要な項目を設定／入力

4 [≡]→[保存]

■VPNに接続する

1 VPN設定画面でVPNを選択

2 ユーザー名とパスワードを入力→[接続]

「ユーザー名を保存」を有効にすると、次回からユーザー名の入力が不要になります。

モバイルネットワーク設定をする

データ通信やローミング、auフェムトセルなどのネットワークを利用できるように設定します。

• データローミング、ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.276)をご参照ください。

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[データ通信]

2 [OK]

◎「データ通信」の設定を無効にすると、Eメールの送受信や、Cメールの送信などができなくなります。

■auネットワークを設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[auネットワーク設定]

2

高度な設定	設定を有効にする	「高度な設定」を有効にするかどうかを設定します。
	ID／パスワード設定	IDとパスワードを設定します。

auフェムトセルを探す	auフェムトセルを手動で検索します。

◎通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にすると、データ通信が行えなくなる場合があります。
◎「高度な設定」を利用する場合はIDとパスワードが必要です。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、「au フェムトセルを探す」をご利用になれません。

フィルタリング設定をする

フィルタリング機能を有効に設定すると、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断します。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[フィルタリング設定]

フィルタリング設定確認画面が表示されます。

2 [はい]

パスワードの入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力→[OK]

有効にする場合は、ここで任意のパスワードを設定します。確認のためもう一度設定したパスワードを入力してください。
無効にする場合は、有効にするときに設定したパスワードを入力してください。

memo

◎フィルタリング機能は、Wi-Fi接続時は無効です。
◎フィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、無効にするときに必要です。お忘れにならないようご注意ください。
◎フィルタリング設定を有効にしても、フィルタリング設定が無効のときに表示したサイトのキャッシュが残っている場合は、サイトが表示できます。キャッシュを削除するには「キャッシュを削除」(▶P.129)を実行してください。

通話関連機能の設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

2

通話時間	▶P.227「通話時間を表示する」	
着信時キー動作設定	▶P.227「着信時キー動作を設定する」	
オートアンサー	▶P.227「オートアンサーを設定する」	
通話中表示設定	背景画像の選択	発信中／着信中／通話中の画像を選択して登録します。
	電話帳写真表示	電話帳に登録されている相手の方の場合、発信中／着信中／通話中に電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
	吹き出し表示	電話帳に登録されている相手の方の場合、発信中／着信中／通話中にメール着信などのメッセージがあるときに、吹き出しアイコンを表示するかどうかを設定します。
発信者番号通知	▶P.227「発信者番号通知を設定する」	
音声・伝言メモ	▶P.196「伝言メモを利用する」	
国際発信設定	国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 **リストを編集する** **1. 項目を選択→[全リストから変更]** **2. 項目を選択→[登録]** **リストを直接入力して編集する** **1. 項目を選択→[直接入力して変更]** **2. 国名／国番号を入力→[OK]**	

端末設定

留守番電話	▶P.262「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」	
転送電話	▶P.267「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」	
着信拒否	▶P.228「着信を拒否する」	
アカウント	着信を許可	インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。
インターネット通話使用	インターネット通話の使用方法について設定します。	

memo

国際発信設定について

◎項目を選択→[リストから削除]と操作すると、国番号のリストを削除できます。

アカウントについて

◎「アカウントを追加」を選択すると、インターネット通話で使用するアカウントを作成できます。

通話時間を表示する

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[通話時間]→[通話時間]／[通話時間（海外）]

前回通話･累積の通話時間の目安、前回リセットした日時を表示します。

また、通話時間表示中に[≡]→[リセット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作すると、表示されている時間をリセットできます。

memo

◎表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。

◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

着信時キー動作を設定する

着信時に[◁]を押したときの動作を設定できます。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[着信時キー動作設定]

2 [応答]／[クイックサイレント]

「クイックサイレント」に設定した場合は、着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプが停止して、着信表示のみになります。

オートアンサーを設定する

イヤホン接続中に着信があった場合、自動で応答することができます。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[オートアンサー]

2

オートアンサー	オートアンサーを有効にするかどうかを設定します。
着信時間	オートアンサーで応答するまでの時間を設定します。

発信者番号通知を設定する

自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[発信者番号通知]

◎電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。

◎海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックNo.を入力→[OK]

3

指定番号	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 **電話帳から登録する場合** **1. [≡]→[編集]→[新規登録]→[電話帳引用]** **2. 連絡先を選択→電話番号を選択** **電話番号を入力して登録する場合** **1. [≡]→[編集]→[新規登録]→[直接入力]** **2. 電話番号を入力→[↵]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

memo

◎着信拒否を設定すると、以下のメッセージが流れます。

拒否メッセージ1	この番号からの電話はお受けできません
拒否メッセージ2	誠に申し訳ありませんが、ただいま都合により電話をお受けすることができません
非通知用メッセージ	発信者番号が通知されておりません。電話番号の頭に186をつけておかけ直しください
公衆電話メッセージ	公衆電話からの電話はお受けできません
無応答切断	(接続できなかったことを音声ガイダンスでお知らせします)
伝言メモ録音	(伝言メモの応答メッセージが流れます)

◎メッセージ項目をロングタッチし「再生」を選択すると、メッセージを確認できます。

◎お留守番サービス(▶P.262)もしくは着信転送サービス(▶P.267)の無応答転送/フル転送を設定している場合は、「無応答切断」に設定してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。

◎割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

音・バイブレータ・ランプの設定をする

1 設定メニュー画面→[サウンド設定]

2

マナーモード	▶P.196「マナーモードを設定する」
バイブ	着信時のバイブレータを有効にするかどうかを設定します。
音量	着信音や音楽や動画再生時などの音量を設定します。 • ゲージをスライドして音量を調節します。
イヤホンの種類	▶P.285「イヤホンを使用する」 ▶P.286「スイッチ付イヤホンマイク/イヤホンマイクを使用する」
着信音	コンテンツマネージャーからデータを選択して音声着信音を設定します。
バイブのパターン	バイブレータの振動パターンを設定します。

着信ランプ	点滅パターン	ランプの点滅パターンを設定します。
	点滅カラー	ランプの点滅色を設定します。
通知音	コンテンツマネージャーからデータを選択して通知音を設定します。	
鳴動時間	鳴動時間を設定します。 • 「時間設定」を選択した場合は、鳴動時間を設定します。	
光を点滅させて通知	新着通知受信時、スリープモード中に通知を確認するまで充電／着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。	
タッチ操作音	数字キーで電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。	
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。	
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。	
入力時バイブ	「≡」／「🏠」／「↩」／「🔍」などをタップしたときにバイブレータが動作するかどうかを設定します。	

画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 • ゲージをスライドして明るさを調節します。 • [明るさを自動調整]→[ダイナミック]／[ノーマル]と操作すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
画面の自動回転	IS05の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
アニメーション表示	画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。
バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
ベールビュー	▶下記「ベールビューの設定をする」
文字フォント切替	画面に表示される文字フォントを変更します。
壁紙	画像データを選択して壁紙を変更します。

ベールビューの設定をする

ベールビューを設定すると、隣の人から表示内容をのぞかれにくくすることができます。

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[ベールビュー]

2

表示パターン	ベールビュー表示時のパターンを設定します。
濃度設定	ベールビュー表示時の濃度を設定します。
見栄え補正	ベールビュー表示時の正面からの見栄えを設定します。 **見栄えを設定→[OK]** • ゲージをスライドして見栄えを調節します。
ベールビュー	ベールビューを有効にするかどうかを設定します。

位置情報とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]

2

無線ネットワークを使用	▶P.176「無線ネットワークを使用するには」
GPS機能を使用	▶P.176「GPS機能を使用するには」
ロック設定	▶P.230「スリープモードになったときにIS05をロックする」 ▶P.230「遠隔ロックを設定する」 ▶P.232「各機能の利用を制限する」
ロック解除方法	▶P.232「ロック解除方法を設定する」

ロック解除パターン変更	▶P.233「ロック解除の入力パターンを変更する」
指の軌跡を線で表示	「ロック解除方法」が「指リスト」のとき、指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
入力時バイブ	ロックを解除するときにバイブレータが動作するかどうかを設定します。
UIMカードロック設定	▶P.233「UIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	ロック解除時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	▶P.234「デバイス管理者について設定する」
安全な認証情報の使用	▶P.234「認証情報を使用する」
microSDからインストール	▶P.234「認証情報をmicroSDメモリカードからインストールする」
パスワードの設定	▶P.234「認証情報のパスワードを設定する」
ストレージの消去	▶P.235「認証情報のストレージを消去する」

スリープモードになったときにIS05をロックする

スリープモードになったときにロックがかかるように設定できます。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック設定]→[画面ロック]

2 ロックNo.を入力→[OK]

◎画面ロックを解除するには、ロックNo.の入力が必要です。

◎画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。

◎ロック解除方法を指リストパターンに設定している場合、画面ロック解除時に入力に5回失敗すると、「忘れた場合」が表示されます。「忘れた場合」をタップし、Googleアカウントでログインしてロックを解除すると、新しい指リストパターンを設定できます。ただし、Googleアカウントを設定していない場合、「忘れた場合」は表示されません。

遠隔ロックを設定する

IS05を紛失した場合などに、特定の電話からIS05へ電話をかけて着信を繰り返すことにより、遠隔操作でIS05を他人が使えない状態にすることができます。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック設定]→[遠隔ロック]

2 ロックNo.を入力→[OK]

3

有効番号リスト	電話番号を3件まで登録できます。 1. **[新規登録]** 2. **[直接入力]→電話番号を入力→[↵]** 「電話帳引用」「プロフィール引用」から電話番号を選択します。「公衆電話」を選択することもできます。
指定時間	最初の着信から、「着信回数」で設定した回数分の着信があるまでの制限時間を指定します。
着信回数	遠隔ロックが起動するまでの着信の回数を設定します。
本体ロック解除	本体の操作で、遠隔ロックを解除できるように設定します。 • 有効に設定すると、本体の操作または遠隔操作でロックを解除できます。 • 無効に設定すると、遠隔操作のみでロックを解除できます。

■登録した電話から遠隔ロックをかけるには

有効番号リストに登録した電話から、設定した条件（指定時間･着信回数）でIS05へ電話をかけます。

memo

◎ 遠隔ロックを起動させるときは、発信者番号を通知して電話をかけてください。
◎ IS05の電源が入っていない場合や、IS05がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」（▶P.225）に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS05がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
◎ 遠隔ロックを解除するには、有効番号リストに登録した電話から、設定した条件（指定時間･着信回数）でIS05へ電話をかけます。
◎ au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。
◎ 着信回数のカウント中に次の操作を行うと、それまでにカウントした着信の回数がリセットされます。
- 「遠隔ロック」の設定を行った場合
- 「オールリセット」（▶P.236）した場合

◎ 次の場合は、着信回数はカウントされません。
- 非通知または通知不可能により発信者番号が通知されない場合
- 通話中の割込着信の場合

◎ 着信回数は、登録してある電話番号ごとにカウントされます。
◎ 遠隔ロック操作中にIS05で電話に出たり、着信拒否したり、伝言メモで応答したりしても、その着信はカウントされます。また、「着信拒否」（▶P.228）で着信拒否を設定した電話番号からの着信もカウントされます。

■安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには

あらかじめ遠隔ロックの設定をしていない場合でも、お客さまセンターへの電話や、パソコンからのお手続きで、遠隔操作で「遠隔ロック」をかけることができます。
安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■ お客さまセンターに電話して遠隔ロックをかける／解除する

【au電話から】局番なし**113**（無料）
【au以外の携帯電話、一般電話から】フリーコール**0077-7-113**（無料）
- 受付時間は、24時間です。
- 音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■ auお客さまサポートで遠隔ロックをかける／解除する

auお客さまサポート（**https://cs.kddi.com/**）にログインして、画面の指示に従ってお手続きをしてください。

memo

◎ 安心ロックサービスを初めてご利用になる際には、お申し込みが必要です。（紛失後のお申し込みでもご利用になれます。）

■安心ロックサービスご利用にあたっての注意

- 安心ロックサービスは、ご契約者からのお申し出があった場合に遠隔ロックをかけます。
- IS05の電源が入っていない場合や、IS05がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS05がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
- au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。
- IS05を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」（▶P.288）をご参照ください。

■遠隔ロックによる制限内容

遠隔ロック中は、次のようにIS05の使用が制限されます。
- デスクトップは表示されず、「遠隔ロック中」と表示されます。
- アラームは起動しません。
- ワンセグの視聴／録画は開始されません。
- 電話帳に登録された着信相手の名前は表示されません。

memo

◎遠隔ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）への電話はかけられます。

各機能の利用を制限する

他人の無断使用を防止するため「音声発信制限」「電話帳制限」などの機能の利用を制限することができます。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック設定]

2

画面ロック	▶P.230「スリープモードになったときにIS05をロックする」
遠隔ロック	▶P.230「遠隔ロックを設定する」
音声発信制限	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 • 音声発信制限中でも、緊急通報番号や157（お客さまセンター）への発信は可能ですが、ローミングモード中は発信することができません。
電話帳制限	電話帳を利用した表示／操作を制限するかどうかを設定します。

3 ロックNo.入力→[OK]

memo

◎各機能の利用制限中は、ロックNo.を入力することで、一時的に続きの操作を行うことができます。

ロック解除方法を設定する

ロックのかかった操作を行うときのロック解除方法を、「指リスト」、「ロックNo.」、「パスワード」から選択して設定できます。お買い上げ時は「ロックNo.」に設定されています。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック解除方法]

2 ロック解除方法を選択

設定中のロック解除画面が表示されます。

3 設定されているロック解除方法で入力

ロックNo.またはパスワードは入力後、「OK」をタップします。
初めて指リストを設定する場合のみガイダンスが表示されます。画面の指示に従って「次へ」を2回選択してください。指リストパターンを入力する画面が表示されます。

4 新しいロック解除方法で入力→[OK]／[次へ]

5 確認のためもう一度新しいロック解除方法で入力→[OK]／[確認]

memo

◎ロックNo.（お買い上げ時は「1234」）は、4～16桁のお好みの数字に設定できます。
◎パスワードは、4～16桁のお好みの英数字･記号に設定できます。

ロック解除の入力パターンを変更する

■ロックNo.を変更する

ロック解除方法でロックNo.を選択している場合に、入力する数字を変更します。

1 **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック解除パターン変更]→[ロックNo.]**

2 **設定されているロックNo.を入力→[OK]**

3 **新しいロックNo.を入力→[OK]／[次へ]**

4 **確認のためもう一度ロックNo.を入力→[OK]**

■指リストパターンを変更する

ロック解除方法で指リストを選択している場合に、入力する指リストパターンを変更します。

1 **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック解除パターン変更]→[指リスト]**

2 **設定されている指リストパターンを入力**

3 **新しい指リストパターンを入力→[次へ]**

4 **確認のためもう一度指リストパターンを入力→[確認]**

■パスワードを変更する

ロック解除方法でパスワードを選択している場合に、入力するパスワードを変更します。

1 **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック解除パターン変更]→[パスワード]**

2 **設定されているパスワードを入力→[OK]**

3 **新しいパスワードを入力→[OK]／[次へ]**

4 **確認のためもう一度パスワードを入力→[OK]**

UIMカードロックを設定する

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、au ICカードにはPINコード機能があります。

1 **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[UIMカードロック設定]**

2

UIMカードをロック	IS05起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力→[OK]**
UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードをロック」を有効に設定してください。 **古いPINコードを入力→[OK]→新しいPINコードを入力→[OK]→確認のためもう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

memo

◎古いPINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。（▶下記「PINコードが一致しなかった場合」）

■PINコードが一致しなかった場合

PINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

1 **8桁のPINロック解除コードを入力→新しいPINコードを入力→確認のためもう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS05が再起動することがあります。
◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.27)をご参照ください。

デバイス管理者について設定する

デバイス管理者が認証済みの場合に設定します。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[デバイス管理者を選択]

2 画面の指示に従って操作する

認証情報のパスワードを設定する

認証情報ストレージパスワードを設定します。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[パスワードの設定]

2 新しい認証情報ストレージパスワードを入力→確認のためもう一度新しい認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]

パスワードは8文字以上で設定してください。

memo

◎認証情報ストレージパスワードが設定済みの場合は、新しい認証情報ストレージパスワードを入力する前に、設定済みの認証情報ストレージパスワードを入力します。

認証情報を使用する

安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可する設定をします。

認証情報を使用する場合は、事前に認証情報ストレージパスワード(▶左記)を設定する必要があります。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[安全な認証情報の使用]

2 認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]

認証情報をmicroSDメモリカードからインストールする

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[microSDからインストール]

複数のインストール証明書がmicroSDメモリカード内にある場合、インストールする証明書を選択してください。

2 認証情報のパスワードを入力→[OK]

3 証明書の名前を指定→[OK]

認証情報ストレージパスワードを設定していない場合は、設定画面が表示されます。認証情報ストレージパスワードを設定してください。

認証情報のストレージを消去する

認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

1. **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ストレージの消去]**
   注意メッセージが表示されます。
2. **[OK]**

アカウントと同期の設定をする

アカウントと同期の基本設定や、手動同期を行います。また、アカウントを追加したり、登録済みのアカウントを削除できます。

- Exchangeサーバと同期する場合、グループが設定されている連絡先は同期されません。

同期の基本設定をする

1. **設定メニュー画面→[アカウントと同期]**
2.

バックグラウンドデータ	IS05のアプリケーションが、いつでも自動的にデータ通信できるようにするかどうかを設定します。
自動同期	自動的にデータを同期するかどうかを設定します。 •「アカウントを管理」の一覧に登録されたアカウント内の有効に設定された項目が自動同期されます。

手動で同期する

「自動同期」が無効のとき、登録されたアカウントを同期します。

1. **設定メニュー画面→[アカウントと同期]**
2. **同期するアカウントを選択**
3. **同期する項目を選択**

アカウントを追加／削除する

■アカウントを追加する

1. **設定メニュー画面→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]**
2. **追加するアカウントを選択**
3. **画面の指示に従って操作する**

■アカウントを削除する

1. **設定メニュー画面→[アカウントと同期]→削除するアカウントを選択→[アカウントを削除]**
2. **[アカウントを削除]**

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「オールリセット」(▶P.236)が必要です。

IS05をリセットする

1 設定メニュー画面→[プライバシー]→[オールリセット]

2 [携帯電話をリセット]

3 ロックNo.を入力→[OK]→[すべて消去]

memo

◎オールリセットを実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。オールリセットを実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

◎「microSD内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。

◎オールリセットを実行すると☆の付いたウィジェット(Droidget)と一部のプリインストールされているアプリケーションとショートカットが削除されます。
お買い上げ時にインストールされているアプリケーションやウィジェットは、下記のメーカーサイト「GALAPAGOS SQUARE」からダウンロードできます。
http://galapagossquare.com/

microSDメモリカードと端末容量の設定をする

1 設定メニュー画面→[microSDと端末容量]

2

合計容量	microSDメモリカードの合計容量/空き容量が確認できます。 • メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
空き容量	
microSDバックアップ	▶下記「本体メモリ内のデータをバックアップする」
microSDのマウント解除/microSDをマウント	▶P.238「microSDメモリカードを初期化する」
microSD内データを消去	
空き容量	本体の空き容量が確認できます。

本体メモリ内のデータをバックアップする

■バックアップファイルを保存する

電話帳、受信メール、送信メール、未送信メール、ブックマーク、スケジュール、メモ帳、ユーザー辞書/学習辞書(iWnn IME - SH edition)、おすすめ・コミュニケーション(操作使用履歴)の登録内容をmicroSDメモリカードにバックアップして、控えを作成できます。

1 設定メニュー画面→[microSDと端末容量]→[microSDバックアップ]

microSD保存・読み込み画面が表示されます。

端末設定

2 [保存]→ロックNo.を入力→[OK]

保存できるデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 保存するデータカテゴリを選択

電話帳を選択した場合は、登録している画像も一緒にバックアップするかどうかの確認画面が表示されますので、「はい」／「いいえ」を選択します。「今後表示しない」を有効にすると、以降確認メッセージの表示はされず、「電話帳の画像設定」(▶P.238)の内容でバックアップされます。
スケジュールを選択した場合は、バックアップ対象についての通知画面が表示されますので、「OK」をタップしてください。

4 [開始]

処理中は着信できない旨の確認画面が表示されます。

5 [はい]

電波OFFモードになり、バックアップが開始されます。
スケジュールを選択した場合は、アカウント選択画面が表示されますので、アカウントを選択→[OK]と操作してください。

6 [完了]

◎電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎本体の空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
◎すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、カテゴリ選択時に[≡]→[全件チェック]／[全件解除]と操作します。また、前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合は、[≡]→[前回選択項目のチェック]と操作します。
◎バックアップが完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で戻す必要があります。
◎バックアップできる受信メール、送信メール、未送信メールはCメール／Eメールです。
◎お買い上げ時に保存されている受信メールはバックアップできません。
◎バックアップファイルは最大1,000件まで保存できます。

■バックアップファイルを読み込む

1 microSD保存・読み込み画面→[読み込み]

2 ロックNo.を入力→[OK]

読み込むことができるデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 読み込むデータカテゴリを選択

バックアップファイルの一覧が表示されます。

4 読み込むバックアップファイルを選択

5 [追加登録開始]／[上書登録開始]

「ユーザー辞書／学習辞書(iWnn IME - SH edition)」を選択した場合は、本体のユーザー辞書／学習辞書が削除される旨のメッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

6 [はい]

電波OFFモードになり、読み込みが開始されます。
スケジュールを選択した場合は、カレンダーシート選択画面が表示されますので、カレンダーシートを選択→[OK]と操作してください。

7 [完了]

◎すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、バックアップ時と同様の操作で可能です。バックアップファイルは最新のものが選択されます。
◎アカウントが設定されている場合、電話帳読み込み時に登録先を選択する画面が表示されます。
◎読み込みが完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で戻す必要があります。
◎電池残量が少ないときは読み込みできません。
◎バックアップデータを上書登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の端末内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
◎ユーザー辞書／学習辞書は追加登録を行った場合でも上書きされます。

■バックアップファイルを設定・管理する

1 **microSD保存・読み込み画面→[設定・管理]**

2

バックアップファイルの整理	各データカテゴリ内で、バックアップファイルを個々に選択して削除することができます。 • バックアップデータは1,000ファイルまで表示されます。
電話帳の画像設定	電話帳をバックアップするときに画像（顔）を含めるかどうかを設定できます。
結果画面閲覧	バックアップ／読み込みの結果一覧が表示されます。項目を選択すると詳細結果を確認できます。
おすすめの自動バックアップ	本体に保存できる容量が上限に達したときに、おすすめ・コミュニケーションデータをmicroSDメモリカードへバックアップするかどうかを設定できます。
電話帳との関連付け	コミュニケーションデータと電話帳を関連付けることができます。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ（アプリケーションを含む）はすべて削除されます。

1 **設定メニュー画面→[microSDと端末容量]→[microSDのマウント解除]→[OK]**

2 **[microSD内データを消去]**

3 **[microSDをフォーマット]→ロックNo.を入力→[OK]→[すべて消去]**

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「microSDをマウント」を選択してください。
◎データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

使用する言語やキーボードの設定をする

1 **設定メニュー画面→[言語とキーボード]**

2

言語（Language）を選択	▶下記「日本語と英語の表示を切り替える」
単語リスト	▶P.67「単語リストに登録する」
iWnn IME - SH edition	▶P.68「iWnn IME - SH editionの設定を行う」
Androidキーボード	▶P.70「Androidキーボードの設定を行う」

日本語と英語の表示を切り替える

1 **設定メニュー画面→[言語とキーボード]→[言語（Language）を選択]**

2 **[English]／[日本語]**

音声入出力の設定をする

音声認識装置やテキストから音声への変換オプションの設定をします。

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

音声認識装置の設定	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「音声の速度」と「言語」の設定に従って再生するかどうかを設定します。
	既定のエンジン	テキストを読み上げる場合に使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール	▶右記「音声データをインストールする」
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	Pico TTSを設定します。 Androidマーケットからデータをインストールすることができます。

memo

◎音声入力する言語により、「セーフサーチ」「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。

◎テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語(Language)を選択」(▶P.238)が「日本語」の場合には利用できないことがあります。

音声データをインストールする

テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをAndroidマーケットなどからダウンロードしてインストールする必要があります。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[音声入出力]
→[テキスト読み上げの設定]
→[音声データをインストール]

Androidマーケットに接続します。
初回接続時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。
Androidマーケットの検索結果画面が表示されます。

2 インストールするデータを選択→[無料]→[OK]

自動的に音声データのダウンロードを開始します。
ダウンロード完了後、音声データがmicroSDメモリカードにインストールされます。

memo

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

ユーザー補助の設定をする

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。また、通話中に(🔒/⏻)を押すと通話を終了するように設定できます。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合、ユーザー補助オプションを利用するときは「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。「電源キーで通話を終了」を設定するときは「キャンセル」を選択してください。

2

ユーザー補助	ユーザー補助オプションを利用するかどうかを設定します。 • お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションがインストールされていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめユーザー補助アプリケーションをAndroidマーケットなどからダウンロードする必要があります。 • ユーザー補助オプションを利用する場合は、利用するユーザー補助サービスを有効にしてください。
電源キーで通話を終了	通話中に(🔒/⏻)を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。

au one-IDの設定をする

au one-IDを設定します。auが提供しているさまざまなサービスを利用するためにはau one-IDが必要です。

1 設定メニュー画面→[au one-ID設定]

パケット通信に関する注意画面が表示されます。
「今後表示しない」を有効にすると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。
「au one-IDとは？」を選択するとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2

自動	ネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

端末情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

端末情報画面が表示されます。

2

端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 • 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 • 電池使用量を調整できる項目の場合、詳細画面に表示される機能名をタップして、調整する画面を表示できます。
タッチパネル補正	タッチパネルが正しく反応するように調整します。 6箇所の円の中心をタップしてください。 • タッチパネルには通常操作する指で触れてください。
センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
ケータイアップデート	▶右記「ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする」
メジャーアップデート	▶右記「メジャーアップデート(OSの更新)をする」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

memo

◎端末情報画面では、上記以外にモデル番号やソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

メジャーアップデート(OSの更新)をする

メジャーアップデートとは、IS05のOSを更新する機能です。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[メジャーアップデート]

2

アップデートの確認	手動でアップデートの有無を確認します。 • 新しいバージョンがリリースされている旨のメッセージが表示された場合は、「OK」を選択するとブラウザが起動してメジャーアップデートの方法が表示されます。内容をご確認ください。	
アップデート実行	Wi-Fi経由でアップデート	Wi-Fiを利用してOSのアップデートを実行します。 • アップデートのデータはmicroSDメモリカードに保存されます。あらかじめmicroSDメモリカードをセットしてください。
	PC経由でアップデート	パソコンを利用してOSのアップデートを実行します。 • あらかじめパソコンにメジャーアップデートツールを準備して、パソコンとIS05を接続します。詳しくは「アップデートの確認」で表示されるメジャーアップデートの方法をご確認ください。
アップデートの自動確認	アップデートの有無を定期的に自動で確認するかどうかを設定します。	

ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする

IS05は、ケータイアップデートに対応しています。ケータイアップデートとは、IS05のソフトウェアを更新する機能です。

ケータイアップデートで、IS05のソフトウェアを更新する方法は次の通りです。なお、更新方法にかかわらず、ソフトウェアの更新前と更新後にIS05の再起動が必要です。自動更新型を設定している場合は、IS05が自動的に再起動します。

更新方法	内容
手動更新	ソフトウェアの更新が必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。 • **更新が必要な場合**：ソフトウェア更新用データをダウンロードして更新※1 • **更新が不要な場合**：そのまま引き続きご利用可能
自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新します。 • **自動更新型**：お知らせを受信したときに自動的に更新※2 • **ユーザー承認型**：お知らせを受信したときに確認画面を表示

※1 ダウンロード後すぐに更新せずに、IS05を使用しない夜間など、更新開始日時を指定して更新することもできます（予約更新）。

※2「自動設定」を「OFF」にすると、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[ケータイアップデート]

2

アップデート開始	IS05のソフトウェア更新が必要かどうかを確認します（手動更新）。「実行」を選択すると確認を開始します。 **すぐに更新する場合** **1. [実行]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。 **後で更新する場合（予約更新）** **1. [予約]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了すると更新開始日時を設定する画面が表示されます。 **2. 日付、時刻を設定→[予約]** 更新開始日時に自動的にIS05が再起動してソフトウェアが更新されます。
自動設定	IS05が自動更新型の更新のお知らせを受信したときに、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、ソフトウェアを更新するかどうかを設定します。
予約時刻	設定されている更新開始日時を変更します。 •「解除」を選択すると、予約更新は解除されます。
リマインド機能	アップデートのお知らせを繰り返し表示するかどうかを設定します。

memo

◎ 更新開始日時を設定した後で「日付と時刻」（▶P.240）の「自動」を有効に変更した場合、または「日付設定」、「時刻設定」の設定を変更した場合は、予約更新が解除されます。

◎ 予約更新を解除した場合は、IS05のソフトウェアを更新するために「アップデート開始」をもう一度実行してください。予約更新を解除した後で「アップデート開始」を実行する場合は、画面の指示に従ってIS05を再起動してください。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新にかかる情報料・通信料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、IS05をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS05をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとケータイアップデートに失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS05に登録された各種データ（電話帳、メール、フォト、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。ただし、お客様のIS05の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります（連続更新）。

- ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート 開始」（▶P.241）によりケータイアップデートを実行し直してください。
- 「エリア設定」（▶P.277）を「ローミング（海外）」に設定している場合は、ご利用になれません。

ケータイアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ケータイアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ケータイアップデートが実行できない場合などについて

- ケータイアップデートに失敗すると、IS05が使用できなくなる場合があります。IS05が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

■ 更新のお知らせ（自動更新型）が来ると

自動更新型の「ソフトウェア更新のお知らせ」を受信した場合は、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとソフトウェアが更新されます。

memo

◎「自動設定」を「OFF」に設定している場合は、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

■ 更新のお知らせ（ユーザー承認型）が来ると

ユーザー承認型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合は、確認画面が表示されます。

■ すぐに更新する場合

「実行」を選択するとソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。

■ 後で更新する場合

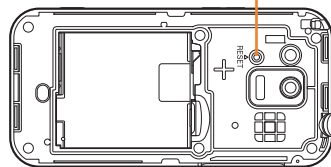
「↩」をタップすると、更新が中止されます。「アップ デート 開始」（▶P.241）によりケータイアップデートを実行し直してください。

リセットボタンで再起動する

IS05の動作が不安定になった場合や、何も操作できなくなったりした場合などに、IS05を再起動します。

1 本体裏面の電池パックカバーを取り外す

電池パックは取り外さないでください。
電池パックカバーの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」（▶P.283）をご参照ください。

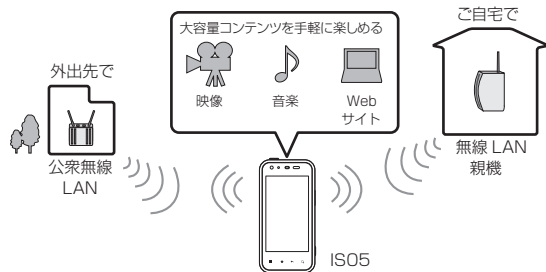
2 先の細いものでリセットボタンを2秒以上押す

3 本体裏面の電池パックカバーを取り付ける

◎リセットボタンを押して再起動しても、保存されているデータやアプリケーションは消去されません。

端末設定

Wi-Fi／データ通信

Wi-Fiを利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fiを利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fiを起動する

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi]

メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi]と操作しても、起動できます。

アクセスポイントに接続する

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fiが起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。
接続が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークに接続]→パスワードを入力→[接続]と操作しても、アクセスポイントに接続できます。
◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを自動で登録する

■ AOSS™マークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単登録]→[AOSS方式]

2 [はい]

- アクセスポイントを検索し登録します。アクセスポイントのAOSSボタンを押し続けて、AOSSモードに設定してください。
- 登録が終了すると、確認画面が表示されます。

3 [OK]

■ WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単登録]→[WPS方式]

2

プッシュボタン方式	アクセスポイント機器(無線LAN親機)の専用ボタンを押すことで、登録します。
PINコード方式	表示されたPINコードをアクセスポイント機器(無線LAN親機)に入力して、登録します。

3 [はい]

- アクセスポイントを検索し登録します。プッシュボタン方式ではアクセスポイントのボタンを押し続けて、WPSモードに設定してください。
- 登録が終了すると、確認画面が表示されます。

4 [OK]

memo

◎アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

◎簡単登録で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [保存]

■ セキュリティを「WEP」、「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力→[保存]

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定/入力→[保存]

memo

◎手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

◎Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークを変更]と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

アクセスポイントとの接続を切る

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択→[切断]**

Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークから切断]→[はい]でも同様に操作できます。

memo

◎アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fiのネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 **Wi-Fi設定画面→[ネットワークの通知]**

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 **Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiのスリープ設定]**

2 **Wi-Fiのスリープ設定を選択**

静的IPアドレスを使用して接続する

1 **Wi-Fi設定画面→[≡]→[詳細設定]→[静的IPを使用する]**

2 **項目を選択→情報を入力→[OK]**

公衆無線LANのアクセスポイントに自動ログインする

1 **Wi-Fi設定画面→[公衆無線LAN自動ログイン]**

公衆無線LANアカウント設定画面が表示されます。

2 **公衆無線LANサービスを選択**

3

自動ログイン	利用可能エリアに入ったとき、自動でログインするかどうかを設定します。
ログインID	ログイン時のIDを入力します。
パスワード	ログイン時のパスワードを入力します。
ログオフ時Wi-Fi自動OFF	ログオフしたとき、Wi-FiをOFFにするかどうかを設定します。
対象エリア	対象エリアを設定します。

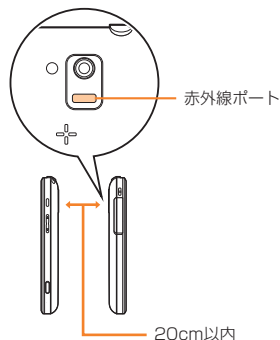
4 **[OK]**

◎「自動ログイン」が「ON」のとき、アクセスポイント利用可能エリアに入ると、ログインが開始され、ステータスバーに認証状態のメッセージが表示されます。認証に失敗した場合は、ログインIDとパスワードの再入力が必要になります。
◎対応サービスエリア情報はWi-Fi接続時に自動的に更新確認されます。この機能はオプションメニューから無効にすることもできます。

赤外線通信でデータを送受信する

IS05と赤外線通信機能を持つau電話との間で、電話帳、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、メール、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどを送受信できます。
また、IS05は高速赤外線通信方式であるIrSimple™規格に対応しています。IrSimple™規格に対応した携帯電話同士またはプリンターなどに大容量のデータを素早く転送できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、IS05の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎ IS05の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎ 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。
◎ 送受信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ 相手側の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線でデータを送信する

1 メインメニューで[赤外線送受信]→[送信]

2 送信するデータを選択

3

赤外線送信	選択したデータを通常の赤外線通信で送信します。
IrSS送信	選択したデータをIrSS™送信します。
送信項目設定	送信するプロフィールの項目を設定します。

各機能のメニューから赤外線送信する

各機能のメニューから、データを赤外線送信することができます。

1 各機能のメニューで赤外線送信操作を選択

■ データを1件送信する場合

2 **［はい］**

■ データを複数送信する場合

2

選択送信	各機能のデータを選択して送信します。
全件送信	各機能の全データを送信します。

3 **［はい］**

memo

◎送信方法は一例ですので、機能によって操作が異なる場合があります。
◎データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
◎アプリケーションによっては、「IrSS送信※」を利用することができます。
※IrSS™送信は、相手側がIrSS™対応機器である必要があります。また、対応機器であれば複数の機器に一度に送信することができます。正常に受信したかは、受ける側でご確認ください。
◎画像によっては、IrSS™送信する場合に縮小して送信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。
◎電話帳に画像が含まれている場合は、画像を送信するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
◎「選択送信」「全件送信」の場合は、認証コードが必要です。
◎電話帳を全件送信する場合は、「送信項目設定」（▶P.223）にかかわらず、プロフィールのすべての内容も送信されます。
◎複数のGoogleアカウントを設定している場合、電話帳を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている電話帳が送信されます。

赤外線でデータを受信する

1 **メインメニューで［赤外線送受信］→［受信］／［全件受信］**

「全件受信」を選択した場合は、ロックNo.と認証コードを入力してください。

2

1件受信する場合	「はい」を選択して受信データを追加登録します。
全件受信する場合	受信データを登録する際に、IS05内のデータを残すか削除するかを選択します。 **追加登録**：データを残して登録 **全件削除して登録**：データをすべて削除して登録 **登録しない**：受信データを登録せずに破棄

memo

◎電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
◎電話帳を全件受信して「全件削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます（IS05の自局電話番号・自局メールアドレスは除く）。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

■受信データの登録先について

受信データ	登録先／保存先
vCard	プロフィールまたは電話帳
vNote（メモ帳）	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
vMessage	コンテンツマネージャー
その他のデータ	コンテンツマネージャー

※データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

Bluetooth®

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ(ワンセグ)放送を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、メール、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎IS05はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01(別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペアリング中)」、「データ送受信中」、「登録機器一覧からの検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

オーディオ機器とIS05の間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS05の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合はBluetooth®通信が終了します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。ただし、データ転送中の場合は通信を終了します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。IS05のBluetooth®機能は日本国内での無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) Ver.1.3 OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

周波数帯について

IS05のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHz～2.480GHzまでの周波数を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあるので、他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■Bluetooth®ご使用上の注意

IS05のBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. IS05を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS05と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS05の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス(12桁の英数字)です。 登録機器一覧に登録した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。

用語	説明
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP (Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと電話帳データなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳データを転送するためのプロファイルです。
OBEX (Object Exchange)	画像データや電話帳データのファイル交換を行うための規格です。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。 IS05では、4桁の数字を入力できます。
パスキー	▶P.255「パスキーについて」
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。 IS05では、テレビ(ワンセグ)、LISMOのことを指します。
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 IS05では、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®を起動する

IS05でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

Bluetooth®を起動すると、ステータスバーに接続待機中のアイコンが表示されます。
メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[Bluetooth]と操作しても起動できます。

memo

◎Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。
◎オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。
◎他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「探索受付」を「受付」に設定します。「Bluetooth®機能の詳細設定をする」(▶P.259)をご参照ください。

■Bluetooth®の起動状態を示すアイコンについて

アイコン	概要
(Bluetoothアイコン)	Bluetooth®起動中(接続待機中)
(Bluetoothアイコン)	Bluetooth®接続中

■Bluetooth®機器からの接続要求に応答するには

Bluetooth®を起動しているときに、未登録のBluetooth®機器からの接続要求があると、ステータスバーに「Bluetoothペア設定リクエスト」のテロップおよびお知らせアイコンが表示されます。ステータスバーをタップ→[ペア設定リクエスト]と操作するとパスキーを入力する画面が表示され、IS05とBluetooth®機器で同じパスキーを入力して認証に成功すると、Bluetooth®機器が登録機器一覧に登録されます。

登録機器一覧画面表示中など、お知らせアイコンは表示されずに、パスキーを入力する画面が表示される場合もあります。また、Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります。

■ハンズフリー通話について

Bluetooth®を起動した状態で、登録済みのハンズフリー機器（最後に接続した機器または優先接続先設定で設定した機器）やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

◎ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。

◎ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ対応機器を登録してください。(▶P.256「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」)

◎ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中に◁／▷を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

◎ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

Bluetooth®機器を登録する

IS05からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器を登録機器一覧に登録します。なお、オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する操作については、「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」(▶P.256)をご参照ください。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[登録機器一覧]

登録機器一覧画面が表示されます。
登録機器がない場合は、「登録機器なし」と表示されます。

2 [機器検索]

検索に応答した機器が最大20件まで検索結果に表示されます。

	登録済	未登録
ハンズフリー機器		
オーディオ機器		
携帯電話		
コンピュータ		
ヘッドホン		
その他		

3 登録するBluetooth®機器を選択

4 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、IS05とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器が登録機器一覧に登録されます。

memo

◎Bluetooth®機器と接続中は、機器の検索を実行できません。
◎Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎登録機器一覧に登録されるのは、最新の20件です。登録済みのBluetooth®機器が20件ある場合は、上書き登録するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。保護されている機器、接続中の機器は上書き登録の対象になりません。
◎接続したいBluetooth®機器が表示されていないときは、「再検索」をタップして、機器を再検索します。
◎登録機器一覧で機器をロングタッチすると、コンテキストメニューが表示されます。

接続するサービスの選択	サービスを選択して接続します。
優先接続設定※	優先接続先に設定します。ただし、接続中の機器がある場合は設定できません。
保護／保護解除	登録機器情報を20件まで保護します。また、保護した状態を解除します。
全件保護解除	登録機器情報の保護を全件解除します。
削除	登録機器情報を削除します。
詳細情報	登録機器の詳細情報（機器アドレスなど）を表示します。 •「編集」をタップすると、登録機器名称を編集できます。登録機器名称編集後に「保存」をタップすると変更できます。

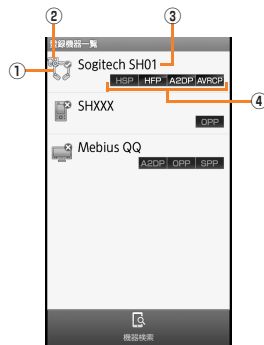
※ハンズフリー／オーディオをサポートしていない機器を選択している場合は表示されません。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS05およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS05では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎登録機器一覧から接続相手を削除すると、次に同じ機器と接続するときに、再度Bluetooth®機器を登録する必要があります。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS05のBluetooth®接続画面にパスキーと「登録しますか？お互いのパスキーが一致していることを確認してください。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、IS05で「OK」を選択し、接続するBluetooth®機器でも接続の操作を行ってください。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS05のBluetooth®接続画面にパスキーと、接続する機器にパスキーを入力する必要がある旨のメッセージが表示されることがあります。その場合は、パスキーを接続するBluetooth®機器に入力してください。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、パスキーを入力せずに接続できる場合があります。

■ 登録機器一覧画面について

《登録機器一覧画面》

① 機器種別

	接続中	切断中
ハンズフリー機器		
オーディオ機器		
携帯電話		
コンピュータ		
ヘッドホン		
その他		

機器を保護すると、アイコンの右下に が付きます。

② 優先接続設定

機器種別アイコンの左上に以下のアイコンが表示されます。

ハンズフリー優先	
オーディオ優先	
両方優先	

③ 機器名称または機器アドレス

④ 対応プロファイル

	接続中	未接続
ヘッドセットを利用できる機器	HSP	HSP
ハンズフリー通話を利用できる機器	HFP	HFP
オーディオ出力を利用できる機器	A2DP	A2DP
オーディオ機器をリモート制御できる機器	AVRCP	AVRCP
データ送受信を利用できる機器	OPP	OPP
機器同士の相互接続を利用できる機器	SPP	
電話帳データを利用できる機器	PBAP	

オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する

オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録します。
この操作は対応機器の近く(10m以内)で行ってください。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[新規デバイス登録]

機器検索を行うための確認画面が表示されます。
「今後表示しない」を有効にすると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]

3 対応機器を選択

4 画面の指示に従って操作し、対応機器を認証

パスキーの入力画面が表示されたときは、IS05と対応機器で同じパスキー(4～16桁の数字)を入力します(Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります)。認証に成功すると、対応機器が登録されます。
登録完了後、対応機器と接続されます。

memo

◎ SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
◎ 音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。

オーディオ機器でオーディオ出力対応アプリの音を聴く

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[登録機器一覧]

2 登録済みのオーディオ機器の中から、音を出力する機器を選択

機器種別アイコンが接続中に変わります。

memo

◎ オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
◎ オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめ対応機器を登録してください。また、オーディオ機器との接続が失敗する場合は、もう一度登録するなど、登録状況をご確認ください。(▶P.256「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」)
◎ この機能は、イヤホンの代わりにオーディオ機器を使用する機能です。
◎ 500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

■オーディオ機器接続中の動作について

オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- BGM再生中／BGM受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話をしたりすることはできません。スピーカーとマイクで通話してください。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビ(ワンセグ)の番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。
- オーディオ機器は、最後に接続した機器、または優先接続先設定で設定した機器が優先接続デバイスに設定されます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth®送信することができます。

1 各機能のメニューでBluetooth®送信操作を選択

■ データを1件送信する場合

2 送信先の機器を選択

■ データを複数送信する場合

2

選択送信	各機能のデータを選択して送信します。
全件送信	各機能の全データを送信します。

3 ［はい］

4 送信先の機器を選択

◎送信方法は一例ですので、機能によって操作が異なる場合があります。
◎データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
◎送信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。その他のプロファイルでBluetooth®接続を行っている場合は、接続中のプロファイルを切断する必要があります。データ送信時に相手側の機器と接続すると、接続中のプロファイルは自動的に切断されます。
◎電話帳を全件送信する場合は、「送信項目設定」(▶P.223)にかかわらず、プロフィールのすべての内容も送信されます。
◎複数のGoogleアカウントを設定している場合、電話帳を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている電話帳が送信されます。
◎電話帳に画像が含まれている場合は、画像を送信するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、メールはvMessage形式、メモ帳はvNote形式、ブックマークはvBookmark形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

IS05でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、次の操作でIS05を受信待機状態にしてから、相手側(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®を起動する」(▶P.253)をご参照ください。

1 メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[データ受信]→受信完了

2

1件受信した場合	受信したデータを追加登録／保存します。
全件受信した場合	受信データを登録する際に、IS05内のデータを残すか削除するかを選択します。 **追加登録**：データを残して登録 **全件削除して登録**：データをすべて削除して登録 **登録しない**：受信したデータを登録せずに破棄

memo

◎データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。その他のプロファイルでBluetooth®接続を行っている場合は、接続中のプロファイルを切断する必要があります。データ受信のため相手側の機器と接続すると、接続中のプロファイルは自動的に切断されます。
◎他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。「データ受信」を選択しても受信待機状態にならない場合、起動している他のアプリの通信を終了させてください。
◎接続する機器によっては、認証パスワードが必要になる場合があります。
◎電話帳、メモ帳、ブックマーク以外のデータは、1件受信のみ可能です。
◎電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
◎電話帳を全件受信して「全件削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます（IS05の自局電話番号・自局メールアドレスは除く）。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎受信したデータの登録先／保存先は以下の通りです。

受信データ	登録先／保存先
vCard	プロフィールまたは電話帳
vNote（メモ帳）	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
vMessage	コンテンツマネージャー
その他のデータ	コンテンツマネージャー

◎受信したvCard形式、vMessage形式、vNote形式、vBookmark形式のデータは、コンテンツマネージャーで［Others］→データを選択→画面の指示に従って操作しても、登録することができます。

Bluetooth®機能の詳細設定をする

1 **メインメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth設定］→［Bluetooth詳細設定］**

2

自機情報	自機情報を表示します。 •「編集」をタップすると、自機名称を編集できます。自機名称編集後に「保存」をタップすると変更できます。
探索受付	Bluetooth®機器からの検索を受け付けるかどうかを設定します。
常にハンズフリー通話	常にハンズフリー機器で通話するかどうかを設定します。
複数接続待受け	接続中の機器がある場合に、他の機器からの接続を受け付けるかどうかを設定します。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.90
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	下記
	着信転送サービス	P.267
	割込通話サービス	P.270
	発信番号表示サービス	P.272
	番号通知リクエストサービス	P.272
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.271
	迷惑電話撃退サービス	P.273
	通話明細分計サービス	P.274

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「電波OFFモード」(▶P.225)を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.267)は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.272)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.264)の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 クイックメニューで[📞（電話）]→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始1）

1 クイックメニューで[📞（電話）]→[1][4][1][1]→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [通話終了]

■通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始2）

1 クイックメニューで[📞（電話）]→[1][4][1][3]→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [通話終了]

■お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）
- 着信中に[≡]→[着信転送]と操作した場合（選択転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。このとき、お留守番サービス以外にIS05の「伝言メモ設定」（▶P.197）または「オートアンサー」（▶P.227）が同時に設定されているときは、応答時間の短いものが優先されます。お留守番サービスの応答時間は変更できません。

◎お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.267）を同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。

◎「エリア設定」（▶P.277）を「ローミング（海外）」に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 クイックメニューで[📞（電話）]→[1][4][1][0]→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [通話終了]

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS05のお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.265「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
「*」: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、Cメールで確認できます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言·ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言·ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言·ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。
発番情報なし: 1件
発番情報あり: 20件
◎伝言·ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.263)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、Cメールで確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.263)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 クイックメニューで[(電話)]→[1][4][1][7]→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[はい]でも同様に操作できます。
クイックメニューで[(電話)]→[1]をロングタッチしても同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「2」: 伝言を保存
「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
「5」: 伝言を一時停止(20秒間)※
「6」: 5秒間早送りして聞く
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「＊」: 前の伝言を聞く
※「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話終了]

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.264)も同じものとして扱われます。
◎ 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認/変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 クイックメニューで[(電話)]→[1][4][1][4]→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話終了]

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[通話終了]

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
(▶P.265「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][6][1][0]→[発信]

2 [通話終了]

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS05以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS05の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.27)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][1][9][1]→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][1][9][0]→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [通話終了]

memo

◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.262)を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.272)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②選択転送　③無応答転送
◎無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS05までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS05から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [通話終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][1][2]→[発信]と操作して設定できます。

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモ設定」（▶P.197）または「オートアンサー」（▶P.227）が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [通話終了]

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][1][3]→[発信]と操作して設定できます。

◎話中転送と割込通話サービス（▶P.270）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→[発信]

メインメニューで[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [通話終了]

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、クイックメニューで[（電話）]→[1][4][2][1][4]→[発信]と操作して設定できます。

◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS05は呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 クイックメニューで［📞（電話）］→［1］［4］［2］［5］＋転送先電話番号を入力→［発信］

メインメニューで［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［選択転送］→［はい］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 ［通話終了］

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、クイックメニューで［📞（電話）］→［1］［4］［2］［1］［5］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 着信中に［≡］→［着信転送］と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎「エリア設定」（▶P.277）を「ローミング（海外）」に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

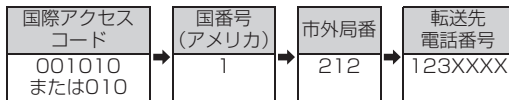
例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 クイックメニューで［📞（電話）］→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→［発信］

［1］［4］［2］［2］：無応答転送　［1］［4］［2］［4］：フル転送
［1］［4］［2］［3］：話中転送　［1］［4］［2］［5］：選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	国番号（アメリカ）	市外局番	転送先電話番号
001010 または010	1	212	123XXXX

3 ［通話終了］

memo

◎ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 クイックメニューで［📞（電話）］→［1］［4］［2］［0］→［発信］

メインメニューで［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［転送停止］→［はい］でも同様に操作できます。

2 ［通話終了］

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS05以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のIS05の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.27)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][5][1]→[発信]

2 [通話終了]

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.272)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.273)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][5][0]→[発信]

2 [通話終了]

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [ ]を右方向にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
[数字キー]→[発信]と操作するたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 クイックメニューで[(電話)]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[数字キー]→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、[数字キー]→[発信]→[発信]と操作するとAさんとの通話に戻ります。

4 [数字キー]→[発信]

3人で通話できます。
[数字キー]→[発信]と操作すると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話中は、Cメールを送ることはできません。

◎三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様のIS05のディスプレイに表示したりするサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(IS05の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。
◎発信者番号通知の設定方法については、「発信者番号通知を設定する」(▶P.227)をご参照ください。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS05のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.262)、着信転送サービス(▶P.267)、割込通話サービス(▶P.270)、三者通話サービス(▶P.271)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.273)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始·停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **クイックメニューで[(電話)]→[1][4][8][1]→[発信]**

2 **[通話終了]**

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **クイックメニューで[(電話)]→[1][4][8][0]→[発信]**

2 **[通話終了]**

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス（▶P.262）、着信転送サービス（▶P.267）、割込通話サービス（▶P.270）、三者通話サービス（▶P.271）、番号通知リクエストサービス（▶P.272）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **クイックメニューで[(電話)]→[1][4][4][2]→[発信]**

2 **[通話終了]**

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。

◎次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手の方から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][4][8]→[発信]

2 [通話終了]

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎「エリア設定」(▶P.277)を「ローミング(海外)」に設定している場合は、ご利用になれません。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][4][4][9]→[発信]

2 [通話終了]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 クイックメニューで[📞(電話)]→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[発信]

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号(110、119、118)、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポートCDMA

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■IS05を盗難・紛失したら

- 海外でIS05を盗難・紛失された場合はお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS05に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.27「PINコードについて」）

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS05を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

1 メインメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［ローミング設定］→［PRL設定］→［PRLバージョンを更新する］

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

memo

◎PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。
◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

IS05を使用するエリアを設定します。

1 **メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[エリア設定]**

2

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
ローミング（海外）	海外でご利用になる場合（PRLに従って自動設定）に設定します。

memo

◎「エリア設定」を「ローミング（海外）」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 **メインメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]**

「OK」を選択すると、データローミングが有効になります。

memo

◎データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」（▶上記）を「ローミング（海外）」に設定してください。

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

渡航先で電話をかける

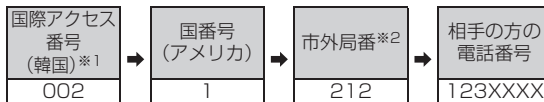
渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 **クイックメニューで[📞（電話）]**

電話番号入力画面が表示されます。

2 **国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]**

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

◎電話をかける相手の方がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の方の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 クイックメニューで[📞(電話)]

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番＋相手の方の電話番号
メキシコ	■ **市内通話の場合** 相手の方の電話番号 ■ **市外通話の場合** 「01」＋市外局番＋相手の方の電話番号

3 [発信]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

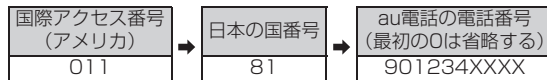
1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→[発信]

国際アクセス番号（アメリカ）
011

➡

日本の国番号
81

➡

au電話の電話番号（最初の0は省略する）
901234XXXX

グローバルパスポートGSM

GLOBAL PASSPORT GSM（グローバルパスポートGSM）について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、お客さまセンターにてご確認ください。

IS05はグローバルパスポートCDMAにも対応しています。（▶P.277「渡航先で電話をかける」）グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAの対応エリアについては、auホームページもしくはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

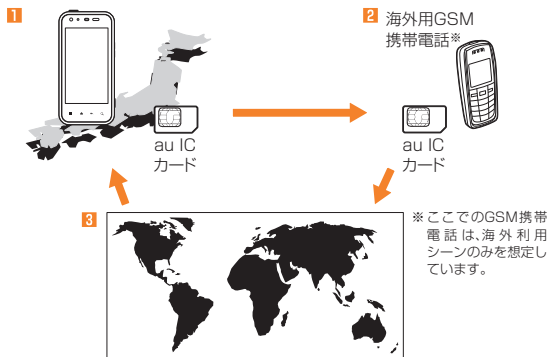
◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

1. **国内では、au ICカード対応au電話としてご利用になれます。**
2. **au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます。**
3. **世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます。**
4. **帰国したら「au ICカード」をいつものau電話へ戻します。**

★国内モードへの変更などの手続きは不要です。

※ここでのGSM携帯電話は、海外利用シーンのみを想定しています。

海外利用

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、IS05からau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の取扱説明書に従い、取り付けてください。(▶P.39「au ICカードを取り外す」)

memo

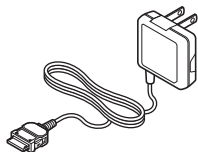
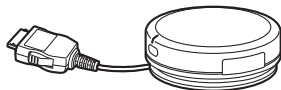
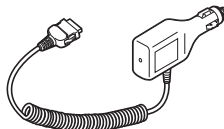
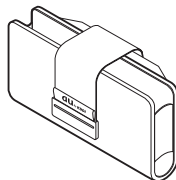
◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その取扱説明書をご確認ください。なお、渡航前に設定の確認をされることをおすすめします。
◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ IS05の「UIMカードロック設定」でお客様がPINコード入力の必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります。
(▶P.233「UIMカードロックを設定する」)
◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
◎ グローバルパスポートGSMは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.27「PINコードについて」)

付録・索引

付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（SHI05UAA）
■ microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル（同梱）
■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）／
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）／
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）／
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）／
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）／
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）／
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）／
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）／
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）／
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）／
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）／
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
※共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ02をご使用ください。
※AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGY、WORLD OF ALICE、KiiRollは共通ACアダプタ02と共通の仕様です。

■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）

■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）

■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）

■ シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（SHI01HVA）（別売）
■ シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01（SHI01HUA）（別売）
■ IS05カバー（クリア）（SHI05WCA）（別売）

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

電池パックを交換する

電池パックは、IS05専用のものを使用して正しく取り付けてください。

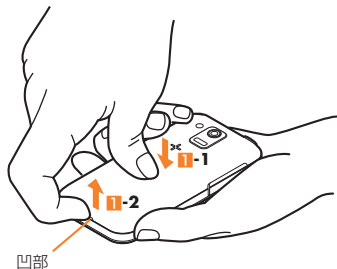
memo

◎電池パックの注意事項については、「電池パックについて」(▶P. 19)をご参照ください。

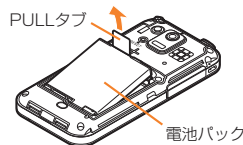
電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源を切ってください。

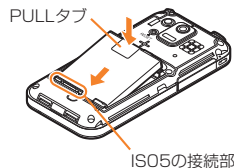
1 本体裏面の電池パックカバーを取り外す

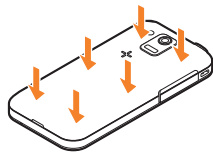
電池パックカバーの中央部分を押さえながら(1-1)、電池パックカバーの凹部に指先(爪)をかけて、矢印方向に持ち上げて取り外します(1-2)。

2 電池パックを取り外す

電池パックのPULLタブを持って、矢印の方向に引き上げて取り外します。

memo

◎電池パックを取り外すときは、PULLタブを上に引くようにしてください。また、突起部でも取り外せます。突起部やPULLタブ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける

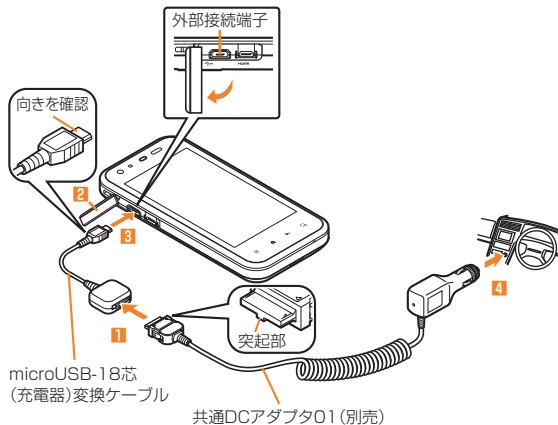
1 PULLタブが電池パックに密着していることを確認し、IS05の接続部の位置を確かめて、電池パックを確実に押し込む

2 電池パックカバーを本体に合わせて装着してから、電池パックカバーの周囲を上からしっかりと押して、カバー全体に浮きがないことを確認

memo

◎au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池パックカバー破損の原因となります。

共通DCアダプタ01（別売）を使用して充電する

電池パックをIS05に取り付けた状態で充電してください。

1 microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通DCアダプタ01（別売）を接続

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通DCアダプタ01（別売）の先端の形状を確認して接続します。

2 IS05の外部接続端子・HDMI端子カバーを開ける

3 IS05にmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルを接続

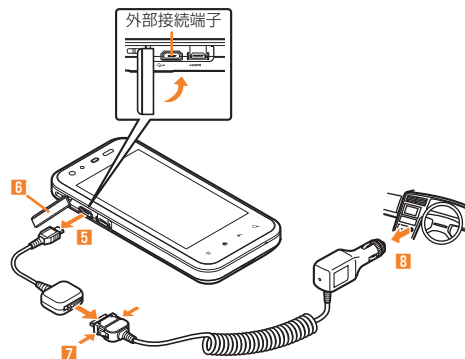
4 共通DCアダプタ01（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

IS05の充電／着信ランプが赤色に点灯します。

充電時間は約230分です

IS05の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

充電が完了すると、赤色に点灯していた充電／着信ランプが消灯します。

5 充電が終わったら、IS05からmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをまっすぐ引き抜く

6 IS05の外部接続端子・HDMI端子カバーを閉じる

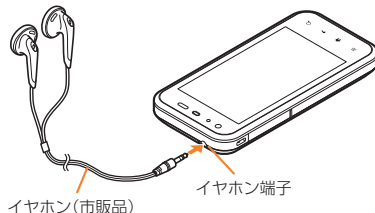
7 共通DCアダプタ01（別売）のコネクタの両側面にある取り外しボタンを、押しながら引き抜く

8 共通DCアダプタ01（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

イヤホンを使用する

イヤホン（市販品）を接続して使用します。

1 メインメニューで［設定］→［サウンド設定］→［イヤホンの種類］→［マイクなし］→［OK］

2 IS05にイヤホン（市販品）を接続

IS05のイヤホン端子カバーを取り外し、イヤホン（市販品）のコネクタを差し込みます。

memo

◎イヤホン端子カバーは誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合がありますので、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。イヤホンを使用しない場合は、本体に取り付けてください。

スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイクを使用する

スイッチ付イヤホンマイク（市販品）／イヤホンマイク（市販品）を接続して使用します。

1 メインメニューで[設定]→[サウンド設定]→[イヤホンの種類]→[マイクあり]→[OK]

2 IS05にイヤホンマイク（市販品）を接続

IS05のイヤホン端子カバーを取り外し、イヤホンマイク（市販品）のコネクタを差し込みます。

memo

◎スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

◎イヤホン端子カバーは誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合がありますので、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。イヤホンを使用しない場合は、本体に取り付けてください。

通話を終了する

1 通話を終了するときは、スイッチ付きイヤホンマイク（市販品）のスイッチを押す

通話が終了します。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
(🔒/⏻)を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.34
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.284
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.23
	(🔒/⏻)を長押ししていますか？	P.36
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.34
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.34
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.36
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.72
	電話番号入力後、「発信」を選択していますか？	P.72
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.277
	「音声発信制限」で発信が制限されていませんか？	P.232
	「電話帳制限」で発信が制限されていませんか？	P.232
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.225
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.48
	サービスエリア外にいませんか？	P.48
	電源は入っていますか？	P.36
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.277
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.228
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.225
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.267

こんなときは	ご確認ください	参照
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.48
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.32
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.277
Wi-Fiがつながらない	Wi-Fiの電波は十分に届いていますか？	P.48
	Wi-Fiの設定をしましたか？	P.246
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.228
	マナーモードに設定されていませんか？	P.196
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.35
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.284
	「USB充電」の設定は有効になっていますか？ ※microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、シャープケータイdaSHサポートページ(http://k-tai.sharp.co.jp/support/)をご参照ください。	P.218
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.36
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.36
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.34
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか？	P.201
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルを補正してみてください。	P.241
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.44
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.36
au ICカード(UIM)エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.38 P.39
	異なるau ICカードを挿入していませんか？	P.38 P.39
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.35 P.38

こんなときは	ご確認ください	参照
電話が勝手に応答する	伝言メモが設定されていませんか？	P.196
	マナーモードが設定されていませんか？	P.196
	オートアンサーが設定されていませんか？	P.227
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※赤色の充電／着信ランプが消灯するまで、充電してください。	P.34
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.20
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.48
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	P.49 P.58
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.48
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？	P.229
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.229
	明るい場所で操作していませんか？ 周囲が明るいとバックライトは点灯しません。	P.229
	「ベールビュー」が設定されていませんか？	P.229
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.72
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.24
イヤホンマイクのマイクが使えない	「イヤホンの種類」が「マイクなし」に設定されていませんか？	P.286
	コネクタが正しく挿入されていますか？ 奥までしっかり挿入してください。	P.286
テレビ(ワンセグ)が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.165
	テレビアンテナを伸ばしていますか？	P.165
	視聴している場所が選択しているエリアと合っていますか？	P.174
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	P.291

こんなときは	ご確認ください	参照
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	先の細いものでリセットボタンを2秒以上押してください。 IS05が再起動します。	P.243
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、電話帳のグループ音声着信設定は有効になりません。	－
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.80
	「電話帳制限」が有効になっていませんか？	P.232
	遠隔ロック中ではありませんか？	P.230
	フォルダシークレット登録したフォルダに振り分け登録されていませんか？	P.98
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.129
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.114
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.41
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.238
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.34 P.132
	本体の温度が高くなっていませんか？	P.140

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化·消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ·全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのIS05本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　　フリーコール **0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　　局番なしの**113**（通話料無料）

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 （無料）	お客様負担額 5,250円（税込）
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円（税込）	お客様負担額 10,500円（税込）
④ 紛失時あんしんサービス 注：盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	**フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合**	
	フルサポート解除料 全額免除	フルサポート解除料 お客様負担額 最大10,500円（税込）まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金 最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金 最大6,300円（税込）OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ･全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失･盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年〜2年までの間、3年〜4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

画像･ムービー･音楽･その他の詳細情報

データの登録先一覧

データの種類と登録先の対応は次の通りです。

■画像の登録先一覧

<table>
<tr><th colspan="2">登録先
データの種類</th><th>壁紙画像</th><th>通話中背景画像</th><th>メール送信中画像</th><th>メール受信中画像</th><th>電話帳の連絡先画像</th><th>プロフィール画像</th></tr>
<tr><td>JPEG</td><td rowspan="2">jpg/jpeg</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td></tr>
<tr><td>デコレーション絵文字（JPEG）</td></tr>
<tr><td>GIF</td><td rowspan="3">gif</td></tr>
<tr><td>GIFアニメ</td></tr>
<tr><td>デコレーション絵文字（GIF）</td></tr>
<tr><td>Image：PNG</td><td>png</td></tr>
<tr><td>Image：BMP</td><td>bmp</td></tr>
<tr><td>Image：WBMP</td><td>wbmp</td></tr>
</table>

○：登録可能

memo

◎著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。

◎データの種類や形式、容量、サイズにより登録操作は異なります。

■音の登録先一覧

<table>
<tr><th colspan="2">登録先
データの種類</th><th>アラーム音</th><th>音声着信音</th><th>メール受信音</th><th>通知音</th></tr>
<tr><td>Audio：AMR-Narrow band</td><td>amr</td><td rowspan="15">○</td><td rowspan="15">○</td><td rowspan="15">○</td><td rowspan="15">○</td></tr>
<tr><td>Audio：AMR-Wide band</td><td>awb</td></tr>
<tr><td>Audio：3GPP（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））</td><td>3gp</td></tr>
<tr><td>ボイス（AMRのみ）</td><td>3gp</td></tr>
<tr><td>ボイス（AMR）</td><td>3g2</td></tr>
<tr><td>Audio：MPEG4（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））</td><td>m4a/mp4</td></tr>
<tr><td>Audio：MP3（8～320kbps CBR or VBR）</td><td>mp3</td></tr>
<tr><td>Audio：WMA（著作権保護なし）</td><td>wma</td></tr>
<tr><td>Audio：MIDI</td><td>mid/midi/xmf/rtttl/rtx/ota</td></tr>
<tr><td>Audio：Ogg</td><td>ogg/oga</td></tr>
<tr><td>Audio：iMelody（Ericsson/SonyEricsson独自）</td><td>imy</td></tr>
<tr><td>Audio：PCM/WAVE</td><td>wav</td></tr>
<tr><td>Audio：SMF</td><td>smf</td></tr>
</table>

○：登録可能

memo

◎著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。
◎データの種類や形式、容量によっては、登録できない場合があります。
◎データの種類により登録操作は異なります。

編集できる画像の一覧

画像種類	画像サイズ		顔かくし	プチエステ	落書き	スタンプ	日付スタンプ	ショットメモ	文字スタンプ	画像補正	画像エフェクト	回転	リサイズ
JPEG（IS05で撮影）	QVGA	横240×縦320	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	VGA	横480×縦640	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FWVGA	横480×縦854	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	HD	横720×縦1,280	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2M	横1,200×縦1,600	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○
	フルHD	横1,080×縦1,920	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○
	3M	横1,536×縦2,048	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○
	5M	横1,944×縦2,592	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	8M	横2,448×縦3,264	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

○：編集可能　×：編集不可

memo

◎IS05で撮影した画像以外でも、編集できる場合があります。
◎画像サイズは、縦の長さと横の長さが逆になっても編集できます。
◎著作権保護が設定されている画像は編集できません。
◎データサイズによっては編集できない場合があります。

表示／再生できる画像・ムービー

データの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.png、.bmp、.wbmp、.gif
アニメ	.gif
ムービー	.m4v、.mp4、.3gp、.3g2、.3gpp、.3gpp2、.asf、.wmv

◎サイズによっては表示／再生できない場合があります。

設定項目一覧

設定メニューのリセット対象項目

メインメニューで[設定]→[プライバシー]→[オールリセット]を実行した場合にリセットされる設定メニューの項目とリセット後の値は次の通りです。

リセット対象					機能リセット後
プロフィール	姓				登録なし
	名				登録なし
	姓(よみ)				登録なし
	名(よみ)				登録なし
	電話番号				登録なし
	メール				登録なし
	mixi				登録なし
	Twitter				登録なし
	チャット				登録なし
	住所				登録なし
	GPS情報				登録なし
	所属				登録なし
	メモ				登録なし
	誕生日				登録なし
省エネ設定	おやすみ省エネ	おやすみ省エネ			無効
		設定OFF時刻			23:00
		設定ON時刻			5:00
		省エネレベル			レベル1(弱)
無線とネットワーク	電波OFFモード				無効
	Wi-Fi				無効
	Wi-Fi設定	Wi-Fi			無効
		ネットワークの通知			有効
		Wi-Fiのスリープ設定			画面がOFFになったとき
		公衆無線LAN自動ログイン	自動ログイン		OFF
			ログインID		登録なし
			パスワード		登録なし
			ログオフ時Wi-Fi自動OFF		有効
	ホームネットワーク設定	ホームネットワークサーバー			無効
		公開ネットワーク			登録なし
		サーバー名			SHARP ホームネットワークサーバー
	Bluetooth				無効
	Bluetooth設定	Bluetooth			無効
		登録機器一覧			登録なし
		Bluetooth詳細設定	自機情報	自機名称	IS05
			探索受付		拒否
			常にハンズフリー通話		OFF
			複数接続待受け		OFF
	VPN設定				登録なし
	モバイルネットワーク	データ通信			有効
		データローミング			無効
		auネットワーク設定	高度な設定	設定を有効にする	無効
				ID/パスワード設定	登録なし
	フィルタリング設定				無効
通話設定	通話時間				前回通話(目安):0秒 累積(目安):0秒 前回リセット日時: ----/--/-- --:--
	着信時キー動作設定				クイックサイレント
	オートアンサー	オートアンサー			無効
		着信時間			5秒
	通話中表示設定	背景画像の選択			通話中
		電話帳写真表示			有効
		吹き出し表示			有効
	発信者番号通知				有効

リセット対象			機能リセット後
通話設定	音声･伝言メモ	伝言メモリスト	登録なし
		音声メモリスト	登録なし
		伝言メモ設定	マナーモード連動
		応答メッセージ設定	通常
		応答時間設定	16秒
	着信拒否	指定番号	OFF（指定番号リスト：登録なし）
		非通知	OFF
		公衆電話	OFF
		通知不可能	OFF
		電話帳登録外	OFF
		着信履歴保存	有効
	アカウント	着信を許可	無効
		SIPアカウント	登録なし
	インターネット通話使用		インターネット通話の発信のみ
サウンド設定	マナーモード		OFF
	バイブ		無効
	音量	着信音	5（0～7）
		メディア	11（0～15）
		アラーム	6（0～7）
		通知音にも着信音量を適用	無効
		通知	5（0～7）
	イヤホンの種類		マイクあり
	着信音		着信メロディ1（Citation）
	バイブのパターン		パターン1
	着信ランプ	点滅パターン	パターン1
		点滅カラー	エメラルド
	通知音		お知らせ音1（water drop）
	鳴動時間		時間設定／5秒
	光を点滅させて通知		無効
	タッチ操作音		無効
	選択時の操作音		無効
	画面ロックの音		無効
	入力時バイブ		有効

リセット対象				機能リセット後
画面設定	画面の明るさ	明るさを自動調整		有効／ダイナミック
	画面の自動回転			有効
	アニメーション表示			すべてのアニメーション
	バックライト点灯時間			30秒
	ベールビュー	表示パターン		フルスクリーンパターン1
		濃度設定		普通
		見栄え補正		0（－6～6）
		ベールビュー		無効
	文字フォント切替			モリサワ 新ゴ R
USB接続	USB充電			有効
位置情報とセキュリティ	無線ネットワークを使用			無効
	GPS機能を使用			無効
	ロック設定	画面ロック		無効
		遠隔ロック	有効番号リスト	登録なし
			指定時間	3分
			着信回数	5回
			本体ロック解除	無効
		音声発信制限		無効
		電話帳制限		無効
	ロック解除方法			ロックNo.
	ロック解除パターン変更			1234
	指の軌跡を線で表示			有効
	入力時バイブ			無効
	パスワードを表示			有効
	デバイス管理者を選択			登録なし
	安全な認証情報の使用			無効
	パスワードの設定			登録なし

リセット対象				機能リセット後
アプリケーション	提供元不明のアプリ			無効
	優先インストール先			システムで判断する
	ファイル送信メールソフト	メールソフトを指定		無効
		メールソフト名		未設定
	アプリケーションの管理	ダウンロード済み		登録なし
	開発	USBデバッグ		無効
		スリープモードにしない		無効
		擬似ロケーションを許可		無効
アカウントと同期	バックグラウンドデータ			有効
	自動同期			有効
	アカウントを管理			登録なし
microSDと端末容量	microSDバックアップ	設定・管理	電話帳の画像設定	含める
			おすすめの自動バックアップ	OFF
言語とキーボード	言語(Language)を選択			日本語
	単語リスト			登録なし
	iWnn IME - SH edition	キー操作音		無効
		キー操作バイブ		無効
		キー入力ガイド表示		有効
		キーボードイメージ		Standard
		ローマ字キーボード補助		無効
		フリック入力		有効
		フリック感度		15(0～30)
		トグル入力		有効
		自動カーソル移動		ふつう
		予測変換		有効
		ワイルドカード予測		有効
		つながり予測		有効
		候補表示行数	縦画面	2行
			横画面	1行
		絵記号リスト列数		8列(横画面12列)
		外部変換エンジン		Social IME
		自動大文字変換		有効
		自動スペース入力		無効

リセット対象				機能リセット後
言語とキーボード	iWnn IME - SH edition	音声入力		使用しない
		日本語ユーザー辞書		登録なし
		英語ユーザー辞書		登録なし
		学習辞書	候補学習	有効
		ダウンロード辞書		登録なし
		Eメール返信時学習		有効
	Androidキーボード	キー操作バイブ		無効
		キー操作音		無効
		キーポップアップ		有効
		タップして語句を修正		有効
		自動大文字変換		有効
		設定キーを表示		自動
		音声入力		メインキーボード上
		入力言語	English (United States)	無効
		入力候補を表示		有効
音声入出力	音声認識装置の設定	言語		既定 - 日本語(日本)
		セーフサーチ		中
		不適切な語句をブロック		有効
	テキスト読み上げの設定	常に自分の設定を使用		無効
		既定のエンジン		Pico TTS
		音声の速度		標準
		言語		英語(アメリカ合衆国)
ユーザー補助	ユーザー補助			無効(ユーザー補助サービス:登録なし)
	電源キーで通話を終了			無効
歩数計設定	歩数計ON			無効
	ユーザー情報			登録なし
	歩数計リセット時刻設定			0:00

リセット対象			機能リセット後
日付と時刻	自動		有効
	日付設定		本日の日付
	タイムゾーンの選択		日本標準時（東京）
	時刻設定		現在時刻
	24時間表示		有効
	日付形式		標準（2011/12/31）
端末情報	ケータイアップデート	自動設定	ON
		リマインド機能	ON
	メジャーアップデート	アップデートの自動確認	有効

各アプリケーションの設定項目

各アプリケーションのオプションメニューやTapFlow UIなどから設定できる項目と初期値は次の通りです。

アプリケーション	設定項目			初期値
au one Market	インクリメンタル検索			有効
Documents To Go	最後の場所を記憶する			有効
Gmail	署名			登録なし
	操作の確認	アーカイブ		無効
		削除		無効
		送信		無効
	全員に返信			無効
	自動表示			スレッドリスト
	メッセージの文字サイズ			標準
	バッチ操作			有効
	受信トレイやラベルを同期	同期するメールの範囲		4日間
		受信トレイ		過去4日間同期する
		スター付き		同期しない
		送信済みメール		過去4日間同期する
		プライベート		同期しない
		仕事		同期しない
		旅行		同期しない
		領収書		同期しない
	メール着信通知			有効
	通知するラベル	受信トレイ	メール着信通知	有効
			着信音	プリセット着信音
			バイブレーション	使用しない
			最初の新着メールのみ通知	有効
HDMI	HDMI出力サイズ設定			HD優先
	AQUOSファミリンク設定	リモコン文字入力		有効
		充電時自動検出		有効

アプリケーション	設定項目	初期値
jibe	ログイン情報を保持	有効
	端末の連絡先を表示	無効
Latitude	設定	現在地送信:現在地を検出 ロケーション履歴を有効にする:無効 自動チェックインを有効にする:有効 チェックイン通知を有効にする:無効 場所の管理:登録なし
LISMO	音質設定	OFF
	FMトランスミッター設定 FMトランスミッター	無効
	FMトランスミッター設定 周波数設定	78.3MHz
	再生フォーマット設定	Mp3:有効 PCM、MIDI、Ogg:無効
PCメール	アカウント名	登録なし
	名前	登録なし
	署名	登録なし
	受信トレイの確認頻度	15分毎
	優先アカウントにする	有効
	メール着信通知	有効
	着信音を選択	プリセット着信音
	バイブレーション	使用しない
	受信設定	登録なし
	送信設定	登録なし

アプリケーション	設定項目	初期値
Skype™	通知	有効
	自動的に開始	無効
	電話帳の連絡先を表示	有効
	IMを許可するユーザ	コンタクトリストのユーザのみ
	通話に応答	Skypeコンタクトのみ
	優先利用	有効
	自動アップデート	有効
Twitter	連絡先の同期	既存の連絡先と同期
	Twitterデータを同期	有効
	更新間隔	15分
	お知らせ	有効
	ツイート	無効
	@付き投稿	有効
	ダイレクトメッセージ	有効
	バイブレーション	無効
	お知らせランプ	無効
	お知らせの着信音	サイレント
	写真アップロードサービス	TwitPic
	URL短縮サービス	bit.ly
YouTube	携帯端末で高画質動画を表示	無効
	キャプションのフォントサイズ	中
	セーフサーチフィルタ	中
おサイフケータイ	おサイフケータイ ロック設定	無効
	表示形式切替	一覧表示
カメラ	イン/アウトカメラ切り替え	アウトカメラ
	セルフタイマー	OFF
	撮影サイズ	8M(2,448×3,264)

アプリケーション	設定項目		初期値
カメラ	フォーカス設定	顔優先AF	顔優先AF
		センターAF	
		接写AF	
		接写固定	
		AF OFF	
		コンティニュアスAF	ON
		チェイスフォーカス	ON
		フォーカスマーク	パターン1
	シャッター設定	ワンタッチシャッター	OFF
		笑顔レベル	レベル1(微笑)
		シャッターモード	ノーマル
		シャッター音	パターン1
	ISO感度		オート(~200)
	各種設定	画質	ハイクオリティ
		ホワイトバランス	オート
		明るさ調整	0
		手ぶれ補正	OFF
	ダイナミックレンジ補正		OFF
	保存設定	自動保存設定	ON
	シーン設定		シーン自動検出
	モバイルライト		OFF
カレンダー	辞退した予定を非表示		無効
	自宅タイムゾーン		無効
	自宅タイムゾーン		(GMT+9:00)東京、大阪
	通知方法		ステータスバー
	着信音を選択		プリセット着信音
	バイブレーション		使用しない
	デフォルトの通知時間		10分
ギャラリー	表示間隔設定		2秒
	表示効果設定		フェードイン&アウト
	リピート設定		無効
	シャッフル設定		無効

アプリケーション	設定項目			初期値
コンテンツマネージャー	グリッド／リスト切り替え			グリッド表示(Photo、Movie) リスト表示(Music、TV／SD-Video、Doc.、Others)
	検索条件設定	検索条件の対象範囲設定		全カテゴリ共通
		ソートの対象範囲設定		各カテゴリ個別
		検索条件の保存設定		保存しない
	スライドショー設定	表示間隔設定		普通
		表示効果設定		フォトブロック
		フォトブロック設定	ブロックサイズ設定	ランダム
			カラー設定	カラー
		リピート設定		無効
		シャッフル設定		無効
辞書	辞書切替			ジーニアス英和MX
	辞書管理(百科事典)			百科事典:有効
	検索方法設定(百科事典)			未選択
	画像取得設定(百科事典)			取得する
ジョルテカレンダー	スタイル			ジョルテホワイト
	設定	カレンダーの設定	24時間以降の入力を許可する	無効
		ウィジェット設定	使用するウィジェット	ジョルテ(2×2)、(4×1)、(4×2)、(4×3)、(4×4):有効 上記以外の項目:無効

アプリケーション	設定項目			初期値
ジョルテカレンダー	設定	各種設定	開始曜日の設定	1週間②(ToDo)の開始曜日:月曜日 1週間③画面の開始曜日:月曜日
			使用するリフィル(形式)	すべての項目:有効
			予定の帯表示の項目	期間(複数日にまたがる)の予定
			帯表示を色反転する	無効
			週番号を表示する	無効
			六曜を表示する	無効
			各リフィルの開始時間表示	すべての項目:有効
			バーティカル表示の設定	スクロールの調整:有効 表示時間の拡張:無効
			予定タイトル文字サイズの設定	すべての項目:100%
			ヒントを表示する	有効
			通知方法の設定	ステータスバーに通知
			通知音の選択	プリセット着信音
			バイブレーションの設定	マナーモード時に使用
			既定の通知設定	10分
			Googleカレンダーモードで通知しない	有効
			自動同期を使用する	無効
			同期間隔の設定	2時間
			完了したToDoを非表示にする	無効
			ToDoをカレンダーに表示する	有効
		祝祭日設定		日本
電話	音声発信制限設定			OFF

アプリケーション	設定項目			初期値
電話帳	未登録番号追加			ON
	表示切替			名前順
	設定	削除時暗証番号設定		常に要求する
	mixiから登録			1時間ごと
	Twitterから登録			1時間ごと
撮る家計簿Photoマネー	背景色			白
	月初め			1日
	年初め			1月
	パスワード起動			OFF
	ヘルプ			ON
トーク	自動ログイン			有効
	モバイルインジケーター			有効
	不在への自動切り替え			有効
	招待通知			有効
	通知			ステータスバーでの通知
	着信音			プリセット着信音
	バイブレーション			使用しない
	通知			ポップアップアラート
	着信音			プリセット着信音
	バイブレーション			使用しない
時計	世界時計			東京、ニューヨーク
	アラーム	設定	優先設定	マナー優先
			祝日設定	すべての項目:有効
			曜日設定	日曜日、土曜日
			プライベート休日設定	登録なし
			アラーム音量	6(0～7)
	タイマー	設定	アラーム音	アラーム音1(Orgel)
			バイブレータ設定	OFF
ナビ	経路オプション	高速道路を使わない		無効
		有料道路を使わない		無効
ナビウォーク	乗換	検索条件	ルート表示順	時間短い順
			徒歩速度	標準
			使用路線	すべての項目:有効

アプリケーション	設定項目			初期値
ニュースと天気	天気予報の設定	現在地情報を使用		有効
		位置情報の設定		登録なし
		メートル法を使用		有効
	ニュースの設定	ニューストピックの選択		カスタムトピック:登録なし トップニュース、スポーツ、エンタメ:有効
		記事のプリフェッチ		無効
		画像のプリフェッチ		無効
	更新の設定	自動更新		有効
		更新間隔		6時間
ピクチャー	スライドショー設定	表示間隔設定		普通
		表示効果設定		フォトブロック
		フォトブロック設定	ブロックサイズ設定	ランダム
			カラー設定	カラー
		リピート設定		無効
		シャッフル設定		無効
	サムネイル表示			マルチタイル表示
	ネットワーク画像の同期	アカウント設定	アカウント設定	登録なし
			Picasa画像表示	無効
			mixi画像表示	無効
ビデオカメラ	イン/アウトカメラ切り替え			アウトカメラ
	セルフタイマー			OFF
	撮影サイズ			HD(1,280×720)
	フォーカス設定	標準(人物優先)		標準(人物優先)
		センターAF		
		接写AF		
		接写固定		
		AF OFF		
		コンティニュアスAF		ON
		チェイスフォーカス		ON

アプリケーション	設定項目		初期値
ビデオカメラ	各種設定	画質設定	ハイクオリティ
		ホワイトバランス	オート
		明るさ調整(+2 to -2)	0
		マイク設定	ON
		個人検出ON/OFF	ON
	自動保存設定		ON
	シーン設定		シーン自動検出
	モバイルライト		OFF
ブラウザ	文字サイズ		中
	デフォルトの解像度		中
	テキストエンコード		日本語(SHIFT_JIS)
	ポップアップをブロック		有効
	画像の読み込み		有効
	ページの自動調整		有効
	JavaScriptを有効にする		有効
	プラグインを有効にする		常にON
	ピンチ操作で速度を優先		有効
	バックグラウンドで開く		無効
	ホームページ設定		http://auone.jp/
	Cookieを受け入れる		有効
	フォームデータを保存		有効
	パスワードを保存		有効
	セキュリティ警告を表示		有効
	ページを全体表示で開く		有効
	常に横向きに表示		無効
	位置情報を有効にする		有効
	検索エンジンの設定		Google
ボイスレコーダー	モード		長時間モード
方位計	地図モード変更		標準地図
歩数計	歩数計設定	歩数計ON	無効
		ユーザー情報	登録なし
		歩数計リセット時刻設定	0:00
	目標設定		OFF

アプリケーション	設定項目			初期値
メール	共通設定	受信／表示設定	画像拡大縮小表示	拡大縮小する
			着信お知らせ表示	差出人+件名
			音･バイブ･ランプ	メロディ：メールメロディ1（Gleam） バイブレータ：パターン2 着信ランプ（点滅パターン：パターン2、点滅カラー：サファイア） 鳴動時間：一曲鳴動
			メール受信中画面	メール受信中（Receiving Mail）
			文字サイズ設定	中
		送信／作成設定	自動再送	無効
			送信先限定設定	送信先限定設定：無効 送信先限定設定一覧：登録なし
			メール送信中画面	メール送信中（Sending Mail）
		初期表示画面		受信ボックス
		メール機能制限		無効
	Eメール設定	受信／表示設定	メール受信方法	受信方法：全受信 全受信対象登録：登録なし
			添付自動受信サイズ	137KB
			メール自動受信	有効
		送信／作成設定	署名	OFF
			差出人名称	OFF
			返信先アドレス	OFF
			引用返信	有効
	Cメール設定	自動蓄積する		無効
		受信フィルター	指定番号拒否	指定番号設定：無効 指定番号一覧：登録なし
			電話帳登録以外	無効
			Eメールお知らせ	無効

アプリケーション	設定項目			初期値
メール	メールグループ設定			登録なし
	並べ替え			日時順
メモ帳	文字サイズ設定			中
読取カメラ	明るさ調整			0
	モバイルライト			OFF
	読取データ確認			登録なし
	フォーカス設定			接写AF
ワンセグ	ワンセグテレビ	字幕／音声設定	字幕表示	マナーモード連動
			字幕位置	下
			字幕言語	言語1
			音声切替	音声1
			音声言語	主
		AV設定	AVポジション	ジャンル連動
			映像設定	シーン別明るさコントロール：ON
			サウンド設定	OFF
			画面サイズ設定	標準
			なめらかフレーム補間	ON
		データ放送設定	通信接続時確認設定	ON
			位置情報利用設定	毎回確認
			製造番号利用設定	ON
	ワンセグ録画再生	再生モード		通常再生
	設定	予約お知らせ設定	アラーム音	有効
			バイブ	有効
			アラーム通知時間	1分前
		データ放送設定	通信接続時確認設定	有効
			位置情報利用設定	毎回確認
			製造番号利用設定	有効
		縦画面サイズ設定		標準
		オートオフ時間設定		OFF
		なめらかフレーム補間		有効

主な仕様

項目		内容
ディスプレイ		約3.4インチ、約26万色、NewモバイルASV液晶
		854×480(フルワイドVGA)
質量		約130g(電池パック含む)
連続通話時間	国内	約450分
	海外	約530分:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土/ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/ニュージーランド/タイ/マカオ/バングラデシュ/バミューダ諸島/バハマ/ベネズエラ/香港 ※対象国は2011年9月時点
連続待受時間	国内	約240時間※1
		約90時間※2
	海外	約160時間:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土 約220時間:ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/バングラデシュ/バハマ/香港 約330時間:ニュージーランド/タイ/マカオ/バミューダ諸島/ベネズエラ ※対象国は2011年9月時点
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約55mm×112mm×14.1mm(最厚部14.8mm)
モバイルライト光源LED特性		a) 連続発光 b) 波長 白:400-700nm c) 最大出力 白:270μW(本体内部1.2mW)

※1 Wi-Fiを利用していないとき
※2 Wi-Fi利用時

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【IS05】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.620W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。

KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com
○ シャープのホームページ:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です(2011年3月現在)。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.118 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this IS05 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

■Cメール／Eメール

Cメール	受信フィルター	指定番号	10件
	メールセンター	保存件数	無制限
		保存期間	Cメールセンターに蓄積されてから72時間まで
Eメール	新規作成	宛先	30件(To／Cc／Bccを含む)
		件名	全角50／半角100文字
		本文	全角約5,000／半角10,000文字
		添付データ	5データまで添付可 5データを合計して最大2MB
	受信	件名	全角 約500／半角 約1,000文字
		本文	全角 約5,000／半角 約10,000文字
		添付データ	最大2MB
	サーバ	保存容量	12MBまたは最大500件
		保存期間	30日
受信ボックス		保存容量	最大2,000件※
		保護件数	最大1,000件
送信ボックス		保存容量	最大1,000件※
		保護件数	最大1,000件

※本体の空き容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります

◎Eメール送信数は1日最大1,000通(同報宛先数を含む)までです。

■アウトカメラ

撮影素子	CMOSイメージセンサー		
有効画素数	約805万画素		
フォト	撮影サイズ	QVGA 240×320	1.9倍ズーム／7段階
		VGA 480×640	1.9倍ズーム／7段階
		FWVGA 480×854	1.7倍ズーム／6段階
		HD 720×1,280※1	ズームなし
		2M 1,200×1,600	1.9倍ズーム／7段階
		フルHD 1,080×1,920	1.7倍ズーム／6段階
		3M 1,536×2,048	1.5倍ズーム／5段階
		5M 1,944×2,592	1.2倍ズーム／3段階
		8M 2,448×3,264	1.9倍ズーム／7段階※2
ムービー	撮影サイズ	QVGA 320×240	6.4倍ズーム／15段階
		VGA 640×480	5.1倍ズーム／14段階
		HD 1,280×720	ズームなし
	録画時間	QVGA：最大約90分※3 VGA：最大約90分※3 HD：最大約45分※3	

※1 連写カメラのメニューで「連写種類」を「高速」にしたときのサイズです。
※2 ズームを利用すると、ズーム倍率に応じて最適な撮影サイズに変更されます。
※3 microSDメモリカード(512MB～32GB)をセットした場合の録画可能時間です。ただし、microSDメモリカードの容量、撮影状況、保存しているその他のデータの容量などによって変わります。また、ご使用になられる温度環境･使用条件によっては録画時間が減少します。

■インカメラ

撮影素子	CMOSイメージセンサー	
有効画素数	約43万画素	
フォト	撮影サイズ	QVGA 240×320
		VGA 480×640
		FWVGA 480×854
ムービー	撮影サイズ	QVGA 320×240
		VGA 640×480
		FWVGA 864×480
	録画時間	QVGA:最大約90分※
		VGA:最大約90分※
		FWVGA:最大約90分※

※microSDメモリカード(512MB～32GB)をセットした場合の録画可能時間です。ただし、microSDメモリカードの容量、撮影状況、保存しているその他のデータの容量などによって変わります。また、ご使用になられる温度環境・使用条件によっては録画時間が減少します。

■本体内の容量

保存可能容量	約400MB

※データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。

■テレビ(ワンセグ)

連続視聴可能時間	イヤホン	サウンド設定 OFF時: 約6時間
	スピーカー	サウンド設定 OFF時: 約5時間50分

※AVポジション「標準」・明るさ「10」・シーン別明るさコントロール「OFF」・なめらかフレーム補間「ON」・字幕表示「OFF」を使用して計測した時間です。データ放送の操作などにより連続視聴可能時間は変わります。

名前から引く索引

数字／アルファベット

た

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fiを利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

アプリケーションを入手する

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示/再生/編集する

データを録画／録音する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

利用許諾契約

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳·翻案、リバース·エンジニアリング·逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.

「らくらく瞬漢ルーペ®」「ラクラク瞬英ルーペ®」「撮る家計簿Photoマネー」は、株式会社アイエスピーの登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。

Adobe Flash Player Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Flash、およびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済

Android および Android ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google および Google ロゴ、Google マップ、Gmail および Gmail ロゴ、Google トーク、Google 音声検索、Picasa および Picasa ロゴ、Android マーケット および Android マーケット ロゴ、Google Latitudeは、Google Inc.の登録商標または商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。

DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

Droidget®は、その商標権者が所有しておりシャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。

IrSimple™およびIrSS™は、Infrared Data Association®の商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されます。Gracenoteは音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。
Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：
copyright © 2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

「ベールビュー」「ベストセレクトフォト」「チェイスフォーカス」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「LCフォント」「LCFONT」「TapFlow」「GALAPAGOS SQUARE」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetooth®は、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
© 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.
DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。

The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。
「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

「ホットペッパー」は、株式会社リクルートの登録商標です。

「価格.com」は株式会社カカクコムの登録商標です。

「セカイカメラ」は頓智ドット株式会社の登録商標です。

EUPHONY™は、DiMAGIC（ダイマジック社）の仮想音源処理技術を含む総合的な音質向上技術の商標です。
EUPHONY™ is a trademark of DiMAGIC Co.,Ltd.

PhotoSolid®、FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。

本製品は、沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE（Face Sensing Engine）を使用しています。FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。

CP8 PATENT

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び/又は(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び/又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Rを搭載しています。
「モリサワ」「新ゴ」「丸フォーク」「はせトッポ」「陸隷」は、株式会社モリサワの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL) 、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、メインメニューで[設定]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE

OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

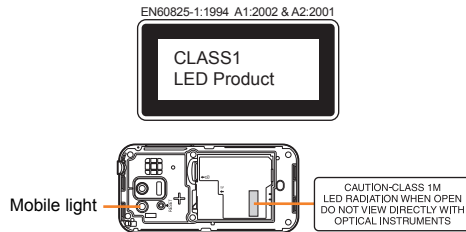
【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

CAUTION

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

Mobile light source LED characteristics

a) Continuous illumination

b) Wavelength
   White: 400-700 nm

c) Maximum output
   White: 270 μW (inside cell phone 1.2 mW)

■Battery - CAUTION

Use specified battery or Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to a au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 37 mV.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
CDMA SHI05	APYHRO00140	1.03 W/kg	0.976 W/kg

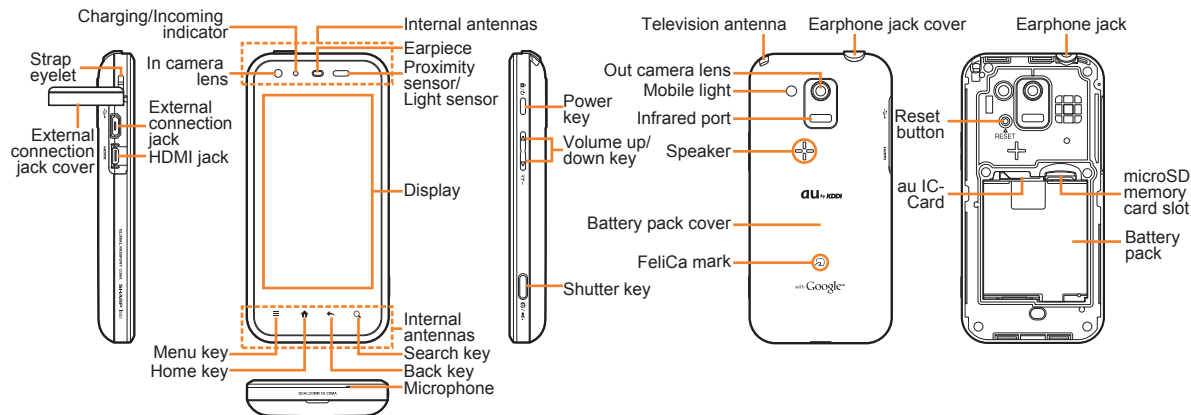
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)

Website at http://www.phonefacts.net.

English Simple Manual（簡易英語版）

Turning Power On and Off

● **Turning Power On**

Hold down (🔒/⏻) for at least two seconds.

● **Turning Power Off**

Hold down (🔒/⏻) for at least two seconds.

▶ Select [Power off]. ▶ Select [OK].

Switching the Screen to English

On the desktop*: Select [ ]. ▶ Select [設定]. ▶ Select [言語とキーボード]. ▶ Select [言語(Language)を選択]. ▶ Select [English].

* The desktop represents the stand-by screen.

Checking Your Own Phone Number and Mail Address

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Settings]. ▶ Select [Profile].

Making and Answering a Call

● **Making a Call**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Enter the phone number you want to call. ▶ Select [Call].

To end a call: Select [End call].

● **Answering a Call**

When the phone starts ringing, slide [ ] in the right direction.

When the phone starts ringing, tap [Answer] while the backlight illuminates (except when the unlock screen is displayed).

To adjust the earpiece volume during a call: Press ◁/▷.

Storing and Recalling Address Book Entries

● **Storing an Entry**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Address Book]. ▶ Select [≡]. ▶ Select [Add new entry]. ▶ Select the item you want to edit. ▶ Select [Save]. ▶ Select [Yes].

● **Recalling an Entry**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Address Book]. ▶ Select the record you want to recall.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Video Camera]. ▶ Select [ ] to start recording. ▶ Select [ ] to stop recording.

● **Taking a Snapshot**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Camera]. ▶ Select [ ] to take a snapshot.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

On the desktop: Select [ ].

[0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1] ▶ [2] [1] [2]

International access code / Country code (USA) / Area code

▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ Select [Call].

Number you want to call

Other Handy Features

● **Setting the Manner Mode**

Hold down 🔒/⏻ for at least two seconds. ▶ Select [Manner mode].

Repeat the above operation to disable the Manner Mode.

● **Setting the Answer Memo (Voice Recording)**

On the desktop: Select [ ]. ▶ Select [Settings]. ▶ Select [Call settings]. ▶ Select [Call/Ans Memo]. ▶ Select [Answering memo setting]. ▶Select [ON].

For inquiries, call: Customer Service Center

For general information

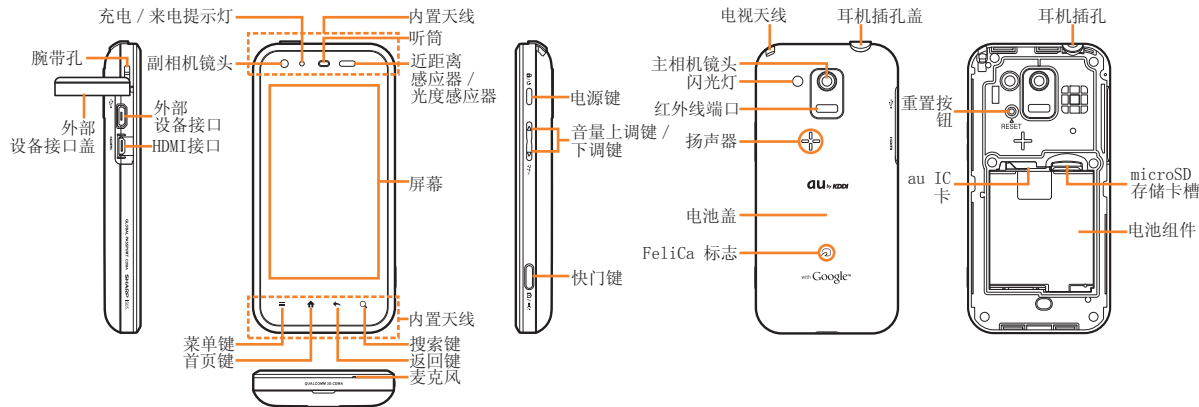
● If you are calling from a landline phone: フリーコール 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

For repairs, loss or theft

● If you are calling from a landline phone: フリーコール 0077-7-113 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 113 (toll free)

中文简易说明书（簡易中国語版）

开启或切断电源

● **开机**

按住（🔒/⏻）两秒钟以上。

● **关机**

按住（🔒/⏻）两秒钟以上。▶选择〔電源を切る〕(电源关闭)。▶选择〔OK〕(确定)。

切换到英语显示

桌面*上：选择〔 ⊞ 〕。▶选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔言語とキーボード〕(语言和键盘)。

▶选择〔言語(Language)を選択〕(选择语言)。

▶选择〔English〕(英文)。

* 桌面是指待机画面。

检查您自己的电话号码和电子邮箱地址

桌面上：选择〔 ⊞ 〕。▶选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔プロフィール〕(个人资料)。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

桌面上：选择〔📞〕。

▶输入您想要拨打的电话号码。▶选择〔発信〕(拨号)。

结束通话：选择〔通話終了〕(结束)。

● **接听电话**

在电话铃声响起时，〔📞〕向右侧方向滑动。

背景灯点亮状态下(显示锁定解除画面时除外)若接到来电，

点按〔応答〕(接听)。

调整听筒音量：按◁/▷。

保存和查看电话簿内的名单

● **保存名单**

桌面上：选择〔⠿〕。▶选择〔電話帳〕(电话簿)。▶选择〔≡〕。

▶选择〔新規登録〕(添加新项目)。▶选择您想要编辑的项目。

▶选择〔保存〕(完成)。▶选择〔はい〕(是)。

● **查看名单**

桌面上：选择〔⠿〕。▶选择〔電話帳〕(电话簿)。▶选择您查找的记录。

使用照相机(视频和快照)

● **拍摄视频**

桌面上：选择〔⠿〕。▶选择〔ビデオカメラ〕(摄像机)。

▶选择〔 〕开始拍摄。▶选择〔 〕停止拍摄。

● **拍摄快照**

桌面上：选择〔⠿〕。▶选择〔カメラ〕(照相机)。

▶选择〔○〕拍摄快照。

拨打国际长途电话

举例：想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

桌面上：选择〔📞〕。

[0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1] ▶ [2] [1] [2]

国际电话呼叫号码

区号

国家号码(美国)

▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ 选择〔発信〕(拨号)。

您要拨打的电话号码

其他手机功能

● **设置静音模式**

按住🔒/⏻两秒钟以上。

▶选择〔マナーモード〕(静音模式)。

想要取消静音模式，则重复上述步骤。

● **设置语音备忘录(语音记录)**

桌面上：选择〔⠿〕。▶选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔通話設定〕(通话设定)。

▶选择〔音声・伝言メモ〕(语音备忘录)。

▶选择〔伝言メモ設定〕(语音备忘录设定)▶选择〔ON〕(开)。

如需咨询，请垂询：客户服务中心

综合服务

● 从座机上请拨打电话：0077-7-111(免费)

● 从au手机上请拨打电话：157(免费)

故障、挂失、失窃

● 从座机上请拨打电话：0077-7-113(免费)

● 从au手机上请拨打电话：113(免费)

文字入力の詳細情報

■記号(全角／半角)一覧

入力できる記号(全角)一覧(表示順)

空白(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	＝	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌
┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝
〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∟	⊿			

入力できる記号(半角)一覧(表示順)

空白(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|	}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ	

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

顔・表情

気持ち・からだ

生き物・星座

食べ物・飲み物

自然・季節

ファッション・遊び

乗り物・建物・地図

道具

記号

●異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

●マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。

●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

■デコレーション絵文字一覧

お買い上げ時に用意されているデコレーション絵文字一覧

■顔文字一覧

カテゴリ	内　容
笑い	(*^^*)
	(^-^)
	(^-^)v
	(^.^)
	(^^)
	(^^)v
	(^_^)
	(^_^)v
	(^o^)
	(^o^)v
	(^q^)
	(爆)
	(笑)
	:-)
	:->
	;-)
	f(^_^)
	(^〇^)
	(^—^)
	(⌒-⌒)
	(￣—￣)
	d(⌒—⌒)!
	d=(^o^)=b
	o(^o^)o
	p(^-^)q
	p(^^)q
	q(^-^q)
	(o^−^o)
	(￣∇￣*)ゞ
	(〃^—^〃)
	(〃⌒—⌒〃)ゞ
	o(*⌒O⌒)b
	(*≧∀≦*)
	(//∇//)
	(*´∇`*)

カテゴリ	内　容
笑い	(o＾・＾o)
	o(*⌒—⌒*)o
	(￣▽￣)
	(｡-∀-)
	(˜▽˜@)♪♪♪
	♪ヽ(´▽`)/
	ρ(＾o＾)b_♪♪
	ヽ(*´▽)ノ♪
	ヽ(￣▽￣)ノ
	ヽ(・∀・)ノ
泣き	(;_;)
	(;_・)
	(;o;)
	(>_<)
	(T-T)
	(TT)
	(T_T)
	(ToT)
	(*ToT)
	(T^T)
	(T__T)
	(/_;)
	(ノ_・,)
	(;__q)
	(泣)
	(涙)
	X-<
	(/_;)/˜˜
	(;_;)/˜˜˜
	(><*)ノ˜˜˜˜˜
	(´Д`)
	(;つД`)
	° ° (´O`)° °
	･･･(;´Д`)
	(´△`)

カテゴリ	内　容
泣き	(TДT)
	(´;ω;`)
	ρ(･･､)
	(/—￣;)
	(;∀;)
	(ノД`)･･･
	(｡´Д⊂)
	(つд;*)
	･° ･(つД`)･° ･
	Σ(ノд<)
	(i_i)＼(^_^)
怒り	(- -;)
	(-.-)
	(-_-)
	(-_-;)
	(怒)
	:-(
	:-<
	:-p
	(￣^￣)
	(`Δ´)
	(*`Д´)ノ！！！
	ι(`ロ´)ノ
	(`へ´*)ノ
	(→_→)
	o(￣—￣)○☆
	(/^^)/⌒●˜*
	('ε'*)
	(#￣3￣)
	(((￣へ￣井)
	(･┬･)
	(#`皿´)
	Σ(￣皿￣;;
	(￣へ￣メ)
	へ(･･へ)｡｡

カテゴリ	内　容
怒り	(`□´)
	(`へ´)
	(`ロ´;)
	(ノ-_-)ノ˜┻━┻
	(ノ-o-)ノ┤
挨拶	(^-^)/
	(^^)/
	(^^)d
	(^_^)/
	(^o^)/
	＼(^-^)／
	＼(^^)／
	＼(^_^)／
	＼(^o^)／
	(-_-)/˜˜˜
	(/- -)/
	(^_^)/˜˜
	(^o^)／˜˜
	(^∧^)
	(^人^)
	(⌒O⌒)／˜˜
	(￣O￣)/
	(￣—￣)ノ
	(*^—°)ノ
	(@＾＾@)／
	(⌒∇⌒)ノ"
	(･∀･)ノ
	|＾▽＾)ノ
	(; _ ;)/˜˜
	(@＾＾)／˜˜˜
	(‘— ‘)/˜˜
	(><*)ノ˜˜˜˜˜
	(o･･o)/˜
	ヾ(･◇･)ノ
	♪Ю—(^▽^o) ♪

カテゴリ	内　容
挨拶	(･ω･`＝)ゞ
	(*･x･)ノ˜˜˜♪
	(⌒∇⌒)ノ""
	♪(o･ω･)ノ))
	ヾ(*T▽T*)
	(^—°)ノ
	(*° —°)ゞ⌒☆
	(｡･x･)ゞ♪
	(`—´ゞ-☆
	(￣—￣ゞ−☆
	(° ◇°)ゞ
	(｡･ω･｡)ゞ
	!(￣-￣)ゞ
	(□_□)ゞ
	(@＾▽° @)ゞ
	(`◇´)ゞ
	(*･ω･)ノ
	＼(^_^)(^_^)／
焦り	^^;
	^_^;
	(^-^;
	(^^;
	(^_^;)
	(^o^;)
	(-o-;)
	(汗)
	f(^^;
	f(^_^;
	(((^^;)
	(((^_^;)
	(^^;)))
	(((･･;)
	(((((((･･;)
	(;´д`)
	(･_･;

カテゴリ	内　容
焦り	(^-^ゞ
	(^^ゞ
	(^_^;)))
	(^_^ゞ
	(^o^ゞ
	(——;)
	(￣▽￣;)
	_(^^;)ゞ
	f(^—^;
	σ(^_^;)?
	┐('〜`;)┌
	o(T△T=T△T)o
	(´▽`;)ゞ
	(/´△`＼)
	(;￣—￣A
	(;>_<;)
	(◎-◎;)
	((((;゜Д゜)))
驚き	(*_*)
	(・・;)
	:-O
	(((・・;)
	(゜o゜)＼(-_-)
	(゜゜;)＼(- -;)
	(゜ロ゜)
	(゜ロ゜;
	(・・;)))
	(￣O￣;
	(゜O゜;

カテゴリ	内　容
驚き	ヾ(゜0゜*)ノ?
	!!(゜ロ゜ノ)ノ
	(@￣□￣@;)!!
	(￣□||||!!
	Σ(-∀-;)
	!Σ(￣□￣;)
	!Σ(×_×;)!
	(||゜Д゜)
	Σ(￣ロ￣lll)
	(￣□￣;)!!
	(〃▽〃)
	(☆o☆)
	(☆∀☆)
	(／▽＼)♪
	ヘ(≧▽≦ヘ)♪
	三(゜∀゜)
	(゜〇゜;)
	(゜〇゜;)?????
	(;゜∇゜)
	(ノ゜ο゜)ノ
	＼(>_<)／
	＼(◎o◎)／
	＼(゜o゜;)/
	((((;゜Д゜)))
その他	(..)
	(__)
	(照)
	(眠)
	m(__)m

カテゴリ	内　容
その他	(-.-)Zzz・・・・
	(-.-)y-~
	(-.-)ノ⌒-~
	(-｡-)y-~
	(>.<)y-~
	(^3^)/
	(^з^)-☆
	(^｡^)y-~
	φ(..)
	φ(゜゜)ノ゜
	φ(. .)
	(｡_｡)φ
	ゞ(''),
	ヘ(^_^)
	＼(__)
	(;´д`)ゞ!
	(*ov.v)o
	(*v.v)｡｡｡
	(＾__ー)≡★
	(ゝω・´★)
	ヘ(・｡・｡)
	(*^▽^)/★*☆♪
	(*^3(*^o^*)
	(*＾3＾)/〜☆
	(*⌒3⌒*)
	(〃▽〃)
	(*^)(*^-^*)ゞ
	(☆∀☆)
	(／▽＼)♪

カテゴリ	内　容
その他	ヘ(≧▽≦ヘ)♪
	(￣▽￣=￣▽￣)
	(・д・=・д・)
	ヘ(・o・三・o・)ヘ
	(>ω<)/｡・゜゜・
	(￣▽￣)b
	d(⌒—⌒)!
	(゜∇^d)!!
	(o^-')b!
	((￣_|
	(;¬_¬)
	|(-_-)|
	(ヾ(´・ω・`)
	(´・ω・`)?
	(´｡`)・・
	ヘ(×_×;)ヘ
	(*´—`*)
	(/-＼*)
	(゜Д゜≡゜Д゜)?
	(∋_∈)
	(／O￣)
	(´д⊂)・・
	(￣q￣)zzz
	o(____*)Zzz
	(*￣∇￣)ノ
	(・д・)ノ
	ヾ(´▽`*)ゝ
	(*^-^)ヘ__/
	(￣｡￣)

カテゴリ	内　容
その他	(*￣｡￣*)
	(〃∇〃)
	(〃ω〃)
	(///∇///)
	┐(-｡ー;)┌
	((o(^∇^)o))
	☆≡(>｡<)
	ヘ(^^ヘ)
	(*^o^)／＼(^-^*)
	(^_^)/□☆□＼(^_^)
	(^_^)∠※
	orz
	‖WC‖ヽ(^^ゞ｡｡｡｡
	>゜)))彡
	⌒(ë)⌒
	☆ミ
	〇o｡.
	U^ェ^U
	(-)_(-)
	(=`ェ´=)
	(≡・x・≡)
	~>゜)———
	￣(=∵=)￣
	⊂(^(工)^)⊃
	l:3ミ

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

●登録されている顔文字は編集できます。

区点コード表

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、IS05をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書の記載に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下お知らせさせていただきます。

【取扱説明書】

● 270ページ「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」のmemo欄

（誤）

◎ IS05はデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。

▶ **（正）**

記載削除

● 270ページ「割込通話サービスを停止する」のmemo欄

（誤）

◎「最大3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

▶ **（正）**

◎ 割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。

● 322ページ

（誤）

記載なし

▶ **（正）**

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、メインメニューで［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

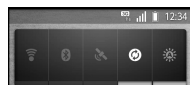
発売元：KDDI（株）
沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
2012年9月

■ お知らせ ■

このたびは、IS05をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご利用前に以下の内容をお読みいただき、正しくお使いください。

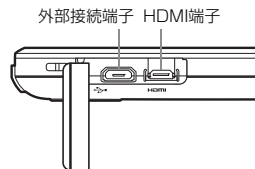
■ 電池消費の軽減について

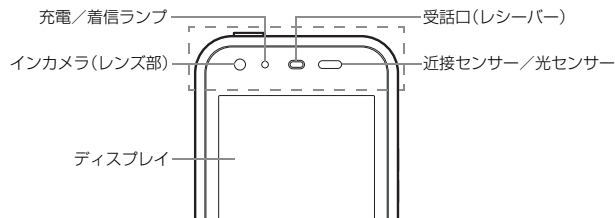
- IS05では複数のアプリケーションを同時に起動させることができます。
  現在起動しているアプリケーションの他に、その前に使用していたアプリケーションも画面上では見えませんが、バックグラウンドではまだ終了していない場合があります。
  「 (起動中アプリキー)」をタップして、現在起動しているアプリケーションを終了することで、電池の消費を抑えることができます。
- 「電源管理」ウィジェットを利用して、Wi-Fi、Bluetooth®、GPS機能、自動同期、画面の明るさの設定ができます。設定をこまめに切り替えることで電池の消費を抑えることができます。
- ダウンロードしたアプリケーションなどによっては、電池の消費に影響するものがあります。
  「電源管理」ウィジェットで自動同期を無効にするなど、設定をこまめに切り替えてください。

起動中アプリキー

「電源管理」ウィジェット
•デスクトップを右にスライドすると表示されます。

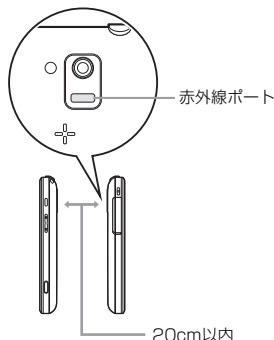
- IS05には電池の消費を抑えるための**「省エネ設定」**があります。操作音や画面などの設定を無効、または最小値に設定し、電池の消費を抑えることができます。省エネ設定をするには、メインメニューで「設定」から「省エネ設定」を選択します。
- **「とにかく省エネ」**を設定すると省エネ設定の項目一覧が一括で無効、または最小値に設定されます。設定後は一括で元に戻すことはできません。戻す場合は各設定ごとに行ってください。

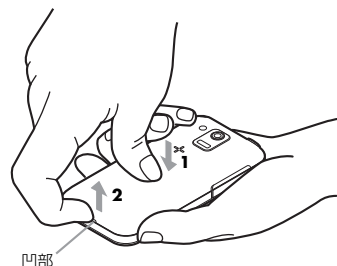
■ 外部接続端子とHDMI端子の位置について

- **IS05の外部接続端子とHDMI端子は隣り合っているため、挿し間違えないようにしてください。故障の原因になることがあります。**

■ 市販の保護カバーの取り付けおよびシールなどの貼り付けについて

- **IS05のインカメラや近接センサー／光センサーなどがある部分(下図点線部)は、市販の保護カバーやシールなどで覆わないでください。誤動作の原因となることがあります。**
  また、ディスプレイのある面に市販の保護シートなどを貼るとタッチパネルの感度が悪くなることがあります。

→次ページもお読みください。

■ 赤外線の利用について

- IS05の赤外線ポートは右図の位置にあります。
- 通信の際には赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで、IS05の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。

■ 本体裏面の電池パックカバーの取り外し方について

- IS05の電池パックカバーを取り外すときには、電池パックカバーの中央部分を押さえながら(**1**)、電池パックカバーの凹部に指先(爪)をかけて、矢印方向に持ち上げて取り外します(**2**)。

■ ご使用中のご注意について

- **電源を入れてから「Android™ au with Google™」のロゴが表示されている間と、スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れるとタッチパネルが正しく動作しなくなる場合がありますが、故障ではありません。**
  タッチパネルが正しく動作しない場合は、もう一度電源キー操作を行ってください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中、ブラウザ使用中などは、本体の一部が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：シャープ株式会社
2011年3月　第2版

TCAUZA182AFZA

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは 0077-7-111 | au電話からは 局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは 0077-7-113 | au電話からは 局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年9月第1.1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社